

令和8年度 第1回 朝霞市社会教育委員会議 次第

日 時 令和8年7月23日(木)

午後2時から

場 所 朝霞市役所別館5階 大会議室(手前)

1 開 会

2 生涯学習部長あいさつ

3 自己紹介

4 会長あいさつ

5 議 事

(1)令和7年度生涯学習・社会教育関係事業報告について

(2)令和8年度生涯学習・社会教育関係事業予算について

(3)第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和7(2025)年度
事業評価(案)について

(4)朝霞市生涯学習計画の今後について

(5)その他

6 閉 会

令和 7 年度
(2025年度)

生涯学習部 事業報告書

目 次

生涯学習・スポーツ課

生涯学習係	・ ・ ・ ・ ・	1
スポーツ係	・ ・ ・ ・ ・	6

文 化 財 課

文化財保護係	・ ・ ・ ・ ・	8
博 物 館	・ ・ ・ ・ ・	1 1

公 民 館

中央公民館	・ ・ ・ ・ ・	1 5
東朝霞公民館	・ ・ ・ ・ ・	1 7
西朝霞公民館	・ ・ ・ ・ ・	1 8
南朝霞公民館	・ ・ ・ ・ ・	2 1
北朝霞公民館	・ ・ ・ ・ ・	2 3
内間木公民館	・ ・ ・ ・ ・	2 5

図 書 館

図書館本館	・ ・ ・ ・ ・	2 8
北朝霞分館	・ ・ ・ ・ ・	3 2

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
生涯学習啓発推進事業	あさか学習 おとどけ 講座	市民の主体的な学習機 会の拡充と市政への理 解を深めることによっ て、生涯学習の推進と 市民協働での市政の発 展に寄与する。	【通年】 市民の要請に応じて、現地に出向いて 行政情報等を提供する。 ・行政メニュー ・企業メニュー	市内在住、 在勤、在学 の5人以上 で構成され た団体	実施件数 18件 延べ 671人
	子ども大学 あさか	子どもの学ぶ力や生き る力の向上と地域の教 育力の向上を目的に、 ものごとの原理やしく みを追求する「はてな 学」、郷土の文化や歴 史を知る「ふるさと 学」、自分を見つめ人 生や将来について考え る「生き方学」の3つ の分野について学習す る。 東洋大学学生ほか学生 ボランティア、NPO 法人、朝霞青年会議 所、教育委員会が連携 し、大学のキャンパ ス、市の施設等で、大 学の先生など専門家が 子どもたちの疑問に応 える講義等を実施す る。	【入学式】 【第1回講義】はてな学・ふるさと学 植物をじっくり見てみよう！ ～植物といろいろな生き物の関係～ 【日時】6月28日(土) 午後1時～4時30分 【講師】宮田 佳奈 氏 (東洋大学生物資源学科助教) ----- 【第2回講義】ふるさと学・はてな学 天気・異常気象を学ぼう！ 【日時】7月19日(土) 午後1時～4時30分 【講師】木村 真裕子 氏 他4名 (株式会社カインズ) ----- 【第3回講義】はてな学・生き方学 パソコン分解ワークショップ 世界の環境や難民を知ろう 【日時】8月30日(土) 午後1時～4時30分 【講師】藤井 優花 氏 田中 香織 氏 (ピープルポート株式会社) ----- 【こども会議】 ミニあさか準備 9月27日(土) 午後1時～4時30分 10月25日(土) 午後1時～4時30分 ----- 【学園祭】 子どもがつくるまち～ミニあさか～ 【日時】10月26日(日) 午前8時30分～4時30分 ----- 【第4回講義】はてな学 調理科学の世界 【日時】11月22日(土) 午後1時～4時30分 【講師】露久保 美夏 氏 (東洋大学食環境学科准教授) 【修了式】	小学 4年生～6 年生	学生 61人 延べ 405人
	生涯学習 ガイド ブック コンパス 発行	講座・催し物・イベン ト情報、サークル情 報、施設ガイド等の生 涯学習情報を提供す る。	毎年5月発行 (年1回発行)	市民	1,600部

生涯学習・スポーツ課 生涯学習係

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
生涯学習 啓発推進事業	生涯学習 体験教室	市民の生涯学習活動への機運を高め、意識啓発を図ると同時に朝霞市ボランティアバンク制度の利用を促進する。	【通年】 ・生涯学習ボランティアバンクの活用 ・生涯学習体験教室の実施 (36種・52教室 うち中止2種3教室)	市内在住、 在勤、在学 者	開催回数 49回 延べ 391人
	市民企画 講座	市民の創意による学習機会の形成を促すとともに、市と市民の協働による生涯学習の推進を図る。	【通年】 補助金交付団体が年3回以上で、かつ、学習時間が年4.5時間以上の市民に開かれた学習会を開催する。	構成員が5人以上で、市内在住、在勤、在学者で過半数を占める団体	補助団体数 4団体 参加者数 248人
芸術文化 振興事業	夏休み親子 陶芸教室	夏休みに親子が共に作陶することにより、親子の絆を深め、また、本物の芸術に触れることで興味と教養も深めてもらうため実施する。	【日時】 7月22日(火)午前10時～正午 【会場】 丸沼芸術の森 【内容】 親子で作陶してみよう 【講師】 榎本 洋二 氏 榎本 美鈴 氏 松本 充央 氏 (丸沼陶芸倶楽部講師) ----- 【日時】 8月18日(月) 午前10時～正午 【会場】 丸沼芸術の森他 【内容】 学芸員と芸術鑑賞会しよう プロによる陶芸講座 本格的な茶室で茶道体験 【講師】 須崎 勝茂 氏 榎本 洋二 氏 榎本 美鈴 氏 松本 充央 氏 (丸沼陶芸倶楽部講師) 畦森 健 氏 (丸沼芸術の森学芸員)	市内在住の 小学生及び 保護者	親子17組 延べ68人
	朝霞市芸術 文化展	文化協会会員による華道・書道・絵画・写真・盆栽・切り絵等の展示、囲碁・将棋大会を実施する。	【日時】 5月24日(土) 午前10時～午後4時30分 5月25日(日) 午前10時～午後3時 6月8日(日) 午前9時～午後5時 (＊囲碁大会のみ) 【会場】 中央公民館・コミュニティセンター	市民・文化 協会会員	来場者数 延べ 2,832人
	市民芸能 まつり	文化協会会員及び一般応募参加者による民謡、舞踊、ダンス、吹奏楽等の発表会を実施する。	【日時】 6月8日(日) 午前10時～午後4時 【会場】 ゆめばれす(朝霞市民会館)		来場者数 延べ 2,552人

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
芸術文化振興事業	朝霞市文化祭	市民文化の集大成として、文化協会会員及び一般応募の市民による書道・絵画・写真・盆栽・手工芸等の展示と、芸能のつどい、囲碁大会、吟剣詩舞道大会、合唱発表会、歌謡大会、吹奏楽演奏会、音楽祭を実施する。また、県立朝霞西高校の生徒たちによる写真作品の展示のほか、障害福祉施設による販売会、子どもや一般市民を対象とした芸術文化体験事業を実施する。	展示部門 中央公民館改修工事に伴う休館の為中止 大会部門 【日程】 将棋大会 10月26日(日) 囲碁大会 11月2日(日) 吟剣詩舞道大会 11月2日(日) 茶会 中止 個別発表 【日程】 歌謡発表会 10月5日(日) 芸能のつどい 10月19日(日) 合唱演奏会 11月1日(土) 音楽祭 11月9日(日) 吹奏楽団演奏会 11月16日(日) マンドリン発表会 11月23日(日) 【会場】 ゆめばれす(朝霞市民会館)	市民・文化協会会員	来場者数延べ 3,667人
	市民人権教育研修会	人権問題に関する正しい理解を深め、能動的にあらゆる差別に対処する指導者の育成を期待して、研修会を実施する。	【日時】 5月22日(木) 午後2時～3時30分 【会場】 中央公民館・コミュニティセンターホール 【テーマ】 避難生活で命と健康、本当に守れますか？ ～被災地の実情から学ぼう！ 高齢者・障害者・子ども・女性などの視点から～ 【講師】 浅野 幸子 氏 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員	小中学校長、学校人権教育主任、PTA会長・役員、公民館担当者、人権教育推進協議会役員・推進員、家庭教育学級代表者、市民等	34人
	企業人権教育研修会	企業内における人権教育を推進し、差別の解消と人権意識の向上を目指して、研修会を実施する。	【日時】 令和8年2月12日(木) 午後2時～3時30分 【会場】 産業文化センター 多目的ホール 【テーマ】 多様性を認め合う～誰もが生きやすい社会を目指して～ 【講師】 櫻木 彩人 氏 合同会社unema代表 ちふれLGBTQ+アンバサダー 元ちふれASエルフェン埼玉選手	県内企業の人権・同和問題担当者及び人権教育推進協議会役員・推進員、市民等	58人
人権教育振興事業	人権問題講演会	様々な人権問題を題材に、一人一人の人権の大切さを学び、人権意識の一層の向上を図るために講演会を実施する。	【日時】 7月18日(金) 午後2時～3時30分 【会場】 中央公民館・コミュニティセンターホール 【テーマ】 片腕でも伝えられることがある 【講師】 片腕のギタリスト輝彦 氏 東京2020パ・リンピック閉会式出演	市議会議員、人権擁護委員、民生委員児童委員、庁内人権担当職員、人権教育推進協議会役員・推進員、市民等	119人

生涯学習・スポーツ課 生涯学習係

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
成人の日記念式典事業	成人の日記念式典	二十歳の節目を迎えた若人たちを対象に、成人の日に式典を実施し、対象者を祝い励ますとともに新たな社会へと送り出す。	【日時】 令和8年1月12日(月・祝) 午後0時45分開場：1時30分開演 【会場】 ゆめばれす（朝霞市民会館）	当該年度に二十歳を迎えた方	対象者 1,408人 出席者 921人 出席率 65.4%
	子育て講座	乳幼児を持つ親が子育てについて学ぶ講座を実施することで、子育ての悩みや不安を解消し、家庭の教育力の向上を図る。	【日程】 ①7月10日（木） ②10月9日（木） ③令和8年2月16日（月） 午前10時35分～10時55分	保健センターの「母と子のつどい」に参加する親子	各回 ①19組38人 ②23組46人 ③14組28人
家庭教育推進事業	家庭教育学級事業補助事業	地域社会との関わりの中で親自身のあり方を考え、子どもの健全な発達を促す家庭教育に関する自主的学習活動を、奨励・支援する。	【通年】 補助金交付団体が年2回以上、市民に開かれた学習会を開催することを要件として補助金を交付する。 ※詳細は、朝霞市家庭教育学級事業補助金交付要綱参照。	市内の社会教育関係団体及び市内に在住する親等で構成される団体	補助団体数 4団体
	家庭教育学級補助事業	学校等との連携を図りながら、家庭教育に関する自主的学習活動を奨励・支援する。	【通年】 補助金交付団体が年3回以上、市民に開かれた学習会を開催することを要件として補助金を交付する。 ※詳細は、朝霞市家庭教育学級補助金交付要綱参照。	市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校のPTA等	補助団体数 4団体
家庭教育推進事業	家庭教育学級合同講演会	子育て世代の親が、次世代を担う子どもたちといかに向き合い、その成長を促していくかについて考える機会を作るため、家庭教育の視点で講演会を実施する。	【日時】 11月6日（木） 午前10時～正午 【会場】 朝霞市産業文化センターホール 【演題】 ネット社会で生きる子どもたちのために ～STOP！ネット依存 STOP！危険な出会い～ 【講師】 竹内 義博 氏 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 チーフ技術指導員	家庭教育学級生、市民	63人

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
放課後子ども教室事業	プログラム提供型	安心安全な子どもの居場所及び活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共にスポーツ・文化活動・地域の方々との交流活動等の取組を推進することを目的とし、プログラム提供型を土曜日のほか、夏季休暇中に実施する。	【夏季休暇期間の午前中】 (小学校6校で、5回ずつ計30回実施) 【A日程】九小 7月22日(火)～7月28日(月)※土日は除く 【B日程】三小・五小・七小 7月28日(月)～8月1日(金) 【C日程】一小・四小 8月18日(月)～8月22日(金) 【内容】 宿題等自主学習のほか、プログラム形式で、科学あそび、工作、ヨガ、バランスボール、書道等を実施した。 ----- 【土曜日の午前中】 (小学校6校で、1校は全12回、5校は各全5回の合計42回実施) 【開催期間】 11月1日～令和8年1月17日 【内容】 ・第一小学校 わくわくスポーツパーク ・第三小学校 筆と墨で遊ぼう！ ・第四小学校 科学遊び大好き！ ・第五小学校 物語で遊ぼう ・第七小学校 おもしろ工作教室 ・第九小学校 バランスボール	市内在住の小学生	参加登録児童数 (夏季) 143人 延べ 630人 ----- 参加登録児童数 (土曜) 123人 延べ 521人
	居場所提供型	放課後の安心安全な居場所づくりを推進するため、学校の余裕教室を活用し、居場所提供型の平日及び長期休業期間に実施する。	【実施校】 六小、八小 【開催日】 平日(月曜日～金曜日) 放課後～午後5時 長期休業期間 午前9時～午後5時 ※10月～2月は午後4時30分まで 【休日】 土日祝日・学校代休日・県民の日・入学式・卒業式 学校閉庁日・年末年始等	実施校に通学する小学生	登録者数 六小 213人 八小 147人 利用者数 (延べ) 六小 7,334人 八小 5,523人

生涯学習・スポーツ課 スポーツ係

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
第29回朝霞市民ウォークラリー大会		道路の一部を示した地図(コマ図)を見ながら設定されたコースを歩き、時間とクイズ得点で順位を決めるウォーキングゲームを行います。	【日時】 4月13日(日) 午前8時30分～午後1時 【会場】 朝霞第十小学校を起点としたコース 【主管】 朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会	市民 (小学生以上)	雨天中止 参加予定 20チーム 86人
市民スポーツ教室	ボッチャ教室	スポーツ振興と市民の親睦、健康増進を図るため、年齢を問わず、誰にでも簡単にできるボッチャ体験教室を行います。	【日時】 2月5日(木)、6日(金) 午後6時30分～午後8時30分 【会場】 総合体育館メインアリーナ 【講師】 朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会	市民 (小学生以上)	11組25人
小学生スポーツ教室	ミニテニス教室	小学生がスポーツに親しめるように、ミニテニス教室を行います。	【日時】 7月29日(火)～31日(木) ※3日間 午前9時～正午 【会場】 総合体育館メインアリーナ 【講師】 朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会	小学生(4～6年生)	43人
	なぎなた教室	小学生がスポーツに親しめるように、なぎなた教室を行います。	【日時】 8月5日(火)～7日(木) ※3日間 午前9時～正午 【会場】 総合体育館サブアリーナ 【講師】 朝霞市なぎなた連盟		24人
チームライフ・チームピストルスポーツ射撃体験会		オリンピックレガシーを引継ぎ、体験会を通して射撃を行うことで競技に親しむ。	【日時】 8月23日(土) 【会場】 総合体育館サブアリーナ 【主管】 埼玉県ライフル射撃協会	どなたでも	118人
第70回記念朝霞市民総合スポーツ大会市民スポーツ大会		スポーツ振興と市民の親睦、健康増進を図るため、市民スポーツ大会を開催する。地区対抗種目、自由種目、スポーツ団体紹介、スポーツ表彰を行う。	【日時】 10月12日(日) 午前8時～午後3時 【会場】 中央公園陸上競技場	市民	約5,200人
第64回朝霞市ロードレース大会		持久走の普及と体力の向上を図るため、小学生、中学生、親子、一般、壮年の各男女によるタイムレースとして大会を行う。	【日時】 11月23日(日・祝) [勤労感謝の日] 午前8時30分～午後1時 【会場】 中央公園陸上競技場及び朝霞の森周辺	小学生以上	716人

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
陸上競技場 個人開放	市民のスポーツの振興と健康増進を図るため、陸上競技場を個人に無料で開放する。	【日時】 毎週火曜日 午後5時15分～午後9時 第2・4土曜日 午前9時～午後4時45分 【会場】 中央公園陸上競技場	市内在 住・在 勤・在学 者	11,869人
総合体育館 個人開放	市民スポーツの振興と健康増進を図るため、総合体育館を個人に開放する。（卓球・バドミントン・ミニテニス等）	【日時】 毎週火曜日 正午～午後6時 毎週水曜日 午後3時30分～ 午後9時30分 【会場】 総合体育館 使用料（2時間あたり） 一般・高校生：150円 中学生以下：70円 市外居住者：300円	どなたで も	9,812人
学校体育 施設開放	市内小・中学校の体育館・校庭・武道場・テニスコートを利用し、団体等に貸出をする。	利用日程、時間については各学校により異なる	市民・在 勤者（登録 団体）	183,802人
溝沼子ども プール	幼児・児童の心身の健全な育成を図るため開場する。	【期間】 7月19日（土）から 8月31日（日）まで 44日間 【時間】 午前の部 9時30分～午後0時45分 午後の部 1時45分～午後5時	未就学児 及び付添 い人・ 小学生	36,701人
越生町交流事業 （ハイキング 大会）	朝霞市と越生町の都市間交流事業として、自然豊かな早春の越生の野山を愛でながらハイキングを行い、市民相互の交流を深め、健康増進を図る。	【日時】 2月21日（土） 午前8時30分～ 午後2時00分 【場所】 越生駅西口総合案内所 ～越生梅林	どなたで も	329人

文化財課 文化財保護係

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
文化財保護普及事業	文化財保護関係団体の助成	文化財保護関係団体に補助金を交付し、活動を助成する。	補助金の交付 7月 ・民俗芸能保存2団体 (根岸野謡保存会、溝沼獅子舞保存会) ・史跡保護1団体 (一夜塚古跡保存会)	文化財保護関係団体	—
	文化財保護普及・啓発	文化財が市民共有の財産であるという意識を啓発・醸成するための情報提供等を行う。	文化財の重要性をアピールし、保護・普及していくため、市ホームページ等を通じて文化財や事業に関する情報提供を行う。	—	—
指定文化財等保護管理事業	湧水代官水	市指定天然記念物「湧水代官水」について、清掃や水質検査等適切に管理し、文化財保護を図り、公開に資する。	【通年】	—	—
	柊塚古墳歴史広場	県指定史跡「柊塚古墳」について、清掃や樹木剪定、除草等適切に管理し、文化財保護を図り、公開に資する。	【通年】	—	—
	広沢の池	市指定史跡「広沢の池」について、井戸水補給や水質検査、周縁部の清掃・除草等適切に管理し、文化財保護を図り、公開に資する。	【通年】	—	—
	二本松	市指定史跡「二本松」について、剪定や指定地の除草等適切に管理し、公開に資する。	【通年】	—	—
埋蔵文化財調査保存事業	試掘調査	開発行為・建築工事等に伴い埋蔵文化財の確認調査を行う。	【随時】	開発行為等事業者	96件
	発掘調査	開発行為・建築工事等に伴い発掘調査を行い、記録保存する。	【随時】	開発行為等事業者	7件
	資料整理	発掘調査の記録を整理し、報告書を作成し、公開する。	・報告書作成 『宮台・宮原遺跡第16地点発掘調査報告書』 ・報告書刊行のための資料作成 『宮台・宮原遺跡第16地点発掘調査報告書』 ・出土金属製品の保存処理 市内遺跡出土金属製品等	—	—

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
埋蔵文化財センター管理事業	維持管理	消防設備、空気調和設備等の保守点検を行い、施設の維持管理を図る。	消防設備、空気調和設備等の保守点検を行う。	—	—
	展示	発掘調査の記録等について、埋蔵文化財センターで出土品や写真パネルを展示し、公開する。	【通年】	—	—
旧高橋家住宅管理運営事業	維持管理	清掃等の日常管理、敷地内の除草・樹木剪定、設備の保守点検等、適切な管理を行い、文化財保護を図り、公開に資する。	【通年】	—	—
	体験学習	敷地内の畑を活用した農業体験や、地域の郷土食や年中行事に関する体験学習を行い、郷土に対する理解を図る。	【日程】 ①6月27日(金)～7月9日(水) 七夕の短冊作り ②6月28日(土) じゃがいも掘りをしよう ③10月11日(土) さつまいも掘りをしよう ④11月15日(土) さといも掘りをしよう ⑤1月6日(火)・7日(水)・8日(木)・9日(金) お正月あそび	どなたでも	①66人 ②9組26人 ③雨天中止 ④中止 ⑤179人 延べ271人
	旧高橋家住宅ガイドツアー	体験学習等の機会にあわせて旧高橋家住宅や年中行事等について解説し、理解を深める。	【日程】 ①6月28日(土) ②11月15日(日) ※体験学習開催時に実施	どなたでも	①26人 ②18人 延べ44人
	旧高橋家住宅どきどきツアー	旧高橋家住宅で自然観察や昆虫採集を行うとともに、敷地内で採集した標本等を利用して学習を深め、夏休みの自由研究等への取り組みの一助とする。	【日程】 ①7月20日(日) 夜の昆虫観察 ②8月17日(日) 夏の虫とり会	①② 小学生と保護者	①6組15人 ②6組17人 延べ32人

文化財課 文化財保護係

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
郷土の伝統 芸能鑑賞教室 根岸野謡	郷土の伝統芸能の保存・ 啓発を図るため、旧高橋 家住宅で市指定無形文 化財「根岸野謡」を公演 する。	【日程】 11月15日(土)	どなたでも	38人
年中行事	地域に伝わる年中行事 についての展示を行い、 郷土に対する理解を図 る。	【日程】 ①4月18日～5月6日 五月節句 ②6月27日～7月9日 七夕飾り ③8月8日～8月20日 盆棚 ※中止 ④9月19日～10月1日 秋の彼岸 ⑤10月3日～11月12日 月見 ⑥10月31日～11月12日 十日夜 ⑦10月31日～12月3日 荒神様 ⑧11月14日～12月3日 恵比須講 ⑨12月26日～1月14日 正月飾り ⑩1月11日～1月28日 小正月 ⑪1月16日～1月28日 恵比須講 ⑫1月30日～2月11日 節分 ⑬1月30日～2月11日 初午 ⑭2月25日～3月4日 三月節句 ⑮3月13日～3月25日 春の彼岸	—	—
畑等の活用	ボランティア等により畑 を耕作し、収穫物を体験 学習等に活用する。	【通年】	—	—
	「綿育て隊」を募集し、和 綿の栽培方法や利用方 法を学習する。	【期間】 5月～12月 (全10回・うち中止2回)	どなたでも	3組10名 ※延べ参加 人数34人
展示	旧高橋家住宅主屋や根 岸台市民センター資料 コーナーで民具等の展 示を行い、資料の活用を 図る。	【通年】	—	—

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
常設展示	<考古分野> 「遺跡が語る朝霞」 <歴史分野> 「陸の道と水の道」 <民俗分野> 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	【通年】	—	28,513人
	民俗分野 「むかしのくらし」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について紹介する。	【日程】 5月17日(土)～8月31日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	—	7,488人
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	【日程】 5月17日(土)～8月31日(日) ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	—	7,488人
企画展	第38回企画展「根岸古墳群と内間木古墳群 ～朝霞の古墳時代～」	朝霞にある二つの古墳群のうち、柊塚や一夜塚が知られる根岸古墳群についてはこれまでよく紹介されてきた。そこで今回は、対をなす内間木古墳群の近年、あるいは速報的な調査成果を採り上げながら、両古墳群とその時代について紹介する。	【日程】 令和7年3月8日(土)～5月6日(火)	—	(令和7年度) 4,117人
	企画展関連講演会「埴輪から見た古墳時代の朝霞」	根岸、内間木両古墳群の埴輪について紹介し、系統、地域性、生産体制、流通などの観点から解説する。	【日程】 令和7年4月20日(日) 【講師】 立正大学博物館学芸員 大谷徹氏	—	62人
	企画展関連体験教室 ①火おこしに挑戦！ ②まが玉をつくらう！	①火おこしの歴史について学習した上で、木製発火具や火打石を使って火をおこす。 ②勾玉について学習した上で、ろう石を削り磨いて勾玉をつくる。	①【日程】 4月27日(日)午前10時 4月27日(日)午後2時 4月29日(火・祝)午前10時 4月29日(火・祝)午後2時 ②【日程】 令和7年5月3日(日)午前10時 令和7年5月3日(日)午後2時	①どなたでも ②小学生	24人 30人 33人 29人 31人 29人
	第39回企画展 「江戸時代の旅へ 川越街道膝折宿」	朝霞の歴史や文化に関連した事柄についての学芸員による調査・研究の展示を行う。	【日程】 11月1日(土)～12月14日(月)	—	4,103人
	第39回企画展 関連講演会「和宮の降嫁と伊勢参宮(お伊勢参り)」	企画展に関連して「和宮の降嫁と伊勢参宮(お伊勢参り)」について講演会を行う。	【日程】 11月15日(土)午後1時30分～3時 【講師】 元埼玉県立文書館館長 杉山正司氏	どなたでも	42人

	第39回企画展 関連講演会 「江戸時代の川越街道」	企画展に関連して「江戸時代の川越街道」について講演会を行う。	【日程】 12月6日(土)午後1時30分～3時 【講師】 近世史研究家 宮原一郎氏	どなたでも	60人
テーマ展示	「朝霞市県展 作品展」	第72回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	【日程】 9月13日(土)～9月28日(日)	—	1,333人
ギャラリー展示	「あさか発掘調査速報展—足元に眠る地域の記憶—」	令和6年度に実施した市内の発掘成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	【日程】 7月13日(土)～9月1日(日)	—	4,309人
	ギャラリー展示「描かれた弥生の船～中道・岡台遺跡」	船の絵画土器破片出土で注目されている中道・岡台遺跡(朝霞市岡)の発掘調査成果について、写真パネル等で紹介する。	【日程】 令和8年2月14日(土)～3月29日(日)	—	3,693人
収蔵資料展示	小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について、常設の民俗展示を拡充して紹介する。	【日程】 令和8年1月10日(土)～令和8年3月29日(日)	—	7,677人
資料紹介展示	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示する。	【日程】 4月26日(土)～7月6日(日)	—	5,571人
	博物館体験教室関連展示「ワタから糸へ」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用使用などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	【日程】 令和8年1月31日(土)～令和8年3月29日(日)		5,266人
	博物館実習生展示「博物館実習生から見た戦争資料」	博物館実習生2班が「軍人と家族をつなぐ軍事郵便」、「子どもたちから見た戦争」というテーマで収蔵資料を紹介した(※展示ケース2台による)	【日程】 8月27日(水)～9月7日(日)	—	985人
生体展示	「朝霞で見られる水の生き物」	コイ・フナ・ドジョウなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。	【通年】	—	28,513人
	「博物館で生まれたカブトムシ」	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	【日程】 7月8日(火)～8月24日(日)	—	3,931人

講座	歴史講座 (連続3回)	江戸時代の朝霞地域の様子、絵図を読み解きながら考える	【日程】 令和8年3月14日(土) 令和8年3月21日(土) 令和8年3月28日(土) 【講師】 近世史研究家 宮原 一郎氏	どなたでも (市民優先)	定員各回40人 35人 33人 34人 計102人
	古文書講座 ～はじめての古文書～ (連続5回)	朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	【日程】 令和8年2月7日(土) 令和8年2月14日(土) 令和8年2月21日(土) 令和8年3月1日(日) 令和8年3月8日(日) 【講師】 立正大学専任講師 栗原 健一氏	どなたでも (市民で初めての方優先) ※連続受講可能者	定員各回36人 39人 38人 36人 38人 36人 計187人
博物館体験教室	①「たたき独楽を回してみよう！」	日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施する。	【日程】 5月5日(日・祝) 午後1時～午後3時30分 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	どなたでも	61人
	②「はじめての篆刻」	篆刻を通し、字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘り、オリジナルの印鑑を作成する。	【日程】 9月22日(日) 午後1時30分～4時30分 【講師】 日展準会員 読売書法会常任理事 岩村 節廬氏	市内在住で18歳以上の方	定員 16人 12人
	③「火おこしに挑戦！」	木製発火具等を使って火をおこす。考古学、ひいては郷土史への関心を喚起する。	【日程】11月30日(日) ①午前10時～11時 ②午後2時～3時 【講師】当館学芸員 江原 順	どなたでも (小学1・2年生以下は保護者同伴)	定員 各回8組 8組 8組 計16組
博物館体験教室	④「おりがみで干支を折ろう！」	年始という実施時期を鑑み、干支である「巳」に因んで「へび」を折り紙で制作する。	【日程】1月17日(土) ①午前9時30分～11時30分 ②午後1時30分～3時30分 【講師】日本折紙協会 本多 秀子氏		定員 各回12人 10人 16人 計26人
	⑤「糸車で糸を紡ごう」	糸車を使って綿から糸を紡ぎ、綿の繊維を引き出し撚りをかけ、巻き取るという糸を紡ぐ工程を学ぶ。	【日程】3月15日(日) ①午前10時～11時 ②午後1時30分～2時30分 【講師】当館学芸員 岡田 貴哉		定員 各回6組 ① 6組 20人 ② 5組 12人 合計11組 32人

夏休み体験教室	①「まが玉をつくろう！」	ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。	【日程】8月6日(水) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】当館学芸員 江原 順	小学生 (1・2年生 は保護者同 伴)	定員各回16人 16人 27人 計43人
	②「コースターをつくろう！」	身近な材料を使い、簡単な織機でコースターを織る。体験を通して織物の原理を学ぶ。	【日程】8月10日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】専門技術者 菅井 美穂子氏	小学生 (1・2年生 は保護者同 伴)	定員各回16人 17人 30人 計47人
	③「飛び出す！動く！しかけ絵」	夏の思い出をポップアップなどのしかけ絵にする。体験をとおして創造力とつくる力を育む	【日程】8月17日(日) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】専門技術者 村上 優枝 氏	小学生 (1・2年生 は保護者同 伴)	定員各回16人 19人 23人 計42人
博学連携事業	小学校3年生博物館利用授業	郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり(教育指導課予算)。	【日程】 ①1月19日(月)一小3C ②1月20日(火)八小①3C ③1月21日(水)八小②2C ④1月22日(木)七小3C ⑤1月28日(水)十小4C ⑥1月29日(木)九小2C ⑦1月30日(金)四小3C ⑧2月3日(火)五小5C ⑨2月4日(水)三小①2C ⑩2月5日(木)二小4C ⑪2月6日(金)三小②2C ⑫2月10日(火)六小①3C ⑬2月13日(金)六小②3C	市内小学校3年生	104人 106人 72人 104人 125人 64人 84人 154人 66人 108人 57人 90人 89人
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、博学連携事業等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。	【定例会兼研修会】 6月26日(木) 午後3時30分～4時30分 【主催】 博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭 (事務局以外)	14人
	博物館学芸員実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。	【日程】 8月19日(火)～8月26日(火) (※7日間)	大学生	5大学 6人
調査	古文書調査	古文書目録の整理及び解説を行う。 「比留間家文書」 「牛山家文書」	通年	—	—
	自然史資料調査	博物館や文化財所管施設の自然史資料(生態系等)の調査を行う。	通年	—	—

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
悠ゆう大学	充実した日々を送るために生涯にわたって学習していけるような環境を提供する。	中央公民館・コミュニティーセンター長 寿命化改修工事のため、実施できず。	市民	
さわやか健康 教室	健康に対する意識が高まる中、健康づくりに関する手軽で身近なテーマを学習する。	「ろっ骨エクササイズで身体機能を整えよう」 【日時】5月29日(木) 午前10時～11時 【講師】日本総合健康指導協会公認 認定力キリスト 小布施 千鶴子 氏 ※中央公民館・コミュニティーセンター長寿命化改修工事のため、2回目は実施できず。	市民	17人 定員 15人
こども天体教室	中央公民館の施設特性を活かし、小学生を対象にプラネタリウム・スライドや天体望遠鏡を使用し、子どもたちの天体への興味を広げる機会とする。	中央公民館・コミュニティーセンター長 寿命化改修工事のため、実施できず。	小学生と その保護者	
サイエンス キッズ	小学生を対象とした理科教室を実施し、発見する喜びや考える力を育む。	「LEDでじっけん！～きれいな光のランプをつくろう～」 【日時】7月23日(水) ①午前10時～正午 ②午後2時～4時 【講師】科学読物研究会 坂口 美佳子 氏	①小学校 3～6年 生 ②小学校 1・2年 生	① 35人 ② 26人 延べ61人 定員 各回40人
成人教養講座	くらしに役立つさまざまな文化について学習する。	「『能ってなあに！？』能のお話と実技体験」 【日時】7月1日(火) 午後2時～4時 【講師】重要無形文化財保持者 総合認定 宝生流能楽師 小林 晋也 氏 ※中央公民館・コミュニティーセンター長寿命化改修工事のため、2回目は実施できず。	成人	29人 定員 20人
人権教育講座	人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。	人権問題きほんのき 「～人権ってなあに？～」 【日時】2月16日(月) 午後2時～3時 【講師】埼玉県人権・男女共同 参画課講師 高橋 厚裕 氏	どなたでも	17人 定員 30人

中央公民館

事業・講座名		趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
プラネタリウム	一般投映	毎週日曜日の午前と午後に季節に応じた番組を投映する。	【日時】毎週日曜日 ①午前11時 ②午後1時30分 ③午後3時 観覧料 子ども100円 大人 200円 (朝霞市在住・在勤・在学 以外は上記の5割増料金)	どなたでも	75回 延べ 1,729人 1回の投映につき 定員90人
	特別投映	季節ごとの番組投映のほか、星座の神話投映やクイズ、コンサートなどの企画を春・夏・冬休みの期間中などに実施する。	【日程】 ①ゴールデンウィーク 5月4、6日 ②夏休み 7月23、31日、8月7、14、 21、23、28日 ③彩夏祭 8月2、3日 ④サマーフェスティバル 8月23日	どなたでも	① 119人 ② 180人 ③ 193人 ④ 102人 延べ 594人
	団体投映	一般投映の他に、団体からの依頼によりプラネタリウムの投映を行う。	①小学校 2団体 ②保育園(室) 8団体 ③幼稚園 3団体 ④その他 8団体	どなたでも	21団体 延べ 770人
サマーフェスティバル		公民館利用団体が日ごろの学習成果を発表し、相互の親睦を深めるとともに、地域の方々との交流を図る。	第40回サマーフェスティバル (展示、体験・模擬店、コンサート) 【日程】8月23日(土)、24日(日)	公民館利用団体 市民	延べ44団体 延べ4,552人

※ 長寿命化改修工事のため、10月下旬以降の事業は実施なし(人権講座を除く)。

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
生活教養講座	多種多様な文化や教養を学び、体験することで、生涯学習を始める機会を提供し、参加者同士のコミュニケーションを深める場とする。	①「ろう通訳の現状と課題」 【日時】3月7日(土) 午前10時～正午 【講師】NHK手話ニュースキャスター 戸田 康之 氏 ギャロデット大学 准教授 高山 良太 氏	市民	①57人 定員 ①40人
さわやか健康教室	健康に対する意識が高まる中、健康づくりに関する手軽で身近なテーマを学習する。	①「心身を整える骨盤体操」 【日時】10月24日(金) 午前10時～11時30分 【講師】骨盤体操インストラクター NPO法人美えな塾代表 片山 弥生 氏 ②「ベリーダンスを体験しよう」 【日時】3月2日(月) 午前10時～11時15分 【講師】バルシュオリエンタルダンス スクール所属 ベリーダンスインストラクター yukari 氏	①成人女性 ②成人女性	①19人 ②10人 定員 ①20人 ②10人
子どもふれあい広場	子ども同士で楽しく学びながら、異なる年齢の子ども同士のふれあいや交流を行う。また、親子のコミュニケーションを深める機会を提供する。	①「アンモナイトのレプリカづくりを通じて地球の歴史を探ろう」 【日時】8月2日(土) 午後2時～4時 【講師】元東洋大学教授 寺木 秀一 氏	小学校3年生以上	①29人 定員 ①30人
育児パパ・ママ応援講座	乳幼児期の子育ての知識やコツ、子育て世代の交流の場を提供し、乳幼児の健やかな育ちとパパ・ママたちの育児を支援する。	①「親子で挑戦 ベビーバランスボール」 【日時】10月26日(日) 午前10時～11時30分 【講師】ベビーバランスボール インストラクター 小澤 美智子 氏	4か月から1歳未満の赤ちゃんとその保護者	① 11組 29人 定員 ①10組 30人
人権教育講座	人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。	地区公民館の人権教育講座は5館合同で、南朝霞公民館で実施 「子供たちのSNSの安全な利用について学ぶ～親世代もSNS知識をアップデートしよう!～」 【日時】1月20日(火) 午後1時30分～3時 【講師】文教大学 情報学部 教授 池辺 正典 氏	市民	36人 定員 50人
公民館まつり	公民館利用団体が日ごろの学習成果を発表し、相互の親睦を深めるとともに、地域の方々との交流を図る。	第44回東朝霞公民館まつり 【日時】 11月 8日(土) 午前10時～午後3時 11月 9日(日) 午前10時～午後3時	公民館利用団体 市民	延べ21団体 延べ 1,500人

西朝霞公民館

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
成人教養講座	成人を対象に、自己の実現と生きがいある生活を求めることを目的とし、日常生活の充実や地域社会への参加などについて学習する。	①「医食同源「葛」講座」 【日時】6月22日(日) 午前10時～11時30分 【講師】葛ソムリエ・漢方薬膳師 木村 淳子 氏 ②「レザーで素敵なカードケースを作ろう」 【日時】11月11日(火) 午後1時～4時30分 【講師】レザークラフト薔薇の会の皆さん(西朝霞公民館サークル) 代表 山里 フサ子 氏 ③「アロマとミツロウで簡単！ハンドクリーム作り」 【日時】11月29日(土) 午前10時～11時30分 【講師】アロマハンドセラピスト 高橋 要子 氏 ④「簡単もちりソフトベーグルを作ろう」 【日時】2月21日(土) 午後1時30分～4時30分 【講師】ブレッドクラブの皆さん(西朝霞公民館サークル) 代表 三尾 暁美 氏	①成人 ②成人 ③成人 ④成人	①10人 ②10人 ③10人 ④8人 延べ38人 定員 ①10人 ②8人 ③10人 ④8人
さわやか健康教室	健康に対する意識が高まる中、健康づくりに関する手軽で身近なテーマを学習する。	①「フラダンスを楽しく体験しよう」 【日時】6月22日(日) 午後2時30分～4時 【講師】西朝霞公民館サークル 講師 斎藤 葉津子 氏 ②「やってみようビックルボール」 【日時】10月25日(土) 午後2時～3時 【講師】ビックルボール朝霞の皆さん(西朝霞公民館サークル) 代表 園田 哲也 氏 ③「おうちでできる筋トレ&ストレッチのヒント」 【日時】12月9日(火) 午後1時30分～3時 【講師】わくわくドーム講師 柳沢 晴代 氏 ④「腰や膝への負担を減らそう～股関節ストレッチ」 【日時】2月26日(木) 午前10時～11時30分 【講師】ロイテ朝霞整骨院鍼灸院柔道整復師 松尾 凌 氏	①どなたでも ②どなたでも ③成人 ④成人	①13人 ②20人 ③15人 ④12人 延べ60人 定員 ①15人 ②8人 ③12人 ④15人
伝統文化講座	日本の伝統文化を学び、体験することを通じて、その良さを再認識するとともに、自己の実現と生きがいある生活を求めることを目的とし、学習する。	「書き初め」 【日時】12月26日(金) 午前10時～正午 【講師】筆と遊ぶ会(西朝霞公民館サークル) 講師 鈴木 榮子 氏	小学3年生～6年生	15人 定員 15人

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
レッツ・チャレンジ	身近な材料を利用した工作や簡単な料理を体験し、自主性や協調性を養い、地域社会の一員として自覚できるよう学習する。	①「親子で作る夏のおしゃれピザランチ」 【日時】7月23日(水) 午前10時～午後1時 【講師】家庭科教員有資格者 高橋 美江 氏 ②「夏を自由に彩る自分だけのかき水を描こう～パステルアート～」 【日時】7月25日(金) 午前10時～11時30分 【講師】ポコアポコパステルアートセラピスト 柴田 美幸 氏 ③「夏休み子どもチャレンジ(卓球)」 【日時】7月30日(水)、8月6日(水) 8月18日(月) 午後1時30分～3時 ④「夏休み子ども広場(バドミントン等)」 【日時】8月1日(金)、8月8日(金) 8月13日(水)、8月15日(金) 8月20日(水)、8月22日(金) 8月27日(水)、8月29日(金) 午後1時30分～4時 【講師】西朝霞公民館職員 ⑤「夏休み子ども広場(勉強)」 【日時】8月1日(金)～28日(木) ※休館日以外で23日間 午前9時～午後4時30分	①小学生と保護者 ②小学3年生～6年生 ③小学生 ④小学生・小学生と保護者・保護者 同伴の未就学児 ⑤中学生・高校生	①9組20人 ②7人 ③24人 ④保護者11人 小学生26人 未就学児10人 合計47人 ⑤中学生14人 高校生15人 合計29人 延べ127人 定員 ①10組20人 ②8人 ③各回8人 ④なし ⑤なし
育児講座	子育てについての知識を習得し、子育てに関わる者相互の交流を図り、地域でのよりよい子育てについて考え、実施する機会を提供する。	①「絵本の時間 ぽぽたいむ」 【日時】 4月9日(水)、5月14日(水) 6月11日(水)、9月10日(水) 10月8日(水)、11月12日(水) 12月10日(水)、2月18日(水) 3月11日(水) 午前10時30分～10時50分 【講師】西朝霞公民館職員 ②「親子で子どもの日(いろ水あそび)」 【日時】4月27日(日) 午前10時30分～11時15分 【講師】西朝霞公民館職員 ③「親子で七夕あそび」 【日時】7月5日(土) 午前10時30分～11時15分 【講師】西朝霞公民館職員 ④「親子で節分豆まき」 【日時】1月31日(土) 午前10時30分～11時15分 【講師】西朝霞公民館職員	①乳幼児と保護者 ②未就学児とその家族 ③小学生以下と保護者 ④小学生以下と保護者	①38組76人 ②6組21人 ③9組30人 ④12組36人 延べ65組163人 定員 ①各回8組 ②10組 ③10組 ④20組

西朝霞公民館

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
映画会	良い映画を見ることにより、創造性豊かな幼児・児童の健全育成を図る。 また、大人を対象とした映画会を開催する。	①「夏休み映画会」 【日時】8月23日(土) 午前10時～11時30分 「ドラえもん(のび太と竜の騎士)」 ※映画会終了後ヨーヨー風船釣り実施 ②「春の映画鑑賞会」 【日時】3月21日(土) 午後1時～3時 「12人の怒れる男」	どなたでも	①48人 ②12人 延べ60人 定員 ①なし ②50人
人権教育講座	人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。	地区公民館の人権教育講座は5館合同で、南朝霞公民館で実施 「子どもたちのSNSの安全な利用について学ぶ～親世代もSNS知識をアップデートしよう!～」 【日時】1月20日(火) 午後1時30分～3時 【講師】文教大学情報学部教授 池辺 正典 氏	市民	36人 定員 50人
公民館まつり	公民館利用団体が日ごろの学習成果を発表し、相互の親睦を深めるとともに、地域の方々との交流を図る。	第39回西朝霞公民館まつり 【日時】10月25日(土) 26日(日) ※両日とも 午前10時～午後3時	公民館利用 団体 市民	延べ39団体 延べ 1,088人

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
南っ子クラブ	子どもたちが地域での生活をより豊かなものにしていく機会をつくり、子どもたちの情操や知識を高めるとともに低年齢層の公民館利用の促進を図る。	①「はじめての手話体験」 【日時】10月18日(土) 午前10時～正午 【講師】朝霞市聴覚障害者協会 ②「書き初め練習会」 【日時】12月26日(金) 午前10時～正午 【講師】南朝霞公民館サークル講師 有馬 丈僊 氏	①小学生と保護者 ②小学生	①12人 ② 8人 定員 ① 8人 ② 7人
さわやか健康教室	健康に対する意識が高まる中、健康づくりに関する手軽で身近なテーマを学習する。	①「女性のためのボクササイズ」 【日時】9月26日(金) 午前10時～正午 【講師】スポーツインストラクター 向 ひろ子 氏 ②「やさしいピラティス」 【日時】10月29日(水) 午前10時～正午 【講師】スポーツインストラクター 鈴木 愛子 氏 ③「かんたん足もみ健康法(官足法)」 【日時】3月8日(日) 午後1時30分～午後3時 【講師】関根クニコ 氏	①市民 (女性) ②市民 (女性) ③どなたでも	①20人 ②10人 ③15人 定員 ①20人 ②12人 ③10人
生活教養講座	豊かな生活を送る ため、日常に役立つ さまざまな知識を学び教養を身につける。	①はじめての介護 【日時】1月23日(金) 午前10時～正午 【講師】包括支援センターモーニングパークの皆さん ②スマホ首改善体操 【日時】2月8日(日) 午後1時30分～午後3時 【講師】柔道整復師 原 貴士 氏 ③生活習慣病にならないために 【日時】2月24日(火) 午後1時30分～午後3時 【講師】あさか相生病院 稲生実枝氏	①どなたでも ②中学生以上 どなたでも ③どなたでも	①16人 ② 9人 ③22人 定員 ①20人 ②10人 ③20人
映画会	おとなの映画会を開催し、高齢者の方を中心に昔懐かしい映画を楽しんでいただく。	①おとなの映画会 【日時】10月18日(土) 午後2時～4時 【上映】「男はつらいよ～寅次郎子守唄～」 ②おとなの映画会 【日時】1月8日(木) 午後1時30分～3時30分 【上映】「男はつらいよ～幸福の青い鳥～」	①どなたでも ②どなたでも	① 21人 ② 25人 定員 ①30人 ② 30人

南朝霞公民館

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
人権教育講座	人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。	地区公民館の人権教育講座は5館合同で、南朝霞公民館で実施 「子どもたちのSNSの安全な利用について学ぶ～親世代もSNS知識をアップデートしよう!～」 【日時】1月20日(火) 午後1時30分～3時 【講師】文教大学情報学部教授 池辺 正典 氏	市民	参加者 36人 定員 50人
公民館まつり	公民館利用サークルが日ごろの学習成果を発表し、利用者相互の親睦を深めるとともに、地域交流を図る場とする。	第38回南朝霞公民館まつり 【日程】10月29日(土) 午前10時～午後3時 展示部門7団体 (うち体験2団体) 10月30日(日) 午前10時～午後3時 発表部門10団体 (うち体験1団体) 展示部門2団体 (うち体験4団体)	公民館 利用団体 市民	延べ15団体 延べ900人
サークル体験	サークル活動の体験機会を設け、生涯学習活動に参加するきっかけにするとともに、サークル活動の活性化を図る。	【日程】3月9日(月)～14日(土) 午前・午後・夜間 (各参加団体の活動時間)	公民館 利用団体 市民	延べ23団体 参加人数 284人

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
教養講座	講義や実習を通じて学ぶことの大切さや楽しさを確認するとともに、参加者の交流を支援する。	①「筆で書く美文字講座」 【日時】2回講座 (1)7月12日(土) (2)7月19日(土) 午後1時30分～3時 【講師】元日本書道美術院審査員 千名 煌風 氏 ②「秋の味覚を楽しもう」 【日時】11月14日(金) 午前10時～午後1時 【講師】食育クラブぐりーんぴーす 代表 木村 倫代 氏 ③「手作りにチャレンジ！お正月飾り」 【日時】12月17日(水) 午後1時30分～3時30分 【講師】フラワーアレンジメント講師 唐沢 由起子氏	①成人 ②どなたでも ③どなたでも	①(1)8人 (2)7人 ② 12人 ③ 12人 延べ39人 定員 ①各回10人 ② 12人 ③ 12人
子育て講座	子どもの成長にとって大切な幼児期の育児について学び、子育て中の仲間づくりを支援する。	①「ベビーヨガ」 【日時】6月25日(水) 午前10時～11時30分 【講師】ベビー・キッズヨガティーチャー 小澤 美智子 氏 ②「こどものひろば(親子プレイパーク)」 【日時】7月25日(金) 午前10時30分～11時30分 【講師】北朝霞公民館職員 ③「赤ちゃんの手形アート」 【日時】12月6日(土) (1)午前10時30分～11時 (2)午前11時～11時30分 【講師】ペタペタアートプロアドバイザー 三枝 まゆみ 氏	①4カ月～1歳未満の赤ちゃんとその保護者 ②乳幼児とその保護者 ③0歳～1歳6カ月の乳幼児とその保護者	①12組 24人 ②25組 50人 ③(1)5組 14人 (2)5組1 5人 延べ103人 定員 ①15組30人 ②13組30人 ③(1)5組 15人 (2)5組1 5人
わんぱくキッズランド	遊びやスポーツを楽しみながら子どもたちの創造性、自主性等を養う。	①「組み紙で遊ぼう」 【日時】7月31日(木) 午前10時～11時30分 【講師】北朝霞公民館職員 ②「はじめてのチョークアート」 【日時】令和8年2月28日(土) 午前10時～11時 【講師】モニークチョークアート協会 ホビーティーチャー 岡本 智子 氏	①小学生 ②小学生	① 11人 ② 8人 延べ19人 定員 ① 12人 ② 10人

北朝霞公民館

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加数等
さわやか健康教室	健康に対する意識が高まる中、健康づくりに関する手軽で身近なテーマを学習する。	①「バランスボールで体幹トレーニング」 【日時】6月13日(金) 午前10時～11時30分 【講師】JBI日本バランスボール協会 インストラクター 柳澤 さより 氏 ②「軽快はつらつ体操」 【日時】9月26日(金) 午前10時～11時30分 【講師】パドルジャークス体操 インストラクター 中村 香代 氏 ③「冬こそフレイル予防」 【日時】12月4日(木) 午前10時～11時30分 【講師】TMGあさか医療センター リハビリテーション部 作業療法士 北村 啓太 氏	①どなたでも ②どなたでも ③軽い運動が可能な65歳以上の方	① 12人 ② 10人 ③ 25人 延べ47人 定員 ① 12人 ② 10人 ③ 30人
わくわく広場	こどもの交流、おとなの交流、親子の交流、世代間交流の中でふれあう時間を共有し、情報や知識を深めコミュニケーションを図る場を提供する。	①映画会 上映作品 「ノタンといっしょスペシャル5」 「からすのパンやさん」 「まんが日本むかしばなし（わらしべ長者／田植地藏）」 【日時】5月31日(土) 午前10時～11時15分 ②「ハロウィンおはなし会」 大型絵本「おばけだじょ」 紙芝居「ぬすまれたパンプキンパイ」 「おばけかな ほんとなかな」 簡単工作 ハロウィン衣装づくり 【日時】9月28日(日) 午前10時～10時30分 ③親子プレイパーク「スタンプで遊ぼう」 【日時】1月30日(金) 午前10時～11時	①どなたでも ②どなたでも ③どなたでも	① 24人 ② 41人 ③ 19人 延べ84人 定員 ① - ② - ③ -
人権教育講座	人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。	子どもたちのSNSの安全な利用について学ぶ～親世代もSNS知識のアップデートをしよう～ 【日時】1月20日(火) 午後1時30分～3時	市民	36人 定員 50人
公民館まつり	公民館利用団体が日ごろの学習成果を発表し、相互の親睦を深めるとともに、地域の方々との交流を図る。	第44回北朝霞公民館まつり 【日時】10月25日(土) 午前9時30分～午後4時30分 10月26日(日) 午前10時～午後2時	公民館利用団体 市民	延べ13団体 延べ 900人

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加者数等
生活教養講座	豊かで潤いのある生活を送るため、さまざまな体験により、知識を深め、日々の暮らしに役立てることを目的とする。	①「はじめてのスマホ教室」 【日時】5月27日(火) 午前10時～正午 【講師】スマホアドバイザー ②「化粧のチカラ」でフレイル予防 【日時】6月25日(水) 午後1時30分～3時 【講師】資生堂ジャパン株式会社 ③「はじめての女性健康麻雀」 【日時】9月25日(木) 10月2日(木) 10月9日(木) 10月16日(木) 午前10時～正午 【講師】日本健康麻将協会認定レスンプロ 畑農 靖子 氏 ④「ダイコンで花をつくろう」 【日時】10月29日(水) 10時～11時30分 【講師】スパソン スントン 氏 ⑤「秋の薬膳」 【日時】10月30日(木) 午前10時30分～午後1時 【講師】中医薬膳指導員 平手 綾乃 氏	①成人 ②おおむね65歳以上の方 ③成人女性 ④どなたでも ⑤どなたでも ⑥成人 ⑦どなたでも	参加者 ①14人 ②24人 ③8人 ④6人 ⑤16人 ⑥8人 ⑦15人 ⑧24人 定員 ①15人 ②12人 ③8人 ④6人 ⑤16人 ⑥12人 ⑦16人 ⑧15人

内間木公民館

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加者数等
		⑥「陶芸体験」 【日時】12月22日(月) 1月26日(月) 午前10時～正午 【講師】丸沼陶芸倶楽部 榎本 洋二 氏 榎本 美鈴 氏 松本 充央 氏 ⑦「春の祝い膳を楽しみましょう！」 【日時】令和8年3月25日(水) 午前10時～午後1時 【講師】公民館サークル講師 片山 乃里子 氏 ⑧「心を整える写経入門」 【日時】令和8年3月27日(金) 午前10時30分～正午 【講師】宝幢寺副住職 金剛 洋輝 氏		
こどもランド	こどもたちが様々なものづくりや体験を通して、自ら挑戦し学ぶことの楽しさや創造性を育むことを目的とする。	①「ダンボールでワゴン車を作ろう」 【日時】7月30日(水) 午前10時～11時30分 【講師】本田技研工業(株) ドリームハンズ ②「はじめての茶道体験」 【日時】11月15日(土) a午前10時20分～11時 b午前11時30分～12時10分 【講師】公民館サークル CHACHACHA 裏千家 北岡 宗秀 氏 ③「ピザをつくろう」 【日時】12月7日(日) 午前10時～正午 【講師】公民館職員 ④「書き初め」 【日時】12月25日(木) 午前10時～正午 【講師】社会教育指導員 勝良 ひとみ 氏	①小学生 ②小学生とその保護者 ③幼児～小学生とその家族 ④小学3年生～6年生	参加者 ①23人 ②a3組6人 b2組5人 ③6家族 ④10人 定員 ①15人 ②a3組6人 b3組6人 ③6家族 ④10人
映画会	親子が共に楽しみ、季節・行事にちなんだ映画や、成人を対象とし名作と呼ばれる作品も上映し、鑑賞者のコミュニケーションづくりを図る。	「黒い雨」 【日時】8月7日(木) 午前10時～午後12時15分	どなたでも	参加者 20人 定員 30人

事業・講座名	趣旨・内容	日程・概要	対象	参加者数等
さわやか健康教室	健康に対する意識が高まる中、健康づくりに関する手軽で身近なテーマを学習する。	①「優雅なハワイアンフラ入門」 【日時】8月31日(日) 午前10時～11時15分 【講師】高柳 奏 氏 ②「更年期に負けないカラダ作り」 【日時】12月13日(土) 午前10時30分～正午 【講師】体めぐりストレッチインストラクター 中島 さちこ 氏	①どなたでも ②ミドルエイジ女性 ③どなたでも	参加者 ①14人 ②10人 ③14人 定員 ①15人 ②12人
人権教育講座	人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。	「子どもたちのSNSの安全な利用について学ぶ」 ～親世代もSNS知識のアップデートをしよう！～ 【日時】1月20日(火) 午後1時30分～3時 【講師】文教大学情報学部教授 池辺正典 氏	市民	参加者 36人 定員 50人
公民館まつり	公民館利用団体が日ごろの学習成果を発表し、相互の親睦を深めるとともに、地域の方々との交流を図る。	第43回内間木公民館まつり 【日時】11月15日(土) 午前9時30分 ～午後3時30分 11月16日(日) 午前10時～午後2時	公民館利用 団体 市民	18団体 延べ 1,200人

図 書 館 本 館

事業・講座名	趣 旨 ・ 内 容	日程・概要	対 象	参加数等
一般向け講座	朝霞市が主な舞台となっている小説『平場の月』の映画化を機に、作者の朝倉かすみ氏と司書職員による対談形式の講演会を実施。作品中で「がん」が大きなポイントとなっていることから、健康づくり課と図書館と協力し、健診や病気の正しい知識、信頼できる情報源等への啓発・周知を図る「健康づくり講演会」として開催した。	健康づくり課×図書館 特別企画 「健康づくり講演会 作家 朝倉かすみ 講演会」 【日時】11月15日(土) 午後5時30分～6時30分 【講師】朝倉かすみ 氏	一般成人	151人
青少年対象講座	青少年向けの講座を通して図書館利用のきっかけと、本に親しむ機会を提供する。令和7年度は、ティーンズ世代の関心が高い、動画制作についての講座とした。	「好きを仕事に！動画業界のシゴトをのぞいてみよう」 【日時】12月7日(日) 午後2時～4時 【講師】高岡 武生 氏(動画クリエイター・総合学園ヒューマンアカデミー)	青少年	8人
児童文化講座	子どもを取り巻く大人を対象に、子どもの成長に読書が果たす役割や、本と出合うことの大切さなどを伝え、子どもの読書活動の推進を図る。R7年度は、紫外線や宇宙をテーマに、子どもの興味を広げ方や読書のきっかけづくりについて学ぶ講座とした。併せて、紫外線に関する実験や様々な事例を紹介いただいた。	「紫外線から宇宙まで ～身近な疑問から始める子どもの読書習慣づくり～」 【日時】11月8日(土) 午前10時～正午 【講師】松成 紀公子 氏 (株式会社ピーカブー 代表取締役)	一般成人	12人
プレママ・パパ 絵本講座 ～おなかの赤ちゃん絵本を楽しんでみましょう～	赤ちゃんがお腹にいる時から話しかけ、読み聞かせを行うことで、親子のきずなを深めていくこと、また、読み聞かせの楽しさや大切さを実演を交えながら伝えていく。	【日時】 ①7月26日(土) 午前10時30分～11時30分 ②9月27日(土) 午前10時30分～11時30分 ※北朝霞分館 ③12月6日(土) 午前10時30分～11時30分 ④令和8年3月8日(日) 午前10時30分～11時30分	妊婦(第1子)とその家族	① 6人 (3組) ② 1人 ③ 2人 (1組) ④ 4人 (2組) 延べ 13人

事業・講座名	趣 旨 ・ 内 容	日程・概要	対 象	参加数等
ブック・スタート	乳幼児健診の際に、乳幼児とその保護者を対象に、絵本が楽しいこと、乳幼児の発達に有用であることを伝え、絵本の読み聞かせを体験とともにファースト・ブックとなる絵本を配布した。絵本を通じて親子の触れ合いを大切にしよう。	毎月2回(水曜日)実施	4ヶ月乳児と保護者	24回実施 1,109組
赤ちゃん和妈妈・パパのおはなしタイム	ブックスタート事業のフォローアップ事業。赤ちゃんと保護者が、読み聞かせやわらべうたなどを体験し、乳幼児期から絵本とふれあう大切さや楽しさを知ってもらう。また、赤ちゃん連れでも気軽に図書館を利用できることを周知し、図書館の利用を促進する。	毎月1回(午前・午後)実施	乳児と保護者	22回実施 120組 延べ 267人
うさみみタイム	(読み聞かせなど) 幼児や児童が興味を持つ絵本・紙芝居の読み聞かせなどを通して、本の楽しさや図書館を身近なものに感じてもらう。	毎週木曜日 午後3時～	幼児 児童	47回実施 延べ 442人
子ども読書の日 おたのしみおはなし会	子どもの読書活動推進のための「子ども読書の日」「こどもの読書週間」の周知と読書のきっかけ作り、図書館の利用促進を目的として、「子ども読書の日」(4月23日)近くに、事業を実施。	【日時】4月19日(土) ①午前10時30分～11時 ②午後2時～2時30分	①幼児(未就学児) ②小学生	① 30人 (子ども16人、大人14人) ② 8人 (子ども5人、大人3人) 計 38人
夏休み おはなし会	子ども向けおはなし会を開催することで、読書のきっかけづくりと図書館の利用促進を図る。	【日時】7月24日(木) ①午前10時30分～11時 ②午後4時～4時30分	①幼児(未就学児) ②小学生	① 31人 (子ども17人、大人14人) ② 31人 (子ども19人、大人12人)
クリスマス おはなし会	クリスマスに関連する本を紹介することで、本への興味を広げるとともに、図書館の利用と読書への関心を深める。	【日時】12月20日(土) 午前11時～11時30分	小学生以下(親子参加可能)	70人 (子ども37人、大人33人)

図 書 館 本 館

事業・講座名	趣 旨 ・ 内 容	日程・概要	対 象	参加数等
映画会	名作や話題になった映画等を上映することで、図書館来館への契機づくりとして、図書館のPRと利用促進を図る。			
〈一般〉 シネマ・ライブラリー	映画の名作を楽しんでいた	※日曜日の午後2時から上映 ①4月12日(土) 追悼 デヴィッド・リンチ監督 10時～「ブルーベルベット」 13時～「ツイン・ピークス 序章」 ②6月8日(日) 「そして父になる」 ③8月10日(日) 「朽ちないサクラ」 ④10月12日(日) 「モリのいる場所」 ⑤12月14日(日) 「リアル 完全なる首長竜の日」 ⑥ 3月8日(日) 「スタンド・バイミー」 13時～・15時～	市民	① 15人 13人 ② 24人 ③ 11人 ④ 52人 ⑤ 21人 ⑥ 24人 15人 延べ 175人
〈子ども〉 子ども読書の日おたのしみ映画会	こどもの読書週間(4/23～5/12)の間に児童文学を原作とした映画を上映する。	「ピーターパンの冒険」 【日時】4月26日(土) ①午前10時～ ②午後2時～	幼児 小学生	①16人 (子ども9人・大人7人) ②28人 (子ども18人・大人10人) 計44人
〈子ども〉 夏休み こども映画会	夏休みに児童文学を原作とした映画を上映する。	「アルプスの少女ハイジ」 【日時】8月21日(木) ①午前10時～ ②午後2時～	小学生以上	①25人 (子ども20人、大人5人) ②7人 (子ども5人、大人2人) 計32人
図書館まつり	参加市民団体に構成する実行委員会と協働で企画、構成、開催する。協働で実施することで図書館への理解を深め、さらに、参加者相互に、また、来場者とも親睦を図り、図書館の利用促進をする。	【日時】6月28日(土) 午前10時～午後5時 29日(日) 午前10時～午後4時	市民	来場者数 延べ 2,139人
らいぶらりコンサート	実行委員会が中心となって、自らの企画でコンサートを開く。 参加者相互の親睦を図り、図書館の利用を促進する。	【日時】5月25日(日) 午後0時30分～午後4時	市民	来場者数 延べ 181人
本の福袋	タイトルも内容も分からない状況で本を借りることで、本への興味や読書の幅を広げ、図書館利用の促進を図る。	【日程】 令和8年1月5日(月)～ 1月15日(木)	市民	貸出冊数 242袋 計242冊

事業・講座名	趣 旨 ・ 内 容	日程・概要	対 象	参加数等
書庫見学 ツアー	図書館業務の解説と、普段は入ることのできない書庫を見学することで、図書館を身近に感じ、読書への関心を高め、利用促進を図る。	【日時】8月22日(金) ①午前10時～11時(小学生) 令和8年2月10日(火) ②午後1時30分～3時(成人)	①小学4年生～6年生 ②成人	① 15人 ② 20人 延べ 35人
図書館体験プログラム	ガーランド型のPOPの作成を柱に、図書館の業務の解説と普段は入ることのできない書庫の見学を行うことで、図書館を身近に感じ、読書への関心を高め、利用促進を図る。(令和7年度からの新規事業として書庫見学ツアーから変更)	【日時】8月22日(金) 午後2時～3時30分 (中・高校生)	中学生・高校生	4人
図書館利用者懇談会	利用者からの意見・要望等を聞き、今後の図書館運営の参考とする。	【日時】 令和7年7月12日(土) 午前11時30分～午後0時40分	図書館利用者	4人
アサカストリートテラス2025参加事業 「森の図書館」	子どもの読書活動推進と図書館利用の促進を図るため、「アサカストリートテラス2025」に出展。職員による「おはなし会」のほか、図書館の紹介や簡単な読書案内などを実施した。また、除籍となった絵本の展示、配布を行った。	【日時】 令和7年11月1日(土) 午前11時30分～午後4時 おはなし会 ①12:00～12:30 ②13:45～14:15 ③15:00～15:30 【会場】 シンボルロード	子ども その他一般	おはなし会参加者数 ①延べ60人(子ども30人、大人30人) ②延べ30人(子ども15人、大人15人) ③延べ25人(子ども15人、大人10人) 計115人(子ども60人、大人55人)
「しいのき×けやきの森」コーナー	朝霞高校及び朝霞西高校の生徒が、市立図書館の蔵書から選書、POPを作成し当該図書とPOPを展示する。約1か月半ごとに、朝霞高校と朝霞西高校が交互に選書、作成したPOPを展示、貸出しをする。(令和7年度からの新規事業)	常設展示	中学生・高校生	-

図書館 北朝霞分館

事業・講座名	趣 旨 ・ 内 容	日程・概要	対 象	参加数等
えんじょいきっず	図書館事務を体験することにより、本に興味を持ってもらい、図書館の利用を促進する。	【日時】7月30日(水) 7月31日(木) 8月6日(水) 8月7日(木) 午前9時30分～11時30分	小学生3年生～6年生	27人
名画 THE分館	名作と言われる作品を大画面で上映し、映画の醍醐味と楽しさを知ってもらい、作品にまつわる資料への関心を高め、図書館の利用を促進する。	【日時】8月17日(日) 午前9時30分～11時30分 「101」	市民	30人
キッズ シネマ	児童映画を通じて、作品のストーリーや登場人物に興味を持つことによって本を読むきっかけにしてもらうとともに、図書館の利用を促進する。	【日時】10月13日(月・祝) 午前10時～11時30分 ・「14ひきのおつきみ」 ・「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」 全2話(21話・22話) ・「ざんねんないきもの事典」 全2話(9話・10話) ・「おしりたんてい コズミックフロント ～コズっとなぞとき! きえたきょうりゅうかせき～」	幼児 児童 保護者	122人 (子ども66人／大人56人)
絵本の よみきかせ	幼児や児童が興味を持つ絵本・紙芝居の読み聞かせなどを通して、本の楽しさや図書館を身近なものに感じてもらう。	4月～3月 毎月第3火曜日 (4月～10月午後3時30分～) (11月～3月午後3時～)	幼児 児童 保護者	12回実施 延べ186人 (子ども92人／大人94人)

令和 8 年度生涯学習・社会教育関係事業予算

資料 2－1 令和 8 年度 教育委員会予算概要（歳出）

資料 2－2 社会教育関係団体 令和 8 年度補助金交付予定一覧

令和8年度 教育委員会予算概要(歳出)

(単位:千円)

項	目	令和 8 年度	令和 7 年度	前年度対比	
				増 減 額	増減率%
0 1	教育総務費	778,636	738,568	40,068	105.4%
	0 1 教育委員会費	2,509	2,513	△ 4	99.8%
	0 2 事務局費	427,779	399,562	28,217	107.1%
	0 3 教育指導費	263,714	253,720	9,994	103.9%
	0 4 教育管理費	84,634	82,773	1,861	102.2%
0 2	小学校費	1,581,628	767,165	814,463	206.2%
	0 1 学校管理費	1,465,730	633,901	831,829	231.2%
	0 2 教育振興費	37,843	39,634	△ 1,791	95.5%
	0 3 学校建設費	0	0	0	#DIV/0!
	0 4 特別支援学級費	41,468	37,133	4,335	111.7%
	0 5 教育扶助費	36,587	56,497	△ 19,910	64.8%
0 3	中学校費	584,844	495,435	89,409	118.0%
	0 1 学校管理費	475,939	373,384	102,555	127.5%
	0 2 教育振興費	42,072	53,985	△ 11,913	77.9%
	0 3 特別支援学級費	16,159	15,307	852	105.6%
	0 4 教育扶助費	50,674	52,759	△ 2,085	96.0%
0 4	学校保健費	1,530,498	1,321,535	208,963	115.8%
	0 1 学校保健費	151,070	148,052	3,018	102.0%
	0 2 学校給食費	1,379,428	1,173,483	205,945	117.5%
0 5	社会教育費	1,270,508	1,128,081	142,427	112.6%
	0 1 生涯学習費	155,742	169,429	△ 13,687	91.9%
	0 2 人権教育振興費	1,253	1,354	△ 101	92.5%
	0 3 文化財保護費	151,774	147,467	4,307	102.9%
	0 4 博物館費	52,201	44,113	8,088	118.3%
	0 5 公民館費	592,570	462,280	130,290	128.2%
	0 6 図書館費	316,968	303,438	13,530	104.5%
0 6	社会体育費	277,376	258,797	18,579	107.2%
	0 1 スポーツ振興費	42,080	41,168	912	102.2%
	0 2 総合体育館費	63,366	56,232	7,134	112.7%
	0 3 武道館費	13,923	36,223	△ 22,300	38.4%
	0 4 市民プール費	41,375	39,148	2,227	105.7%
	0 5 公園体育施設費	116,632	86,026	30,606	135.6%
教育費合計		6,023,490	4,709,581	1,313,909	127.9%

参考 (単位:千円)

歳出	令和 8 年度		令和 7 年度	
A 市予算	56,297,236	占める割合	52,100,011	占める割合
B 教育費	6,023,490	10.7%	4,709,581	9.0%【B/A】
C 社会教育費 及び社会体育費	1,547,884	2.7%	1,386,878	2.7%【C/A】
		25.7%		29.4%【C/B】

社会教育関係団体 令和8年度補助金交付予定一覧

(単位：千円)

所管課	交 付 団 体 名	令和8年度 予算額	令和7年度 予算額	比較(△減)
生涯学習・スポーツ課	市民企画講座	240	300	△ 60
	子ども大学あさか	700	700	0
	文化協会	776	776	0
	文化協会(文化祭)	638	488	150
	文化協会(芸能まつり)	298	298	0
	文化協会(芸術文化展)	30	180	△ 150
	人権教育推進協議会	135	135	0
	保護者代表連絡会	170	180	△ 10
	家庭教育学級	396	432	△ 36
	スポーツ協会	3,470	3,470	0
	市民総合スポーツ大会実行委員会	4,796	5,102	△ 306
	青少年スポーツ振興補助金	300	300	0
文化財課	溝沼獅子舞保存会	60	60	0
	根岸野謡保存会	25	25	0
	一夜塚古跡保存会	35	35	0

※市民企画講座は、前年度実績から60千円の予算減額となっています。

※文化協会(文化祭)は、中央公民館・コミュニティセンター工事の影響により令和7年度は展示部門未開催でしたが、令和8年度は開催予定のため、150千円の予算増額となっています。

※文化協会(芸術文化展)は、令和8年度は中央公民館・コミュニティセンター工事の影響により展示部門未開催のため、150千円の予算減額となっています。

※保護者代表連絡会は、前年度実績から10千円の予算減額となっています。

※家庭教育学級補助金は、前年度実績から36千円の予算減額となっています。

※市民総合スポーツ大会実行委員会は、令和6年度体育祭実施により、繰越金が増額したため、306千円を予算減額としました。

第3次朝霞市生涯学習計画 実施計画

〔令和7（2025）年度 事業評価〕（案）

一人一人が心豊かに
ともに学び 生きるまち あさか



目次

● 第3次朝霞市生涯学習計画の基本構想

● 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画【令和7（2025）年度事業 体系別評価一覧】・・・1

● 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画

- 1 新たな学びの“きっかけ”を提供します！・・・・・・・・・4
（1）生涯学習情報の充実
（2）相談体制の充実
（3）生涯学習のきっかけづくり
- 2 使いやすい学びの“場”を提供します！・・・・・・・・・15
（1）生涯学習推進拠点の充実
（2）学びの場を広げる
- 3 多様な学びの“メニュー”を提供します！・・・・・・・・・26
（1）ともに生きる社会づくりに向けた学び
（2）健やかで心豊かな人生のための学び
（3）ライフステージに応じた学び
- 4 市民の学びの“主体性”を支えます！・・・・・・・・・50
（1）学習活動の評価
（2）人材・団体の育成
- 5 市民とともに学びを“協働”で推進します！・・・・・・・・・56
（1）生涯学習推進体制の充実

● 第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 【担当課別事業一覧】・・・・・・・・・62

第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 【施策の体系別事業一覧】

大柱	小柱	主な取組	事業名	担当課	ページ	掲載
1 新たな学びの“きっかけ”を提供します！						
(1) 生涯学習情報の充実	1) 生涯学習情報の発信	1	広報事業	シティ・プロモーション課	4	
		2	市民活動支援ステーション運営事業 再	地域づくり支援課	4	52
		3	環境教育・環境学習の推進事業 再	環境推進課	4	33
		4	生涯学習情報提供	生涯学習・スポーツ課	5	
		5	スポーツ情報提供	生涯学習・スポーツ課	5	
		6	博物館情報提供	文化財課	6	
		7	郷土の歴史や伝統・文化の情報提供	文化財課	6	
		8	公民館情報提供	中央公民館	7	
		9	図書館情報提供	図書館	7	
		10	選挙の啓発	選挙管理委員会	8	
(2) 相談体制の充実	1) 学習相談の充実	1	市民活動支援ステーション運営事業 再	地域づくり支援課	9	52
		2	生涯学習相談事業	生涯学習・スポーツ課	9	
		3	スポーツ相談事業	生涯学習・スポーツ課	10	
		4	博物館学習支援事業	文化財課	10	
		5	公民館相談事業	中央公民館	11	
		6	図書館レファレンスサービス事業	図書館	11	
(3) 生涯学習のきっかけづくり	1) 生涯学習をはじめたい人への支援	1	市民活動支援ステーション運営事業 再	地域づくり支援課	12	52
		2	男女平等推進事業 再	人権庶務課	12	27
		3	生涯学習ボランティア事業	生涯学習・スポーツ課	12	
		4	あさか学習おとどけ講座 再	生涯学習・スポーツ課	12	54
		5	市民企画講座 再	生涯学習・スポーツ課	12	53
		6	スポーツ大会・教室推進事業	生涯学習・スポーツ課	13	
		7	スポーツ指導者の紹介事業	生涯学習・スポーツ課	13	
		8	公民館講座開催事業	中央公民館	14	
		9	読書案内・読書相談	図書館	14	
2 使いやすい学びの“場”を提供します！						
(1) 生涯学習推進拠点の充実	1) 公民館の充実	1	公民館管理運営事業	中央公民館	15	
		2	図書館の充実	図書館	15	
		3	博物館の充実	文化財課	16	
		4	スポーツ施設の充実	生涯学習・スポーツ課	16	
		5	学校施設の活用	生涯学習・スポーツ課	17	
	6) その他の公共施設の活用	2	放課後子ども教室事業 再	生涯学習・スポーツ課	17	47
		1	市民会館管理運営事業	地域づくり支援課	18	
		2	市民センター管理運営事業	地域づくり支援課	18	
		3	市民活動支援ステーション管理事業	地域づくり支援課	19	
		4	産業文化センター管理運営事業	産業振興課	19	
		5	リサイクルプラザ管理運営事業	資源リサイクル課	20	
		6	コミュニティセンター管理運営事業	コミュニティセンター	20	
		7	総合福祉センター（はあとびあ）管理運営事業	障害福祉課	21	
		8	児童館管理運営事業	こども未来課	21	
		9	子育て支援センター事業 再	こども未来課	22	42
		10	老人福祉センター管理運営事業	高齢者・地域福祉課	22	
		11	健康増進センター管理運営事業	健康づくり課	22	
		12	基地跡地（朝霞の森）暫定利用事業 再	みどり公園課	23	34
		13	公園や広場の管理事業	みどり公園課	23	
(2) 学びの場を広げる	1) 民間施設との連携	1	大学等の連携事業	生涯学習・スポーツ課	24	
		2	民間企業との連携事業	生涯学習・スポーツ課	24	
		3	共催・後援事業	生涯学習・スポーツ課	25	

第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 【施策の体系別事業一覧】

3 多様な学びの“メニュー”を提供します！

(1) ともに生きる社会づくりに向けた学び	1) 共生社会に向けた教育の支援	1 人権啓発事業	人権庶務課	26	
		2 平和事業	人権庶務課	26	
		3 男女平等推進事業	人権庶務課	27	
		4 共生社会の理念の普及	障害福祉課	27	
		5 人権教育事業（学校教育）	教育指導課	28	
		6 人権教育事業（社会教育）	生涯学習・スポーツ課	28	
	2) 国際理解に向けた学習の支援	1 多文化共生推進事業	地域づくり支援課	29	
		2 日本語指導充実事業	教育指導課	29	
		3 国際理解教育事業	教育指導課	30	
	3) 安心・安全な暮らしと環境を守る学習活動の推進	1 地域防災推進事業	危機管理室	31	
		2 防犯対策推進事業	危機管理室	31	
		3 消費者教育・啓発事業	地域づくり支援課	32	
		4 交通安全教育事業	まちづくり推進課	32	
	4) 朝霞の緑を守る環境学習の推進	1 環境教育・環境学習の推進事業	環境推進課	33	
		2 ごみの減量・リサイクル推進啓発事業	資源リサイクル課	33	
		3 景観まちづくり推進事業	まちづくり推進課	34	
		4 基地跡地（朝霞の森）暫定利用事業	みどり公園課	34	
		5 公園や広場の管理事業	みどり公園課	35	23
		6 緑化推進事業	みどり公園課	35	
		7 花と緑のまちづくり事業	道路整備課	36	
		8 黒目川桜並木管理事業 黒目川花まつり	道路整備課	36	
(2) 健やかで心豊かな人生のための学び	1) 生涯スポーツ活動・健康づくりの推進	1 障害者スポーツ・レクリエーション事業	障害福祉課	37	
		2 健康増進センター管理運営事業	健康づくり課	37	22
		3 健康教育事業	健康づくり課	38	
		4 スポーツ振興事業	生涯学習・スポーツ課	38	
		5 スポーツ団体等補助事業	生涯学習・スポーツ課	38	55
	2) 芸術と文化の香りあふれるまちづくりに向けた学習の支援	1 コミュニティ推進事業	地域づくり支援課	39	
		2 多文化共生推進事業	地域づくり支援課	39	29
		3 音楽活動事業	教育指導課	40	
		4 図工・美術活動事業	教育指導課	40	
		5 芸術文化推進事業	生涯学習・スポーツ課	41	
		6 文化財保護普及事業	文化財課	41	
(3) ライフステージに応じた学び	1) 家庭教育の充実	1 子育て支援センター事業	こども未来課	42	
		2 母子健康教育事業	こども家庭課	42	
		3 家庭教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	43	
	2) 青少年の育成	1 児童館管理運営事業	こども未来課	44	21
		2 青少年健全育成事業	こども未来課	44	
		3 ふれあい推進事業	教育指導課	44	
	3) 高齢社会に対応した学習活動の推進	1 生きがいづくり活動支援事業	高齢者・地域福祉課	45	
		2 老人福祉センター管理運営事業	高齢者・地域福祉課	45	22
		3 地域介護予防活動支援事業	健康づくり課	45	
		4 生活支援体制整備事業	地域共生社会課	46	
	4) 多世代にわたる交流・学習機会の提供	1 生きがいづくり活動支援事業	地域共生社会課	46	45
		2 老人福祉センター管理運営事業	地域共生社会課	46	22
	5) 学校教育と社会教育の連携	1 放課後子ども教室事業	生涯学習・スポーツ課	47	
		2 学校体育施設開放事業	生涯学習・スポーツ課	47	17
	6) キャリアアップやスキルアップに関する学習の支援	1 起業家育成支援事業	産業振興課	48	
		2 就労支援事業	産業振興課	48	
		3 農業振興支援事業	産業振興課	49	
		4 ビジネス支援サービス事業	図書館	49	

第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 【施策の体系別事業一覧】

4 市民の学びの“主体性”を支えます！							
(1) 学習活動の評価	1) 学習活動の成果の発表とその機会の充実	1	生涯学習ボランティア事業	再	生涯学習・スポーツ課	50	12
		2	文化祭関連事業		生涯学習・スポーツ課	50	
		3	吹奏楽・器楽フェスティバル		教育指導課	51	
(2) 人材・団体の育成	1) 指導者の育成	1	市民活動支援ステーション運営事業	再	地域づくり支援課	51	52
		2	生涯学習ボランティア事業	再	生涯学習・スポーツ課	51	12
		3	市民企画講座	再	生涯学習・スポーツ課	51	53
		4	家庭教育推進事業	再	生涯学習・スポーツ課	51	43
	2) 市民主体の学習を支援	1	市民活動支援ステーション運営事業		地域づくり支援課	52	
		2	市民企画講座		生涯学習・スポーツ課	53	
		3	生涯学習ボランティア事業	再	生涯学習・スポーツ課	53	12
		4	あさか学習おとどけ講座		生涯学習・スポーツ課	54	
		5	家庭教育推進事業	再	生涯学習・スポーツ課	54	43
		6	スポーツ団体等補助事業		生涯学習・スポーツ課	55	
5 市民とともに学びを“協働”で推進します！							
(1) 生涯学習推進体制の充実	1) 推進体制の充実	1	社会教育委員会議		生涯学習・スポーツ課	56	
		2	スポーツ推進審議会		生涯学習・スポーツ課	57	
		3	文化財保護審議委員会議		文化財課	57	
		4	博物館協議会		文化財課	58	
		5	公民館運営審議会		中央公民館	58	
		6	図書館協議会		図書館	59	
	2) 実施計画の策定	1	第3次朝霞市生涯学習計画実施計画		生涯学習・スポーツ課	59	
		2	スポーツ推進計画		生涯学習・スポーツ課	60	
		3	図書館サービス基本計画		図書館	61	
		4	子ども読書活動推進計画		図書館	61	

※ 1 再…再掲（シートの記載は、もっとも該当する「主な取組」に掲載）
（再掲の事業名欄には、事業名、担当課、施策番号のみを記載）

1 新たな学びの“きっかけ”を提供します！

(1) 生涯学習情報の充実

1) 生涯学習情報の発信

1.事業概要		施策番号	1-1-1-1		
事業名	広報事業	担当課	シティ・プロモーション課		
事業の目的と内容	市が情報発信をする際に使用している媒体に一定の基準を設けて、市民の生涯学習に関する情報を掲載し、市民からの情報発信を支援する。				
令和7年度の事業目標	一定の基準に基づき、市民団体の情報を広報あさか「市民伝言板」への掲載や市掲示板への掲示を認める。また、文化祭など市との共催事業に関しては朝霞駅東口・南口に設置している電光掲示板に情報を掲載する。				
令和7年度の事業内容	広報あさかななどの市政情報誌を発行するとともに、同内容を市ホームページに掲載する。また、SNS、メール配信サービス、掲示板などで随時最新の情報発信を行う。				
2.実施結果(指標)					
指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
広報への市民団体の行事案内の掲載件数	目標計画	70件	60件	60件	60件
	実績	44件	50件	41件	—
3. 分析・展開					
判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度(事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 目標計画の数値には達していないが、市内活動団体からの申し込みのあった行事案内はすべて広報へ掲載した。また、市掲示板への行事案内の掲示について、多くの市内活動団体に利用された。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() より多くの市内活動団体に市民伝言板(行事案内)を利用してもらえるよう広報の市民伝言板ページやホームページ等での周知に努め、市内活動団体の情報発信を支援していく。				

		施策番号	1-1-1-2	1-2-1-1	1-3-1-1	4-2-1-1	4-2-2-1
事業名	市民活動支援ステーション運営事業	担当課	地域づくり支援課				

		施策番号	1-1-1-3	3-1-4-1		
事業名	環境教育・環境学習の推進事業	担当課	環境推進課			

1.事業概要		施策番号	1-1-1-4			
事業名	生涯学習情報提供	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	生涯学習に関する情報を収集、提供し、市民が必要とする情報をいつでも入手できるようにする。また、市民の生涯学習に関する認識を深め、学習活動の推進を図るために啓発を行う。					
令和7年度の事業目標	わかりやすく魅力ある情報の発信に努め、内容の充実を図る。また、SNS等も活用し、より新鮮な情報提供に努め、チラシ、ポスターの作成に当たっては、表記や写真、イラストなどにも注意を払い、より市民の目に留まるよう工夫をする。					
令和7年度の事業内容	生涯学習ガイドブック「コンパス」を発行し、団体・サークル情報、各種講座・催し物情報、生涯学習の各種支援制度等を掲載する。また、市広報の他、ホームページ、フェイスブック、ツイッターといったSNS等多様な媒体を活用しながら広く情報提供していく。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
生涯学習ガイドブック「コンパス」配布数	目標計画	2,000冊	2,000冊	2,000冊	2,000冊
	実績	2,000冊	2,000冊	1600冊	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 生涯学習ガイドブック「コンパス」を年1回発行し、多くの方に生涯学習情報を発信することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、市広報の他、ホームページ、フェイスブック、ツイッターといったSNS等多様な媒体を活用しながら広く 情報提供していく。	

1.事業概要		施策番号	1-1-1-5			
事業名	スポーツ情報提供	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市民がいつでもどこでもスポーツ・レクリエーションに親しめるよう広報やホームページを活用して情報を提供していく。					
令和7年度の事業目標	広報ホームページ、フェイスブックを活用し、スポーツ・レクリエーション情報を提供していくほか、フリーペーパーを活用し広く周知していく。					
令和7年度の事業内容	広報紙等へのスポーツ情報の掲載、施設利用案内の配布、市民総合体育大会のチラシ配布、市ホームページへの掲載や、SNSを通じた情報発信を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
広報・ホームページ等掲載回数	目標計画	24回	28回	30回	30回
	実績	24回	28回	30回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 広報、ホームページ、X等を活用し、より多くの市民に事業を知っていただくよう努めている。市民スポーツ大会やロードレース大会、各種スポーツ教室等について、事業の内容などを含め、わかりやすい内容として周知を行った。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 内容の充実のほか、多様な情報発信手段を活用し、積極的に情報発信を行っていく。	

1.事業概要		施策番号	1-1-1-6			
事業名	博物館情報提供	担当課	文化財課			
事業の目的と内容	事業情報を発信するとともに、市民が活用しやすいよう歴史や文化に関する情報を収集、整理し、様々な媒体を活用し、情報の発信を図る。					
令和7年度の事業目標	・広報あさか「博物館に行こう！」情報掲載を行う。 ・チラシ:2回、パンフレット:3回、リーフレット:1回発行する。					
令和7年度の事業内容	・広報や市ホームページ、フェイスブックなどのSNS等、さまざまな媒体を活用して情報提供を図る。 ・展示に関するチラシ、パンフレットを発行し、詳細な内容の周知を図る。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
市ホームページ・SNSを使った情報提供	目標計画	30回	30回	30回	30回
	実績	33回	55回	36回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 毎月の催物情報や休館情報について、市HP等で情報発信を行った。また、展示内容が伝わりやすいよう写真やイラストなど工夫した。さらに、埼玉県博物館連絡協議会の加盟館にポスター・チラシの掲示を依頼し、興味のある方に向けた発信を行った。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き、紙媒体、HP、SNSなど様々な媒体を活用し、幅広い層に向けた情報発信を行う。また、地域の歴史や文化に関する情報を継続的に収集し、展示テーマに合わせた分かりやすいチラシ、パンフレットを発行し、市民が情報を活用しやすいよう提供する。	

1.事業概要		施策番号	1-1-1-7			
事業名	郷土の歴史や伝統・文化の情報提供	担当課	文化財課			
事業の目的と内容	郷土の歴史や伝統・文化に関する情報を収集、整理し、市民が入手、活用しやすい状態での情報提供を図る。また、郷土の歴史や文化に関する事業を実施し、体験学習などを通じて郷土の理解につながるよう努める。					
令和7年度の事業目標	郷土の歴史や文化財に関する情報を整理し、わかりやすい形での情報提供に努める。また、重要文化財旧高橋家住宅を活用して体験学習等の事業を通じて、郷土の歴史や文化に関する情報提供をするとともに、郷土の理解につながる機会を提供する。					
令和7年度の事業内容	・広報やホームページ、フェイスブック等の媒体を活用し、郷土の文化や歴史に関する事業・催事等の情報提供をする。 ・重要文化財旧高橋家住宅で郷土の文化や歴史、民俗行事に関する事業・展示等を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
重要文化財旧高橋家住宅来園者数	目標計画	11,840人	11,880人	11,920人	11,920人
	実績	11,058人	11,930人	10,655人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 重要文化財旧高橋家住宅を活用した体験学習や三月・五月の節句等年中行事展示などを実施し、参加者・見学者から好評を得られた。フェイスブック等の電子媒体や広報などを活用して、体験学習や年中行事の実施状況を周知するなど、郷土の歴史や文化について様々な形で情報提供することができた。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() ・郷土の歴史や文化に関する事業・イベント等の情報提供を継続する。 ・重要文化財旧高橋家住宅を活用し、郷土の歴史や文化に関する事業・展示等を計画し実施する。	

1.事業概要		施策番号	1-1-1-8			
事業名	公民館情報提供		担当課	中央公民館		
事業の目的と内容	市民が必要とする情報をいつでも入手できるよう、公民館に関する情報を適時適切に提供し、公民館の利用の促進を図る。					
令和7年度の事業目標	冊子の配布、広報、掲示物等により、わかりやすく利用しやすい情報の発信に努める。					
令和7年度の事業内容	「あさか公民館ガイド」の発行・配布、広報、ホームページ、フェイスブック等を活用しながら、情報提供をしていく。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
ホームページ等の更新回数	目標計画	183回	183回	183回	183回
	実績	350回	206回	172回	

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 広報あさか、市ホームページ、チラシ、X(旧Twitter)などにより情報提供を図ることができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 講座の実施予定とともに、実施済みの講座についても、その様子がわかるように、情報発信を充実させていく。	

1.事業概要		施策番号	1-1-1-9			
事業名	図書館情報提供	担当課	図書館			
事業の目的と内容	主催講座等のイベントや図書館の新着情報等に関する情報を利用者に迅速に提供するため、ホームページの充実を図るとともに、必要に応じてSNSも活用する。また、広報誌への掲載や公共施設へのポスター・チラシの設置配布も行う。					
令和7年度の事業目標	ホームページの充実やSNSの活用により、図書の最新情報等に関する案内、講座やイベント情報等を案内するとともに、広報誌やポスター・チラシ配布により講座やイベント等の情報提供を行い、市民の図書館利用を促す。					
令和7年度の事業内容	講座・イベントや図書の最新情報、休館日、図書館の利用方法等の情報提供を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
情報提供回数	目標計画	50回	50回	50回	50回
	実績	185回	154回	230回	—

3. 分析・展開

判定	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 講座やイベント、特別休館などの重要なお知らせについて、適宜、情報提供を行ったほか、新刊等の蔵書や図書館サービスに関する様々な情報を定期的に発信した。また、各種事業やイベント、展示等の開催情報だけでなく、終了後には、開催報告等も行った。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 「広報あさか」やポスター、チラシなどのベーシックな媒体を活用した情報発信をしっかりと行うとともに、ホームページの充実を図り、SNS等も積極的に活用していく。また、イベント等の開催に当たっては、ポスターの掲出や情報発信ツール等への掲載を民間施設等にも協力依頼をして行く。	

1.事業概要		施策番号	1-1-1-10			
事業名	選挙の啓発	担当課	選挙管理委員会事務局			
事業の目的と内容	啓発活動を行うことで、選挙に対する関心を高めるため、中学校、高等学校へ生徒会選挙用物資の貸出しや手引等の提供を行っている。					
令和7年度の事業目標	市内中学校・高校全校に生徒会選挙用物資の貸出しや手引きの提供を行う。					
令和7年度の事業内容	市内中学校、高等学校に生徒会選挙用物資の貸し出しや手引等の提供を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
生徒会選挙用物資(中学校、高等学校)の貸出校数	目標計画	7校	7校	7校	7校
	実績	2校	3校	3校	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 生徒会選挙用として3校へ提供した。又、それ以外にも埼玉県及び学校の行う行事で、1校に選挙機材の提供を行った。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 各学校に対して、訪問や文書により、資材貸し出しについて周知し、実績数の増加に努めていくほか、出前講座の実施等、若年層への啓発を推進していく。	

(2) 相談体制の充実

1) 学習相談の充実

		施策番号	1-1-1-2	1-2-1-1	1-3-1-1	4-2-1-1	4-2-2-1
事業名	市民活動支援ステーション運営事業			担当課	地域づくり支援課		

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	1-2-1-2			
事業名	生涯学習相談事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	生涯学習に関する情報収集に努め、生涯学習関連施設等との連携を図り、生涯学習に関する様々な相談に対応できるように努める。					
令和7年度の事業目標	生涯学習に関する各種問合せや相談に対して、情報提供や助言を行う。					
令和7年度の事業内容	職員の資質の向上を図り、生涯学習や生涯学習活動に関する相談などに対応する。また、資格を有する職員には社会教育主事を発令するとともに、社会教育指導員を配置し専門的な指導・助言を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)		年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
生涯学習部における社会教育主事の発令	目標計画		9人	9人	9人	9人
	実績		11人	8人	6人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 生涯学習に関する各種問合せや相談に対して、適宜、情報提供や助言を行った。また、生涯学習部に配属となった有資格者に対して「社会教育主事」を発令し、専門的な指導・助言を行った。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 職員の資質向上を図り、引き続き、生涯学習に関する多様な相談に対応していく。	

1.事業概要		施策番号	1-2-1-3			
事業名	スポーツ相談事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市民からのスポーツに関する相談に応じ、市民の生涯スポーツへの参加を進める。					
令和7年度の事業目標	市民の生涯スポーツへの参加の促進のため、より多角的な視点での相談に応じていく。					
令和7年度の事業内容	スポーツ団体を探している市民の相談を受け、体育協会へ紹介する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
相談対応回数	目標計画	20件	20件	20件	20件
	実績	12件	12件	12	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 市民からの問合せに応じ、スポーツ協会(旧・体育協会)加盟団体への紹介を行っているが、その後の連盟等への加入状況等の把握ができていない。また、協会加盟非加盟のスポーツについて相談が対し、適切に応じるために、市内外のスポーツ情報を入手していく必要がある。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 様々なスポーツに関する情報を入手し、多くの市民の情報ニーズに応えられるよう努める。	

1.事業概要		施策番号	1-2-1-4			
事業名	博物館学習支援事業	担当課	文化財課			
事業の目的と内容	講座・講演会などを実施し、市民に学習機会を提供し、学習方法などの相談にも応じることで、市民の学習活動を支援していく。					
令和7年度の事業目標	企画展に関連した講座・講演会を実施するほか、歴史講座、古文書講座など多様な講座機会を提供する。					
令和7年度の事業内容	歴史講座3回、古文書講座6回を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
博物館主催講座参加者数	目標計画	460人	460人	460人	460人
	実績	327人	251人	289人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 古文書講座を3回、歴史講座を5回開催し、市民の歴史学習を支援したところ、講座で定員を下回ることがあり目標達成には至らなかったが、参加者である市民の学びへの行動意欲を十分に満たすことができた。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き古文書講座、歴史講座を開催し、身近な題材を用いて、古文書の読み方や、歴史学習のアプローチ法を学ぶ機会を市民に提供する。また、企画展に関連した多様な講座を開催する。併せて、申込方法を工夫(市HPに申込フォームを開設するなど)し、若年層の受講者獲得に努めていきたい。	

1.事業概要		施策番号	1-2-1-5		
事業名	公民館相談事業	担当課	中央公民館		
事業の 目的と内容	公民館サークル等からの相談にきめ細かく対応し、その活動を支援する。				
令和7年度の 事業目標	サークル等のニーズの把握に努めるとともに、職員の相談スキルの向上を図る。				
令和7年度の 事業内容	利用者懇談会などにより利用者のニーズの把握に努める。また、定期的な職員研修や館長会議を実施することにより、職員間の情報共有や知識の向上を図る。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
相談館数	目標計画	6館	6館	6館	6館
	実績	6館	6館	6館	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 各館とも利用者懇談会を開催しているほか、新規の団体の立ち上げなどの相談に丁寧に応じている。 令和7年度は工事等により休館日はあったが、目標は達成した。				
今後の展開 C	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他(				

1.事業概要		施策番号	1-2-1-6			
事業名	図書館レファレンスサービス事業		担当課	図書館		
事業の目的と内容	利用者の学習活動支援を図るため、利用者の求める資料相談や調査研究・学習相談に応じ、文献等の照会・提供等の援助を行う。					
令和7年度の事業目標	利用者からの資料や情報に関する調査・相談に的確に対応することにより、利用者への学習支援を図る。					
令和7年度の事業内容	利用者からの資料や情報に関する調査・相談、大学・専門機関への紹介等に対応する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
レファレンス相談件数	目標計画	500件	500件	500件	500件
	実績	380件	439件	569件	—

3. 分析・展開

判定	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 比較的簡単に調べられる調査だけではなく、データ化されていない郷土に関する調査など、より専門的な知識と調査時間を要するレファレンスも増えてきており、市民だけではなく、市外からの朝霞に関する調査依頼などの対応も行うことができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他(	

(3) 生涯学習のきっかけづくり

1) 生涯学習をはじめたい人への支援

		施策番号	1-1-1-2	1-2-1-1	1-3-1-1	4-2-1-1	4-2-2-1
事業名	市民活動支援ステーション運営事業	担当課	地域づくり支援課				

		施策番号	1-3-1-2	3-1-1-3		
事業名	男女平等推進事業	担当課	人権庶務課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	1-3-1-3	4-1-1-1	4-2-1-2	4-2-2-3
事業名	生涯学習ボランティア事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市民の多様な学習要求に応え、また、市民の学び合いを支援するためにボランティア精神をふまえた人材を募り、その活用を図ることにより生涯学習の推進と地域社会の活性化に資する					
令和7年度の事業目標	生涯学習ボランティア事業の充実を図るため、生涯学習ボランティアバンクの登録者の充実と、登録者の活用の推進を図る。					
令和7年度の事業内容	生涯学習ボランティア制度の周知と合わせてボランティアバンクの登録者の充実を図り、登録者の紹介・活用を行っていく。また、生涯学習体験教室を開催し、市民の生涯学習のきっかけづくりとするとともに、ボランティアバンク登録者の紹介と講師のスキルアップが図られるよう努める。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
生涯学習ボランティアバンク登録者(団体)数	目標計画	115件	115件	115件	115件
	実績	77件	64件	64件	—
生涯学習体験教室参加者数	目標計画	660人	660人	660人	660人
	実績	498人	435人	405人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 体験教室のうち、参加希望が少なく中止となった講座もあったが、さまざまなジャンルの講座が実施された。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も生涯学習を始めたい人が気軽に体験できる多様な講座を開催できるよう、制度の周知を図り、ボランティアバンク登録者の充実に努め、学習意欲ある市民のきっかけづくりを支援していく。	

		施策番号	1-3-1-4	4-2-2-4		
事業名	あさか学習おとどけ講座	担当課	生涯学習・スポーツ課			

		施策番号	1-3-1-5	4-2-1-3	4-2-2-2	
事業名	市民企画講座	担当課	生涯学習・スポーツ課			

1.事業概要		施策番号	1-3-1-6			
事業名	スポーツ大会・教室推進事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市民がスポーツに親しむ機会を提供するため、各種大会や教室を開催する。					
令和7年度の事業目標	走者の安全面に配慮し、ロードレース大会でのコース変更を行うほか、より市民がスポーツに親しめる大会、教室の開催に努める。					
令和7年度の事業内容	幅広い年齢層の市民を対象とし、ロードレース大会、市民ウォークラリー大会、市民スポーツ教室、小学生スポーツ教室等を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
スポーツ大会等参加者数	目標計画	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人
	実績	1,220人	777人	926	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 概ね計画どおりの事業を開催することができたが、全体的な参加者の減もあり目標達成に至らなかった。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き各種大会や教室を開催し、市民がスポーツに親しむための場の提供に努めるとともに、多くの市民に参加してもらえるよう、種目や周知方法等について検討していく。				

1.事業概要		施策番号	1-3-1-7			
事業名	スポーツ指導者の紹介事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市民がスポーツ・レクリエーションの機会を得ることができ、併せて各団体の活動が活発になることを目指す。					
令和7年度の事業目標	スポーツ団体の活動の活性化を目指し、市民がスポーツ・レクリエーションの機会の提供と長期間の活動の継続を促進する。					
令和7年度の事業内容	県のスポーツリーダーバンク制度への登録を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
登録指導者数	目標計画	60人	10人	10人	10人
	実績	3人	4人	4	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 県のスポーツリーダーバンク制度の周知を行った。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他()				
C	引き続き制度の周知に努める。				

1.事業概要		施策番号	1-3-1-8			
事業名	公民館講座開催事業	担当課	中央公民館			
事業の目的と内容	ライフステージに応じた学習プログラムや現代的課題などを学習する機会を提供するとともに、集い・交流の促進を図る。					
令和7年度の事業目標	ライフステージに応じた様々な学習機会を提供することはもとより、受講者が、仲間づくりや生きがいを持つことができるようになることを目指し、学習効果が高く、魅力ある講座の企画に努める。					
令和7年度の事業内容	幼児・児童対象事業、親子対象事業、成人対象事業、子育て講座、人権講座、プラネタリウム投映を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
講座開催数(6館)	目標計画	36講座	36講座	36講座	36講座
	実績	37講座	38講座	35講座	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 工事等により休館日はあったが、事業目標のとおり、乳幼児とその親子、小学生からシニア世代に至るまでライフ ステージに応じた様々な事業を実施することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、幅広い世代に対して、学びの意欲やニーズに応え、満足度を高める講座を実施する。	

1.事業概要		施策番号	1-3-1-9			
事業名	読書案内・読書相談	担当課	図書館			
事業の目的と内容	市民の読書力向上や子どもの読書推進を図るため、各種テーマに沿った図書展示や推薦図書の一覧の配布により図書の紹介を行うとともに、利用者の求めに応じて読書に関する相談に対応する。					
令和7年度の事業目標	テーマ展示や推薦図書に関する目録の作成・配布により図書の紹介を行うとともに、利用者からの相談や求めに応じて読書活動を支援する。					
令和7年度の事業内容	折々に話題になっているものや季節など様々なテーマで、図書等資料の展示を行い、併せて、展示資料リストを作成、配布する。特に児童・生徒に対しては、恒例の夏休みに合わせて読んでほしい本を紹介する小冊子「この本よんだ」を作成、配布する。また、利用者の読書に関する各種相談に応じる。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
テーマ展示回数	目標計画	20回	20回	20回	20回
	実績	44回	51回	53回	—

3. 分析・展開

判定	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 一般、青少年、児童の各対象ごとに多様なテーマで展示を実施した。また、追悼展示などを含めタイムリーなミニ展示のほか、様々な視点からのテーマを企画、資料の選定や目録の作成を行うことで、新たな本との出会いを提供することができた。令和6年度に引続き、ストリートテラスに出展参加し、館外での読書活動支援も行った。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 多様なテーマでの展示や目録の作成、配布などを通じて、読書の提案を行う。また、利用者からのより高度な支援要求にも答えられるようレファレンス業務の充実を図るとともに、ストリートテラス出展など図書館外での読書支援活動にも努めて行く。				

2 使いやすい学びの“場”を提供します！

(1) 生涯学習推進拠点の充実

1) 公民館の充実

1.事業概要	施策番号	2-1-1-1			
事業名	公民館管理運営事業	担当課	中央公民館		
事業の目的と内容	地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書の確保を行うとともに、利用者が相互のコミュニケーションを深めることができるような公民館運営を行うことにより、市民の教養や健康の維持向上を図る。				
令和7年度の事業目標	利用者との協働により、公民館運営を充実させ、にぎわいと活気あふれる公民館を目指す。				
令和7年度の事業内容	各種講座の開催、施設の貸出し、公民館まつりの開催、プラネタリウム投映等を実施する。施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用人数	目標計画	309,000人	309,000人	309,000人	309,000人
	実績	289,037人	270,948人	187,974人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 中央公民館の長寿命化改修工事などの影響に伴い休館日が多くなったため、利用人数が減少したが、これ以外 は目標計画どおりであった。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() より利用しやすい施設となるよう計画的に修繕を行い、適切な維持管理に努める。				

2) 図書館の充実

1.事業概要	施策番号	2-1-2-1			
事業名	図書館管理運営事業	担当課	図書館		
事業の目的と内容	図書館法第1条の規定に基づき、生涯学習の一拠点として資料提供等を通じて、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。				
令和7年度の事業目標	市民の多様なニーズに的確に応えるため、図書等の資料や情報提供システムの充実を図る。また、講座等の事業を通じて図書館の利用を促進する。				
令和7年度の事業内容	図書館法第1条の規定に基づき、資料や情報の提供、調査、相談、各種イベントの開催等を通じて、市民の教育と文化の発展に寄与し、知的好奇心の充足を図る。 また、図書館利用者が安心安全で快適に図書や視聴覚資料を利用できるよう、適切な施設の維持管理を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
図書館等利用者数(人)	目標計画	270,000人	270,000人	270,000人	270,000人
	実績	251,723人	248,290人	247,309人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 資料の収集、整備、貸出、レファレンス、資料紹介・展示、多様なイベント開催等を実施した。利用者数はやや減少したが、イベント参加者、館内の滞在者は増加しており、貸出だけではない読書や学習、居場所としても利用され、アンケートでの満足度も高い。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き蔵書の充実を図るとともに、各種事業等を通じて多様な読書活動の推進と図書館利用の促進を図り、本と人をつなぎ、市民の教養と文化の醸成と発展に寄与して行く。				

3) 博物館の充実

1.事業概要		施策番号	2-1-3-1		
事業名	博物館管理運営事業	担当課	文化財課		
事業の目的と内容	郷土の歴史を語る様々な資料を調査・収集・保存し、展示や教育普及事業において活用を図ることで、地域の歴史や文化への理解と認識を深め、生涯学習の場として、いつでも誰もが学べる学習機会が市民に提供されている。				
令和7年度の事業目標	- 企画展(1回)、テーマ展示(2回)、ギャラリー展示(2回)開催 - 歴史講座、古文書講座、博物館体験教室、夏休み体験教室、博学連携(市内小中学校)実施 - 資料調査及び収集、保管実施 - 指標となる数値(※)は日本博物館協会公表(毎年4月)の全国歴史系公立博物館平均入館者数(H30: 29,060,440人/790館)				
令和7年度の事業内容	- 運営事業: 展示、教育普及事業、資料調査及び収集保管を行う。 - 管理事業: 施設の維持管理に伴う各種委託や日常点検で確認された異常個所の修繕等を行う。 - 施設改修事業: 外壁等改修工事に係る工事設計を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
入館者数	目標計画	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人
	実績	25,118人	27,162人	28,718人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 実績値は指標値を下回ったものの歴史講座、古文書講座、博物館体験教室、夏休み体験教室、博学連携(市内小・中学校)を実施し、市民が地域の歴史や文化への理解を深めるための支援を行った結果、前年度実績を上回ることができた。また、企画展1. 5回、テーマ展2回、ギャラリー展示を2回開催し、調査・収集した郷土歴史資料を教育普及事業へ活用した。				
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も、館有資料等について研究を進め、多様なテーマの展示を行い、市民が地域の歴史や文化への理解と認識を深める機会提供とする。また、各種講座、体験教室を開催し、市民の生涯学習の場として博物館を活用する。				

4) スポーツ施設の充実

1.事業概要		施策番号	2-1-4-1		
事業名	スポーツ施設管理運営事業	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	市民スポーツ推進のため、スポーツ施設の適切な維持管理・運営を行う。				
令和7年度の事業目標	市民から寄せられる意見を取り入れ、より快適なスポーツ施設を目指した維持管理・運営を行っていく。				
令和7年度の事業内容	スポーツ施設14施設の適切な維持管理・運営及び計画的なスポーツ施設の改修を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用者数	目標計画	850,000人	850,000人	850,000人	850,000人
	実績	1,074,012人	975,895人	992,298人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 イベント等の積極的な周知を行ったことや、多くの大会等での利用もあり、利用者数の確保に繋がった。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き多くの利用者が安全安心に施設を利用できるよう、管理運営を行っていく。				

5) 学校施設の活用

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	2-1-5-1	3-3-5-2		
事業名	学校体育施設開放事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市内小中学校の体育施設を開放することにより、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を確保する。					
令和7年度の事業目標	利用におけるルール・マナーの周知を徹底し、利用するどの方にとっても快適なスポーツ・レクリエーション活動の場の提供を目指す。					
令和7年度の事業内容	小中学校の体育施設(体育館・校庭等)を開放する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用者数	目標計画	180,000人	180,000人	180,000人	180,000人
	実績	180,000人	177,173人	183,802人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 市内15校の協力を得て、市民のスポーツ・レクリエーションの場を確保し、市民スポーツの振興に努めることができた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 利用団体数が増加傾向にあるため、学校との連携を図りながら、効率的な施設利用のための調整を行うとともに、利用者に対するルールやマナーの周知・啓発に努める。				

		施策番号	2-1-5-2	3-3-5-1		
事業名	放課後子ども教室事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

6) その他の公共施設の活用

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	2-1-6-1			
事業名	市民会館管理運営事業	担当課	地域づくり支援課			
事業の目的と内容	市民会館の利用の啓発、推進を行うとともに、利便性の向上を図る。市民の文化振興のため指定管理契約に自主事業を盛り込み、文化振興を行うことで利用促進を図る。 各種パンフレットの発行・配布、指定管理者による自主事業を実施する。					
令和7年度の事業目標	今後も指定管理者と連携し、自主事業を通じたPRを継続していくよう努める。					
令和7年度の事業内容	指定管理者と連携し、施設を適切に維持管理する。また、指定管理者による文化的向上に資する自主事業を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用率	目標計画	46.0%	46.0%	46.0%	46.0%
	実績	49.7%	53.7%	53.9%	—

3. 分析・展開

判定	B A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。				
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 目標としていた利用率を十分に上回る成果を達成することができた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 朝霞市建物系公共施設マネジメント計画との整合性を図りながら、不具合が起こる前に計画的に修繕を行う予防保全など、長寿命化を意識した市民会館の管理運営について検討を行う。				

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	2-1-6-2		
事業名	市民センター管理運営事業	担当課	地域づくり支援課		
事業の目的と内容	市民センターの利用促進を図り、より良い地域社会の形成を目指す。 指定管理者を指定して、市民センターの維持管理と運営業務を行う。(全8館) ⇒受付業務、施設管理業務				
令和7年度の事業目標	今後も指定管理者と連携し、適切な施設の維持管理を継続していくよう努める。				
令和7年度の事業内容	指定管理者と連携して、施設を適切に維持管理する。(全8館)				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用率	目標計画	60.9%	61.0%	61.2%	61.2%
	実績	61.3%	64.3%	60.90%	—

3. 分析・展開

判定	C A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。				
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 目標としていた利用率をわずかに下回る結果となった。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 朝霞市建物系公共施設マネジメント計画との整合性を図りながら、不具合が起こる前に計画的に修繕を行う予防保全など、長寿命化を意識した市民センターの管理運営について検討を行う。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-3		
事業名	市民活動支援ステーション管理事業	担当課	地域づくり支援課		
事業の目的と内容	市民活動団体や市民が市民活動支援ステーション・シニア活動センターを利用しやすいように、施設、備品を適切に維持管理する。				
令和7年度の事業目標	市民活動支援ステーション・シニア活動センターの施設、備品が適切に維持管理されている。				
令和7年度の事業内容	・警備業務委託(通年) ・自動ドア保守委託(年4回) ・消防設備保守点検委託(年2回) ・空気調和設備保守点検委託(年3回清掃含む) ・清掃業務委託(年2回) ・複写機借上料 ・市民活動支援ステーション借上げ ・施設の備品修繕等の維持管理・カラープリンター、ラミネーター等の機器の貸出				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
施設の利用団体数	目標計画	530団体	540団体	550団体	550団体
	実績	502団体	510団体	483団体	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 指標の施設利用団体数については、目標には届かなかったが、適切な施設・設備の維持管理を行ったことにより、市民活動団体や市民が市民活動支援ステーション・シニア活動センターを快適に利用できたと考える。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 多くの方に市民活動に関心・興味をもち参加していただけるよう、引き続き工夫を図りながら、市民活動の周知・啓発等を行っていく。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-4			
事業名	産業文化センター管理運営事業	担当課	産業振興課			
事業の目的と内容	産業の振興と地域経済の活性化を促進するとともに、情報及び文化の発信基地となり市民相互の交流を図る。					
令和7年度の事業目標	施設の適切な維持管理を行うとともに、各種の自主事業を実施する。					
令和7年度の事業内容	指定管理者制度を活用し、施設の適切な維持管理を行う。また、簿記講座や経営セミナー、音楽コンサートなど、産業と文化の両面の自主事業を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
産業文化センター利用件数	目標計画	4,600件	4,600件	4,600件	4,600件
	実績	4,027件	4,058件	3,972件	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 昨年よりも、利用件数は減少したが、利用人数については増加した。指定管理者と連携した施設の適切な維持管理および、自主事業の実施を行った。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 経年劣化による修繕が例年多く見られるため、指定管理者と十分に連携し、公共施設マネジメント実施計画に基づいた計画的な改修、修繕を行えるよう取り組む。また、自主事業について、市民ニーズや社会情勢に合うよう、指定管理者と協議の上、実施していく。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-5		
事業名	リサイクルプラザ管理運営事業	担当課	資源リサイクル課		
事業の目的と内容	リサイクルプラザが、適切に維持管理され、環境に負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指す。市民主体で構成するリサイクルプラザ企画運営協議会と市との協働による各種講座を開催する。				
令和7年度の事業目標	循環型社会の構築に向けた各種講座を開催し、リサイクルに関する情報の発信を行う。				
令和7年度の事業内容	施設を適正に維持管理し、循環型社会の構築に向けた各種講座を開催する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
講座等開催回数	目標計画	12回	12回	12回	12回
	実績	3回	3回	2回	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 指標の講座等開催回数の12回には届かず、未達成となったが、講座を2回実施し、43名の市民に参加いただくことができた点は一定の成果があった。				
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☒ 縮小 ☐ その他() ・協議会との連携強化により、市民主体の企画運営を推進する。 ・市民ニーズに合った内容の講座を企画し、参加しやすい環境を整える。 ・協議会の実情に沿った適正な開催回数を検討する。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-6		
事業名	コミュニティセンター管理運営事業	担当課	コミュニティセンター		
事業の目的と内容	市民が様々な地域・文化活動を行うことができる施設を管理運営することで、コミュニティ活動の促進を図る。				
令和7年度の事業目標	施設を適切に維持管理し、市民が快適に利用できるコミュニティセンターを目指す。				
令和7年度の事業内容	施設の貸出し及び維持管理(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
施設点検回数	目標計画	12回	12回	12回	12回
	実績	12回	12回	12回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☑ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 日常清掃業務や各設備の定期的な保守点検をはじめ、緊急修繕等を実施することにより、適切に施設の維持管理を行うことができた。				
今後の展開	☑ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() より利用しやすい施設となるよう計画的に修繕を行い、適切な維持管理に努める。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-7			
事業名	総合福祉センター（はあとぴあ）管理運営事業		担当課	障害福祉課		
事業の目的と内容	適切な施設維持管理を行い、高齢者、障害者及び児童が安全に交流できる場とする。					
令和7年度の事業目標	建物・機器類の計画的な点検や修繕を行い、安全・安心で快適な施設を提供する。					
令和7年度の事業内容	指定管理者制度を活用し総合福祉センターの管理運営を行うことにより、利用者の利便性を図り、適切な運営を図る。					

2.実施結果（指標）

指標（説明）	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
総合福祉センター内会議室利用者数	目標計画	10,000人	10,000人	10,000人	10,000人
	実績	5,364人	5,655人	5,675人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 空調機の更新工事を行い、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう整備を行った。会議室利用者は目標人数には至らなかったが、増加した。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 総合福祉センターの築年数や今後行う大規模改修工事を考慮しながら、管理及び修繕について計画的に行っていく。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-8	3-3-2-1	
事業名	児童館管理運営事業	担当課	こども未来課		
事業の目的と内容	児童の健全な成長を目指し、子どもたちの居場所として、中高生も利用できる児童館を整備し、子どもたちが安全かつ快適に遊び、また活動し、異年齢の交流を行う。				
令和7年度の事業目標	子どもたちにとって地域の中の安全・安心な居場所の提供を行う。				
令和7年度の事業内容	指定管理により、児童館の管理、運営を行い来館者に楽しんでもらえるよう市及び指定管理者にて様々な事業を展開していく。				

2.実施結果（指標）

指標（説明）	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
児童館来館者数（保護者含）	目標計画	240,000人	240,000人	240,000人	240,000人
	実績	227,903人	245,640人	253,914人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 子どもたちが安全かつ快適に遊び、活動できるよう都度協議を行った。また、利用者から頂いた意見・要望等を基に、指定管理者による既存事業の見直しや新規事業の実施のほか、中高生世代の居場所づくりとなるような事業を行うことで昨年度の来館者数及び目標値を共に上回ることができた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き、多くの子どもたちや保護者に安全・安心に利用していただけるよう指定管理者と協議していく。				

		施策番号	2-1-6-9	3-3-1-1		
事業名	子育て支援センター事業	担当課	こども未来課			

1.事業概要		施策番号	2-1-6-10	3-3-3-2	3-3-4-2	
事業名	老人福祉センター管理運営事業		担当課	高齢者・地域福祉課		
事業の目的と内容	市内に居住する高齢者が健康で明るい生活を営むことができるよう適正な施設管理を行うことで、利用者が安全に施設を利用できていること。 指定管理による浜崎及び溝沼老人福祉センターの管理運営、利用者の送迎を実施する。					
令和7年度の事業目標	利用者が安全に施設を利用できるように適正な管理を行う。					
令和7年度の事業内容	高齢者が生きがいのある生活を送ることができるように、個人、グループ及び老人クラブ等が活動を行える場の提供や利用者のニーズに合わせた各種事業を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
個人利用者数(人)	目標計画	105,000人	115,000人	115,000人	115,000人
	実績	75,572人	69,018人	59,420人	—

3.分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 令和7年11月に女性浴槽のポンプの故障により溝沼老人福祉センターの女性用浴場が約1ヵ月休止となった影響もあり、目標値には届かなかったが、利用者の健康や、介護予防につながる各種の事業を実施できたことや、館内の放課後児童クラブや、地域の保育園とも連携し、多世代交流に取り組むことができた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 老人福祉センター内の設備や広間等を有効活用していただけるように、指定管理者と協議を重ねていき、利用者数の増加につなげていく。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-11	3-2-1-2		
事業名	健康増進センター管理運営事業	担当課	健康づくり課			
事業の目的と内容	市民の健康維持・増進と体力づくりのほか、利用者相互のふれあいの輪を広げるため、施設を維持管理し、指定管理者制度を用いて施設を運営する。					
令和7年度の事業目標	施設の安全・衛生管理に努め、利用者が安心・快適に施設が利用できるように、指定管理者と連携していく。					
令和7年度の事業内容	施設を維持管理し、指定管理者制度を用いて施設を運営する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
施設入場者数	目標計画	260,000人	260,000人	260,000人	260,000人
	実績	220,606人	249,269人	257,733人	—

3.分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。	
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 コロナ禍以降、順調に利用者数が増えており、概ね目標の指標は達成した。		
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 今後も施設の安全・衛生管理に努め、利用者が安心・快適に施設が利用できるように、指定管理者と連携し適切な施設の維持管理に努める。		

		施策番号	2-1-6-12	3-1-4-4		
事業名	基地跡地(朝霞の森)暫定利用事業	担当課	みどり公園課			

1.事業概要		施策番号	2-1-6-13	3-1-4-5		
事業名	公園や広場の管理事業	担当課	みどり公園課			
事業の目的と内容	都市公園及び児童遊園地等の広場の清掃、除草、遊具点検、施設の修繕を行い、市民が公園等を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。					
令和7年度の事業目標	公園施設の長寿命化対策や遊具点検を適切に行い、施設の不具合による事故の発生を防止する。					
令和7年度の事業内容	長寿命化計画に基づく施設改修、公園等の遊具点検及び修繕を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
遊具等の不具合による事故件数	目標計画	0件	0件	0件	0件
	実績	0件	1件	1件	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。	
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 都市公園及び児童遊園地等の広場清掃、除草、遊具点検、施設の修繕を実施することで、利用者が公園等を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行った。		
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 遊具点検及び施設修繕に努めることで、施設設備の損壊に対処し利用者が安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。		

(2) 学びの場を広げる

1) 民間施設との連携

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	2-2-1-1			
事業名	大学等の連携事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	大学等教育機関が持つ専門的な学習や指導者、施設等の優れた学習機能の提供や活用、相互協力を進めることで、生涯学習の推進と充実を図る。					
令和7年度の事業目標	「子ども大学あさか」を通じて子どもの知的好奇心を刺激し、また、大学生や異学年、他校の子どもとの交流を通じ郷土意識の醸成やキャリア教育につなげる。					
令和7年度の事業内容	地域の市民団体や大学との協働により、「子ども大学あさか」を開催し、子どもの知的好奇心を醸成しながら健やかな育成の一助となるよう努める。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
「子ども大学あさか」参加者の満足度(アンケート集計結果の「とても満足」「満足」の割合)	目標計画	90%	91%	92%	93%
	実績	81.7%	89.3%	87.4%	—

3. 分析・展開

判定	C A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。				
達成度(事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 全4回の講座のうち2回を東洋大学朝霞キャンパスで開催し、参加者が増加した。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も、子どもたちが満足できるテーマ、進め方を検討し、講座の充実を図る。今後も東洋大学と連携を図り、専門的な学習や指導者、施設等の優れた学習機能の提供や活用による事業を実施に努める。				

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	2-2-1-2		
事業名	民間企業との連携事業	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	民間のスポーツ施設を開放することにより、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を確保する。				
令和7年度の事業目標	民間のスポーツ施設の協力を仰ぎ、広く市民のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供できるよう引き続き協力先を探していく。				
令和7年度の事業内容	民間及び公共の体育施設(テニスコート)の無償提供を受け、市民に開放する。 ※平成27年9月で民間からの施設提供が終了したのに伴い、新たな協力先を探している。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用者数	目標計画	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
	実績	0人	0人	0人	—

3. 分析・展開

判定	E A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。				
達成度(事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 民間スポーツ施設の活用は、管理運営においての調子が難しく、空きもないことから新たな施設の確保は難しい状況である。				
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☒ その他() 引き続き、協力先を検証していく。				

1.事業概要		施策番号	2-2-1-3			
事業名	共催・後援事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市の教育、学術、スポーツ、文化の振興に寄与すると認められる事業等を共催・後援することで、市民団体の優れた活動を支援すると共に市民の生涯学習活動を推進する。					
令和7年度の事業目標	市の教育、学術、スポーツ、文化の振興に寄与すると認められる事業等を共催・後援することで、市民の生涯学習活動を推進する。					
令和7年度の事業内容	共催・後援を行い、その事業支援を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
共催・後援件数	目標計画	70件	70件	70件	70件
	実績	126件	103件	111件	—

3. 分析・展開

判定	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 目標値を超える、共催・後援を承認し、多くの事業への後押しとすることができた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 市の教育、学術、スポーツ、文化の振興に寄与すると認められる事業等について、引き続き、共催・後援を行 い、市民の生涯学習活動を推進していく。				

3 多様な学びの“メニュー”を提供します！

(1) とともに生きる社会づくりに向けた学び

1) 共生社会に向けた教育の支援

1.事業概要		施策番号	3-1-1-1			
事業名	人権啓発事業	担当課	人権庶務課			
事業の目的と内容	市民等の基本的な人権尊重意識の高揚を図るため、各種啓発活動を実施する。また、人権侵害被害者支援のため、人権相談を定期的に開催する。					
令和7年度の事業目標	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、予防策を取りながら実施していく。より多くの市民等の人権尊重意識の高揚を図るため、各種啓発活動を実施する。また、人権侵害被害者支援のため、人権相談を定期的に開催する。					
令和7年度の事業内容	人権啓発事業擁護委員と連携し、啓発活動、人権教室、人権の花運動、全国中学生人権作文コンテスト応募推進などの事業を実施する。また、毎月第一月曜日に市役所1階相談室において人権相談窓口を開設する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
啓発活動の実施事業数	目標計画	5回	7回	7回	7回
	実績	6回	7回	7回	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 令和7年度も人権擁護委員と連携を図り、人権相談、人権の花運動、全国中学生人権作文コンテストや人権教室など、各種啓発事業を実施し、数値目標を達成するとともに、市民等の人権意識の高揚を図ることができた。また、人権教室については、例年の市内公設保育園での実施に加え、新たに市内公設放課後児童クラブで実施				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他(				

1.事業概要

事業名	平和事業	担当課	人権庶務課
事業の目的と内容	人権と平和を見つめなおす機会を広く市民等に提供し、人権・平和尊重意識の醸成を図る。		
令和7年度の事業目標	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、予防策を取りながら実施していく。「平和パネル展」、「親子ピースチャレンジ」とも、より多くの市民等に人権・平和について考えていただける内容とする。		
令和7年度の事業内容	人権と平和を尊重する社会の実現のため、戦争に関するパネル展を実施し、併せて平和に関する映像等を放映する。また、次世代を担う子どもたちに平和の尊さを伝えていくため、夏休み期間中に親子で参加できる「親子ピースチャレンジ」(平和バスツアー)を実施する。		

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
平和パネル展、親子ピースチャレンジの実施回数	目標計画	1回	2回	2回	2回
	実績	2回(3箇所)	2回(2箇所)	2回(2箇所)	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 平和・パネル展を市役所及び健康増進センターの2箇所で、また「なつやすみ親子ピースチャレンジ」を実施し、 数値目標を達成するとともに、人権・平和尊重意識の醸成を図ることができた。				
今後の展開	■現状通り推進 □拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 平和について考える機会として、引き続き実施する。				

1.事業概要		施策番号	1-3-1-2	3-1-1-3		
事業名	男女平等推進事業	担当課	人権庶務課			
事業の目的と内容	市民が男女平等に対する理解を深め、その個性と能力を発揮し、男女平等が実感できる生活の実現を目指す。事業内容は、公募市民による男女平等推進情報「そよかぜ」の発行やあさか女と男セミナーの開催、あさか男女の輪サイトでの情報提供を行う。また、利用者が容易に情報を得られるよう情報・交流コーナーを充実することや、相談事業等を行い、市民等との協働した活動を展開し、誰もが気軽に利用できる女性センターの運営を図る。					
令和7年度の事業目標	男女平等の推進に関する情報を広く市民に周知し、意識醸成を図る。また、市民に信頼のおける相談事業を継続して行う。					
令和7年度の事業内容	男女平等社会の実現に向けて、市民との協働による男女平等推進情報発行などの啓発事業のほか、あさか女と男セミナーの実施にあたり、各回のテーマ等についても、市民の方々（企画・運営協力員）と一緒に検討しながら、多くの方に参加してもらえるセミナーを企画・立案していく。また、引き続き、DV相談や女性総合相談について、相談窓口の周知に加え、市民に信頼された相談しやすい環境を整えるなど、男女平等の意識づくり、男女平等が実感できる生活の実現に向けた取組を行っていく。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
あさか女と男セミナー参加人数	目標計画	150人	150人	150人	150人
	実績	50人	100人	73人	—

3.分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 数値目標は達成できなかったが、例年の行っている講義形式のほかに、新たに参加者同士が意見交換を行う座談会(トークミーティング)や講師2人が対話形式で意見を交し合うトークセッションの形式で開催をした。トークミーティングの参加者から「自分が参加し話す機会があるのは新鮮でよかった」「少人数で話しやすかった」、トークセッションの参加者から「ライブ感がありよかった」等のお声をいただき、男女平等推進に向けての意識醸成	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 男女平等の意識づくり、男女平等が実感できる生活の実現に向けた取組を引き続き進めていく。DV相談や女性総合相談の相談内容は、問題が多岐にわたり、複雑化、多様化していることから、庁内関係課と連携しながらセミナーやパネル展などを企画・開催していく。また、イベント開催時には広報のほかに、SNS等を積極的に活用し、多くの市民に広く周知、啓発を図りたい。	

1.事業概要		施策番号	3-1-1-4			
事業名	共生社会の理念の普及	担当課	障害福祉課			
事業の目的と内容	障害のある人となない人との交流を深め、様々な行事を通じて、障害のある人への理解を深める。					
令和7年度の事業目標	障害者週間及び障害福祉施設自主製作品展示販売会の広報及び啓発に努める。					
令和7年度の事業内容	・障害者週間(12月3日～12月9日)に啓発事業を実施する(市内の障害福祉施設等で創作している作品等の展示会実施)。 ・朝霞市障害福祉施設自主製作品展示販売会を実施する(市内の障害福祉施設で製作している製品の展示販売会を市役所で平成25年10月より実施)。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
啓発事業実施期間	目標計画	75日	75日	75日	75日
	実績	84日	82日	83日	—

3.分析・展開

判定	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 障害者週間及び障害福祉施設自主製作品展示販売会の広報及び啓発に努め、事業の周知を積極的に行い、また各団体の活性化をサポートしながら障害者の社会参加の機会の提供、地域での交流を支援した。障害者週間については団体の日頃の活動を発表する場、障害者理解を啓発する機会として毎年場所を変更し、多くのの方に触れるよう努めました。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、啓発に力を入れていきます。	

1.事業概要		施策番号	3-1-1-5		
事業名	人権教育事業（学校教育）	担当課	教育指導課		
事業の目的と内容	児童生徒・教職員の人権に対する正しい理解と人権意識の向上を図る。				
令和7年度の事業目標	各種研修会・人権作文作成等とおし、各小、中学校で、人権教育が推進されている。				
令和7年度の事業内容	人権文集「たいよう」の作成、配付を行う。 人権教育用DVDの購入、貸出しを行う。 教職員向け人権教育研修会の開催。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
人権作文応募数	目標計画	4,000件	4,000件	4,000件	4,000件
	実績	9,453件	9,563件	8,335件	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 昨年度と比較して応募数は減少しているが、目標計画は十分達成している。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() ・今後も、引き続き、教職員対象の研修を開催するとともに、子供たちの人権感覚を養っていく。				

1.事業概要		施策番号	3-1-1-6		
事業名	人権教育事業（社会教育）	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	人権課題に対する正しい理解と優れた人権感覚を身につけ、人権尊重の意識を高める。				
令和7年度の事業目標	各種研修や講演会、啓発冊子の配布等を行い、市民や企業、地域において、人権課題に対する正しい理解を深め、優れた人権感覚と人権尊重の意識を高める。				
令和7年度の事業内容	市民人権教育研修会、企業人権研修会、人権問題講演会等の開催をとおして、啓発を推進する。また、啓発冊子を研修会等の事業で配布し、公共施設に配置するほか、啓発グッズの作成、配布を通じて、人権について考えるきっかけとする。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
研修会等参加者数	目標計画	630人	630人	630人	630人
	実績	323人	303人	294人	—
啓発冊子「みんながしあわせに暮らせるために」発行部数	目標計画	3,000部	(隔年発行)	3,000部	(隔年発行)
	実績	3,000部	—	1,000部	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 市民人権教育研修会、企業人権研修会、人権問題講演会等を実施した。公民館人権講座を地区公民館、中央公民館の2回開催することができた。研修会・講座の開催を通じて、啓発を推進する。また、啓発冊子を公共施設に設置し市民や企業、地域の団体等に広く、啓発・周知することができた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他(				

2) 国際理解に向けた学習の支援

1.事業概要

事業名	多文化共生推進事業	施策番号	3-1-2-1	3-2-2-2		
事業の目的と内容	異なる文化や慣習への偏見がなくなり、住民間の相互理解を促進する。					
令和7年度の事業目標	多文化推進サポーターや国際交流団体を活用するとともに、多文化共生に関する情報提供に努め、外国人市民が暮らしやすい環境づくりを進める。					
令和7年度の事業内容	多文化推進サポーターの募集、活用や国際交流団体との連携を図るほか、市の広報誌に多文化共生に関する記事を掲載する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
多文化推進サポーター実働数	目標計画	33人	34人	36人	36人
	実績	11人	9人	4人	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 目標値を大幅に下回る結果となった。今後、校長会議といった庁内の連絡会議等で制度の周知や情報共有を行っていく。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() まずは庁内連絡会議等で、制度の周知を図る。また、ニーズの把握に努めるとともに、利用しやすい制度運用の改善に取り組む。	

1.事業概要

事業名	日本語指導充実事業	施策番号	3-1-2-2			
事業の目的と内容	外国人の児童・生徒が、日本語を十分に理解し、日常生活を支障なく送れるようにする。					
令和7年度の事業目標	日本語を十分に理解できない児童生徒が、日常生活に支障が出ない程度に日本語を理解できている。					
令和7年度の事業内容	学校の要請に応じて、日本語の指導が必要な外国人児童・生徒に対して日本語指導支援員を配置し、授業の補助または個別に日本語の指導支援を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒に支援をした割合(%)	目標計画	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・支援対象児童は、年々増加傾向にある。授業の中では、特に、担任との情報共有や周囲の児童との関係性にも留意しながら支援にあたるなど、きめ細かい配慮により、対象児童は自信をもって学校生活を送ることができるようになってきている。	
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☒ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() ・令和8年度からは、加配教員が5名配置され、これまでよりも手厚い支援が期待できる。 ・日本語指導支援員を会計年度任用職員にすることで、安定し、継続した支援を行うことができるようにする。	

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-1-2-3		
事業名	国際理解教育事業	担当課	教育指導課		
事業の目的と内容	英語指導助手の積極的な活用により、生徒の英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と、英語による実践的コミュニケーション能力を養う。				
令和7年度の事業目標	生徒の英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。生徒の英語による実践的コミュニケーション能力が養われている。英語活動を通じて、児童が英語に親しんでいる。児童の国際感覚及びコミュニケーション能力が育成されている。				
令和7年度の事業内容	市内中学校5校に英語指導助手を5名派遣し、英語科教員と連携し、英語の協働授業を行う。 市内小学校10校に英語指導助手を7名派遣する。外国語・外国語活動の授業の中で、担任等と協働授業を実施する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
英語指導助手配置人数(人)	目標計画	12人	12人	12人	12人
	実績	12人	12人	12人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・毎年夏季休業中に開催している「わくわくサマーフェスティバル」の内容を一部改善し、英語指導助手と児童生徒がより積極的にコミュニケーションを図ることができるような活動を展開した。また、小・中学校の授業において、主体的・対話的なコミュニケーション活動が充実するように、英語教諭や英語指導助手との情報交換を定期的の実施した。また、個別最適な学びと協働的な学びの実現のために研修を深めた。その成果もあり、児童生徒のコミュニケーション能力の向上に繋げることができた。	
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☒ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() ・英語活用能力の更なる向上と充実した学習活動の展開を目指すため、各校に1人ずつ英語指導助手を常時配置することが望まれる。	

3) 安心・安全なくらしと環境を守る学習の推進

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-1-3-1			
事業名	地域防災推進事業	担当課	危機管理室			
事業の目的と内容	地震や風水害などの自然災害から、市民が自らの安全を確保するため、日頃の備えや災害時の対応に関する知識や意識の普及・啓発を図る。					
令和7年度の事業目標	防災に関する講演会を実施し、市民の防災知識の習得及び意識の高揚を図る。					
令和7年度の事業内容	市民を対象に防災啓発イベントを実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
防災啓発イベント実施回数	目標計画	1回	1回	1回	1回
	実績	3回	3回	2回	—

3. 分析・展開

判定	C A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。				
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 朝霞市民まつり「彩夏祭」時の防災展、朝霞市防災フェアを開催し、各種防災対策等の普及・啓発を行った。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 防災意識の醸成を目的とした普及・啓発を実施する。				

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-1-3-2		
事業名	防犯対策推進事業	担当課	危機管理室		
事業の目的と内容	犯罪発生の抑止力として地域の防犯意識を高め、地域コミュニティによる見守り活動を推進するため、防犯に関する知識や意識の普及・啓発を図る。				
令和7年度の事業目標	近年の犯罪被害や防犯対策など、防犯についての知識を習得し、自主防犯パトロール隊(朝霞わがまち防犯隊)の意識高揚を図るため、防犯に関する研修会を実施する。				
令和7年度の事業内容	自主防犯パトロール隊(朝霞わがまち防犯隊)を対象に防犯研修会を実施する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
防犯研修会実施回数	目標計画	1回	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回	—

3. 分析・展開

判定	C A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。				
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 埼玉県防犯・交通安全課の職員を講師に招き、防犯パトロール隊向けに講演会を行った。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 自主防犯パトロール隊(朝霞わがまち防犯隊)を対象に防犯研修会を実施する。				

1.事業概要		施策番号	3-1-3-3			
事業名	消費者教育・啓発事業		担当課	地域づくり支援課		
事業の目的と内容	消費者被害の未然防止を目的とした情報提供及び、講座等の学習機会を設けて啓発を図る。					
令和7年度の事業目標	消費者トラブルに遭わないよう、消費生活に関する正しい知識の習得のため、啓発活動を行う。また、消費者教室の実施により、消費者が学習する機会を設ける。					
令和7年度の事業内容	広報あさかや市ホームページなどに消費生活に関する情報の掲載を行うとともに消費生活パネル展等による啓発活動を行う。また、消費者が消費生活に関する知識、理解を深めて主体的かつ合理的な生活がおくれるよう消費者教室を開催する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
消費生活パネル展の実施回数	目標計画	7回	7回	7回	7回
	実績	7回	8回	7回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 市内公共施設での展示を行うとともに、通常の展示とは別に消費者教室でもパネル展示を実施した。 また、広報での啓発や民生委員に向けた講座を行うなど、機会をとらえて啓発を行っている。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 消費生活パネル展等を通じて消費者トラブルに関する情報提供や未然の防止に努めるとともに、引き続き若年者層向けの啓発を行う。	

1.事業概要		施策番号	3-1-3-4			
事業名	交通安全教育事業	担当課	まちづくり推進課			
事業の目的と内容	保育園児、幼稚園児及び新入学児童に交通安全教育を行うことにより、正しい交通ルールを学ぶとともに、交通安全に対する興味・関心を高め交通事故を防止する。					
令和7年度の事業目標	1園でも多く交通安全教室が開催できるよう朝霞警察署、小学校、幼稚園や保育園と調整していく。					
令和7年度の事業内容	園児には交通安全ビデオの上映と講話等を実施し、児童については、模擬交差点に信号機を設置し、道路の安全な横断方法を指導する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
交通安全教室開催回数	目標計画	保育園 30園 幼稚園 6園 小学校 10校 (年間各1回)	保育園 30園 幼稚園 6園 小学校 10校 (年間各1回)	保育園 32園 幼稚園 8園 小学校 10校 (年間各1回)	保育園 32園 幼稚園 8園 小学校 10校 (年間各1回)
	実績	保育園 35園 幼稚園 7園 小学校 10校 (年間各1回)	保育園 35園 幼稚園 7園 小学校 10校 (年間各1回)	保育園 35園 幼稚園 8園 小学校 10校 (年間各1回)	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 関係機関と連携を図り、概ね計画どおりに交通安全教室を開催することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、1園でも多く交通安全教室が開催できるよう、朝霞警察署、保育園及び幼稚園と調整を図り開催に努める。	

4) 朝霞の緑を守る環境学習の推進

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	1-1-1-3	3-1-4-1		
事業名	環境教育・環境学習の推進事業	担当課	環境推進課			
事業の目的と内容	小学生を対象とした環境美化ポスターの募集をはじめ、環境美化ポスター入賞者や美化活動功労者への表彰式の実施及び環境団体が実施する黒目川・川まつりの協力などを通じ、環境に対する意識の向上を図る。					
令和7年度の事業目標	環境美化ポスター募集や美化活動功労者の推薦、表彰式を実施し広報等により周知することで、広く環境美化に対する意識の向上を図る。また、黒目川・川まつりでは、自らの生活が環境に及ぼす影響等について学習する機会となるよう協力する。					
令和7年度の事業内容	小学生を対象とした環境美化ポスターを募集し、入賞者と美化活動功労者の表彰式を実施する。環境美化ポスター入選作品については市役所等にて掲示するほか市ホームページ等に掲載するとともに、ポスターを看板化して駅前や道路、河川敷等に掲示する。また、環境団体等のイベント周知などで協力し、さまざまな事業を契機に環境に対する意識の向上を図る。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
環境美化ポスター応募人数	目標計画	145人	200人	200人	200人
	実績	251人	272人	217人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 令和7年度も、多くの子どもたちに応募していただき、目標を上回ることができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も環境に関する意識の向上を図るため、環境美化ポスター入賞者や美化活動功労者への表彰を継続する。また、美化ポスターの入選作品は看板化して、市内に掲示することで、市民の環境に対する意識の更なる向上を図る。	

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-1-4-2			
事業名	ごみの減量・リサイクル推進啓発事業	担当課	資源リサイクル課			
事業の目的と内容	循環型社会の構築に向けて、市民、事業者、行政の三者の連携・協働により、ごみの排出量の抑制と、ごみの再資源化がさらに推進されたまちを目指す。					
令和7年度の事業目標	分別パンフレットの配布、広報、ホームページ等により、ごみの減量、リサイクル推進の発信に努める。					
令和7年度の事業内容	ごみの減量・リサイクルの推進のための、各種パンフレット等の作成、3R推進啓発事業やおとどけ講座を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
1人1日当たりの家庭ゴミの排出量	目標計画	483g	469g	462g	455g
	実績	532g	524g	518g	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 啓発活動の成果により、1人1日当たりのごみ量が前年度に比べ減少しているが、目標値には届かなかった。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続きごみの減量・リサイクル推進啓発事業を通じて減量・分別を進めていく。	

1.事業概要		施策番号	3-1-4-3			
事業名	景観まちづくり推進事業	担当課	まちづくり推進課			
事業の目的と内容	朝霞らしい魅力ある景観を市民・事業者・行政の協働でつくり、守ることで、だれもが住み続けたい、訪れたいと感じるまちを目指す。					
令和7年度の事業目標	景観づくり団体の認定、景観イベントの参加等を啓発するとともに、景観重要建造物、景観重要樹木および景観づくり重点地区の検討を進める。					
令和7年度の事業内容	引き続き景観アドバイザー及び景観形成補助金制度を運用しながら、景観づくり団体、景観重要建造物・景観重要樹木の公募を実施するとともに景観イベントを検討する。景観審議会を開催し、良好な景観づくりを推進する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
景観づくり団体の認定数	目標計画	4団体	3団体	3団体	3団体
	実績	3団体	0団体	4団体	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 景観づくり団体の認定については、継続的に情報発信し公募してきたこともあり、目標を上回る、4団体を認定することができた。また、景観づくり団体に景観形成補助金を交付し、朝霞の森にベンチを設置していただいたことで、良好な景観の形成につなげることができた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き景観アドバイザー及び景観形成補助金制度を運用しながら、景観づくり団体、景観重要建造物・景観重要樹木の公募を実施するとともに景観イベントを検討する。景観審議会を開催し、良好な景観づくりを推進する。				

1.事業概要		施策番号	2-1-6-11	3-1-4-4		
事業名	基地跡地(朝霞の森)暫定利用事業	担当課	みどり公園課			
事業の目的と内容	子どもからお年寄りまで幅広く、多くの市民が、基地跡地の暫定利用地「朝霞の森」を多目的広場として有効に活用できるよう、広場の施設管理を行い、市民への利用促進を図る。					
令和7年度の事業目標	市民が安全・快適に利用できるよう広場の施設管理を行う。プレーパークの認知度を高める。					
令和7年度の事業内容	樹木の管理、草地除草、清掃、ゴミ収集を行う。プレーパークの開催案内チラシを作成し、近隣の小学校に配布する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
プレーパークの開催回数	目標計画	63回	63回	63回	63回
	実績	63回	63回	63回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 プレーパークを開催することで、子ども同士やその親達の親睦、情報交換などの場として活発に利用されている。広場の樹木管理、除草、清掃を実施し、快適に利用できる環境づくりに努めた。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 朝霞の森運営会議を開くことで、参加者と意見交わし議論し取り入れて協働による施設設備管理により一層努める。	

		施策番号	2-1-6-13	3-1-4-5		
事業名	公園や広場の管理事業	担当課	みどり公園課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-1-4-6			
事業名	緑化推進事業	担当課	みどり公園課			
事業の目的と内容	貴重な緑の減少に歯止めをかけ、現存する緑を保全するとともに、市街地における緑化を推進する。特別緑地保全地区等の維持管理と民間所有緑地の管理に対する支援を行うとともに、生け垣設置の奨励など緑化の推進を図る。					
令和7年度の事業目標	従来の生け垣設置に加えて、新たに緑化フェンスの設置や多年生のつる性植物で既存フェンスを植栽する費用の一部を助成することにより、生け垣等設置を奨励し民有地の緑化を推進する。					
令和7年度の事業内容	広報への掲載やパンフレットの配布など、生け垣等設置奨励補助金制度の周知を図る。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
生け垣設置箇所	目標計画	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所
	実績	0箇所	1箇所	2箇所	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 生け垣等設置補助制度PRに向け、広報やホームページに掲載すると共に、パンフレット配布を行った。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も緑化推進、防災対策としてPR活動を行い、市民への周知、普及に努める。	

1.事業概要		施策番号	3-1-4-7		
事業名	花と緑のまちづくり事業	担当課	道路整備課		
事業の目的と内容	市民と行政が協力して、道路、駅前広場が美しく花と緑にあふれ、住民が快適に通行できるような道路環境づくりを推進する。				
令和7年度の事業目標	道路美化活動団体に植栽や掃除などの維持管理をお願いすることにより、コストを抑えて緑の空間を維持する。				
令和7年度の事業内容	既設植栽の充実、維持管理、花プランターの設置を行う。 道路美化活動団体の活動を支援するため、花の苗等必要な物資を支給する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
道路美化活動団体数	目標計画	25団体	26団体	27団体	28団体
	実績	24団体	23団体	22団体	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 令和7年度中に新たに創設された団体はなく、また1団体解散をした結果、目標数値に対して、実績が下回ったが、既存の美化団体の活動が適正な道路の維持管理に寄与した。	
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☒ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他(	

1.事業概要		施策番号	3-1-4-8			
事業名	黒目川桜並木管理事業 黒目川花まつり	担当課	道路整備課			
事業の目的と内容	市民の憩いの場である黒目川の桜並木を管理し、市の魅力のひとつである貴重な自然に親しむ機会を提供する。また、サクラの開花期にあわせて「黒目川花まつり」を支援し、芸術や地域文化などを紹介し、ふるさと意識の醸成に努める。					
令和7年度の事業目標	花見シーズンには提灯・仮設トイレなどを設置し、より楽しめる空間を提供する。					
令和7年度の事業内容	桜の季節に提灯などを設置し、遊歩道を適切に管理することで、快適な環境をつくる。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
黒目川花まつり来場者数	目標計画	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人
	実績	45,000人	25,000人	25,000人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 埼玉県管轄の河川工事の予定により開催場所の範囲が若干狭まったものの、参加者は前年度横ばいとなり、地域の交流の場を提供することができた。				
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☒ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() SNSなどを通して、黒目川の桜の魅力を発信していき、来場者数の増加を図りたい。				

(2) 健やかで心豊かな人生のための学び

1) 生涯スポーツ活動・健康づくりの推進

1.事業概要		施策番号	3-2-1-1		
事業名	障害者スポーツ・レクリエーション事業	担当課	障害福祉課		
事業の目的と内容	スポーツを通じて、障害のある人が楽しく社会参加できるようにする。				
令和7年度の事業目標	より多くのボランティアを募るとともに、関係団体との協働により、魅力あるイベントとするよう努める。				
令和7年度の事業内容	・ふれあいスポーツ大会を実施する。 ・障害者等を対象としたイベントを行った団体に対し、障害者レクリエーション事業補助金を交付する。 ・「あさかくろめ川ファームじゃがいも掘り体験会」、「陶芸体験教室・絵画体験教室」などについて、引き続き実施・協力する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
参加人数	目標計画	430人	430人	430人	430人
	実績	208人	195人	175人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 令和7年度は、「ふれあいスポーツ大会」、「障害者芸術体験教室」を開催、また「朝霞市障害者レクリエーション事業補助金」を2件交付することができ、より充実した事業内容となった。「あさかくろめ川ファームじゃがいも掘り体験会」については、主催者の都合により開催しないこととなった。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 令和7年度に実施した事業内容は令和8年度も引き続き実施および協力をしていく。また、より多くの方が安心して参加していただけるよう、参加団体の意見を踏まえて、事業内容を検討する。	

		施策番号	2-1-6-11	3-2-1-2	
事業名	健康増進センター管理運営事業	担当課	健康づくり課		

1.事業概要		施策番号	3-2-1-3			
事業名	健康教育事業	担当課	健康づくり課			
事業の目的と内容	市民が保健サービスを受けることができ、住み慣れた地域で健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、健康教育を行う。					
令和7年度の事業目標	健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、健康づくりをすすめる。					
令和7年度の事業内容	健康づくりをテーマとした講演会や講座、生活習慣病予防に関するセミナー、各種健康・栄養相談などを実施。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
健康教育実施人数	目標計画	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人
	実績	1,514人	1,809人	1,836人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 前年度からの骨密度の個別通知実施により、セミナー参加者が増加。また、運動、栄養、休養、アルコールなどの身近な健康に関するセミナーを実施したほか、健(検)診の待ち時間などを利用した健康教育事業を実施し、市民に効果的に健康教育を実施することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も各種健(検)診と組み合わせるなど市民が健康教育を受けやすい環境整備に努め、質の高い健康教育事業を実施する。	

1.事業概要		施策番号	3-2-1-4		
事業名	スポーツ振興事業	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	スポーツ推進審議会やスポーツ推進委員会議の開催を通じ、市民ニーズを踏まえた事業を展開することにより、誰でも、いつでも、どこでも楽しめる生涯スポーツ社会の実現を図る。				
令和7年度の事業目標	スポーツ振興に関し、朝霞市スポーツ推進審議会及び朝霞市スポーツ推進委員会議の開催、スポーツ教室やスポーツ大会等の開催や学校体育施設開放事業に取り組む。				
令和7年度の事業内容	スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員会議の開催、学校開放調整会議等によるスポーツ施設の確保、その他スポーツ教室、スポーツ大会、広報活動及び市民スポーツ普及推進のための補助的事業を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
スポーツ教室・大会等の開催	目標計画	10回	10回	10回	10回
	実績	16回	13回	12回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 年度当初に企画したスポーツ事業を概ね実施することができた。ビームライフル・ビームピストルやボッチャなど、様々な世代の多くの方に参加いただける種目を選定し、開催することで、市民スポーツの振興を図ることができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 多くの市民の方が事業を通じスポーツに親しむことで、健康的な生活を送ることができるよう、引き続きスポーツ事業を実施していく。	

		施策番号	3-2-1-5	4-2-2-6	
事業名	スポーツ団体等補助事業	担当課	生涯学習・スポーツ課		

2) 芸術と文化の香りあふれるまちづくりに向けた学習の支援

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-2-2-1			
事業名	コミュニティ推進事業		担当課	地域づくり支援課		
事業の目的と内容	市民と共に朝霞市民まつり「彩夏祭」を開催・運営することにより、ふるさと意識の醸成と市民が誇る地域文化としての深化を促す。					
令和7年度の事業目標	より多くの方に市民まつりを楽しんでいただけるよう、イベントの充実を図る。					
令和7年度の事業内容	打ち上げ花火や関八州よさこいフェスタをはじめとする多くのイベントを実施する。 既に参加している市内小中学校への補助金を交付するとともに、新規に市内小学校1校に対して、次年度の彩夏祭へ出場するための準備に対して補助金を交付する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
朝霞市民まつり「彩夏祭」来場者数	目標計画	710,000人	710,000人	720,000人	720,000人
	実績	990,000人	730,000人	710,000人	—
補助団体数	目標計画	10団体	10団体	10団体	10団体
	実績	6団体	5団体	6団体	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・彩夏祭の来場者数については、わずかに目標値に届かなかった。一部のまつり会場に改善の余地があり、来場者のニーズを踏まえた企画内容の充実や出展団体の拡充により、まつりの魅力向上を図ることで来場者数の増加に繋げたい。 ・朝霞市鳴子踊り参加促進支援事業補助金の補助団体数について、目標値に達することはできなかったが、6団	
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() ・彩夏祭の来場者数については、引き続き、朝霞市民まつり実行委員会に補助金を交付することで支援を行うほか、市広報誌やSNSといった媒体を用いてPR活動を行い、増加を図る。 ・朝霞市鳴子踊り参加促進支援事業補助金の補助団体数について、市内小中学校や鳴子関連団体とより一層連携を図り、また、ニーズを把握したうえで制度の見直しを含めた改善を検討していく。	

		施策番号	3-1-2-1	3-2-2-2	
事業名	多文化共生推進事業	担当課	地域づくり支援課		

1.事業概要		施策番号	3-2-2-3			
事業名	音楽活動事業	担当課	教育指導課			
事業の 目的と内容	音楽を愛する心情、人間性豊かな児童生徒や市民を育成する。					
令和7年度の 事業目標	音楽を愛する心情や、豊かな人間性が児童生徒・市民に育成されている。					
令和7年度の 事業内容	朝霞市小・中学校音楽鑑賞会、朝霞市吹奏楽・器楽フェスティバルを開催する。 ミュージカル「こころの劇場」を開催する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
吹奏楽・器楽フェスティバルの入場者数	目標計画	680人	680人	680人	680人
	実績	589人	583人	540人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・市内小学校6年生を対象とした「こころの劇場」については、音楽科の学習と併せて行うことにより、子供たちの興味や関心も大きく、意欲的に鑑賞することができた。よって、豊かな人間性の醸成を育む活動とすることができた。(吹奏楽・器楽フェスティバルについては、施策番号4-1-1-3により示している。)				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他(				

1.事業概要		施策番号	3-2-2-4			
事業名	図工・美術活動事業	担当課	教育指導課			
事業の目的と内容	市内の小・中学生が図工・美術の授業で制作した作品の中から、出品作品を選んで展示し、日頃の教育の成果を保護者や地域の方々に見ていただく機会とする。					
令和7年度の事業目標	各学校が学級数に応じて出品し、選ばれた作品について児童生徒・保護者や地域の方に参観していただくことで、評価をいただくよい機会とする。また、児童生徒にとっても出品を通じて技術および意欲の向上が図られる。					
令和7年度の事業内容	「朝霞市小・中学校図工美術展」の開催（土曜日・日曜日の2日間開催）					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
小・中学校図工美術展来場者数	目標計画	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人
	実績	2,368人	2,403人	2,369人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・平面作品346品、立体作品346品の出品数があった。また、1/10(土)は1,224名、1/11(日)は1,145名という非常に多くの来場者があり、日頃の教育の成果を保護者や地域の方々に見ていただく良い機会となった。また、児童生徒の意欲向上にもつながった。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() ・これまでの開催実績を踏まえ、今後も1月第2週末開催とする。また、美術展に向けての各学校の準備に係る負担も考慮し、土・日曜日の2日間の開催とする。				

1.事業概要		施策番号	3-2-2-5		
事業名	芸術文化推進事業	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	暮らしにゆとりと潤いをもたらす、豊かな人間関係と創造性をもたらす芸術文化への理解や関心の促進、芸術文化に対する子どもの感性の向上や、多様な芸術文化に触れる機会の提供をおこなう。また、市民や市民団体が主体的に芸術文化に参画し、芸術文化を生かしたイベントや活動を支援し、市民の交流を深める。				
令和7年度の事業目標	芸術文化への市民の理解や関心を促進し、子どもの感性の向上を図り、伝統文化を伝える。				
令和7年度の事業内容	朝霞市文化祭等文化事業の開催、朝霞市文化協会の活動の支援をおこなう。また、朝霞市文化協会や市内の優れた芸術活動団体等の協力を得ながら、芸術文化の体験事業を実施する。引き続き青少年や子どもが参加できる事業も実施し、伝統文化の継承に努めるとともに、幅広い世代が交流し、芸術文化を身近に感じ親しみ、学ぶ機会の提供に努め、芸術文化の振興を図る。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
芸術文化展、芸能まつり、文化祭の入場者数	目標計画	26,000人	26,000人	26,000人	26,000人
	実績	14,215人	13,872人	9,051人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 芸術文化各種事業を開催した。中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事に伴い事業の一部を中止とし、指標数値には大きく届かないが、多くの市民に参加、鑑賞いただき、多様な芸術文化に親しむことの大切さを伝える機会を提供することができた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、芸術文化事業を開催し、多くの方に参画・参加いただくことで、活動を通して楽しく交流し、芸術・伝統文化を身近なものとしていただけるよう努める。				

1.事業概要		施策番号	3-2-2-6			
事業名	文化財保護普及事業	担当課	文化財課			
事業の目的と内容	市内の文化財について啓発・公開を行うとともに、文化財保護関係団体への補助金交付等を行い、文化財保護意識の醸成を図る。					
令和7年度の事業目標	指定文化財に関する情報提供、文化財保護関係団体への補助金の交付などを通じて、文化財保護意識の醸成及び啓発に努めるとともに、指定文化財を適切に管理し、文化財保護の充実を図る。					
令和7年度の事業内容	・指定文化財について、朝霞市ホームページやフェイスブック等の媒体を通じて情報提供する。 ・市内文化財の保護・活用に必要な調査及び資料の収集を行う。 ・文化財保護関係団体へ補助金を交付する。 ・市所管の指定文化財の管理について、文化財保護とともに見学者への配慮として環境整備を図る。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
文化財の活用事業開催回数	目標計画	15回	15回	15回	15回
	実績	14回	13回	14回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 重要文化財旧高橋家住宅を活用して、各種事業を実施したことで、文化財の活用とともに文化財保護意識の啓発をすることができた。溝沼獅子舞・根岸野謡といった文化財関係団体の公演に際して、広報などの部分で協力することで活動支援することができた。市所管の指定文化財については、管理業務や樹木剪定等を業務委託により適切に管理し、見学者や近隣住民に支障がないよう配慮した。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き文化財関連情報を様々な媒体を活用して発信することで普及啓発を図るとともに、補助金の交付等を通じて文化財関連団体の活動支援を図る。また、市所管の指定文化財を適切に環境整備し、文化財保護とともに見学者等への配慮を図る。				

(3) ライフステージに応じた学び

1) 家庭教育の充実

1.事業概要		施策番号	2-1-6-9	3-3-1-1		
事業名	子育て支援センター事業		担当課	こども未来課		
事業の目的と内容	子育て中の親子の交流の場として、相談室、プレイルームを備え、子育てに関する相談や情報提供を行う。					
令和7年度の事業目標	子育て中の親子が、交流することにより親の不安が解消し、安心して子育てができるように子育てに関する相談や事業を実施する。					
令和7年度の事業内容	子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談、指導、各種事業（パネルシアター・絵本の日、身体計測、誕生会、子育て講座等）を実施する。 ※公設公営2か所、公設民営2か所、民設民営4か所					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用者数	目標計画	9,350人	12,000人	12,000人	12,000人
	実績	7,460人	7,753人	11,236人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 目標計画に掲げた数値に近い実績をあげることができた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 今後も子育て支援センターで実施するイベントや行事の周知を行うなど、子育て世帯へ支援センターの情報を発信することで目標計画に掲げた利用者数が達成できるよう事業を推進する。				

1.事業概要		施策番号	3-3-1-2			
事業名	母子健康教育事業	担当課	こども家庭課			
事業の 目的と内容	妊娠、出産、育児に関する知識や技術を身につけ、地域で健やかな育児ができることを目的とし、事業の対象である母子に対し、マタニティ教室や離乳食スタート・ステップアップ教室等の各種事業を実施する。					
令和7年度の 事業目標	地域に親族・友人知人の少ない当市の特性からも、妊娠期から子育て支援に関する知識や技術の普及を図っていく。					
令和7年度の 事業内容	マタニティ教室や離乳食スタート・ステップアップ教室等の各種事業を実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
マタニティ教室参加者数	目標計画	1,500人	860人	860人	860人
	実績	718人	822人	891人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 仕事を持つ方が多いことから、土日開催とし、多くが夫婦そろっての参加となっている。出産・育児に対する意識向上や母子保健に関する知識の普及につながるとともに、夫婦が協働して出産・育児をすることへの準備につながる機会となっていると思われる。地域でつながる機会にもなっており、引き続き市民のニーズに合った教室としていく。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 教室の内容は現状を維持するが、申し込み方法に子育て支援アプリぼるんを活用するなど、利便性の向上を図っていく。				

1.事業概要		施策番号	3-3-1-3	4-2-1-4	4-2-2-5	
事業名	家庭教育推進事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	親や保護者が家庭教育について学ぶ機会や、保護者同士が交流したり情報交換をしたり相談し合う活動を支援する。また、家庭教育の大切さを啓発する。					
令和7年度の事業目標	親や保護者が、地域や地域の仲間とともに子育てに関する様々な学びを行い、保護者同士が交流したり情報交換をしたり相談し合う家庭教育学級活動をさまざまな形で支援する。また、講演会や子育て講座、啓発冊子の作成・配布等を実施し、家庭教育に対する啓発を行う。					
令和7年度の事業内容	市内の小・中学校PTA等や子育てサークル等の市民団体が開催する家庭教育学級活動に補助金を給付するとともに、運営に関する相談や講師情報の提供をおこなうことで活動を支援する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
家庭教育学級数	目標計画	22団体	19団体	19団体	19団体
	実績	8団体	8団体	8団体	—
家庭教育学級事業延参加者数	目標計画	1,000人	1,100人	1,200人	1,300人
	実績	382人	433人	752人	—

2.実施結果(指標)

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 幼稚園や小中学校のPTA等での家庭教育学級の開設数が改善しない。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 講座への参加をZOOM等によるものも可能とした、ハイブリット方式を採用するなど、親や保護者が家庭教育について学ぶ機会や、保護者同士が交流したり情報交換をしたり相談し合う活動を通して、家庭での子育てについて意識を高め、家庭教育の重要性を認識していただけるよう努めます。	

2) 青少年の育成

		施策番号	2-1-6-8	3-3-2-1		
事業名	児童館管理運営事業	担当課	こども未来課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-3-2-2		
事業名	青少年健全育成事業	担当課	こども未来課		
事業の目的と内容	青少年健全育成への市民意識の高揚を促すため、関係機関や学校・市民と連携し、市民総ぐるみで啓発活動を実施する。				
令和7年度の事業目標	各団体と協働により青少年健全育成活動が推進され、青少年が健全に育成されている。				
令和7年度の事業内容	青少年健全育成活動団体に補助金を交付し活動を支援する。青少年健全育成の集い、ふれあい体験事業、啓発キャンペーン、ふれあい標語、青少年を守り育成する家等の啓発活動事業を実施する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
青少年健全育成啓発活動事業延べ参加者数	目標計画	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人
	実績	6,256人	5,093人	5,188人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 事業目標のとおり、朝霞市青少年育成市民会議が主体となり、学校及び地域等と連携を図り各種事業を実施することができた。	
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他(	

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-3-2-3			
事業名	ふれあい推進事業	担当課	教育指導課			
事業の目的と内容	地域における奉仕活動・体験活動・防犯活動等の取組を推進することにより、心豊かな青少年を育成するとともに、地域で子どもを育てる意識を醸成し、地域教育力の活性化を図る。					
令和7年度の事業目標	中学校区単位で小・中学生、保護者、地域の方々が、地域の奉仕活動・体験活動等を実施することにより、心豊かな小・中学生が育成される。また、地域の児童生徒を育てる力が高まっている。					
令和7年度の事業内容	朝霞市ふれあい推進事業推進委員会の設置と活動。 市内各中学校区における主催事業の実施。（フェスティバル、あいさつ運動、参加団体による演舞など）					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
ふれあい推進事業参加者数	目標計画	7,500人	7,500人	7,500人	7,500人
	実績	7,817人	6,817人	6,107人	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・朝霞第一～五中学校区に分かれて、各地域の実態に応じた催しを実施した。学校と地域がともに取り組み、事業の内容について各種工夫を凝らし、地域ごとの魅力が出ていた。地域ぐるみのあいさつ運動や出店により、地域住民がふれあい、明るい声が響く一日となった。地域の方や中学生の参加を更に増やしていきたい。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() ・今後の事業の在り方について、検討を進めている。				

3) 高齢社会に対応した学習活動の推進

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-3-3-1	3-3-4-1		
事業名	生きがいづくり活動支援事業	担当課	高齢者・地域福祉課			
事業の目的と内容	高齢者の方々が交流し、ふれあうことができるように助成や環境整備を図る。 集いの場や交流の場を提供するとともに高齢者団体等への補助金を交付するなど、高齢者の生活が健全で豊かなものとなるようサポートする。					
令和7年度の事業目標	高齢者の方々が交流し、ふれあうことができるように助成や環境整備を図る。					
令和7年度の事業内容	高齢者福祉の増進を目的とした活動団体に集いや交流の場を提供し、また、高齢者が持つ経験や知識を生かしたボランティア活動等を実施している老人クラブに補助金を交付する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
老人クラブ数(団体)	目標計画	25団体	25団体	25団体	25団体
	実績	21団体	20団体	18団体	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 シニアスポーツフェスティバルを開催したところ、多くの方に参加していただくことができた。また、シニアクラブ連 合会によるスポーツ大会やカラオケ大会等も予定通り開催された。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他(				

		施策番号	2-1-6-10	3-3-3-2	3-3-4-2	
事業名	老人福祉センター管理運営事業	担当課	高齢者・地域福祉課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-3-3-3			
事業名	地域介護予防活動支援事業	担当課	健康づくり課			
事業の 目的と内容	老化などにより心身機能が低下し、介護保険の要支援・要介護に該当しない人を対象に、閉じこもりなどによる心身機能の低下を予防することで、日常生活の自立と社会参加を図り、介護予防を推進する。					
令和7年度の 事業目標	地域の高齢者を中心に構成され、介護予防を目的とする活動団体の活動継続を支援する。					
令和7年度の 事業内容	介護予防活動に関する意識啓発を目的に、専門職である保健師や看護師等を活動団体に派遣し、健康維持についての助言や講話を行う。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
活動参加者数	目標計画	50人	50人	50人	50人
	実績	98人	129人	158人	—

3. 分析・展開

判定	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。		
達成度 (事業の目標 は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 計画の目標値を上回る参加者数となり、目標を達成できた。			
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 介護予防活動を行う団体に対し、医療や介護に携わる専門職を講師として派遣することにより、団体の活動を支援する。			

1.事業概要		施策番号	3-3-3-4			
事業名	生活支援体制整備事業	担当課	地域共生社会課			
事業の目的と内容	地域における生活支援体制の構築を目指し、高齢者の多様化するニーズに応じ、住民参加をすすめ、助け合い等による生活支援体制構築に向け、地域資源の発掘・育成、協議体の開催、生活支援コーディネーターを配置する。					
令和7年度の事業目標	地域の特性に則し、高齢者が安心して生活できるような支援の仕組みづくりに向け、地域における生活支援体制の構築を目指す。					
令和7年度の事業内容	生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が中心となり、住民が希望する取り組みと、サロンなどの通いの場や住民同士の交流の場などの地域資源とをマッチングする。 また、住民の協同により、地域の課題解決を推進するため、定期的に協議体を開催する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
協議体の開催回数	目標計画	66回	72回	72回	72回
	実績	60回	60回	55回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 交流の場としてのサロンを開催する他、スマホ教室や無人レジ体験会など、高齢者のニーズに合わせた内容で活動を行うことができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 地域の特性に則し、高齢者が安心して生活できるような支援の仕組みづくりに向け、生活支援コーディネーターと協力しながら、地域における生活支援体制の構築を目指す。	

4) 多世代にわたる交流・学習機会の提供

		施策番号	3-3-3-1	3-3-4-1		
事業名	生きがいづくり活動支援事業	担当課	地域共生社会課			

		施策番号	2-1-6-10	3-3-3-2	3-3-4-2	
事業名	老人福祉センター管理運営事業	担当課	地域共生社会課			

5) 学校教育と社会教育の連携

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	2-1-5-2	3-3-5-1		
事業名	放課後子ども教室事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	放課後や週末等に小学校の空き教室や特別教室等を活用し、安心・安全な子どもの活動拠点(居場所)を設けるとともに、地域の方々の参画も得ながら、学校では学ばない多様な学習活動を提供し、子どもが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。					
令和7年度の事業目標	土曜日に小学校の空き教室や特別教室等を活用し、学校では学ばない多様な学習活動を提供する。また、学区や学年を越えた子どもたちの交流を促し、地域の方々の参画も得ながら、安心・安全な子どもの活動拠点(居場所)を設け、子どもが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。					
令和7年度の事業内容	市内の小学校の空き教室や特別教室を活用して、学校では学べない多様な学習活動を提供する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
実施校数	目標計画	6校	6校	7校	8校
	実績	6校	6校	8校	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 児童数の増加などにより、空き教室等が減少する中で、夏季休暇期間中に延べ30回、土曜日に延べ42回の放課後子ども教室を開催することができた。また、居場所提供型の放課後子ども教室を2校開始することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 夏季休暇期間中と土曜日のプログラム提供型の事業を継続するとともに、平日の放課後の放課後子ども教室についても、空き教室の状況等を学校等に確認しながら実施していく。	

		施策番号	2-1-5-1	3-3-5-2		
事業名	学校体育施設開放事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

6) キャリアアップやスキルアップに関する学習の支援

1.事業概要		施策番号	3-3-6-1		
事業名	起業家育成支援事業	担当課	産業振興課		
事業の目的と内容	起業・創業を考えている方や開業間もない方をトータルサポートすることにより、本市の産業活性化を促し、創業の促進を図る。				
令和7年度の事業目標	起業・創業を考えている方や開業間もない方に対し、情報提供や資金面の支援を行う。				
令和7年度の事業内容	起業に必要な基礎的な知識等の習熟のため「起業家育成相談」や「起業家育成支援セミナー」を実施するとともに、金融機関と連携し、起業に際し必要な資金の貸付事業「起業家育成資金融資」を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
起業家育成支援セミナー参加者数	目標計画	60人	60人	60人	60人
	実績	51人	76人	65人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 起業家育成支援セミナーについては、昨年に引き続き日本政策金融公庫との共催、市主催セミナーを3回行った。また近隣3市との合同セミナーを開催することでより多くの起業支援を実施した結果、参加人数が目標値を達成することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 市内で起業する方々に対する補助金制度や相談事業、セミナーなどの各種支援策に関する情報が、必要な方へ行き届くよう情報を整理しつつ、周知に努めていく。また、オンラインセミナーなどにより参加しやすい開催方法が定着しつつあるため、引き続き取り組んでいく。	

1.事業概要		施策番号	3-3-6-2		
事業名	就労支援事業	担当課	産業振興課		
事業の目的と内容	就労希望者に対し、就労に必要な情報提供等の支援を行うことにより、雇用の促進を図る。				
令和7年度の事業目標	就労希望者に対し、関係機関と連携したセミナーや個別相談会等を開催し、雇用の促進を図る。				
令和7年度の事業内容	面接のポイントや応募書類の書き方など就労に役立つ知識を習得するための「就職支援セミナー」や自己分析や適性診断など就職全般に係る個別相談を受け付ける「就職支援相談」を実施する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
就職支援セミナー参加者数	目標計画	300人	300人	300人	300人
	実績	465人	428人	408人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 昨年度に引き続き、市主催および他市、ハローワークとの共催セミナーを開催し、目標値を達成することができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 就職支援相談はハローワーク朝霞移転等による相談件数の減少に伴い、令和7年度で事業廃止とした。今後は市主催セミナー及び他市や関係機関とのセミナーの共催を継続して行う。市主催のセミナーについては一部業種に絞ったテーマでの開催を検討する。	

1.事業概要		施策番号	3-3-6-3		
事業名	農業振興支援事業	担当課	産業振興課		
事業の目的と内容	農業の収益性を高める取り組みや担い手の育成を支援するとともに、農業経営の施策を計画的に進め、都市農業の利点を最大限に発揮し、地産地消等を推進する。農業体験事業等を通じて、市民と農家の交流により地域農業に対する相互理解を深める。				
令和7年度の事業目標	・担い手の育成を支援するため農業後継者育成視察研修会及び女性農業後継者育成研修会を実施する。(各1回) ・市民と農家の交流を深めるため農業体験を実施する。(4回)				
令和7年度の事業内容	農業体験(じゃがいも掘り、さつまいも掘り、にんじん掘り、冬野菜収穫)各1回を実施する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
農業体験開催回数	目標計画	5回	5回	4回	4回
	実績	5回	4回	3回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 にんじん掘りは、猛暑の影響で市内全域で生育不良となったため中止した。そのほかの農業体験は、定員を上回る申し込みがあり、また、参加者から満足したとの感想を多くいただいたことから、十分に成果があがっていると考えられる。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き市民と農家の交流を図り、地域農業に対する相互理解を深めるため、農業体験を実施していく。	

1.事業概要		施策番号	3-3-6-4		
事業名	ビジネス支援サービス事業	担当課	図書館		
事業の目的と内容	情報拠点である図書館を活用して、企業や就職等の支援を行うため、ビジネス関連図書の提供に努める。				
令和7年度の事業目標	ビジネス関連図書の充実を図る。				
令和7年度の事業内容	ビジネス関連図書の充実及び、ビジネス情報の提供を行う。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
ビジネス支援資料貸出冊数	目標計画	6,100冊	6,200冊	6,300冊	6,400冊
	実績	5,396冊	5,820冊	6,169冊	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標 は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 目標の貸出冊数には達しなかったものの、ビジネス関連図書の購入、充実を図るとともに、新着図書リストを毎月ホームページに掲載するなど情報提供をい、また、令和6年度に導入したFreeWi-Fiによって、利用者がデジタル情報を活用することができ、館内利用や情報の発信・提供をすることができた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、ビジネス関連図書の充実を図り、ホームページ等を通じて情報提供に務めて行く。				

4 市民の学びの“主体性”を支えます！

(1) 学習活動の評価

1) 学習活動の成果の発表とその機会の充実

		施策番号	1-3-1-3	4-1-1-1	4-2-1-2	4-2-2-3
事業名	生涯学習ボランティア事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	4-1-1-2		
事業名	文化祭関連事業	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	市民の芸術文化活動を促進するとともに、芸術文化に関心を持つ市民を増やすため、市民による芸術文化活動の成果を発表する場と機会を設け、より身近で優れた芸術文化に親む機会を提供する。また、併せて各種団体やグループの交流を図り、市民の自主的な活動の充実と活性化を図る。				
令和7年度の事業目標	市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会を設け、市民や地域における芸術文化の推進を図る。				
令和7年度の事業内容	朝霞市文化祭等文化事業の開催や朝霞市文化協会の活動の支援をおこなう。開催に当たっては、市民の一般参加募集を行う。また、併せて朝霞市文化協会や市内の芸術文化活動団体の協力を得ながら、芸術文化の体験事業も実施する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
芸術文化展、芸能まつり、文化祭の入場者数	目標計画	26,000人	26,000人	26,000人	26,000人
	実績	14,215人	13,872人	9,051人	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明:指標の達成状況及び改善等〉 中央公民館・コミュニティセンター長寿化改修工事に伴い文化祭の展示部門が中止となったため入場者数は減少したが、朝霞市文化協会の協力を得ながら文化事業を開催し、活動の成果の発表の場を設けることができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 文化祭や芸能まつり等が、活動を継続していく目標やモチベーションとなり、成果や質の向上、活動の充実につながり、参加者・入場者が増えていくよう支援していく。	

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	4-1-1-3			
事業名	吹奏楽・器楽フェスティバル	担当課	教育指導課			
事業の 目的と内容	音楽を愛する心情、人間性豊かな児童生徒や市民を育成する。					
令和7年度の 事業目標	朝霞市在住の小学生から社会人に音楽を愛する心情や豊かな人間性が育成されている。					
令和7年度の 事業内容	朝霞市吹奏楽・器楽フェスティバルを実施する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
吹奏楽・器楽フェスティバルの入場者数	目標計画	680人	680人	680人	680人
	実績	589人	583人	540人	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 ・例年出演していた市内中学校が、学校行事や感染症の流行と重なってしまい不参加となったため、入場者数は減となっているが、市内高等学校や大学、県南西部消防隊音楽隊など、地域とのつながりを密にし、合同演奏を実施するなど、ともに音楽を愛好する心情を育むことができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() ・今年度の実施状況を踏まえて、日程調整や各団体との連絡・調整を行い、より内容の充実した催しとしていく。また、演奏者だけでなく、観客を巻き込めるような工夫を盛り込むなど、より一体感を感じながら音楽を楽しむことができるよう、実行委員会が主体となって今年度も推進していく。	

(2) 人材・団体の育成

1) 指導者の育成

		施策番号	1-1-1-2	1-2-1-1	1-3-1-1	4-2-1-1	4-2-2-1
事業名	市民活動支援ステーション運営事業	担当課	地域づくり支援課				

		施策番号	1-3-1-3	4-1-1-1	4-2-1-2	4-2-2-3
事業名	生涯学習ボランティア事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

		施策番号	1-3-1-5	4-2-1-3	4-2-2-2	
事業名	市民企画講座	担当課	生涯学習・スポーツ課			

		施策番号	3-3-1-3	4-2-1-4	4-2-2-5	
事業名	家庭教育推進事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

2) 市民主体の学習を支援

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	1-1-1-2	1-2-1-1	1-3-1-1	4-2-1-1	4-2-2-1
事業名	市民活動支援ステーション運営事業		担当課	地域づくり支援課			
事業の 目的と内容	市民活動に関する情報の収集や発信、活動の相談や団体同士の交流促進等の場としての施設を活用するとともに、市民活動の発展や参加促進を目的とした事業を実施する。						
令和7年度の 事業目標	市民活動の啓発や参加促進を目的とした事業を実施するとともに、団体への支援として、NPO法人の設立や事業実施の経費を一部助成する。また、ボランティアやイベント等の市民活動に関する情報の掲示・提供、市民活動団体の活動内容等を収集したガイドブックの作成等を行う。						
令和7年度の 事業内容	・NPO法人等の市民活動団体の情報収集、提供、相談業務 ・市民活動団体支援補助金交付 ・地域活動参加支援事業実施 ・市民活動の団体情報等を取りまとめたガイドブック発行 ・市民活動パネル展の実施 ・市民活動団体のイベント等の情報をメールマガジンとして発行(毎月) ・朝霞市イベントボランティア登録事業 ・他市の市民活動団体等との交流事業						

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
主たる事務所が市内にあるNPO法人数	目標計画	56団体	60団体	60団体	60団体
	実績	47団体	48団体	48団体	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度(事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 指標のNPO法人数については、目標に至らなかったが、団体の事業に係る補助金の交付や個別相談会の開催により団体運営の支援に努めた。また、地域活動への参加促進に繋がるセミナーの開催や、朝霞地区4市の団体との交流会の実施などにより、活動の活発化、人材の育成、活動範囲の拡大等に関する支援を行うことができた。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 関係機関や他市の市民活動担当と連携を図りながら、活動への参加の機会の提供や情報発信の強化、団体同士の連携等が図れる事業を実施していく。また、団体が抱える課題の解決に向けて、引き続き、支援する側の職員の資質向上に努めていく。	

1.事業概要		施策番号	1-3-1-5	4-2-1-3	4-2-2-2
事業名	市民企画講座	担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	市民の創意による地域の実情に即した学習機会の形成を促すとともに、市と市民との協働による生涯学習活動の推進を図るために、市民団体が自ら企画実施する学習講座に要する経費の一部を市が補助する。				
令和7年度の事業目標	市民の創意による地域の実情に即した学習機会の形成を促し、市と市民との協働による生涯学習活動の推進を図る。				
令和7年度の事業内容	市民団体が自ら企画実施する学習講座に要する経費の一部を市が補助し、活動を支援する。				

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
市民企画講座事業参加団体数	目標計画	10団体	10団体	10団体	10団体
	実績	9団体	8団体	4団体	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ■ その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等> 指標の目標値には達していないが、すべての参加団体に対し活動の支援を行った。	
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 一層の事業周知に努め、市民創意の学習機会の充実を図っていく。	

		施策番号	1-3-1-3	4-1-1-1	4-2-1-2	4-2-2-3
事業名	生涯学習ボランティア事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	1-3-1-4	4-2-2-4		
事業名	あさか学習おとどけ講座	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	市民の主体的な学習機会の拡充と市政への理解を深めることによって、生涯学習の推進と市民協働の市政の進展に寄与すること目的とする。市の職員等が講師となって、主に市の施策等の説明を行う行政メニューと企業等(事業所)の社員が講師となって、その専門的知識・技能資格を活かして講義等を行う企業メニューを登録し、市民の求めに応じて講座を実施する。					
令和7年度の事業目標	生涯学習の推進と市民協働の進展に寄与するため、おとどけ講座の活用を推進する。					
令和7年度の事業内容	おとどけ講座の講座内容の充実を図り、おとどけ講座の活用を促進する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
講座利用件数	目標計画	35件	35件	35件	35件
	実績	13件	13件	18件	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度(事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明:指標の達成状況及び改善等〉 指標の目標値には達していないが、利用件数、受講者数が増加している。学習の場が設けやすくなり、市民の学習意欲が高まっていると思われる。	
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 多くの方にご利用いただけるよう、事業の周知に努めるとともに、講座メニューの充実を図っていく。	

		施策番号	3-3-1-3	4-2-1-4	4-2-2-5	
事業名	家庭教育推進事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			

1.事業概要

1.事業概要		施策番号	3-2-1-5	4-2-2-6		
事業名	スポーツ団体等補助事業	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	朝霞市体育協会、市民総合スポーツ大会実行委員会及び青少年に対しスポーツ活動を行っている団体へ補助金を交付し団体活動の推進を図る。					
令和7年度の事業目標	青少年の健全育成やスポーツ団体の活動の活性化を支援し、補助金を交付することによりスポーツの振興及び普及が図られるよう取り組む。					
令和7年度の事業内容	朝霞市スポーツ協会、市民総合スポーツ大会実行委員会及び青少年スポーツ活動の活性化を支援するため補助金を交付する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
市民総合スポーツ大会種目別大会	目標計画	32種	32種	32種	32種
	実績	21種	23種	24種	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ■ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 種目別大会やスポーツ協会、スポーツ団体等のスポーツ活動団体に対し補助金交付等の支援を行うことで、活動の支援を行うことができた。	
今後の展開	■ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() スポーツ活動の活性化に向け、各種団体の活動支援を行うため、引き続き補助金の適正な交付に努めていく。	

5 市民とともに学びを“協働”で推進します！

(1) 生涯学習推進体制の充実

1) 推進体制の充実

1.事業概要		施策番号	5-1-1-1			
事業名	社会教育委員会議		担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	地域において社会教育に優れた知見を有する人々の知識を社会教育行政に反映させるため、学校教育関係者や社会教育関係者及び学識経験者等により構成された社会教育委員による会議を開催する。					
令和7年度の事業目標	社会教育委員から助言を受け社会教育行政を推進する。					
令和7年度の事業内容	社会教育委員会議を開催し、委員からの助言を活かし朝霞市の生涯学習を推進する。また、勉強会や先進地の視察研修会を行い、今後の当市の生涯学習の推進について建議をいただく。					

2.実施結果(指標)					
指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
社会教育委員会議開催成果	目標計画	委員からの助言を活かし後期生涯学習計画の策定を進める。	後期生涯学習計画の進捗確認と社会教育行政への助言等を生涯学習推進に活かす	第3次生涯学習計画の成果及び進捗状況を確認するほか、委員からの助言等に基づき、第4次生涯学習計画の策定準備に取り組む	第3次生涯学習計画の成果及び進捗状況を確認するほか、委員からの助言等に基づき、第4次生涯学習計画の策定を行う
	実績	生涯学習計画(後期期間)の進捗状況や生涯学習施策について、御意見やアドバイスをいただき、生涯学習の推進に努めた	生涯学習計画(後期期間)の進捗状況や生涯学習施策について、御意見やアドバイスをいただき、生涯学習の推進に努めた	第3次生涯学習計画(後期期間)の進捗状況や生涯学習施策、また第4次生涯学習計画の策定について、御意見やアドバイスをいただき、生涯学習の推進に努めた	—

3. 分析・展開	
判定	B A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。
達成度(事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 事業評価について建議いただき、計画の進捗管理等について、ご意見等いただいた。また、生涯学習部各課の事業報告と第4次生涯学習計画の策定についてお諮りし、御意見やアドバイスをいただくことで、本市の生涯学習の方向性が示されることとなった。
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き、生涯学習施策について建議いただき、生涯学習の推進に努める。

1.事業概要		施策番号	5-1-1-2			
事業名	スポーツ推進審議会	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	スポーツ推進審議会などでの意見を踏まえ、さらに利用しやすい施設の管理、運営及び、市民のスポーツ活動の推進に努める。					
令和7年度の事業目標	市民のスポーツ活動の推進のため、委員からより多くの意見をいただき、スポーツの推進に努める。					
令和7年度の事業内容	スポーツ推進審議会を開催する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
委員からのスポーツ行政に関する意見	目標計画	10件	10件	10件	10件
	実績	10件	9件	9件	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 令和7年度の事業計画、スポーツの推進、体育施設の管理運営に係る諸課題に対し、専門的な見地から多くの意見をいただくための会議運営に努めた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 今後も多くの意見がいただけるような会議運営に努め、提出いただいた意見を基に、スポーツ施策の更なる推進につくげるとともに施設の管理運営等の改善に取り組んでいく。				

1.事業概要		施策番号	5-1-1-3			
事業名	文化財保護審議委員会議	担当課	文化財課			
事業の目的と内容	文化財の保護及び活用について審議するため、文化財保護審議委員による会議を開催し、文化財保護を推進する。					
令和7年度の事業目標	文化財保護審議委員会議を開催し、文化財の保護及び活用について審議する。					
令和7年度の事業内容	文化財行政の状況などについて審議するとともに、必要な事項について諮問し、文化財の保護及び活用を図る。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
市指定文化財の件数	目標計画	31件	31件	31件	31件
	実績	31件	31件	31件	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 文化財保護審議委員会議を2回開催し、文化財保護行政の状況を報告するとともに、様々な指摘や提案をいただき、今後の文化財保護行政に生かすことができた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き文化財保護審議委員会議を開催し、文化財の保護及び活用について諮問し、討議いただく中で、指標としている指定文化財件数の増加に向けた意見を聴取していく。				

1.事業概要		施策番号	5-1-1-4			
事業名	博物館協議会	担当課	文化財課			
事業の目的と内容	博物館法の定めにより、館長の諮問機関として協議会を開催し、博物館活動を推進する。					
令和7年度の事業目標	会議を2回実施し博物館活動についての諮問及び意見聴取を行う。					
令和7年度の事業内容	・第1回協議会(10月開催予定): 令和6年度事業報告、令和6年度事業計画及び進捗報告、その他 ・第2回協議会(2月開催予定): 令和6年度事業進捗報告、令和7年度事業計画、その他					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
博物館活動の改善提案数	目標計画	2件	2件	2件	2件
	実績	2件	2件	2件	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 博物館協議会を2回開催した。博物館の運営や、企画展の開催について文化財保護と集客の視点から考えていくこと、催し物の情報発信の仕方など、多様な意見、提案を受け、事業に生かすことができた。				
今後の展開	☐ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き博物館協議会を開催し、博物館事業を外部の視点から検証し、改善点等の意見を聴取する。また、聴取した意見を運営に反映し、市民の生涯学習の拠点として博物館事業の充実を図っていく。				

1.事業概要		施策番号	5-1-1-5			
事業名	公民館運営審議会	担当課	中央公民館			
事業の目的と内容	審議会からの意見を受け、公民館の運営を推進する。 公民館利用者や学識経験者、教育関係者で構成される公民館運営審議会を開催して意見を伺い、運営に反映する。					
令和7年度の事業目標	公民館運営審議会を開催して意見を伺い、運営に反映する。					
令和7年度の事業内容	公民館運営審議会を2回開催し、審議内容を公民館の運営に反映する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
公民館運営審議会開催回数	目標計画	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	☒ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 審議会委員と公民館事務局職員により、現状や改善点などについて活発な質疑が行われた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 公民館利用者、学識経験者、教育関係者等幅広い意見を収集しながら公民館の運営に役立てる。				

1.事業概要		施策番号	5-1-1-6			
事業名	図書館協議会	担当課	図書館			
事業の目的と内容	図書館の管理運営に関し、広く意見を求め市民ニーズを踏まえた図書館運営を図るため、提出した議題について、協議会委員より意見等をいただく。					
令和7年度の事業目標	図書館協議会を開催し、提出した議題について協議会委員より意見等をいただく。					
令和7年度の事業内容	令和6年度事業報告・令和6年度事業計画や館運営等に関して、協議会委員から意見をいただき、図書館運営に反映する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
図書館協議会開催回数	目標計画	3回	2回	4回	2回
	実績	2回	2回	4回	—

3. 分析・展開

判定	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☒ 指標に表れない事項について目標を達成した ☐ その他				
	〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 図書館協議会を4回開催し、事業計画や実施事業および利用状況の報告を行い、ご意見をいただいた。 第4次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画の策定にあたり意見をいただいた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他()				
	引き続き図書館協議会を開催し、館運営等に関し意見をいただき、図書館運営に反映する。				

2) 実施計画の策定

1.事業概要		施策番号	5-1-2-1			
事業名	第3次朝霞市生涯学習計画実施計画		担当課	生涯学習・スポーツ課		
事業の目的と内容	「第3次朝霞市生涯学習計画」を体系的に網羅し、生涯学習の推進の効果を明確に把握するため、数値目標を設定した実施計画を策定する。					
令和7年度の事業目標	「第3次朝霞市生涯学習計画」の進捗状況を把握する。					
令和7年度の事業内容	生涯学習計画に基づき、生涯学習に関する事業について施策の体系別に、その実績効果を把握し、生涯学習施策の推進を図っていく。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
生涯学習計画の進捗状況	目標計画	目標・計画通りに成果が上がっている	目標・計画通りに成果が上がっている	目標・計画通りに成果が上がっている	目標・計画通りに成果が上がっている
	実績	目標・計画通りに成果が上がっている	目標・計画通りに成果が上がっている	目標・計画通りに成果が上がっている	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 目標どおり、関係各課が事業評価を行うことで、進捗状況を把握することができた。 全庁的に生涯学習施策を推進する体制が整っていることが確認できた。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き、計画の進捗管理を行い、生涯学習の推進が効果的に図られるよう努める。				

1.事業概要		施策番号	5-1-2-2			
事業名	スポーツ推進計画	担当課	生涯学習・スポーツ課			
事業の目的と内容	「誰もが いつでも どこでも 楽しめる スポーツ社会の実現」目指すために計画策定し、市民の一人ひとりが生涯にわたって気軽にスポーツに親しむことができ、心身ともに健康で生き生きとした生活が送れる「生涯スポーツ社会」の実現に取り組む。					
令和7年度の事業目標	平成27年度に計画を見直した際、重点項目を定めその実現に向け取り組む。アンケート調査の実施。また、市民のスポーツ実施率を上げる。					
令和7年度の事業内容	施設の計画的な改修に取り組み、市民が参加しやすい教室等を開催する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
スポーツ実施率	目標計画	60%	60%	60%	60%
	実績	— (アンケート調査の実施年度ではないため)	— (アンケート調査の実施年度ではないため)	51.2%	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	☐ 指標の目標を達成した ☐ 指標に表れない事項について目標を達成した ☒ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 スポーツに関するアンケート調査を実施することで、目標への進捗状況を把握することができた。 目標値には到達しなかったが、前回調査時から上昇していた。				
今後の展開	☒ 現状通り推進 ☐ 拡大・拡充 ☐ 縮小 ☐ その他() 引き続き、第2期朝霞市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ実施率の目標達成に向け、各種スポーツ教室、大会の開催などに取組んでいく。				

1.事業概要		施策番号	5-1-2-3			
事業名	図書館サービス基本計画		担当課	図書館		
事業の目的と内容	より魅力的で利用しやすい図書館を運営していくため、「第2次朝霞市図書館サービス基本計画」を踏まえ、今後の更なる図書館サービスの充実を図ることを目的とする。					
令和7年度の事業目標	計画体系目標ごとにサービス評価指標を設定し、自己評価を実施する。					
令和7年度の事業内容	計画体系目標ごとにサービス評価指標を設定し、自己評価を実施する。 利用者アンケートを実施して図書館サービスに対する満足度を調査する。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
利用者満足度(%)	目標計画	90%	90%	90%	90%
	実績	83.3%	89.30%	88.10%	—

3. 分析・展開

判定	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 アンケート調査では、図書館サービス、事業を評価、期待する意見が多かった。また、マイナス意見の中にも、図書館への期待から出された意見が多くみられることから、一定の評価を得ることができたと考えている。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 今後も、図書館サービス計画の基本理念「いつでも、どこでも、誰でも気軽に使える図書館」に基づき、図書館サービスの充実を図るとともに、社会情勢の変化を捉え、図書館に対する意見、要望を精査しながら、次期計画を策定していく。				

1.事業概要		施策番号	5-1-2-4			
事業名	子ども読書活動推進計画	担当課	図書館			
事業の目的と内容	「第2次朝霞市子ども読書活動推進計画」に基づき、次代を担う子どもたちの読書に親しむ機会の充実及び、環境整備を図り、子どもの読書活動を推進していく。					
令和7年度の事業目標	基本目標ごとに評価指標を設定し、自己評価を実施する。					
令和7年度の事業内容	図書館をはじめ計画を実施する関係機関・関係団体は、基本目標を踏まえた実施計画を策定、自己評価を実施し、子どもの読書活動の推進を図る。					

2.実施結果(指標)

指標(説明)	年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度
関係連絡会議開催回数	目標計画	2回	2回	4回	2回
	実績	2回	2回	1回	—

3. 分析・展開

判定	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている C 目標・計画どおりに成果があがっている D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。			
達成度 (事業の目標は達成したか)	■ 指標の目標を達成した □ 指標に表れない事項について目標を達成した □ その他 〈説明: 指標の達成状況及び改善等〉 関係各所と連携し、各委員から意見をいただきながら計画の進行管理を行った。				
今後の展開	■ 現状通り推進 □ 拡大・拡充 □ 縮小 □ その他() 引き続き関係機関・団体との連携を深め、子どもの読書の推進活動を進めていく。また、次代を担う子どもの健やかな成長に大切な読書活動を推進するため、子どもや子どもを取り巻く状況、社会情勢の変化を捉え、次期計画の策定に努めていく。				

第3次朝霞市生涯学習計画実施計画

【担当課別事業一覧】

担当課	施策番号					事業名	ページ
シティ・プロモーション課	1-1-1-1					広報事業	4
危機管理室	3-1-3-1					地域防災推進事業	31
	3-1-3-2					防犯対策推進事業	31
人権庶務課	1-3-1-2	3-1-1-3				男女平等推進事業	27
	3-1-1-1					人権啓発事業	26
	3-1-1-2					平和事業	26
地域づくり支援課	3-1-3-3					消費者教育・啓発事業	32
	1-1-1-2	1-2-1-1	1-3-1-1	4-2-1-1	4-2-2-1	市民活動支援ステーション運営事業	52
	2-1-6-1					市民会館管理運営事業	18
	2-1-6-2					市民センター管理運営事業	18
	2-1-6-3					市民活動支援ステーション管理事業	19
	3-1-2-1					多文化共生推進事業	29
	3-2-2-1					コミュニティ推進事業	39
	2-1-6-4					産業文化センター管理運営事業	19
産業振興課	3-3-6-1					起業家育成支援事業	48
	3-3-6-2					就労支援事業	48
	3-3-6-3					農業振興支援事業	49
	1-1-1-3	3-1-4-1				環境教育・環境学習の推進事業	33
環境推進課							
資源リサイクル課	2-1-6-5					リサイクルプラザ管理運営事業	20
	3-1-4-2					ごみの減量・リサイクル推進啓発事業	33
コミュニティセンター	2-1-6-6					コミュニティセンター管理運営事業	20
障害福祉課	2-1-6-7					総合福祉センター（はあとびあ）管理運営事業	21
	3-1-1-4					共生社会の理念の普及	27
	3-2-1-1					障害者スポーツ・レクリエーション事業	37
こども未来課	2-1-6-8	3-3-2-1				児童館管理運営事業	21
	3-3-2-2					青少年健全育成事業	44
	3-3-1-1					子育て支援センター事業	42
高齢者・地域福祉課	2-1-6-10	3-3-3-2	3-3-4-2			老人福祉センター管理運営事業	22
	3-3-3-1	3-3-4-1				生きがいづくり活動支援事業	45
地域共生社会課	3-3-3-4					生活支援体制整備事業	46
健康づくり課	2-1-6-11	3-2-1-2				健康増進センター管理運営事業	22
	3-2-1-3					健康教育事業	38
	3-3-3-3					地域介護予防活動支援事業	45
こども家庭課	3-3-1-2					母子健康教育事業	42
まちづくり推進課	3-1-3-4					交通安全教育事業	32
	3-1-4-3					景観まちづくり推進事業	34
みどり公園課	2-1-6-12	3-1-4-4				基地跡地（朝霞の森）暫定利用事業	34
	2-1-6-13	3-1-4-5				公園や広場の管理事業	23
	3-1-4-6					緑化推進事業	35
道路整備課	3-1-4-7					花と緑のまちづくり事業	36
	3-1-4-8					黒目川桜並木管理事業 黒目川花まつり	36
教育指導課	3-1-1-5					人権教育事業（学校教育）	28
	3-1-2-2					日本語指導充実事業	29
	3-1-2-3					国際理解教育事業	30
	3-2-2-3					音楽活動事業	40
	3-2-2-4					図工・美術活動事業	40
	3-3-2-3					ふれあい推進事業	44
	4-1-1-3					吹奏楽・器楽フェスティバル	51
	1-1-1-4					生涯学習情報提供	5
生涯学習・スポーツ課	1-1-1-5					スポーツ情報提供	5
	1-2-1-2					生涯学習相談事業	9
	1-2-1-3					スポーツ相談事業	10
	1-3-1-3	4-1-1-1	4-2-1-2	4-2-2-3		生涯学習ボランティア事業	12
	1-3-1-4	4-2-2-4				あさか学習おとどけ講座	54
	1-3-1-5	4-2-1-3	4-2-2-2			市民企画講座	53
	1-3-1-6					スポーツ大会・教室推進事業	13
	1-3-1-7					スポーツ指導者の紹介事業	13
	2-1-4-1					スポーツ施設管理運営事業	16
	2-1-5-1	3-3-5-2				学校体育施設開放事業	17
	2-1-5-2	3-3-5-1				放課後子ども教室事業	47
	2-2-1-1					大学等の連携事業	24

担当課	施策番号			事業名	ページ
	2-2-1-2			民間企業との連携事業	24
	2-2-1-3			共催・後援事業	25
	3-1-1-6			人権教育事業（社会教育）	28
	3-2-1-4			スポーツ振興事業	38
	3-2-1-5	4-2-2-6		スポーツ団体等補助事業	55
	3-2-2-5			芸術文化推進事業	41
	3-3-1-3	4-2-1-4	4-2-2-5	家庭教育推進事業	43
	4-1-1-2			文化祭関連事業	50
	5-1-1-1			社会教育委員会議	56
	5-1-1-2			スポーツ推進審議会	57
	5-1-2-1			第3次朝霞市生涯学習計画実施計画	59
	5-1-2-2			スポーツ推進計画	60
文化財課	1-1-1-6			博物館情報提供	6
	1-1-1-7			郷土の歴史や伝統・文化の情報提供	6
	1-2-1-4			博物館学習支援事業	10
	2-1-3-1			博物館管理運営事業	16
	3-2-2-6			文化財保護普及事業	41
	5-1-1-3			文化財保護審議委員会議	57
	5-1-1-4			博物館協議会	58
中央公民館	1-1-1-8			公民館情報提供	7
	1-2-1-5			公民館相談事業	11
	1-3-1-8			公民館講座開催事業	14
	2-1-1-1			公民館管理運営事業	15
	5-1-1-5			公民館運営審議会	58
図書館	1-1-1-9			図書館情報提供	7
	1-2-1-6			図書館レファレンスサービス事業	11
	1-3-1-9			読書案内・読書相談	14
	2-1-2-1			図書館管理運営事業	15
	3-3-6-4			ビジネス支援サービス事業	49
	5-1-1-6			図書館協議会	59
	5-1-2-3			図書館サービス基本計画	61
	5-1-2-4			子ども読書活動推進計画	61
選挙管理委員会	1-1-1-10			選挙の啓発	8

※ 複数の柱や取組に係る事業は、もっとも関係のある「主な取組」に掲載

※ は、再掲

第3次朝霞市生涯学習計画実施計画
[令和7(2025)年度 事業評価]
[令和5(2023)年度～令和8(2026)年度]

編集発行 朝霞市教育委員会
生涯学習部生涯学習・スポーツ課

一人一人が心豊かに とともに学び 生きるまち あさか

第3次朝霞市生涯学習計画 実施計画 令和7（2025）年度事業評価 総括（案）



朝 霞 市
令和8年7月

朝霞市では、平成29年3月に第3次朝霞市生涯学習計画を策定し、計画の基本理念である「一人一人が心豊かに とともに学び 生きるまち あさか」の実現を図るため、生涯学習に関する事業を「第3次朝霞市生涯学習計画実施計画」に取りまとめ、計画的に施策を展開しています。

第3次朝霞市生涯学習計画実施計画 令和7(2025)年度 総括評価シート

大柱	小柱	小柱別評価	主な取組	主な取組の評価
1 新たな学びの“きっかけ”を提供します！				
	(1) 生涯学習情報の充実	C	1) 生涯学習情報の発信	C
	(2) 相談体制の充実	C	1) 学習相談の充実	C
	(3) 生涯学習のきっかけづくり	C	1) 生涯学習をはじめたい人への支援	C
・市民が学びを始めるきっかけづくりを目的とした各事業では、広報活動や情報媒体を通じて市民に向けた生涯学習情報の積極的な発信を行いました。 ・図書館情報提供事業では情報提供回数が大幅に増加し、目標を上回る成果を達成しました。 ・スポーツ情報提供事業や博物館情報提供事業においても、市民の関心を引く企画や展示を実施し、高く評価される内容となりました。 ・個別相談や専門指導員配置を通じて学習相談体制の強化に成功し、適切な情報提供や助言が利用者から評価を受けました。				
2 使いやすい学びの“場”を提供します！				
	(1) 生涯学習推進拠点の充実	C	1) 公民館の充実	C
			2) 図書館の充実	C
			3) 博物館の充実	C
			4) スポーツ施設の充実	B
			5) 学校施設の活用	C
			6) その他の公共施設の活用	C
	(2) 学びの場を広げる	C	1) 民間施設との連携	C
・公共施設や学びの場の利用促進を目指した事業では、図書館やスポーツ施設において利用者数の増加や満足度の向上が成果として現れました。 ・スポーツ施設管理運営事業では多くの市民が利用しやすい環境を提供し、イベント周知による利用者増加が実現しました。また、学校体育施設開放事業では利用者数の増加を背景に地域との連携が強化されました。 ・健康増進センターではコロナ禍以降の利用者回復が進み、市民の健康促進拠点として好評価を得ています。				

大柱	小柱	小柱別評価	主な取組	主な取組の 評価
3 多様な学びの“メニュー”を提供します！				
	(1) とともに生きる社会づくりに向けた学び	C	1) 共生社会に向けた教育の支援	B
			2) 国際理解に向けた学習の支援	C
			3) 安心・安全な暮らしと環境を守る学習活動の推進	C
			4) 朝霞の緑を守る環境学習の推進	C
	(2) 健やかで心豊かな人生のための学び	C	1) 生涯スポーツ活動・健康づくりの推進	C
			2) 芸術と文化の香りあふれるまちづくりに向けた学習の支援	C
	(3) ライフステージに応じた学び	C	1) 家庭教育の充実	C
			2) 青少年の育成	C
			3) 高齢社会に対応した学習活動の推進	C
			4) 多世代にわたる交流・学習機会の提供	C
			5) 学校教育と社会教育の連携	C
			6) キャリアアップやスキルアップに関する学習の支援	C
	・ とともに生きる社会づくりや環境を守る学習を提供する事業では、市民の意識向上に寄与しました。			
・ 平和事業では多くの市民に人権・平和の尊さを伝え、国際理解教育事業では英語指導助手による教育環境充実が成果を上げました。				
・ 環境美化ポスター応募事業や景観団体認定では地域住民に環境意識を浸透させることに成功しました。				
・ 健康増進事業では参加者数増加により、市民の健康への意識が向上しました。スポーツ振興事業では多様な世代が交流できる環境を提供し、市民の社会参加へのきっかけづくりに貢献しました。				

4 市民の学びの“主体性”を支えます！

(1) 学習活動の評価	C	1)	学習活動の成果の発表とその機会の充実	C
(2) 人材・団体の育成	C	1)	指導者の育成	D
		2)	市民主体の学習を支援	C
・市民主体の学習支援を目的とした事業では、市民活動支援ステーションにおいて団体運営の支援を行い、地域活動の活性化に貢献しました。 ・図書館協議会では利用者満足度が向上し、図書館サービスの充実が評価されました。 ・吹奏楽・器楽フェスティバルでは地域とのつながりを強化した合同演奏を実施し、参加団体の活動支援を進めました。 ・文化祭関連事業では改修工事の影響で来場者数は減少したものの、市民による芸術文化活動の成果発表の場を設け、活動の充実を促しました。				

大柱	小柱	小柱別評価	主な取組	主な取組の評価
----	----	-------	------	---------

5 市民とともに学びを“協働”で推進します！

(1) 生涯学習推進体制の充実	C	1)	推進体制の充実	C
		2)	実施計画の策定	C
・生涯学習推進体制を充実させるための事業では、社会教育委員会議を通じて生涯学習計画の進捗管理が行われ、施策の方向性が明確化されました。 ・スポーツ推進計画においてはアンケート調査を通じて進捗状況の把握が図られ、市民のスポーツ参加率向上に向けた基盤整備が進みました。 ・図書館サービス基本計画では利用者アンケートに基づき利用者満足度の向上が確認されました。更に、子ども読書活動推進計画では次代を担う子どもの読書環境整備が進展しました。				

第 3 次朝霞市生涯学習計画 実施事業の評価方法

○事業の進捗状況の評価(年度ごと)

①達成度(A～Eの5段階)

評価方法は、第5次朝霞市総合計画「施策評価シート」の達成度と同様

- A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。
- B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。
- C 目標・計画どおりに成果があがっている。
- D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。
- E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。

★ 原則、指標の数値結果を基に行いますが、必要に応じて指標の結果のほか事業全体で判断をします。また、「達成度(事業の目標は達成したか)」欄の中では、次の3項目のいずれかにチェックを付け、下段に当該評価とした理由と、指標の達成状況及び改善等がわかるように説明を行ないます。

- 指標の目標を達成した
- 指標に表れない事項について目標を達成した
- その他

②今後の展開

次の4項目のいずれかにチェックを付け、下段に今後の展開内容を記載します。

- 現状どおり推進
- 拡大・拡充
- 縮小
- その他

※「その他」の場合は、()にその内容も記載します。

○総括評価

① 主な取組別の評価

事業ごとの達成度を基に「主な取組」ごとの評価を示します。

② 小柱別の評価

主な取組の評価を基に計画の「小柱」ごとに評価を示します。

③ 評価の方法

1) 事業ごとの達成度

評価方法	評価点数
A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。	5点
B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。	4点
C 目標・計画どおりに成果があがっている。	3点
D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。	2点
E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。	1点

2) 主な取組の評価(事業ごとの達成度平均値)

	変更後
A	4.5 超
B	3.5 超～4.5 以下
C	2.5 超～3.5 以下
D	1.5 超～2.5 以下
E	1.5 以下

3) 小柱の評価(主な取組の評価の平均値)

	変更後
A	4.5 超
B	3.5 超～4.5 以下
C	2.5 超～3.5 以下
D	1.5 超～2.5 以下

第4次朝霞市生涯学習計画 策定のための基礎調査

調査結果報告書

令和8年3月
朝霞市

◇目次◇

第1章 調査実施概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 実施概要.....	1
(3) 回収結果.....	2
(4) 報告書をみるにあたっての注意点.....	2
第2章 調査結果概要及び考察.....	3
第3章 一般調査の結果.....	7
(1) 回答者自身について.....	7
(2) 生涯学習活動の状況について.....	12
(3) 今後の生涯学習活動に関する意向について.....	35
(4) 「地域や社会における教育」について.....	42
(5) 企業・事業所との関係について.....	44
(6) 子どもの教育について.....	46
(7) 朝霞市の施設について.....	48
(8) 「人とのつながりに関する活動」について.....	49
(9) 市への要望などについて.....	53
第4章 生涯学習団体調査の結果.....	58
(1) 日ごろの活動について.....	58
(2) 今後の活動について.....	64
第5章 事業所調査の結果.....	68
(1) 事業所について.....	68
(2) 事業所における生涯学習活動の状況等について.....	70
(3) 従業員と生涯学習活動について.....	72
(4) 朝霞市との連携について.....	74
第6章 小中学生調査の結果.....	76
(1) 回答者自身について.....	76
(2) ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について.....	79
第7章 施設利用者調査の結果.....	92
(1) 回答者自身について.....	93
(2) 生涯学習活動の状況等について.....	95
資料編（各調査の設問と選択肢の一覧）.....	100

第1章 調査実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和8年度に「第4次朝霞市生涯学習計画」を策定するにあたっての基礎資料として、市民や団体等の生涯学習ニーズを把握するために実施しました。

(2) 実施概要

一般	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和7年12月5日～令和8年1月16日
調査方法	郵送配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市在住の17歳及び満20歳以上の市民 1,100名

生涯学習団体	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和7年12月12日～令和7年12月26日
調査方法	公民館配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市内で生涯学習活動を行う団体 75団体

事業所	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和8年1月5日～令和8年1月29日
調査方法	郵送配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市商工会加盟事業所 75社

小中学生	
調査地域	朝霞市内の小・中学校
調査期間	令和7年12月10日～令和8年1月23日
調査方法	学校配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市在住の小学5年生及び中学2年生 900名

施設利用者	
調査地域	朝霞市内の公共施設
調査期間	令和7年12月11日～令和7年12月23日
調査方法	市職員によるヒアリング
調査対象者	公共施設への来訪者 43名
調査対象施設	7施設

(3) 回収結果

調査区分	配付数	有効回収数	有効回収率
一般	1,100件	296件	26.9%
生涯学習団体	75件	70件	93.3%
事業所	75件	25件	33.3%
小中学生	900件	702件	78.0%
施設利用者	43件	43件	100.0%

(4) 報告書をみるにあたっての注意点

- ◇図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- ◇調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しています。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答の設問の場合、回答比率の合計値が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇選択肢の語句が長い場合、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合があります。
- ◇「不明・無回答」を除き、1番目と2番目に回答が多かったものには網掛けをしています。
- ◇クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目において、「不明・無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
- ◇本文中、調査結果を比較するために「前回調査」や「国調査」と表記している箇所があります。これらの調査概要は次の通りです。

調査	内容
前回調査	朝霞市「第3次朝霞市生涯学習計画策定のための基礎調査」(平成27年11月～12月実施)
前々回調査	朝霞市「第2次朝霞市生涯学習計画後期基本計画策定のための市民意識調査」(平成22年10月～11月実施)
国調査	内閣府「生涯学習に関する世論調査」(令和4年7月調査)
県調査	埼玉県教育委員会「第217回簡易アンケート 生涯学習活動について」(令和4年12月実施)

第2章 調査結果概要及び考察

(1) 生涯学習活動の実施について

17歳・20歳以上の市民の生涯学習活動の状況については、「行っている」が52.7%、「行っていない」が46.6%となっています。(一般調査 問7 〈13ページ〉)

生涯学習活動を行っていない理由としては、「時間に余裕がない」が57.2%と最も多くなっており、活動を行う上で困っていることとしても、「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」が24.4%と2番目に多くなっています。また、自由回答では、仕事などで平日の活動は参加できない、土曜日・日曜日などに参加できる活動があればよいという意見があり、時間に制約のある方のニーズに合わせた生涯学習活動の形が求められていることがうかがえます。(一般調査 問8 〈15ページ〉・問13 〈29ページ〉・問31 〈55ページ〉)

加えて、今後の意向については、生涯学習活動を行っていない方の35.5%が「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」と回答しており、前述の時間的な制約を含め、現在活動できていない市民のニーズも踏まえた生涯学習活動の環境づくりが求められていることがうかがえます。(一般調査 問17 〈35ページ〉)

小中学生に関しては、児童館・公民館・図書館・博物館・体育館・陸上競技場などで行うイベントや教室に参加している児童・生徒は、小学5年生で58.5%、中学2年生で33.8%となっていますが、どちらも前回調査に比べて減少しています。(小中学生調査 問8 〈86ページ〉)

(2) 生涯学習活動の分野について

今後の学習を希望する分野として、17歳・20歳以上の市民では、「芸術文化に関すること」、「スポーツ・レクリエーションに関すること」が多くなっており、これは現在行っている活動や前回調査と同様の結果となっています。また、17歳と20～29歳では、「職業技術・資格に関すること」が2番目に多く、30～39歳では、「育児・教育に関すること」が他の年齢に比べて多くなっており、年齢層の生活課題に直結したニーズがあることもうかがえます。(一般調査 問9 〈19ページ〉・問18 〈36ページ〉)

小中学生が学んでみたいもの、参加してみたいものとしては、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が最も多くなっていると同時に、「将来の仕事・職業に関するもの」が2割台後半となっています。また、小学5年生では、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が32.9%と2番目に多く、デジタル機器への関心の高さがうかがえます。(小中学生調査 問11 〈89ページ〉)

(3) 生涯学習活動を通じて得た知識や経験の活用について

生涯学習活動で身につけた知識や経験の活用状況について、一般調査では、「人生を豊かにするために生かしている」、「健康の維持・増進に役立っている」、「日常の生活や地域での活動に生かしている」が多くなっており、「特に生かしていない」は9.0%に留まっています。(一般調査 問14 〈31ページ〉)

また、活用の意向についても、活用したいと「思う」「どちらかといえば思う」の合計は、70歳未満で7割を超えています。一方で、活用にあたって困っている点については、「特に困っている点はない」が最も多くなっていますが、「身近で生かせる活動を見つけられない」が19.2%、「どのような活動に生かすことができるかわからない」が16.7%と、活用する方法を見つけかねている市民が一定数みられ、身につけた知識や経験を生かせる活動や分野に関する情報の発信が必要とされていることがうかがえます。(一般調査 問15 〈33ページ〉・問16 〈34ページ〉)

(4) 生涯学習活動の環境について

学習の手段・方法については、「SNSや動画配信サービスを利用」が34%と最も多くなっており、前回調査の13.9%に比べて増加しています。一方で、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」が20.2ポイント減少しており、インターネットを使用した学習が普及した反面、地域における活動が減少しているとも言える結果となりました。(一般調査 問11 〈25ページ〉)

利用する施設などについては、「自宅(オンライン学習を除く)」が34.6%、「自宅(オンライン学習のみ)」が22.4%と自宅の割合が多くなっています。一方で、「市の学習・文化・スポーツ施設」が減少していますが、市内の施設の利用状況に関する設問では、「図書館」が42.6%、「公民館・コミュニティセンター」が22.6%となっています。また、自由回答においても自習室など学習できる場の整備に関する意見が多く見られ、引き続き公共施設における学習環境の整備も行っていく必要性がうかがえます。(一般調査 問12 〈27ページ〉・問26 〈48ページ〉・問31 〈55ページ〉)

また、公共施設の満足度について、生涯学習団体調査と施設利用者調査では、「非常に満足している」、「おおむね満足している」の合計がいずれも8割を超えており、一定の成果は認められるものの、団体調査では施設・設備に不満を感じる理由として「老朽化が進んでいる」が多く、またエレベーターなど施設のバリアフリー化に関する意見が見られることから、施設の改修・バリアフリー化などが求められていることがうかがえます。(団体調査 問4 〈59ページ〉・問5 〈59ページ〉・問16 〈67ページ〉、施設利用者調査 問9 〈96ページ〉)

(5) 生涯学習活動に関する情報提供について

市に望む取り組みとして、「情報提供や相談機能の充実」が最も多くなっています。また、活動を行う上で困っていることとして、「生涯学習に関する十分な情報が得られない」が15.4%、活動を行っていない理由として、「十分な情報が得られない」が16.7%と、情報発信の充実・強化が求められていることがうかがえます。(一般調査 問8 〈15ページ〉・問13 〈29ページ〉・問30 〈53ページ〉)

(6) 団体の活動について

1回の活動に参加する平均の人数については、「10人未満」が最も多く、前回調査と比べて23.3ポイント増加しており、小規模の団体が増加したことがうかがえます。(団体調査 問1 〈58ページ〉)

また、会員の平均年齢については、「60歳代以上」が51.4%と最も多く、次いで「50歳代」が22.9%、「40歳代」が11.4%となっており、依然として50歳代以上が中心となっていることがうかがえます。(団体調査 問2 〈58ページ〉)

団体の活動上における課題について、「特に問題はない」が38.6%で最も多くなっているものの、次いで「会員が集まらない」が27.1%となっているほか、自由回答においては高齢化で人が少なくなっているという意見があり、会員の確保が課題となっていることがうかがえます。(団体調査 問11 〈63ページ〉・問16 〈67ページ〉)

(7) 企業・事業所について

福利厚生・余暇対策等の取り組みについて、「特に行っていない」が68.0%と、前回調査に比べて15.4ポイント増加しています。また、従業員が職業能力の開発のために休暇を取得できる制度については、「設けている」が36.0%、「現在は設けていないが、導入を検討中」が20.0%となっています。(事業所調査 問5 〈70ページ〉・問9 〈72ページ〉)

福利厚生・余暇対策として所有している施設については、「あまり稼働していない」が24.0%、「ほとんど稼働していない」が32.0%となっていますが、施設の地域への開放については、「検討していきたい」が12.0%に留まり、「従業員による利用に限定したい」が36.0%となっています。一方、一般調査では、市内に所在する企業や事業所に期待することとして、「施設や設備を地域住民に開放する」が35.1%と最も多くなっており、市民の需要と事業所の意向に違いがあることがうかがえます。(事業所調査 問6 〈70ページ〉・問7 〈71ページ〉、一般調査 問23 〈44ページ〉)

(8) 小中学生の生活実態について

1日に行っている活動について、「インターネットを利用する」を1時間以上行っていると回答した割合は、小学5年生で67.9%、中学2年生で94.6%となっており、小中学生ともに前回調査に比べて大幅に多くなっています。また、「メール・ライン及びSNS等で友達とやりとりする」に「ほとんどしない」と回答した割合は、小中学生ともに前回調査に比べて減少しており、以前よりもインターネットやSNSなどのオンラインツールを使用する機会が増えたことがうかがえます。さらに、学んでみたいものについて、小学5年生では「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が32.9%で2番目に関心が高い結果となっています。(小中学生調査 問4〈79ページ〉・問11〈89ページ〉)

放課後や休みの日に過ごす場所については、小中学生ともに「自分の家」が最も多くなっていますが、小学5年生では「公園・児童遊園地」が45.7%、「児童館」が22.4%と、一定数公共施設の利用があり、公共施設を利用している小学生に向けたアプローチや、生涯学習のメニューを検討する重要性がうかがえます。また、児童館・公民館・図書館・博物館・体育館・陸上競技場などで行うイベントや教室への参加状況については、小学5年生では58.5%で半数を超えているのに対して中学2年生では33.8%となっており、中学生向けのイベントを拡充させる必要性がうかがえます。(小中学生調査 問6〈83ページ〉・問8〈86ページ〉)

中学2年生では、放課後や休みの日の過ごし方として、「学校のクラブ活動・部活動に参加する」が46.6%、放課後や休みの日に過ごす場所として、「学校」が29.1%と、学校が主な活動の場の一つになっています。一方、イベントや教室に参加するきっかけについては、中学2年生では「学校の掲示版をみて」、「先生に教えてもらって」、「学校からの配付物をみて」といった学校起点の項目の回答割合は低調傾向にあり、改善の余地が見込まれます。このことから、学校と地域の連携を図り、地域や社会における活動への参画につなげる仕組みが求められることもうかがえます。(小中学生調査 問5〈81ページ〉・問6〈83ページ〉・問10〈88ページ〉)

(9) ICT・生成AIについて

現在、生涯学習活動を行っている方のうち、「パソコン・インターネット・生成AI及びICTに関すること」を行っている方は16.7%となっています。また、今後希望する分野についてみると、17歳・20歳以上の市民では、「パソコン・インターネットに関すること」が22.2%、「生成AIやSNS等に関すること」が14.2%、小学5年生では、「インターネットやSNS等に関すること」が26.0%、「生成AIに関すること」が28.2%となっており、ICT・生成AIの学習に関するニーズが一定程度存在することがうかがえます。(一般調査 問9〈19ページ〉・問18〈36ページ〉、小中学生調査 問11〈89ページ〉)

学習の手段・方法については、「SNSや動画配信サービスを利用」が34.0%、「生成AIやチャットツールを利用」が11.5%、学習の場所についても、「自宅(オンライン学習のみ)」が22.4%となっており、ICTや生成AIを活用した学習も行われていることがうかがえます。(一般調査 問11〈25ページ〉・問12〈27ページ〉)

一方、情報端末やインターネットによる生涯学習における課題についてみると、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」が22.3%と最も多く、次いで「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」が20.6%となっており、利用にかかるハードルの高さが課題としてうかがえます。(一般調査 問20〈40ページ〉)

(10) 子どもの教育について

子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なこととしては、「しつけやマナーを教えること」が52.7%、「豊かな心を育むこと」が43.2%と多くなっており、習慣の確立や豊かな情操を育むことが家庭教育で重要視されていることがうかがえます。(一般調査 問24 〈46ページ〉)

また、家庭の教育力を向上させるために市が力を入れるべき点としては、「仕事と家庭の両立ができるように支援する」が47.3%、「子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する」が23.6%と多くなっており、子育てや家庭教育を側面から支える環境を整えることが求められていると言えます。(一般調査 問25 〈47ページ〉)

(11) 「地域や社会における教育」※について

「地域や社会における教育」の支援や指導への参加意向について、全体では、支援・指導を合わせた『参加したい』が28.0%、「参加したいと思わない」が36.1%となっていますが、17歳、40～49歳と50～59歳では、『参加したい』が3割を超えています。(一般調査 問21 〈42ページ〉)

加えて、市の生涯学習事業に団体から講師を派遣することについては、前回調査より減少していますが、「できる」が28.6%となっています。また、講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件については、「曜日や時間帯」が最も多く、70.0%となっています。(団体調査 問13 〈64ページ〉・問14 〈65ページ〉)

総じて、教える立場、教える人のサポートの立場ともに、参加意向は一定数あることから、日時など参加しやすい条件を整える必要性がうかがえます。

※「地域や社会における教育」とは、小学校などの学校教育を除き、各地域の公民館や図書館、博物館、学校施設、スポーツ施設などを使用して、人々に対し学習やスポーツ、文化などを教えることをいいます。

(12) 「人とのつながりに関する活動」※について

1年間に「人とのつながりに関する活動」に参加したかについて、一般調査では、「参加した」が26.4%、「参加していない」が68.2%となっています。(一般調査 問27 〈49ページ〉)

「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由についてみると、「時間に余裕がない」が52.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が22.8%、「十分な情報が得られない」が18.3%となっており、生涯学習活動と同様、時間的な制約と必要な情報の不足が、参加への障害となっていることがうかがえます。(一般調査 問29 〈51ページ〉)

※「人とのつながりに関する活動」とは、地域活動やボランティア活動、サークル活動など、仕事や学校、家庭生活以外で、人と人との直接関わり合う活動を指します。

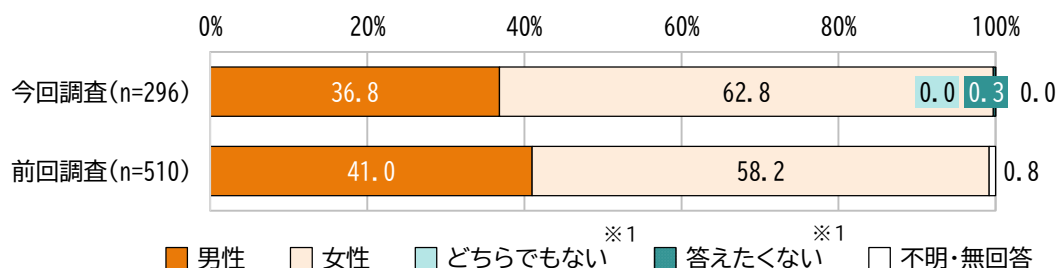
第3章 一般調査の結果

(1) 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。

(単数回答)

性別についてみると、「男性」が36.8%、「女性」が62.8%、「答えたくない」が0.3%となっています。



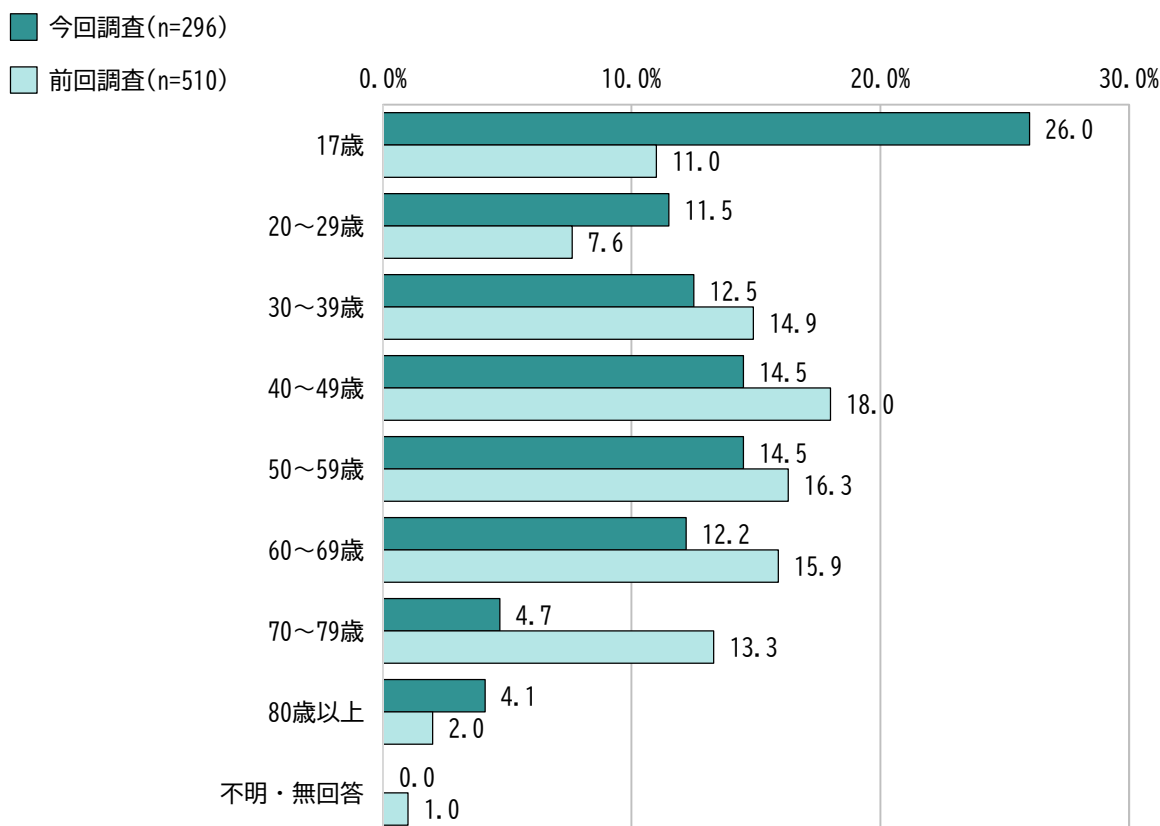
※1：今回調査の新規選択肢

問2 あなたの年齢をお答えください。

(単数回答)

年齢についてみると、「17歳」が26.0%と最も多く、次いで「40～49歳」が14.5%、「50～59歳」が14.5%となっています。

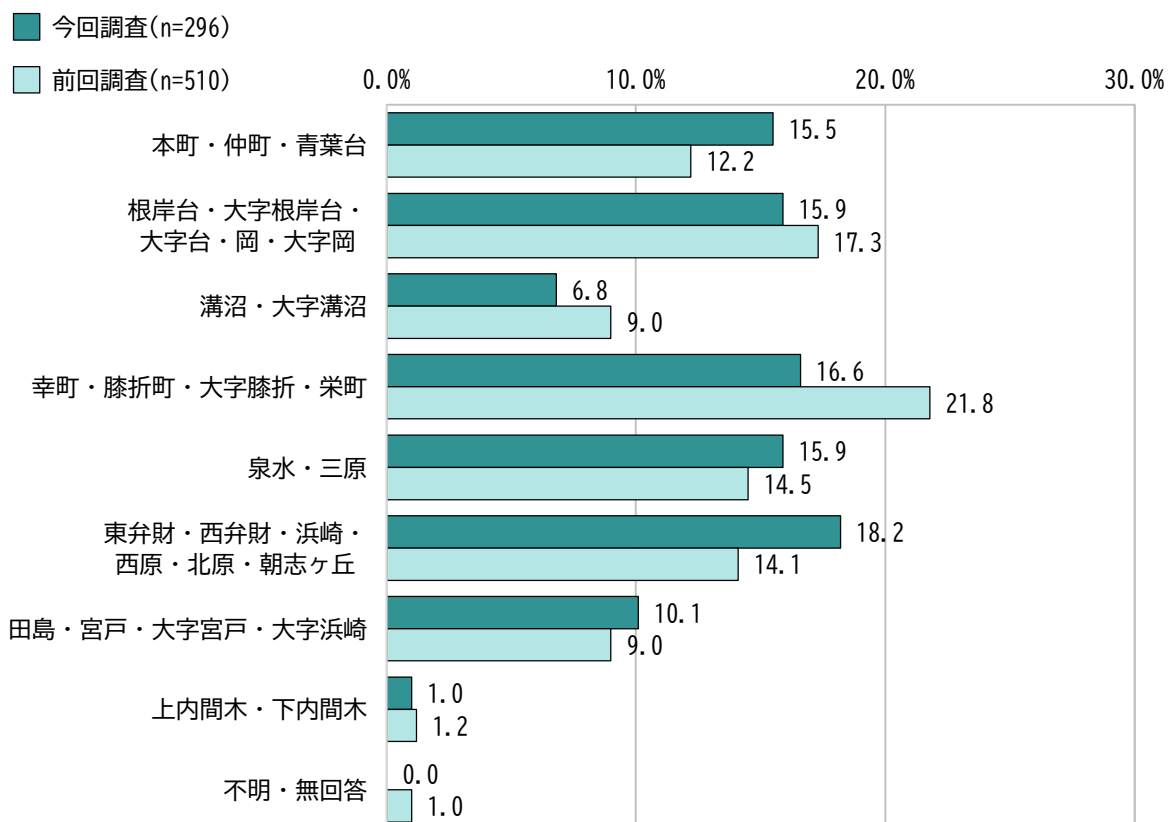
前回調査と比べると、「17歳」が15.0ポイント増加しています。



問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。

(単数回答)

住んでいる地区についてみると、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が18.2%と最も多く、次いで「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が16.6%、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「泉水・三原」が15.9%となっています。



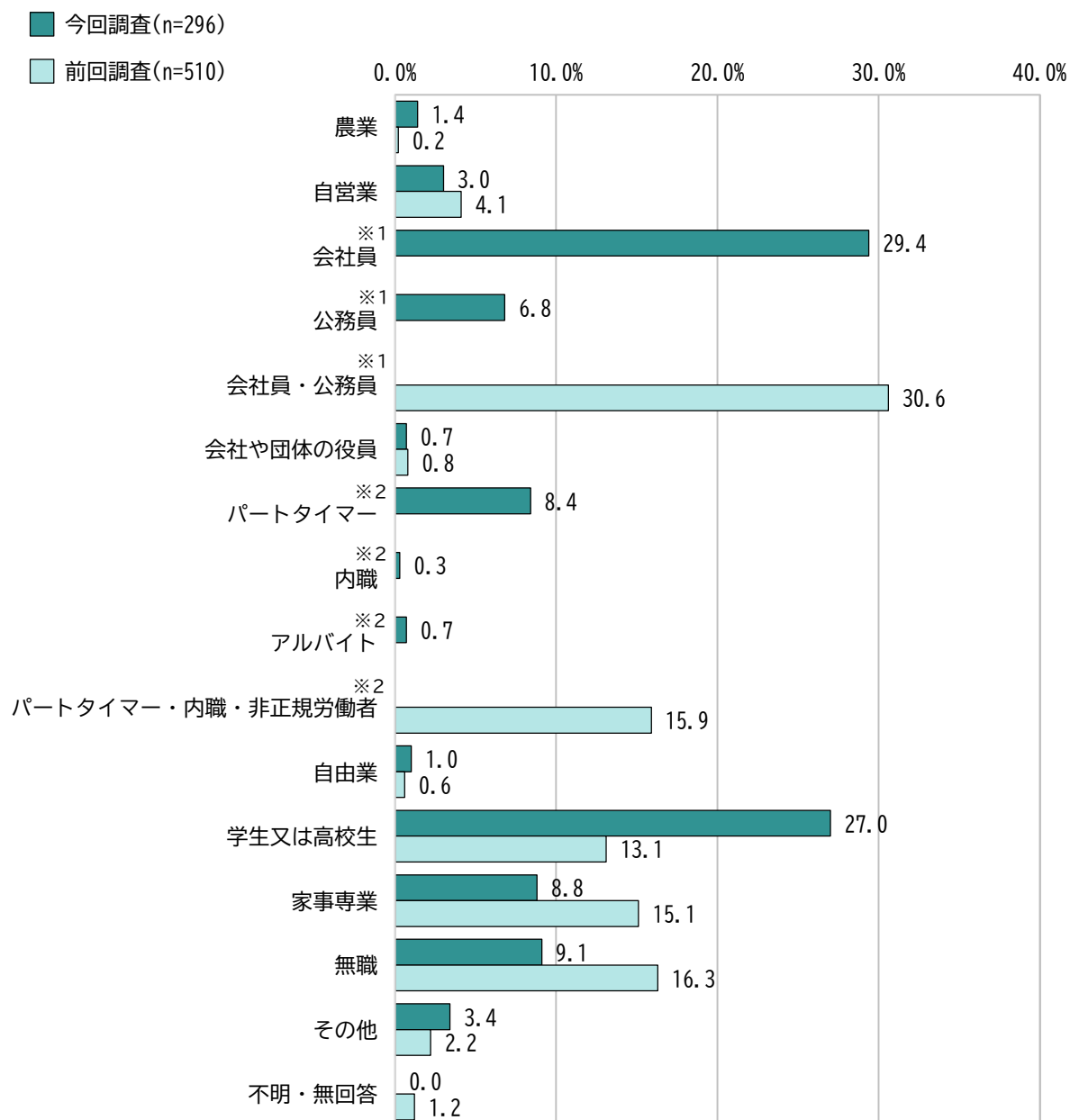
年齢別にみると、〈17歳〉では、「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」、〈20～29歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「溝沼・大字溝沼」、「泉水・三原」、〈30～39歳〉では、「泉水・三原」、〈40～49歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」、〈70～79歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、〈80歳以上〉では、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が最も多くなっています。

単位：％		本町・仲町・青葉台	根岸台・大字根岸台・岡・大字根岸台・	溝沼・大字溝沼	幸町・膝折町・栄町・大字膝折・	泉水・三原	朝志ヶ丘・西原・北原・	東弁財・西弁財・	宮戸・大字宮戸・大字浜崎・	田島・大字田島・	上内間木・下内間木	不明・無回答
全体(n=296)		15.5	15.9	6.8	16.6	15.9	18.2	10.1	1.0	0.0		
年齢別	17歳 (n=77)	13.0	19.5	3.9	23.4	14.3	14.3	9.1	2.6	0.0		
	20～29歳 (n=34)	17.6	17.6	17.6	8.8	17.6	14.7	5.9	0.0	0.0		
	30～39歳 (n=37)	16.2	16.2	5.4	13.5	18.9	13.5	16.2	0.0	0.0		
	40～49歳 (n=43)	18.6	18.6	9.3	14.0	16.3	14.0	9.3	0.0	0.0		
	50～59歳 (n=43)	11.6	20.9	4.7	16.3	11.6	23.3	9.3	2.3	0.0		
	60～69歳 (n=36)	16.7	0.0	5.6	16.7	16.7	36.1	8.3	0.0	0.0		
	70～79歳 (n=14)	35.7	7.1	7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0		
	80歳以上 (n=12)	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	25.0	25.0	0.0	0.0		

問4 あなたの現在の職業などは、次のどれにあてはまりますか。

(単数回答)

職業などについてみると、「会社員」が29.4%と最も多く、次いで「学生又は高校生」が27.0%、「無職」が9.1%となっています。



※1：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載

※2：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載

年齢別にみると、〈17歳〉では、「学生又は高校生」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「会社員」、〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「無職」が最も多くなっています。また、〈50～59歳〉では、「自営業」、〈70～79歳〉では、「家事専業」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

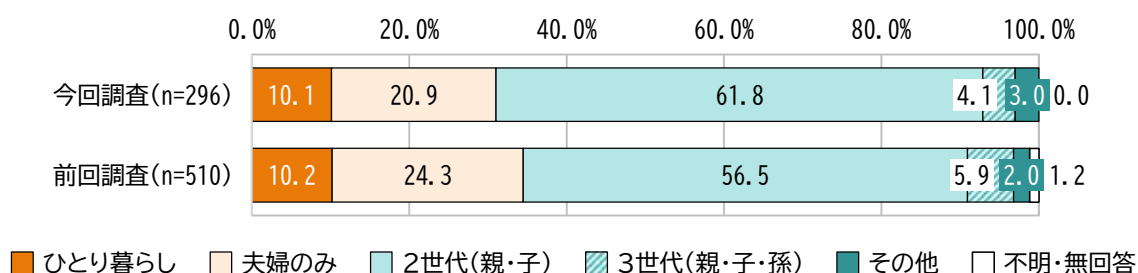
単位：％		農業	自営業	会社員	公務員	会 社 の 社 役 や 員 団	イ パ ー マ ー ト タ	内職	ト ア ル バ イ	自由業	高 学 校 生 又 は
全体(n=296)		1.4	3.0	29.4	6.8	0.7	8.4	0.3	0.7	1.0	27.0
年 齢 別	17歳 (n=77)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.7
	20～29歳 (n=34)	0.0	0.0	38.2	17.6	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	11.8
	30～39歳 (n=37)	0.0	0.0	67.6	10.8	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=43)	0.0	0.0	51.2	11.6	0.0	16.3	0.0	0.0	2.3	0.0
	50～59歳 (n=43)	0.0	16.3	41.9	7.0	2.3	18.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳 (n=36)	2.8	5.6	25.0	5.6	0.0	19.4	2.8	2.8	5.6	0.0
	70～79歳 (n=14)	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=12)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％		家事専業	無職	その他	回 不 答 明 ・ 無
全体(n=296)		8.8	9.1	3.4	0.0
年 齢 別	17歳 (n=77)	0.0	1.3	0.0	0.0
	20～29歳 (n=34)	5.9	11.8	8.8	0.0
	30～39歳 (n=37)	10.8	0.0	2.7	0.0
	40～49歳 (n=43)	16.3	0.0	2.3	0.0
	50～59歳 (n=43)	9.3	2.3	2.3	0.0
	60～69歳 (n=36)	11.1	11.1	8.3	0.0
	70～79歳 (n=14)	28.6	64.3	0.0	0.0
	80歳以上 (n=12)	8.3	66.7	8.3	0.0

問5 あなたの現在の世帯の家族構成をお答えください。

(単数回答)

世帯の家族構成についてみると、「2世代(親・子)」が61.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が20.9%、「ひとり暮らし」が10.1%となっています。



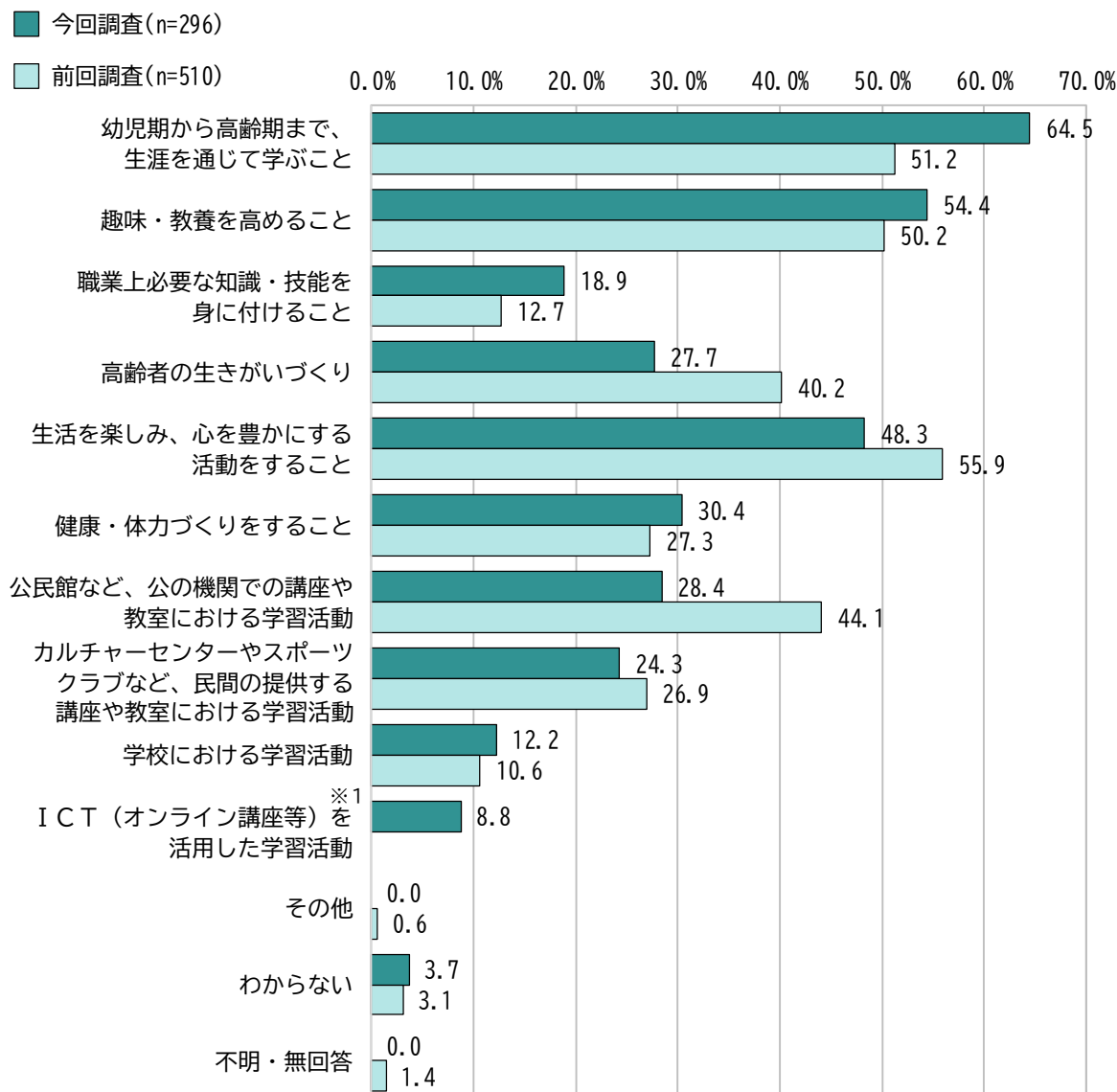
(2) 生涯学習活動の状況について

問6 生涯学習という言葉から、どのようなイメージを持ちますか。

(複数回答)

生涯学習という言葉のイメージについてみると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が64.5%と最も多く、次いで「趣味・教養を高めること」が54.4%、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする」が48.3%となっています。

前回調査と比べると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が13.3ポイント増加しており、「高齢者の生きがいづくり」、「公民館など、公の機関での講座や教室における学習活動」が減少しています。



※1：今回調査の新規選択肢

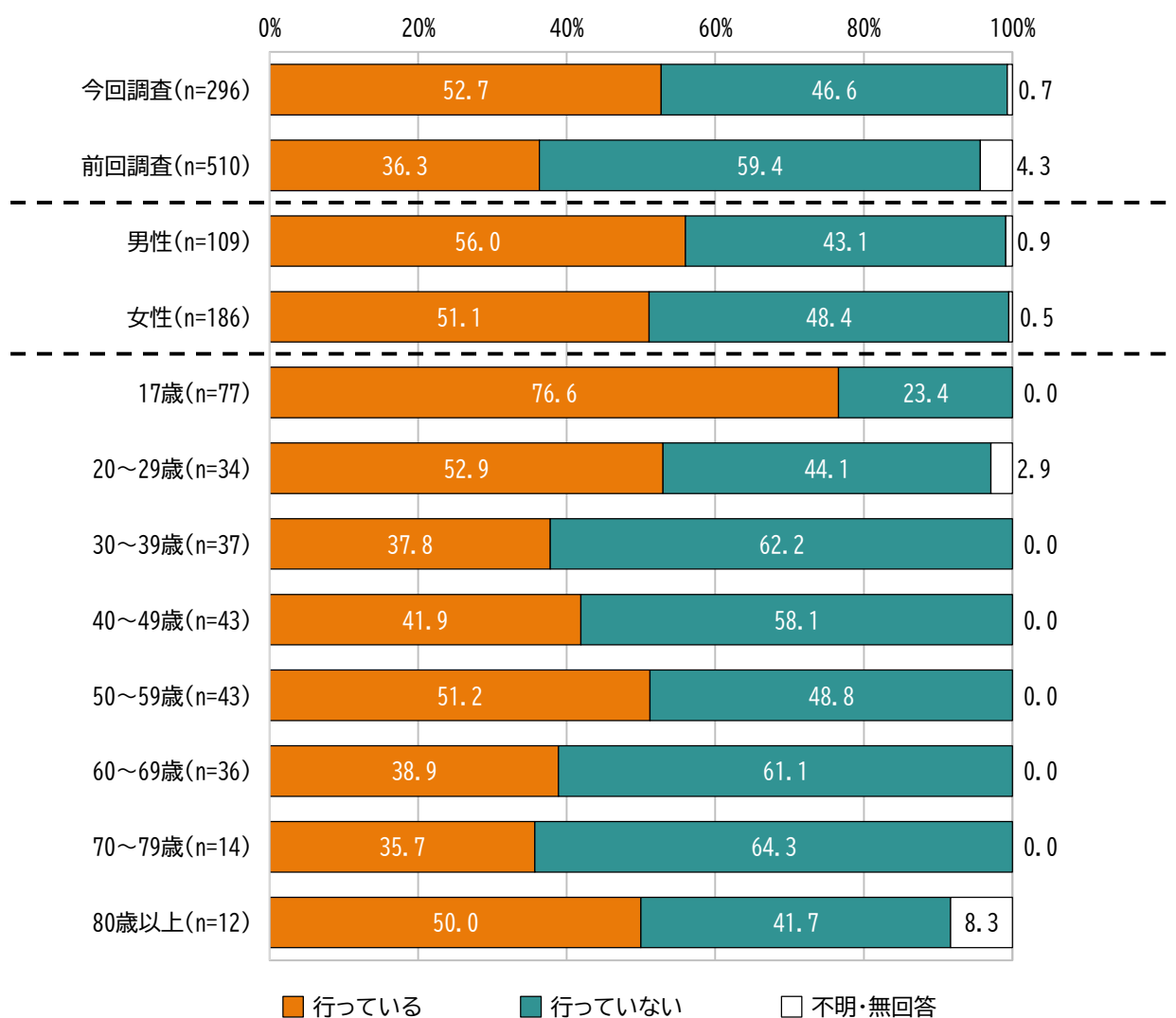
問7 この1年くらいの間に、「生涯学習活動」を行いましたか。学生の場合、学校での授業は除きますが、学校の部活動やサークル活動は含まれます。(単数回答)

この1年間に「生涯学習活動」を行っているかについて見ると、「行っている」が52.7%、「行っていない」が46.6%となっています。

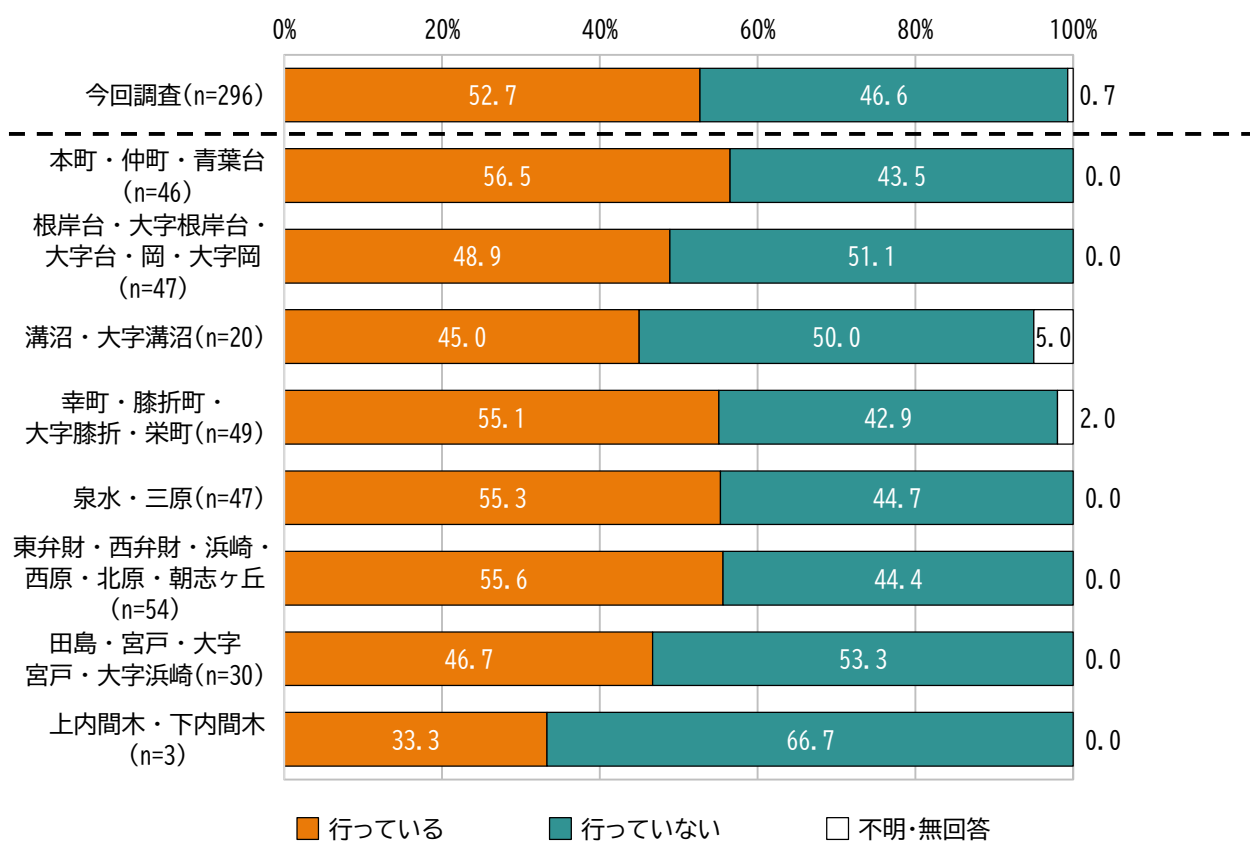
前回調査と比べると、「行っている」が16.4ポイント増加しています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈50～59歳〉〈80歳以上〉では、「行っている」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「行っていない」が最も多くなっています。



地区別にみると、〈本町・仲町・青葉台〉〈幸町・膝折町・大字膝折・栄町〉〈泉水・三原〉〈東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘〉では、「行っている」、〈根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡〉〈溝沼・大字溝沼〉〈田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎〉〈上内間木・下内間木〉では、「行っていない」が最も多くなっています。

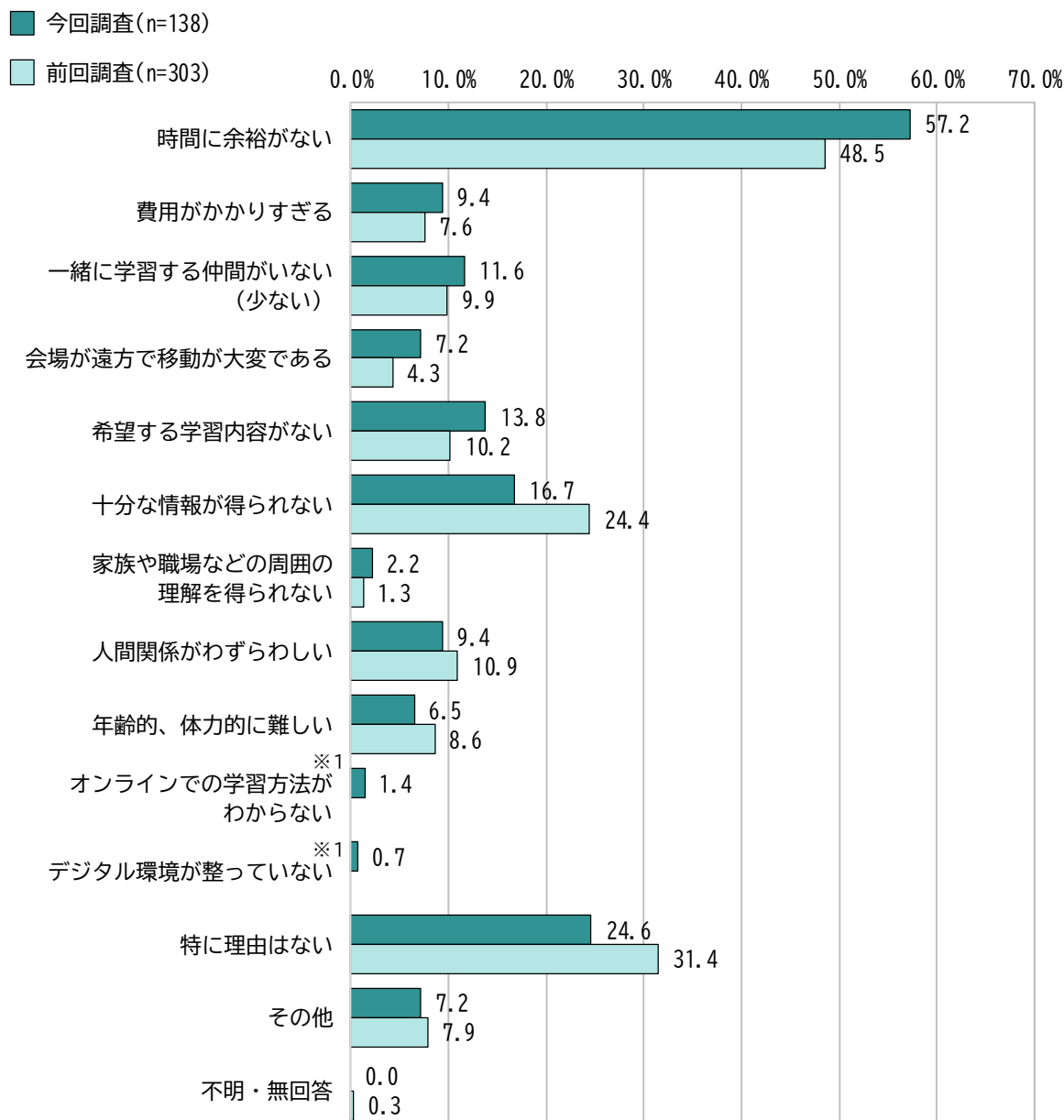


問7で「行っていない」と回答した方におたずねします。

問8 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。

(複数回答)

生涯学習活動を行っていない理由についてみると、「時間に余裕がない」が57.2%と最も多く、次いで「特に理由はない」が24.6%、「十分な情報が得られない」が16.7%となっています。



※1：今回調査の新規選択肢

性別にみると、「時間に余裕がない」では、18.6 ポイント女性が男性を上回っています。また、「特に理由はない」では、10.8 ポイント男性が女性を上回っています。

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「特に理由はない」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「時間に余裕がない」、〈70～79 歳〉では、「会場が遠方で移動が大変である」、〈80 歳以上〉では、「年齢的・体力的に難しい」が最も多くなっています。また、〈60～69 歳〉では、「十分な情報が得られない」が他の年齢に比べて多くなっています。

単位：％		余時間 がに ない	費用が すぎる	仲間が いない (少ない)	会場が 遠方で 移動	希望する 学習内容 がない	十分な 情報が 得られない	家族や 職場など の周囲の 理解がない	人間関係 が わづら わづら	年齢的・ 体力的 に 難しい	学習方法 が わからない	オンライン での 環境が 整っていない
全体(n=138)		57.2	9.4	11.6	7.2	13.8	16.7	2.2	9.4	6.5	1.4	0.7
性別	男性 (n=47)	44.7	10.6	8.5	6.4	14.9	12.8	4.3	12.8	10.6	2.1	0.0
	女性 (n=90)	63.3	8.9	13.3	7.8	13.3	18.9	1.1	7.8	4.4	1.1	1.1
年齢別	17歳 (n=18)	27.8	5.6	11.1	0.0	5.6	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	20～29歳 (n=15)	53.3	20.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=23)	69.6	8.7	8.7	8.7	17.4	21.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=25)	88.0	4.0	16.0	8.0	8.0	20.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0
	50～59歳 (n=21)	57.1	19.0	14.3	9.5	23.8	9.5	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0
	60～69歳 (n=22)	72.7	9.1	9.1	0.0	18.2	40.9	4.5	9.1	4.5	4.5	0.0
	70～79歳 (n=9)	0.0	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0
	80歳以上 (n=5)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0

単位：％		特に 理由 はない	そ の 他	不明・ 無回 答
全体(n=138)		24.6	7.2	0.0
性別	男性 (n=47)	31.9	6.4	0.0
	女性 (n=90)	21.1	7.8	0.0
年齢別	17歳 (n=18)	72.2	0.0	0.0
	20～29歳 (n=15)	26.7	13.3	0.0
	30～39歳 (n=23)	17.4	4.3	0.0
	40～49歳 (n=25)	4.0	4.0	0.0
	50～59歳 (n=21)	19.0	9.5	0.0
	60～69歳 (n=22)	18.2	9.1	0.0
	70～79歳 (n=9)	22.2	11.1	0.0
	80歳以上 (n=5)	40.0	20.0	0.0

【参考】国調査と県調査との比較※

国調査では、「特に必要がない」が45.5%と最も多く、次いで「きっかけがつかめない」が29.1%、「仕事が忙しくて時間がない」が27.5%、県調査では、「仕事が忙しくて時間がない」が35.6%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」が22.7%、「きっかけがつかめない」が20.3%となっています。

国調査・県調査と市調査を比べると、いずれの調査においても時間的な制約が上位となっています。また、「希望する学習内容がない」、「十分な情報が得られない」では、市調査が国調査を上回っています。

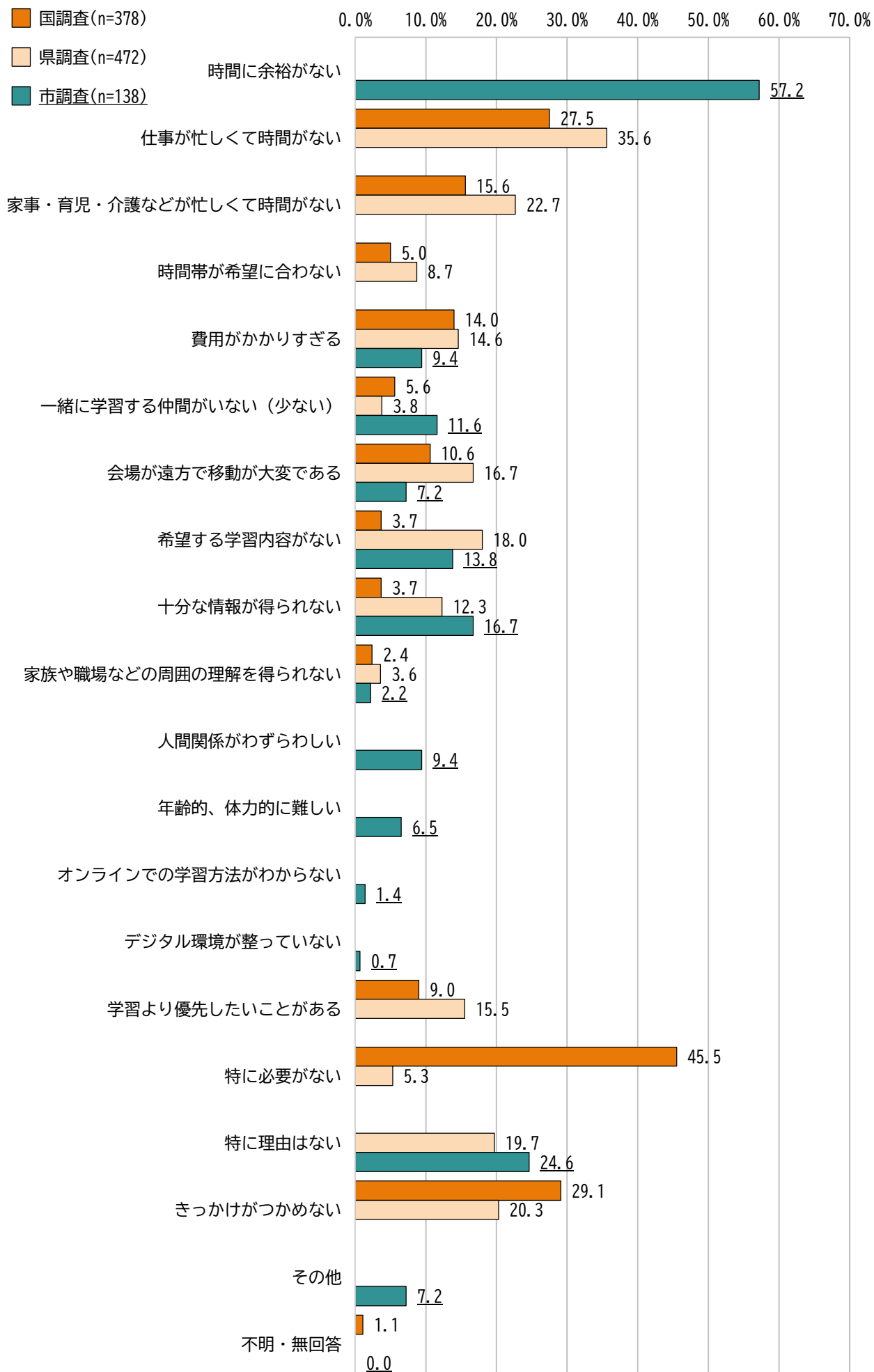
グラフは次ページに掲載しています。

※国調査・県調査で、市調査と類似の選択肢を同じ選択肢として比較しています。
国調査・県調査の選択肢は下記のとおりです。

【参考】国・県の設定・選択肢

(国)	学習していない理由は何ですか。(複数回答)
選択肢	・特に必要がない ・きっかけがつかめない ・仕事が忙しくて時間がない ・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない ・学習するための費用がかかる ・身近なところに学習する場がない ・学習より優先したいことがある ・一緒に学習する仲間がいない ・時間帯が希望に合わない ・学習したい内容の講座が開設されていない ・学習するのに必要な情報が入手できない ・学習しても職場などから評価されない

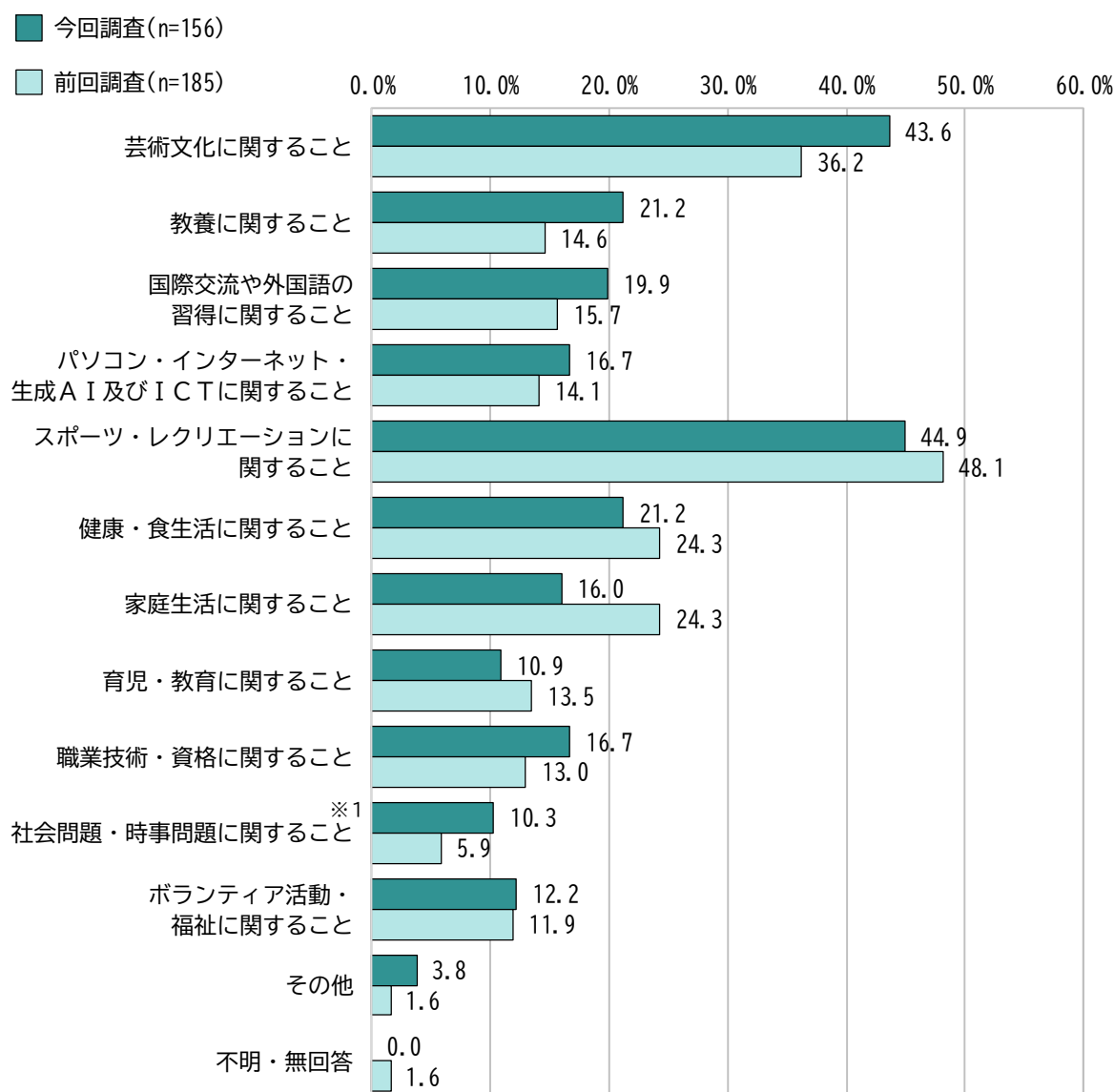
(県)	あなたがこの1年くらいの間に生涯学習活動をしなかった理由は何ですか。(複数回答)
選択肢	・仕事が忙しくて時間がない ・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない ・きっかけがつかめない ・学習したい内容が見つからない ・身近なところに学習する場・環境がない ・他に優先したいことがある ・学習するための費用がかかる ・学習するのに必要な情報（内容・場所・時間・費用など）が入手できない ・時間帯が希望に合わない ・生涯学習活動をする必要がない ・一緒に学習する仲間がいない ・学習しても職場などから評価されない ・その他 ・理由は特になし



問9～問16は、問7で「行っている」と回答した方におたずねします。

問9 この1年くらいの間に、どのような生涯学習をしたことがありますか。 (複数回答)

1年間にどのような生涯学習をしたかについてみると、「スポーツ・レクリエーションに関する
こと」が44.9%と最も多く、次いで「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書
道・短歌・囲碁・将棋など）」が43.6%、「教養に関すること（文学・歴史・郷土史・文化財など）」、
「健康・食生活に関すること」が21.2%となっています。



※1：前回調査は「地域の社会問題・時事問題に関すること」

年齢別にみると、〈17歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など）」、〈20～29歳〉では、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、「職業技術・資格に関すること」、〈30～39歳〉では、「パソコン・インターネット・生成AI及びICTに関すること」、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、「健康・食生活に関すること」、〈40～49歳〉〈70～79歳〉では、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、〈80歳以上〉では、「健康・食生活に関すること」が最も多くなっています。

単位：％		芸術文化に関すること	教養に関すること	国際交流や外国語の習得に関すること	ICTに生成AI及びパソコン・インターネットに関すること	スポーツ・レクリエーションに関すること	健康・食生活に関すること	家庭生活に関すること	育児・教育に関すること	職業技術・資格に関すること	社会問題・時事問題に関すること	ボランティア活動・福祉に関すること
全体(n=156)		43.6	21.2	19.9	16.7	44.9	21.2	16.0	10.9	16.7	10.3	12.2
年齢別	17歳 (n=59)	52.5	18.6	22.0	18.6	44.1	11.9	16.9	8.5	13.6	13.6	13.6
	20～29歳 (n=18)	27.8	33.3	11.1	22.2	38.9	33.3	22.2	5.6	38.9	16.7	5.6
	30～39歳 (n=14)	28.6	35.7	28.6	42.9	42.9	42.9	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1
	40～49歳 (n=18)	33.3	11.1	27.8	0.0	50.0	22.2	11.1	11.1	27.8	0.0	5.6
	50～59歳 (n=22)	59.1	4.5	9.1	9.1	50.0	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	22.7
	60～69歳 (n=14)	42.9	28.6	28.6	7.1	35.7	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	80歳以上 (n=6)	50.0	50.0	16.7	16.7	33.3	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7

単位：％		その他	不明・無回答
全体(n=156)		3.8	0.0
年齢別	17歳 (n=59)	3.4	0.0
	20～29歳 (n=18)	11.1	0.0
	30～39歳 (n=14)	7.1	0.0
	40～49歳 (n=18)	0.0	0.0
	50～59歳 (n=22)	4.5	0.0
	60～69歳 (n=14)	0.0	0.0
	70～79歳 (n=5)	0.0	0.0
	80歳以上 (n=6)	0.0	0.0

【参考】国調査と県調査との比較※

国調査では、「職業技術・資格に関すること」が40.1%と最も多く、次いで「健康やスポーツに関すること」が31.3%、「家庭生活に関すること」が23.1%、県調査では、「趣味に関するもの」が37.5%と最も多く、次いで「健康やスポーツに関すること」が32.7%、「教養に関すること」が32.6%となっています。また、活動を行わなかった割合は、国調査で24.3%、県調査で24.0%となっています。

国調査・県調査と市調査を比べると、「芸術文化に関すること」では、国調査・県調査を上回っていますが、「教養に関すること」では県調査を、「職業技術・資格に関すること」では国調査を下回っています。

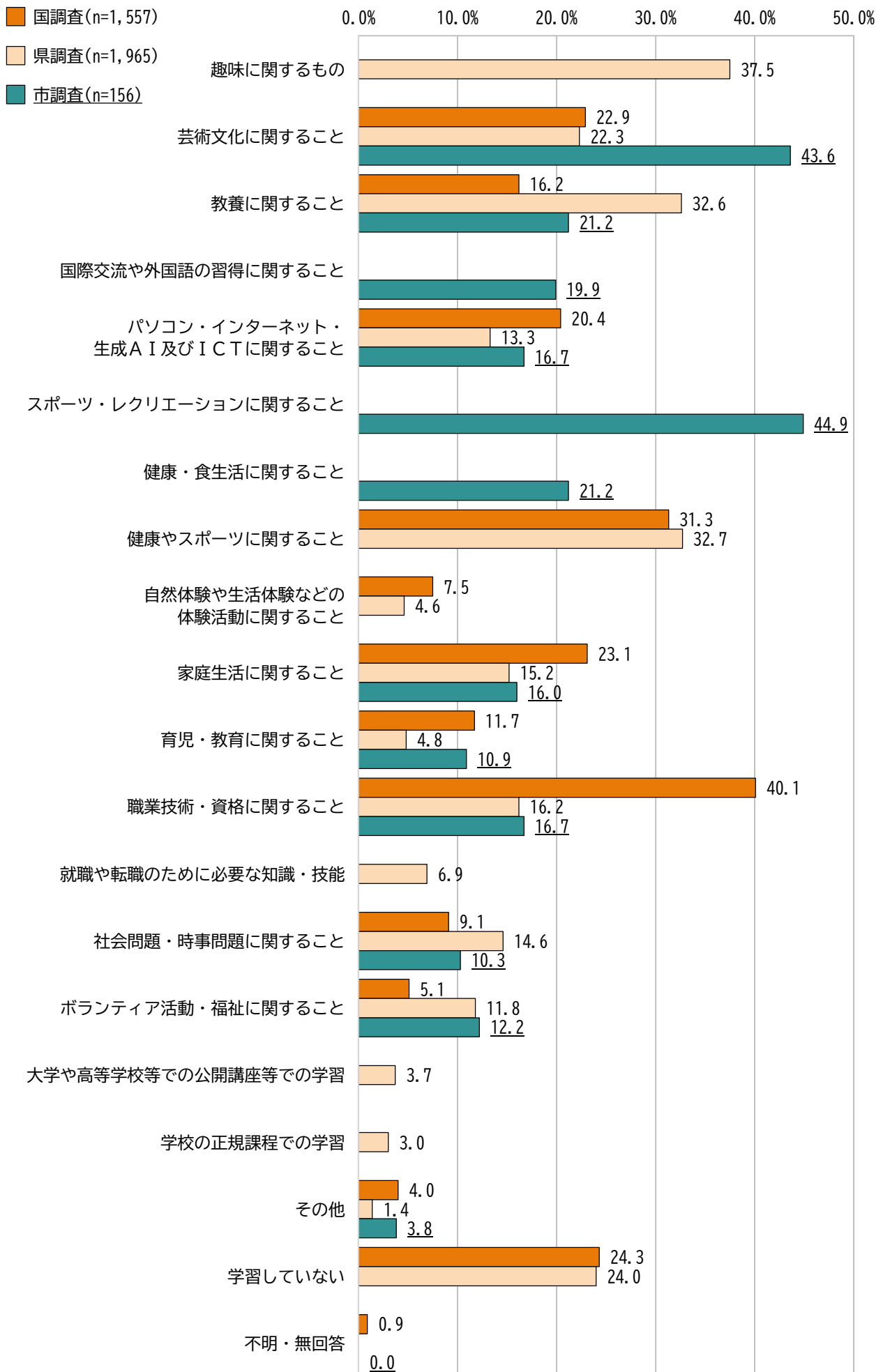
グラフは次ページに掲載しています。

※国調査・県調査で、市調査と類似の選択肢を同じ選択肢として比較しています。
国調査・県調査の選択肢は下記のとおりです。

【参考】国・県の設問・選択肢

(国)	あなたは、この1年くらいの間に、月に1日以上どのようなことを学習しましたか。(複数回答)
選択肢	・仕事に必要な知識・技能や資格に関すること ・健康やスポーツに関すること ・料理や裁縫などの家庭生活に関すること ・音楽や美術、レク活動などの趣味に関すること ・インターネットの知識・技能に関すること ・文学や歴史、語学などの教養に関すること ・育児や教育に関すること ・人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること ・自然体験や生活体験などの体験活動に関すること ・ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること ・その他 ・学習していない

(県)	あなたは、この1年くらいの間にどのような生涯学習活動をしましたか。(複数回答)
選択肢	・趣味に関するもの(映画鑑賞、音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など) ・スポーツ・健康に関するもの(各種スポーツ、ジョギング、水泳、ダンス、健康法、医学、栄養など) ・教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など) ・芸術・文化に関するもの(音楽、美術、華道、茶道、書道など) ・職業において必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など) ・家庭生活に関するもの(料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など) ・社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など) ・パソコン・インターネットに関するもの(パソコン教室、パソコン関連教室など) ・ボランティアに関するもの(ボランティア活動、ボランティア活動に向けた学習など) ・就職や転職のために必要な知識・技能(就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など) ・育児・教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など) ・自然体験や生活体験に関するもの(キャンプ、野外炊飯などの体験活動) ・大学や高等学校等での公開講座等での学習 ・学校の正規課程での学習(高等・専修・各種学校、大学、大学院での講義・調査・研究など) ・生涯学習活動(上記のような活動)をしなかった ・その他

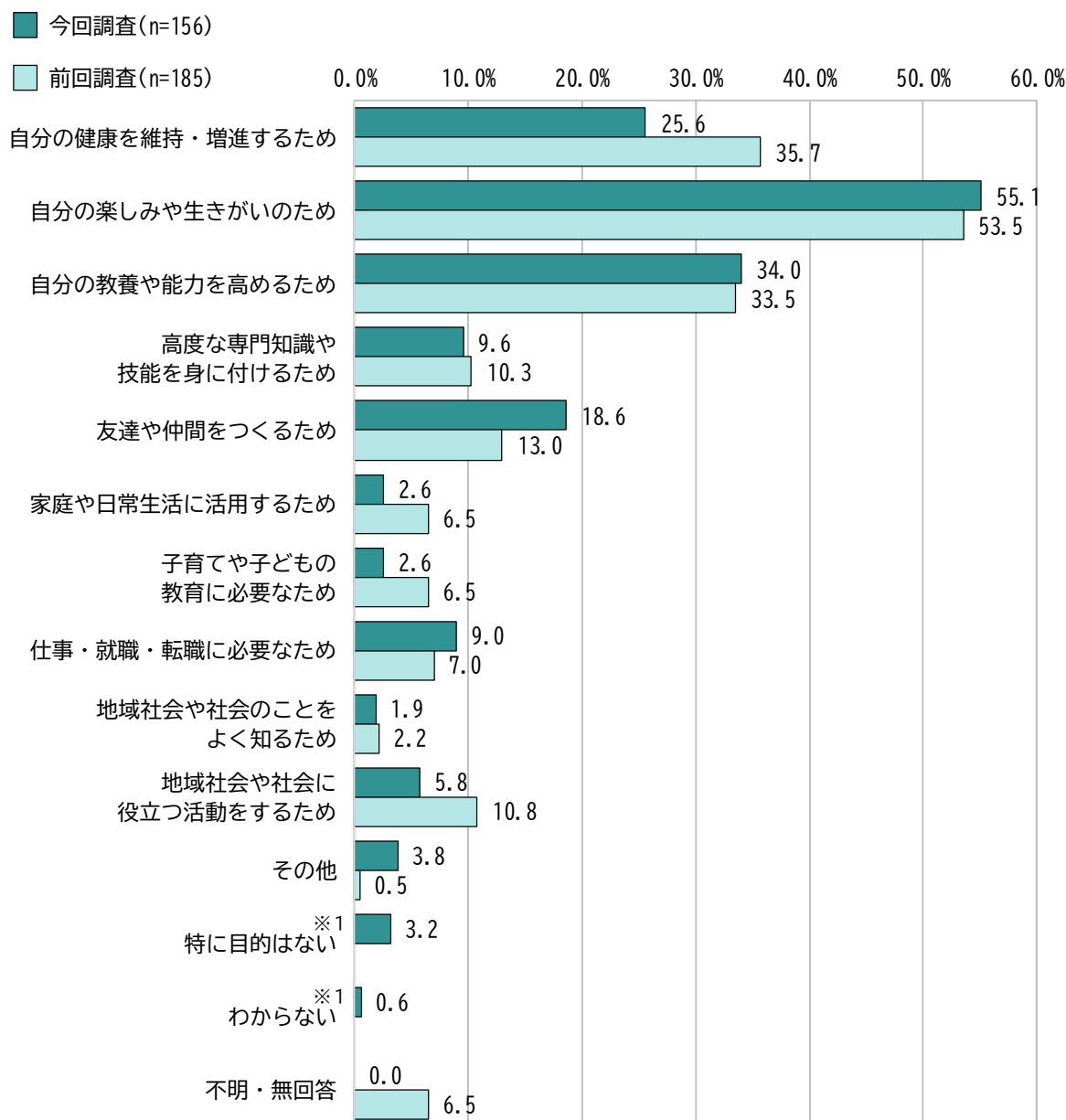


問 10 生涯学習をはじめた目的は何ですか。

(2つまで回答)

生涯学習をはじめた目的についてみると、「自分の楽しみや生きがいのため」が55.1%と最も多く、次いで「自分の教養や能力を高めるため」が34.0%、「自分の健康を維持・増進するため」が25.6%となっています。

前回調査と比べると、「自分の健康を維持・増進するため」が10.1ポイント減少しています。



※1：今回調査の新規選択肢

性別にみると、「自分の健康を維持・増進するため」では、14.4 ポイント男性が女性を上回っています。また、「自分の楽しみや生きがいのため」では、12.5 ポイント女性が男性を上回っています。

年齢別にみると、〈17 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉〈80 歳以上〉では、「自分の楽しみや生きがいのため」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉では、「自分の教養や能力を高めるため」、〈70～79 歳〉では、「自分の健康を維持・増進するため」が最も多くなっています。また、〈20～29 歳〉では、「自分の楽しみや生きがいのため」が他の年齢に比べて少なくなっています。

単位：％		自分の健康を維持・増進するため	自分の楽しみや生きがいのため	自分の教養や能力を高めるため	高度な専門知識や技術を身に付けるため	友達や仲間をつくるため	家庭や日常生活に活用するため	子育てに必要なもの	仕事・必要な職・転職	社会や地域を知るため	地域社会や活動に役立つ	その他
全体(n=156)		25.6	55.1	34.0	9.6	18.6	2.6	2.6	9.0	1.9	5.8	3.8
性別	男性 (n=61)	34.4	47.5	32.8	11.5	21.3	1.6	1.6	8.2	1.6	8.2	0.0
	女性 (n=95)	20.0	60.0	34.7	8.4	16.8	3.2	3.2	9.5	2.1	4.2	6.3
年齢別	17歳 (n=59)	11.9	52.5	25.4	5.1	28.8	1.7	0.0	10.2	3.4	6.8	6.8
	20～29歳 (n=18)	22.2	27.8	44.4	27.8	11.1	5.6	0.0	16.7	5.6	11.1	5.6
	30～39歳 (n=14)	28.6	42.9	57.1	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=18)	38.9	72.2	27.8	11.1	16.7	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	50～59歳 (n=22)	40.9	59.1	40.9	9.1	13.6	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0
	60～69歳 (n=14)	14.3	78.6	35.7	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	70～79歳 (n=5)	80.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	80歳以上 (n=6)	50.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

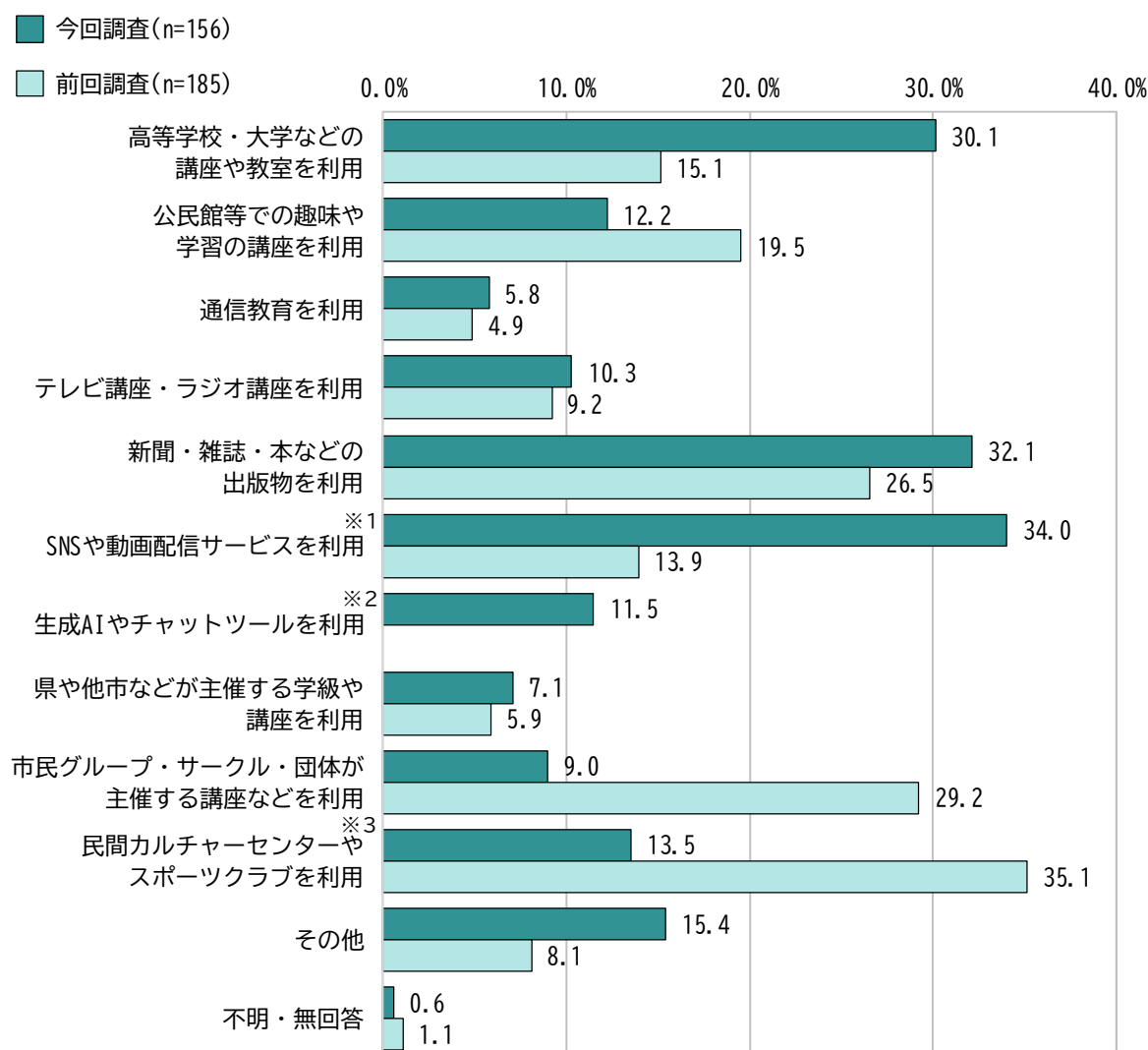
単位：％		特に目的はない	わからない	不明・無回答
全体(n=156)		3.2	0.6	0.0
性別	男性 (n=61)	3.3	1.6	0.0
	女性 (n=95)	3.2	0.0	0.0
年齢別	17歳 (n=59)	8.5	1.7	0.0
	20～29歳 (n=18)	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=14)	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=18)	0.0	0.0	0.0
	50～59歳 (n=22)	0.0	0.0	0.0
	60～69歳 (n=14)	0.0	0.0	0.0
	70～79歳 (n=5)	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=6)	0.0	0.0	0.0

問11 どのような手段・方法で学習していますか。

(複数回答)

学習の手段・方法についてみると、「SNSや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など）」が34.0%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」が32.1%、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」が30.1%となっています。

前回調査と比べると、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」、「SNSや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など）」が増加しており、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」、「民間カルチャーセンターやスポーツクラブを利用（個人指導を含む）」が減少しています。



※1：前回調査は「インターネットを利用」

※2：今回調査の新規選択肢

※3：前回調査は「民間カルチャーセンター・スポーツクラブを利用」、「個人による指導を利用」の合算

年齢別にみると、〈17歳〉では、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」、〈20～29歳〉〈40～49歳〉〈80歳以上〉では、「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」、〈30～39歳〉〈50～59歳〉では、「SNSや動画配信サービスを利用（YouTube講座など）」、〈60～69歳〉では、「公民館等での趣味や学習の講座を利用」、〈70～79歳〉では、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」が最も多くなっています。また、〈40～49歳〉では、「通信教育を利用」が他の年齢に比べて多くなっています。

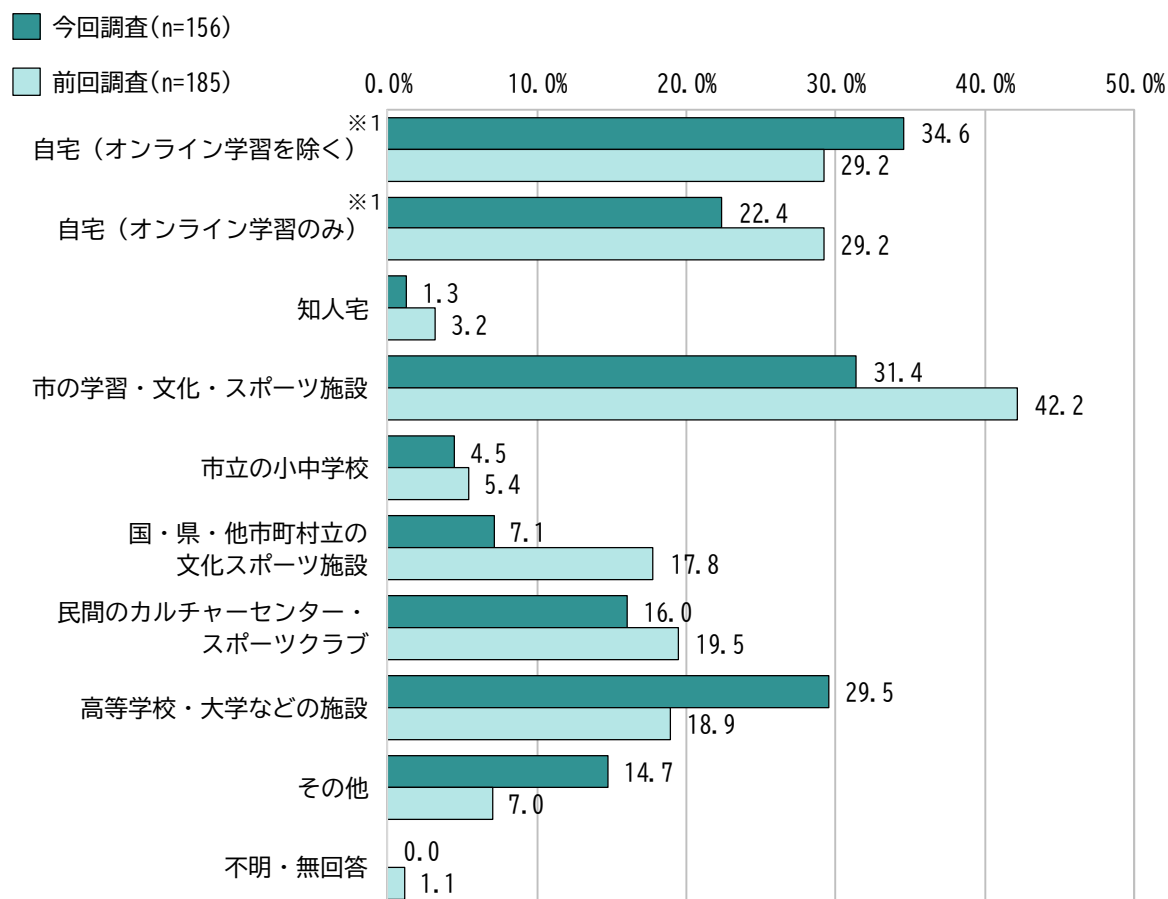
単位：％		の高等学校や講座や教室などを利用	公民館等での趣味や学習の講座を利用	通信教育を利用	テレビ講座や講座を利用	新聞・雑誌・本などの出版物を利用	SNSや動画配信サービスを利用	生成AIやチャットを利用	県や市などの講座や教室を主催	市民グループや団体が主催する講座や教室を利用	市民グループや団体が主催する講座や教室を利用	その他	不明・無回答
全体(n=156)		30.1	12.2	5.8	10.3	32.1	34.0	11.5	7.1	9.0	13.5	15.4	0.6
年齢別	17歳 (n=59)	69.5	6.8	5.1	8.5	16.9	30.5	11.9	3.4	3.4	5.1	10.2	0.0
	20～29歳 (n=18)	16.7	5.6	0.0	0.0	50.0	44.4	22.2	0.0	5.6	5.6	27.8	0.0
	30～39歳 (n=14)	0.0	0.0	7.1	14.3	71.4	78.6	21.4	7.1	14.3	7.1	14.3	0.0
	40～49歳 (n=18)	0.0	11.1	22.2	11.1	33.3	27.8	5.6	5.6	22.2	27.8	16.7	0.0
	50～59歳 (n=22)	9.1	18.2	4.5	22.7	31.8	36.4	13.6	18.2	4.5	22.7	27.3	0.0
	60～69歳 (n=14)	7.1	50.0	0.0	14.3	28.6	21.4	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1	0.0
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7

問 12 生涯学習でよく利用している場所はどこですか。

(複数回答)

生涯学習でよく利用している場所についてみると、「自宅（オンライン学習を除く）」が34.6%と最も多く、次いで「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」が31.4%、「高等学校・大学などの施設」が29.5%となっています。

前回調査と比べると、「高等学校・大学などの施設」が10.6ポイント増加しており、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」、「国・県・他市町村立の文化スポーツ施設」が減少しています。



※1：前回調査は「自宅」

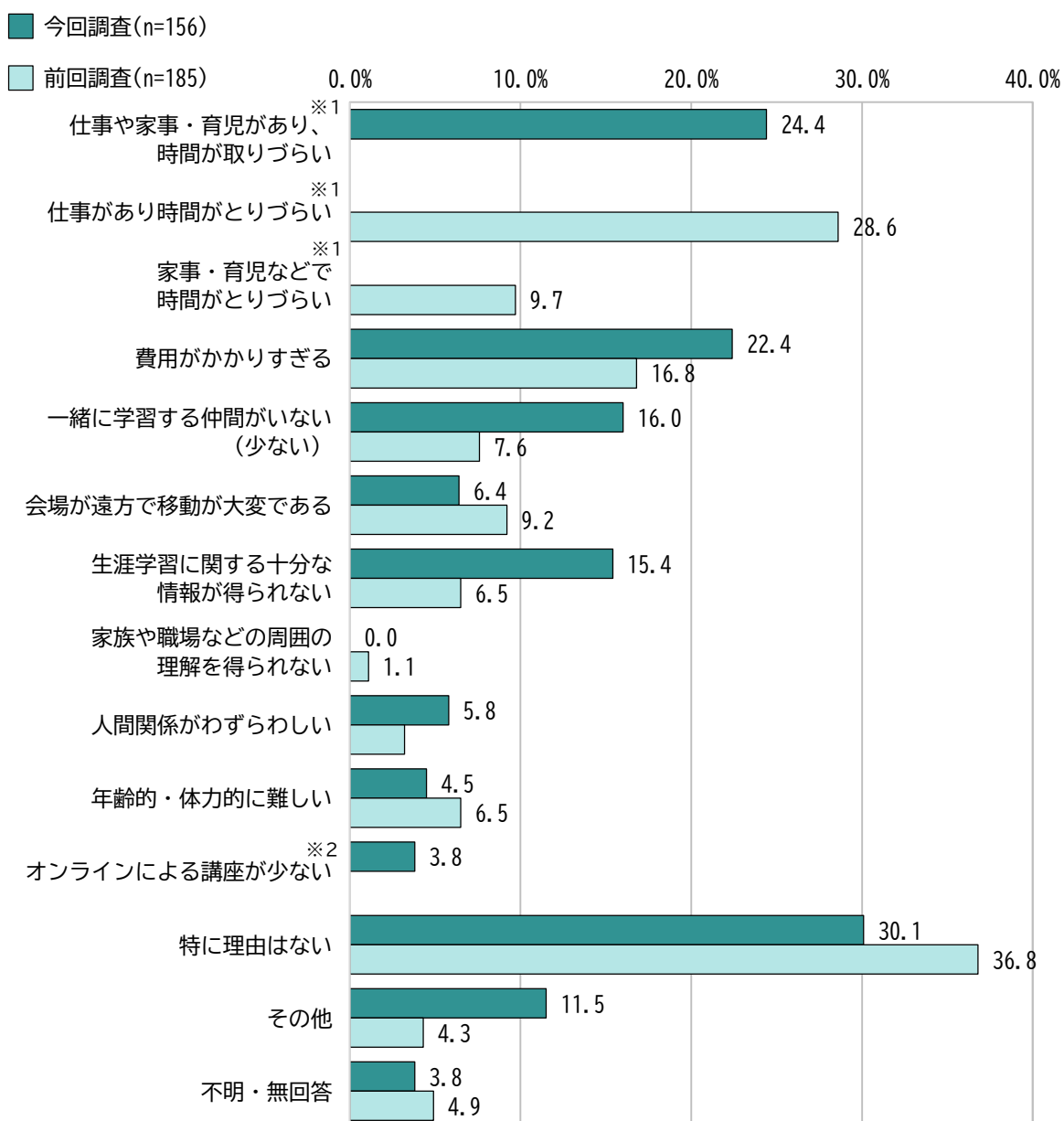
年齢別にみると、〈17歳〉では、「高等学校・大学などの施設」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、「自宅（オンライン学習のみ）」、〈40～49歳〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」、〈80歳以上〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」が最も多くなっています。また、〈30～39歳〉では、「その他」、〈40～49歳〉では、「市立の小中学校」、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導者先）」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：％		学自 習宅 を（オ ンラ イン	学自 習宅 の（オ ンラ イン	知 人 宅	ス ポ ー ツ 学 習 施 設 ・ 文 化 ・	市 立 の 小 中 学 校	文 化 市 ・ ス ポ ー ツ 立 の 施 設	国 ・ 県 ・ 市 ・ 町 ・ 村	セ ン タ ー ・ ス ポ ー ツ ク ラ ブ	民 間 の カ ル チ ャ ー	高 等 学 校 ・ 大 学	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=156)		34.6	22.4	1.3	31.4	4.5	7.1	16.0	29.5	14.7	0.0		
年 齢 別	17歳 (n=59)	35.6	8.5	1.7	10.2	5.1	6.8	6.8	69.5	5.1	0.0		
	20～29歳 (n=18)	44.4	44.4	0.0	33.3	0.0	5.6	11.1	16.7	22.2	0.0		
	30～39歳 (n=14)	50.0	50.0	0.0	28.6	0.0	7.1	21.4	0.0	35.7	0.0		
	40～49歳 (n=18)	44.4	27.8	0.0	27.8	16.7	5.6	33.3	0.0	22.2	0.0		
	50～59歳 (n=22)	22.7	31.8	4.5	54.5	4.5	9.1	22.7	9.1	18.2	0.0		
	60～69歳 (n=14)	7.1	14.3	0.0	64.3	0.0	14.3	21.4	0.0	14.3	0.0		
	70～79歳 (n=5)	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
	80歳以上 (n=6)	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0		

問 13 生涯学習活動を行ううえで、困っていることはありますか。

(3つまで回答)

生涯学習活動を行ううえで困っていることについてみると、「特に理由はない」が30.1%と最も多く、次いで「仕事や家事・育児があり、時間を取りづらい」が24.4%、「費用がかかりすぎる」が22.4%となっています。



※1：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載

※2：今回調査の新規選択肢

年齢別にみると、〈17歳〉〈60～69歳〉〈80歳以上〉では、「特に理由はない」、〈20～29歳〉〈50～59歳〉では、「費用がかかりすぎる」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉では、「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」、〈70～79歳〉では、「費用がかかりすぎる」、「生涯学習に関する十分な情報が得られない」、「年齢的・体力的に難しい」、「オンラインによる講座が少ない」、「特に理由はない」が最も多くなっています。また、〈50～59歳〉では、「特に理由はない」が他の年齢に比べて少なくなっています。

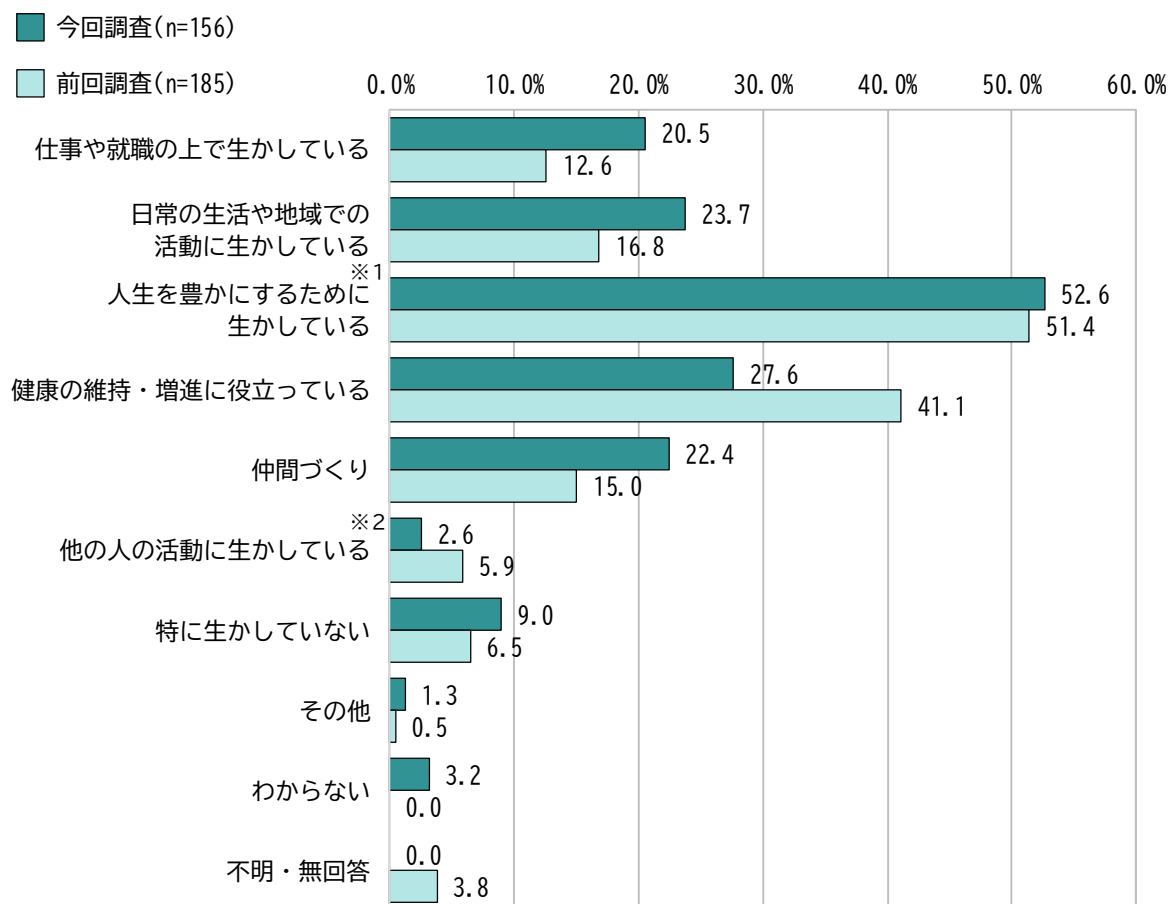
単位：％		り、仕事や家事・育児がいあ	費用がかかりすぎる	い一緒に学習する仲間が	変会場が遠方で移動が大	十分な情報が得られない	生涯学習に関する十分な情報が得られない	周囲の理解を	家族や職場などの	人間関係がい	難しい・体力的に	年齢的・体力的に	講座が少ないによる	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=156)		24.4	22.4	16.0	6.4	15.4	0.0	5.8	4.5	3.8	30.1	11.5	3.8			
年齢別	17歳 (n=59)	13.6	10.2	11.9	5.1	8.5	0.0	8.5	1.7	1.7	37.3	13.6	6.8			
	20～29歳 (n=18)	27.8	38.9	27.8	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2	11.1	0.0			
	30～39歳 (n=14)	64.3	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0			
	40～49歳 (n=18)	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	16.7	0.0			
	50～59歳 (n=22)	27.3	40.9	13.6	18.2	31.8	0.0	4.5	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0			
	60～69歳 (n=14)	7.1	21.4	21.4	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	50.0	21.4	7.1			
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0			
	80歳以上 (n=6)	0.0	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0			

問 14 生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしていますか。

(2つまで回答)

生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしているかについてみると、「人生を豊かにするために生かしている」が52.6%と最も多く、次いで「健康の維持・増進に役立っている」が27.6%、「日常生活や地域での活動に生かしている」が23.7%となっています。

前回調査と比べると、「健康の維持・増進に役立っている」が13.5ポイント減少しています。



※1：前回調査は「自分の人生の充実に向けて活かしている」

※2：前回調査は「他の人の指導に活かしている」

年齢別にみると、〈17歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈80歳以上〉では、「人生を豊かにするために生かしている」、〈20～29歳〉では、「仕事や就職の上で生かしている」、〈30～39歳〉では、「人生を豊かにするために生かしている」、「健康の維持・増進に役立っている」、〈40～49歳〉〈70～79歳〉では、「健康の維持・増進に役立っている」が最も多くなっています。また、〈70～79歳〉では、「仲間づくり」が他の年齢に比べて多く、「人生を豊かにするために生かしている」が他の年齢に比べて少なくなっています。

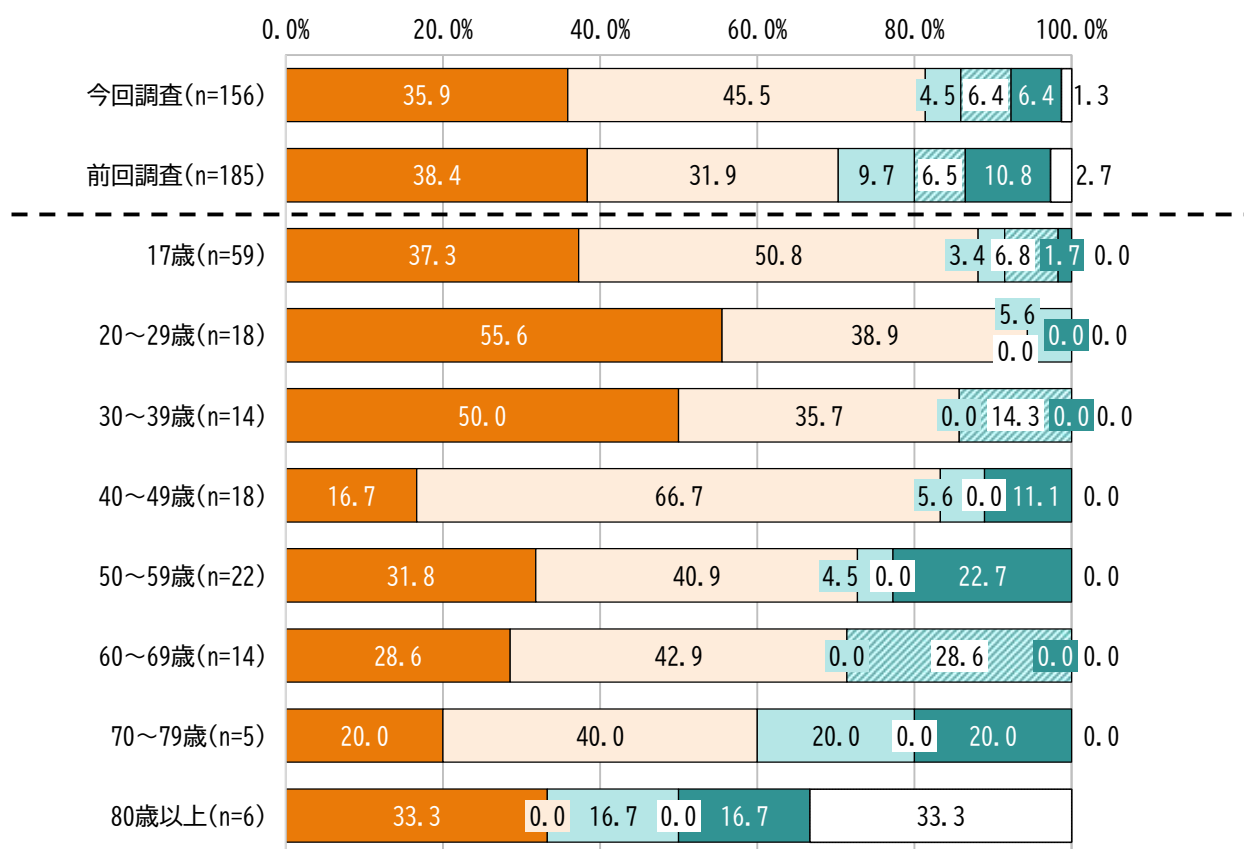
単位：％		仕事や就職の上で生かしている	日常生活や地域での活動に生かしている	人生を豊かにするために生かしている	健康の維持・増進に役立っている	仲間づくり	他の人の活動に生かしている	特に生かしていない	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=156)		20.5	23.7	52.6	27.6	22.4	2.6	9.0	1.3	3.2	0.0
年齢別	17歳 (n=59)	10.2	25.4	57.6	11.9	28.8	1.7	8.5	1.7	8.5	0.0
	20～29歳 (n=18)	50.0	33.3	44.4	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳 (n=14)	35.7	21.4	50.0	50.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	40～49歳 (n=18)	16.7	11.1	33.3	50.0	27.8	0.0	22.2	5.6	0.0	0.0
	50～59歳 (n=22)	27.3	40.9	59.1	31.8	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳 (n=14)	21.4	7.1	64.3	21.4	21.4	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0
	70～79歳 (n=5)	0.0	20.0	20.0	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=6)	0.0	0.0	66.7	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

問 15 生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。
(単数回答)

生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思うかについてみると、「どちらかといえば思う」が45.5%と最も多く、次いで「思う」が35.9%、「思わない」「わからない」が6.4%となっています。

前回調査と比べると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が11.1ポイント増加しています。

年齢別にみると、〈17歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「どちらかといえば思う」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈80歳以上〉では、「思う」が最も多くなっており、いずれの年齢においても、「思う」または「どちらかといえば思う」が最も多くなっています。また、〈60～69歳〉では、「思わない」が他の年齢に比べて多くなっています。

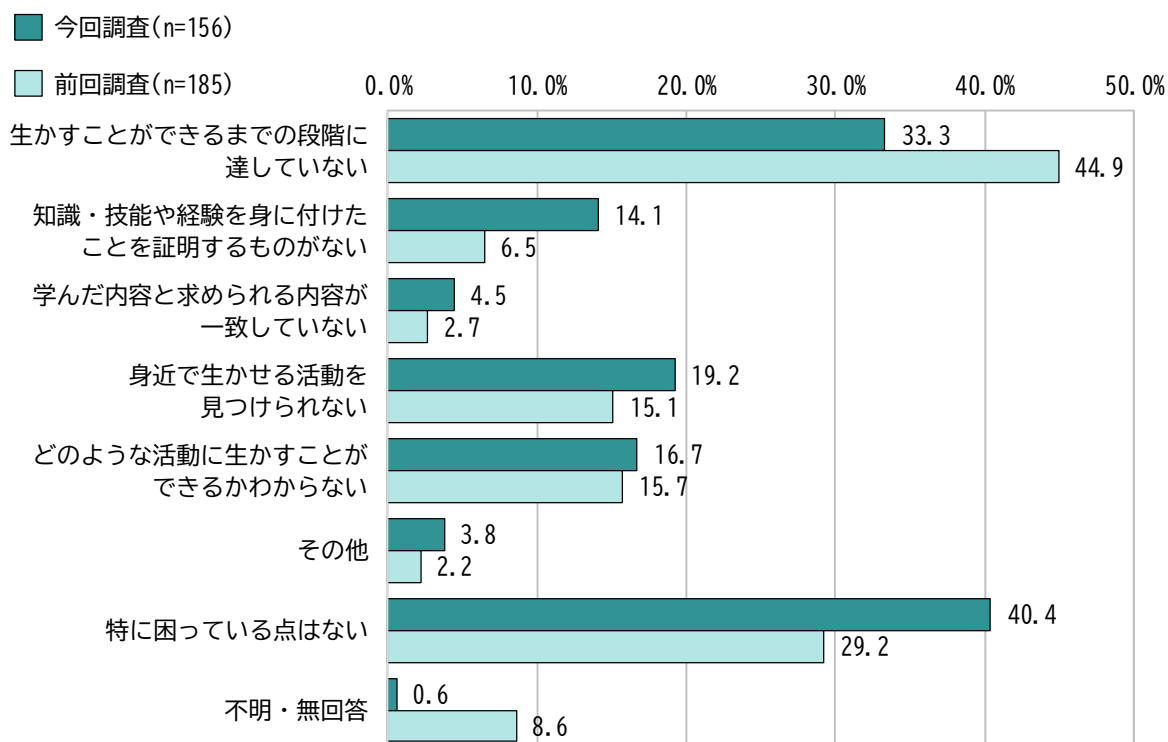


■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらかといえば思わない ■ 思わない ■ わからない □ 不明・無回答

問 16 生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点は何ですか。
(複数回答)

生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたって困っていることについてみると、「特に困っている点はない」が40.4%と最も多く、次いで「生かすことができるまでの段階に達していない」が33.3%、「身近で生かせる活動を見つけられない」が19.2%となっています。

前回調査と比べると、「特に困っている点はない」が11.2ポイント増加しており、「生かすことができるまでの段階に達していない」が11.6ポイント減少しています。



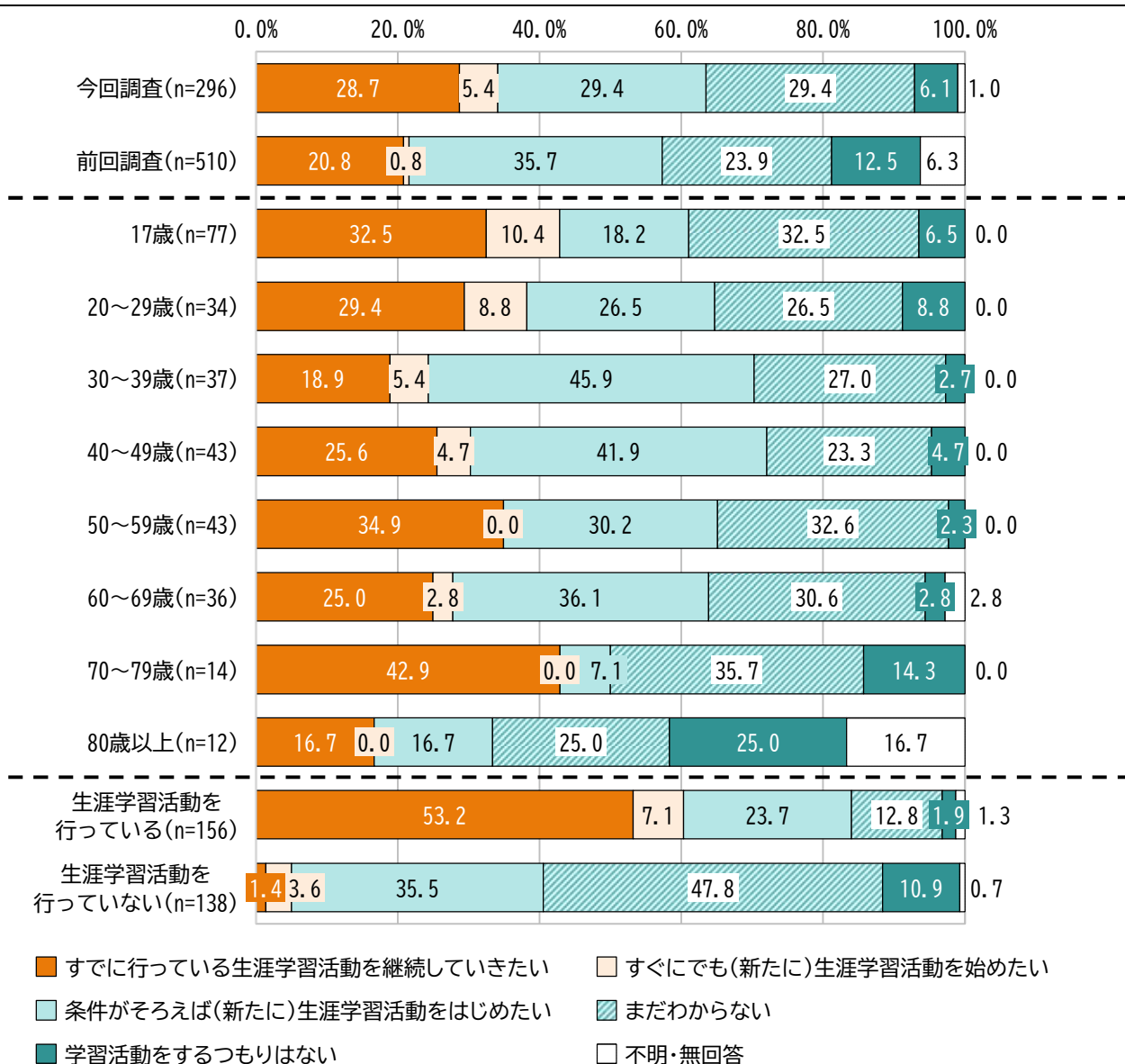
(3) 今後の生涯学習活動に関する意向について

問 17 今後の生涯学習活動に関するあなたのご意向をうかがいます。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。(単数回答)

今後の生涯学習活動に関する意向についてみると、「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」、「まだわからない」が29.4%と最も多く、次いで「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」が28.7%、「学習活動をするつもりはない」が6.1%となっています。

年齢別にみると、〈17歳〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」、「まだわからない」、「20～29歳」〈50～59歳〉〈70～79歳〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」、「〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈60～69歳〉では、「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」、「〈80歳以上〉では、「まだわからない」、「学習活動をするつもりはない」が最も多くなっています。

生涯学習活動の活動状況別にみると、〈行っている〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」が53.2%と最も多く、次いで「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」が23.7%、「まだわからない」が12.8%、〈行っていない〉では、「まだわからない」が47.8%と最も多く、次いで「条件がそろえば(新たに)生涯学習活動をはじめたい」が35.5%、「学習活動をするつもりはない」が10.9%となっています。

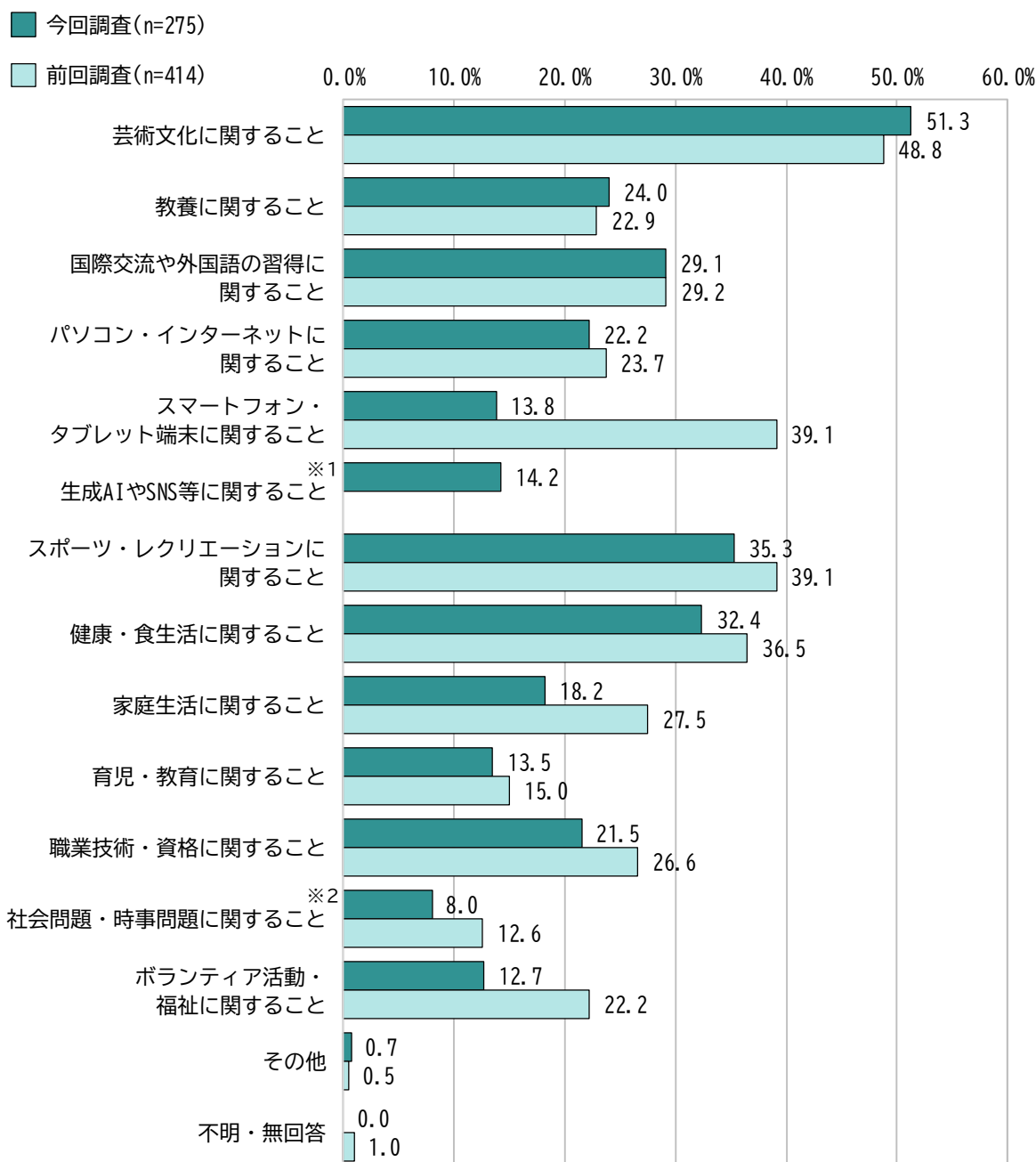


問18・問19は、問17で「学習活動をするつもりはない」以外を選択した方におたずねします。

問 18 生涯学習活動をする場合、今後、あなたの希望する分野は次のうちどれにあたりますか。
(複数回答)

今後希望する分野についてみると、「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など）」が51.3%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーションに関すること」が35.3%、「健康・食生活に関すること」が32.4%となっています。

前回調査と比べると、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が25.3ポイント減少しています。



※1：今回調査の新規選択肢

※2：前回調査は「地域の社会問題・時事問題に関すること」

性別にみると、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」では、12.6ポイント男性が女性を上回っています。また、「家庭生活に関すること」では、22.6ポイント女性が男性を上回っています。

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「芸術文化に関すること」、〈70～79歳〉では、「スポーツ、レクリエーションに関すること」、〈80歳以上〉では、「芸術文化に関すること」、「健康・食生活に関すること」が最も多くなっています。また、〈30～39歳〉では、「育児・教育に関すること」、〈80歳以上〉では、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

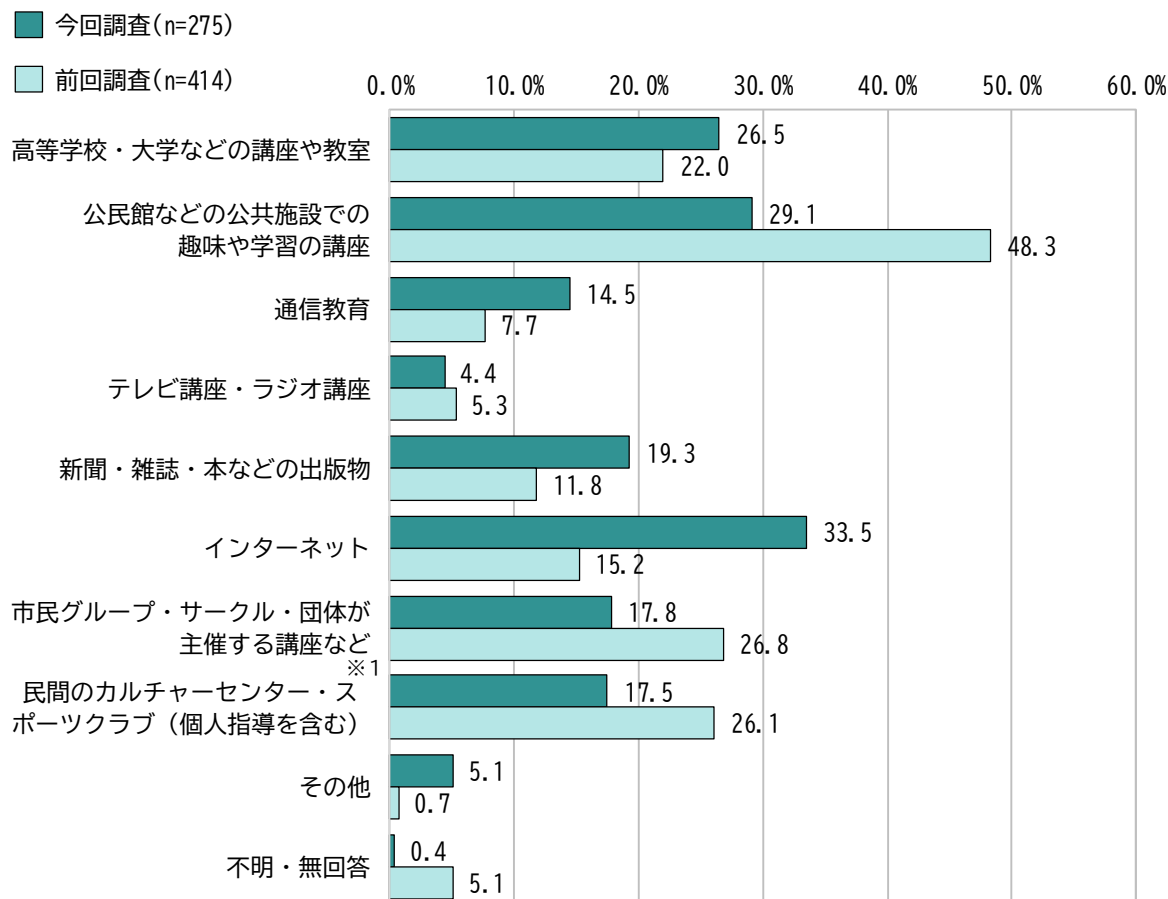
単位：％		関芸術文化に	教養に	関外国語の習得に	関国際交流や	関タネネット・イン	関スマートフォンに	等生にAIやSNS	るエスポーツ・レクリエーション	関健康・食生活に	関家庭生活に	関育児・教育に	関職業技術・資格に
全体(n=275)		51.3	24.0	29.1	22.2	13.8	14.2	35.3	32.4	18.2	13.5	21.5	
性別	男性(n=101)	44.6	26.7	23.8	22.8	21.8	20.8	35.6	31.7	4.0	9.9	21.8	
	女性(n=173)	55.5	22.5	31.8	22.0	9.2	10.4	35.3	32.9	26.6	15.6	20.8	
年齢別	17歳(n=72)	45.8	22.2	22.2	19.4	18.1	16.7	23.6	19.4	12.5	13.9	26.4	
	20～29歳(n=31)	48.4	29.0	32.3	29.0	16.1	25.8	32.3	19.4	9.7	9.7	38.7	
	30～39歳(n=36)	52.8	27.8	44.4	27.8	8.3	19.4	38.9	47.2	36.1	36.1	25.0	
	40～49歳(n=41)	56.1	24.4	36.6	14.6	7.3	4.9	34.1	29.3	26.8	17.1	31.7	
	50～59歳(n=42)	57.1	19.0	33.3	28.6	9.5	11.9	54.8	50.0	16.7	9.5	9.5	
	60～69歳(n=34)	58.8	26.5	23.5	26.5	17.6	8.8	35.3	38.2	17.6	0.0	5.9	
	70～79歳(n=12)	25.0	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	50.0	16.7	8.3	0.0	0.0	
	80歳以上(n=7)	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	

単位：％		こ と 問 題 に 関 する 事	社 会 問 題 に 関 する こ と	活 動 ・ 福 祉 に ア リ テ ラ ン ト の 関 与 率	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=275)		8.0	12.7	0.7	0.0	
性別	男性 (n=101)	10.9	7.9	0.0	0.0	
	女性 (n=173)	6.4	15.6	1.2	0.0	
年齢別	17歳 (n=72)	8.3	9.7	0.0	0.0	
	20～29歳 (n=31)	9.7	6.5	3.2	0.0	
	30～39歳 (n=36)	16.7	5.6	2.8	0.0	
	40～49歳 (n=41)	2.4	19.5	0.0	0.0	
	50～59歳 (n=42)	4.8	21.4	0.0	0.0	
	60～69歳 (n=34)	5.9	14.7	0.0	0.0	
	70～79歳 (n=12)	8.3	16.7	0.0	0.0	
	80歳以上 (n=7)	14.3	0.0	0.0	0.0	

問 19 生涯学習活動をする場合、今後あなたはどのような手段、方法を希望しますか。
(2つまで回答)

希望する手段、方法についてみると、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」が33.5%と最も多く、次いで「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」が29.1%、「高等学校・大学などの講座や教室」が26.5%となっています。

前回調査と比べると、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」が18.3ポイント増加しており、「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」が19.2ポイント減少しています。



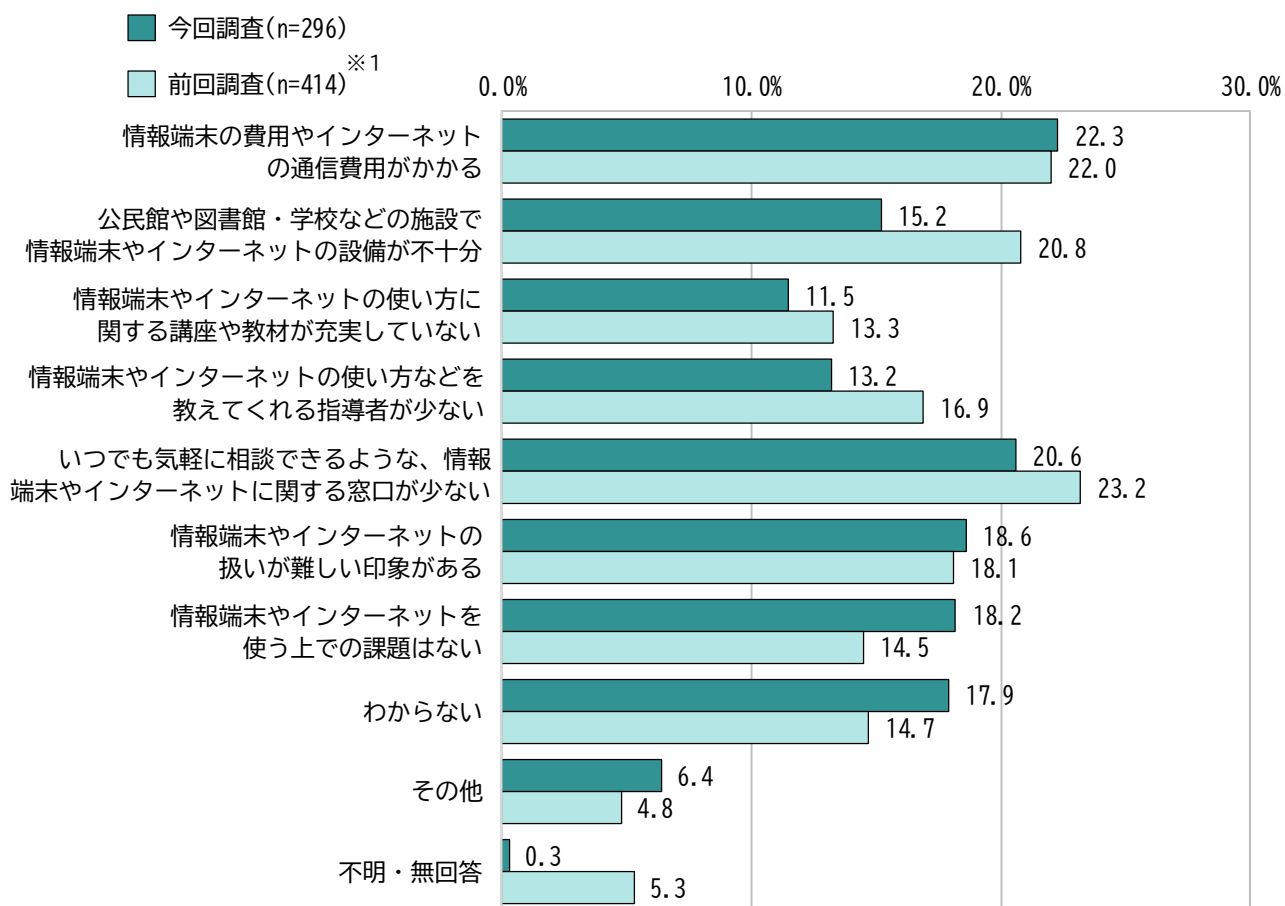
※1：前回調査は「民間カルチャーセンター・スポーツクラブ」、「個人による指導」の合算

年齢別にみると、〈17歳〉では、「高等学校・大学などの講座や教室」、〈20～29歳〉〈30～39歳〉では、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」、〈40～49歳〉では、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導を含む）」、〈50～59歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉では、「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」、〈80歳以上〉では、「新聞・雑誌・本などの出版物」が最も多くなっています。また、〈30～39歳〉では、「通信教育」、〈70～79歳〉では、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座など」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：％		高等学校・大学などの講座や教室	公民館などの公共施設での趣味や学習の講座	通信教育	テレビ講座・ラジオ講座	新聞・雑誌・本などの出版物	インターネット	市民グループ・サークル・団体が主催する講座など	民間のカルチャーセンター（個人指導を含む）	その他	不明・無回答
全体(n=275)		26.5	29.1	14.5	4.4	19.3	33.5	17.8	17.5	5.1	0.4
年齢別	17歳 (n=72)	62.5	12.5	9.7	2.8	16.7	33.3	9.7	6.9	5.6	0.0
	20～29歳 (n=31)	19.4	9.7	12.9	6.5	29.0	54.8	6.5	12.9	9.7	0.0
	30～39歳 (n=36)	13.9	30.6	27.8	2.8	33.3	52.8	13.9	11.1	0.0	0.0
	40～49歳 (n=41)	14.6	29.3	17.1	2.4	17.1	19.5	19.5	41.5	7.3	2.4
	50～59歳 (n=42)	14.3	35.7	11.9	7.1	11.9	33.3	31.0	21.4	4.8	0.0
	60～69歳 (n=34)	14.7	61.8	11.8	5.9	11.8	17.6	20.6	20.6	5.9	0.0
	70～79歳 (n=12)	0.0	58.3	16.7	0.0	8.3	25.0	41.7	8.3	0.0	0.0
	80歳以上 (n=7)	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0

問 20 情報端末やインターネット（オンライン配信等）による生涯学習には、どのような課題があるとおもいますか。（複数回答）

情報端末やインターネットによる生涯学習における課題についてみると、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」が22.3%と最も多く、次いで「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」が20.6%、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」が18.6%となっています。



※1：前回調査は問17で「学習活動をするつもりはない」以外を選択した方のみが回答

年齢別にみると、〈17歳〉では、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」、〈20～29歳〉では、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」、「わからない」、〈30～39歳〉では、「情報端末やインターネットを使う上での課題はない」、〈40～49歳〉では、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」、「情報端末やインターネットを使う上での課題はない」、〈50～59歳〉では、「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」、〈60～69歳〉では、「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」、〈70～79歳〉では、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」、〈80歳以上〉では、「わからない」が最も多くなっています。

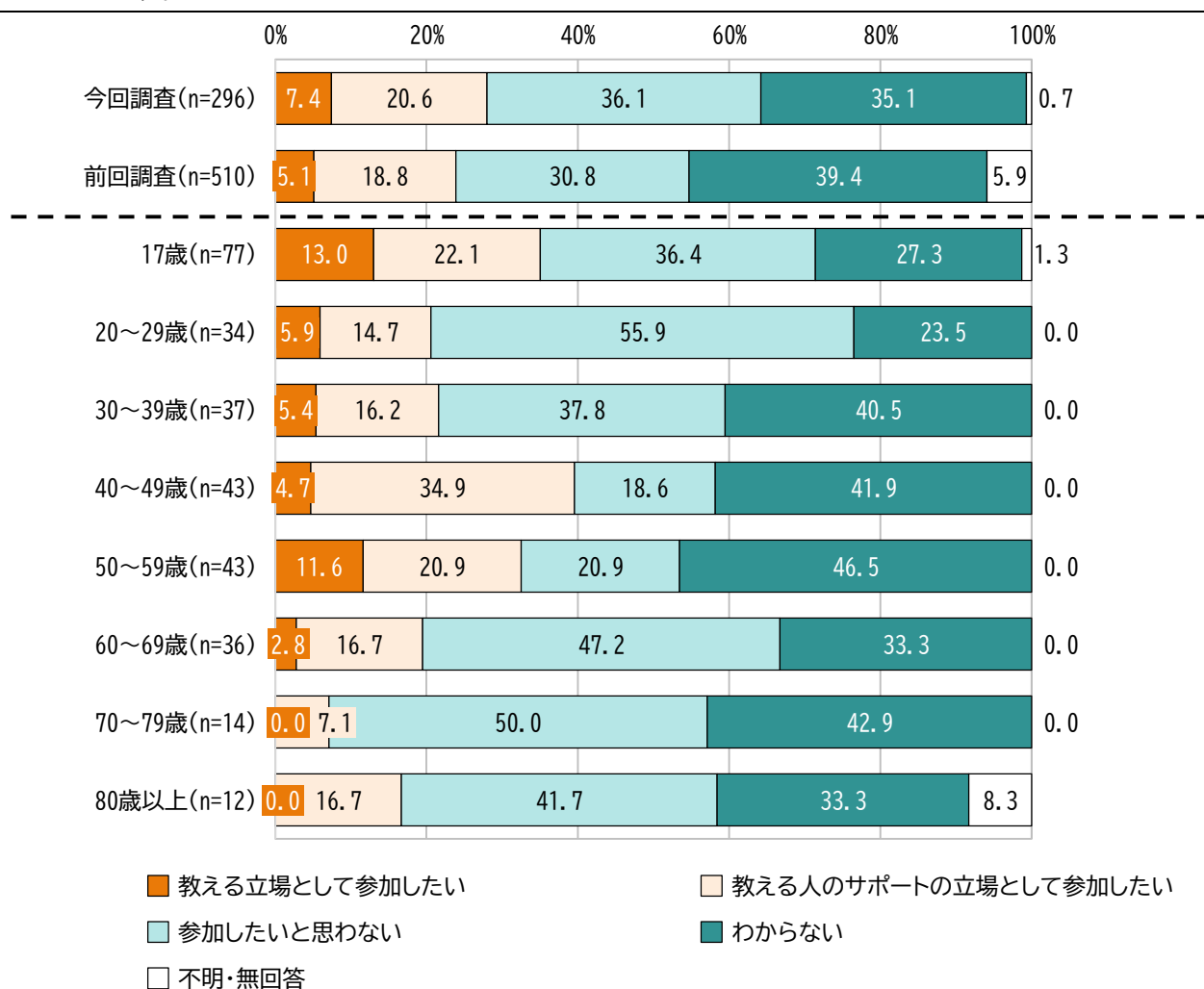
単位：％		情報端末の通信費用やインターネットの扱いが難しい印象がある	情報端末やインターネットに関する窓口が少ない	情報端末やインターネットの使い方を教えてくれる指導者が少ない	情報端末やインターネットの使い方に興味がある	公民館や図書館、学校などの施設で情報端末やインターネットの設備が不十分	情報端末の通信費用やインターネットの扱いが難しい印象がある	情報端末やインターネットの使い方を教えてくれる指導者が少ない	公民館や図書館、学校などの施設で情報端末やインターネットの設備が不十分	情報端末の通信費用やインターネットの扱いが難しい印象がある	情報端末やインターネットの使い方を教えてくれる指導者が少ない
全体(n=296)		22.3	15.2	11.5	13.2	20.6	18.6	18.2	17.9	6.4	0.3
年齢別	17歳 (n=77)	33.8	19.5	15.6	14.3	18.2	15.6	14.3	18.2	7.8	1.3
	20～29歳 (n=34)	23.5	17.6	20.6	11.8	14.7	5.9	11.8	23.5	8.8	0.0
	30～39歳 (n=37)	16.2	16.2	5.4	13.5	21.6	8.1	40.5	13.5	0.0	0.0
	40～49歳 (n=43)	20.9	11.6	9.3	14.0	16.3	20.9	20.9	11.6	14.0	0.0
	50～59歳 (n=43)	20.9	18.6	2.3	11.6	25.6	14.0	18.6	20.9	4.7	0.0
	60～69歳 (n=36)	13.9	13.9	22.2	16.7	33.3	33.3	11.1	11.1	5.6	0.0
	70～79歳 (n=14)	7.1	0.0	0.0	7.1	21.4	50.0	14.3	21.4	0.0	0.0
	80歳以上 (n=12)	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	33.3	8.3	41.7	0.0	0.0

(4)「地域や社会における教育」について

問 21 あなたは、「地域や社会における教育」の支援や指導に参加してみたいですか。（単数回答）

「地域や社会における教育」の支援や指導についてみると、「参加したいと思わない」が36.1%が最も多く、次いで「わからない」が35.1%、「教える人のサポート（運営・進行補助など）の立場として参加したい」が20.6%となっています。

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈60～69歳〉〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「参加したいと思わない」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉では、「わからない」が最も多くなっています。また、〈40～49歳〉では、「教える人のサポートの立場として参加したい」が他の年齢に比べて多くなっています。

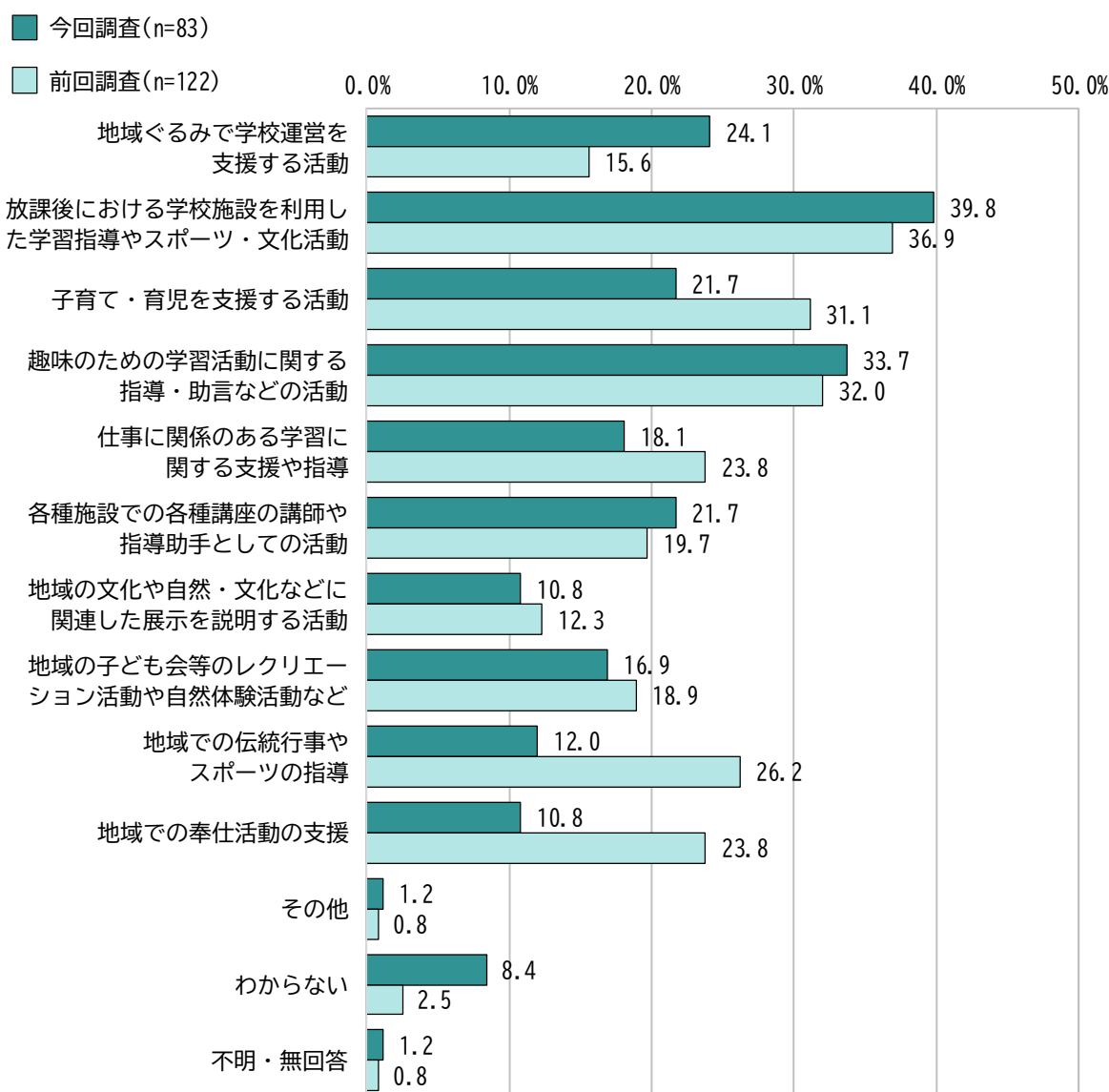


問21で「教える立場として参加したい」、「教える人のサポートの立場として参加したい」と回答した方におたずねします。

問 22 「地域や社会における教育」のどのような支援や指導に参加してみたいと思いますか。
(複数回答)

参加してみたい「地域や社会における教育」の支援や指導についてみると、「放課後における学校施設を利用した学習指導やスポーツ・文化活動」が39.8%と最も多く、次いで「趣味のための学習活動に関する指導・助言などの活動」が33.7%、「地域ぐるみで学校運営を支援する活動」が24.1%となっています。

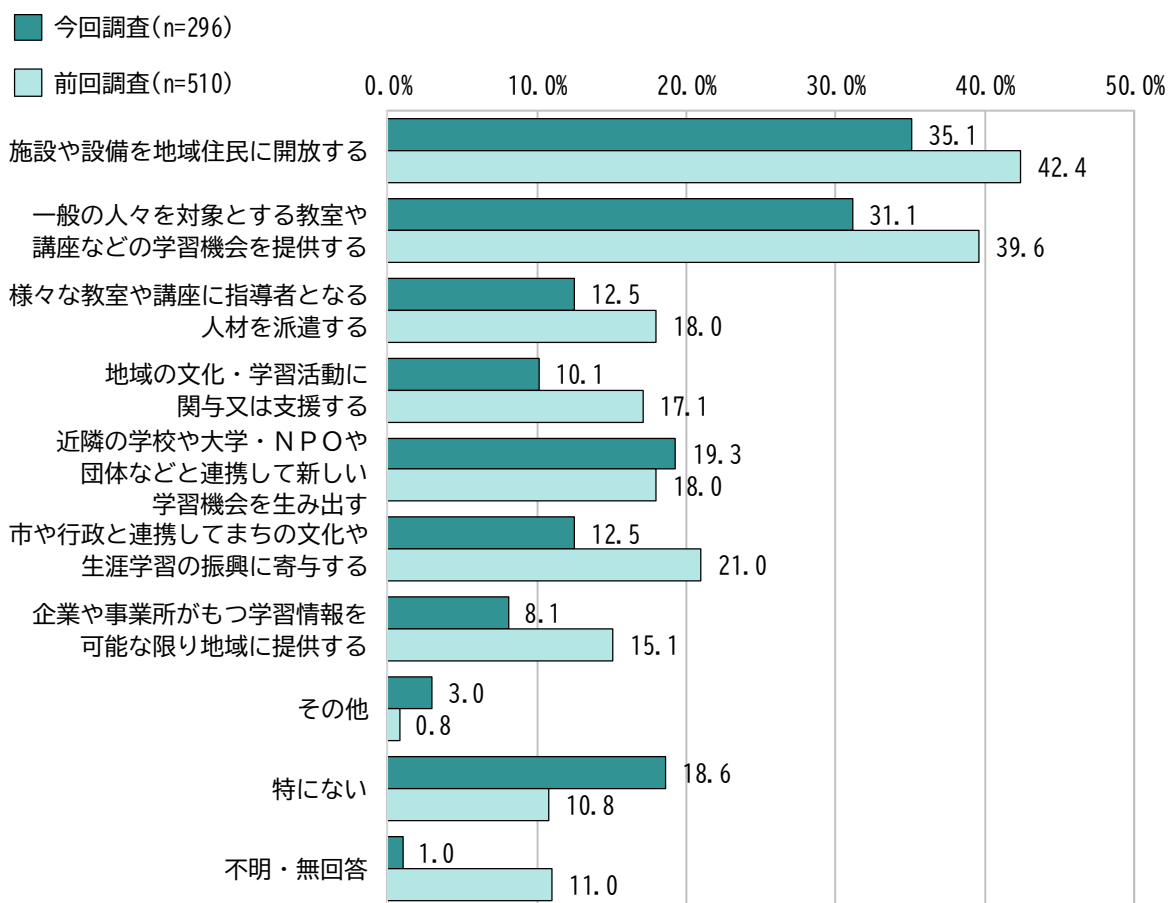
前回調査と比べると、「地域での伝統行事やスポーツの指導」、「地域での奉仕活動の支援」が減少しています。



(5) 企業・事業所との関係について

問 23 人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所にどのようなことを期待しますか。
(2つまで回答※)

人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所に期待することについてみると、「施設や設備を地域住民に開放する」が35.1%と最も多く、次いで「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」が31.1%、「近隣の学校や大学、NPOや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す」が19.3%となっています。



※前回調査は3つまで回答

年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈40～49歳〉では、「施設や設備を地域住民に開放する」、〈30～39歳〉〈50～59歳〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」、〈60～69歳〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」、「近隣の学校や大学・NPOや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す」、〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「特にない」が最も多くなっています。また、〈80歳以上〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」が他の年齢に比べて少なくなっています。

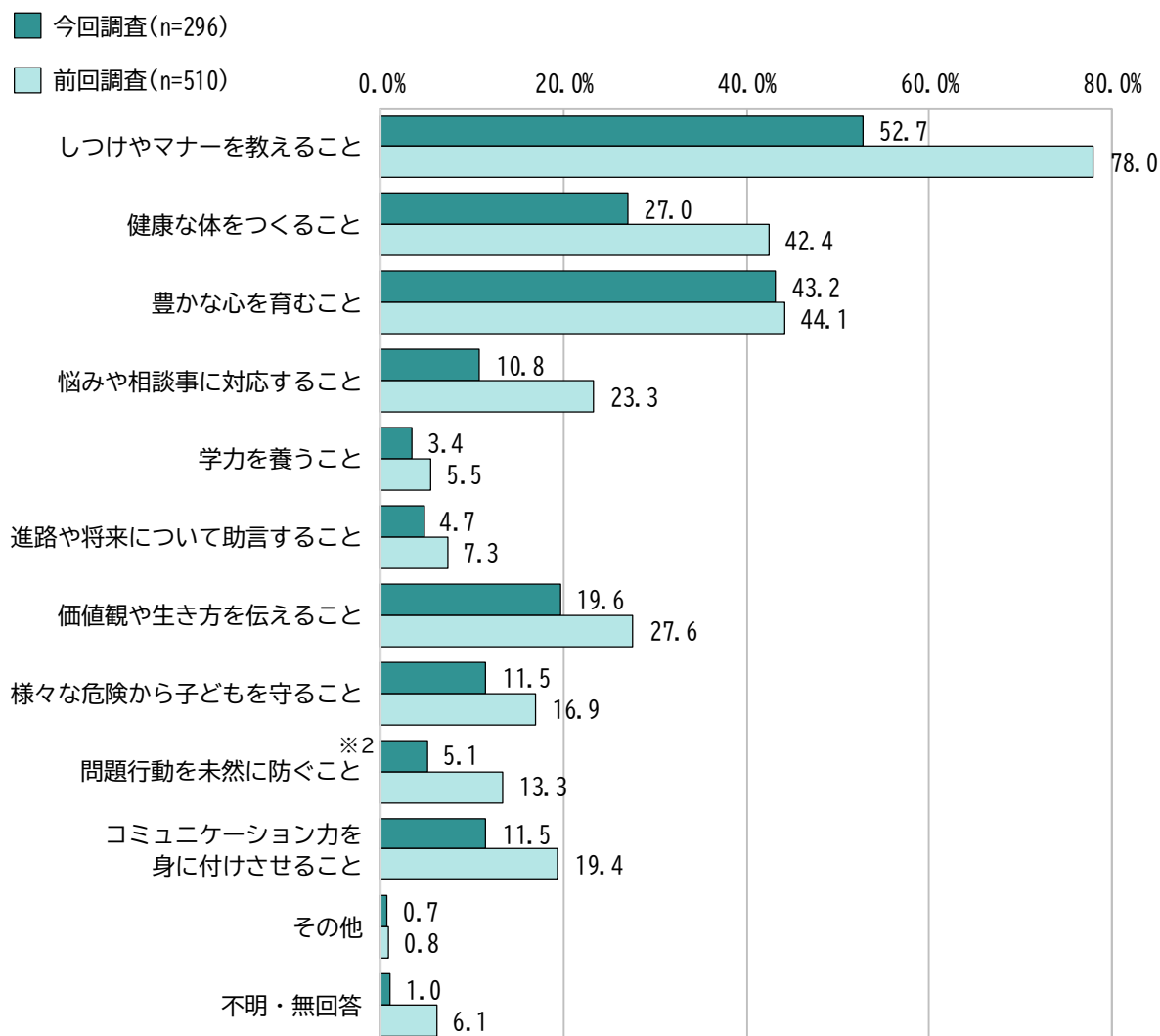
単位：％		開放する施設や設備を地域住民に	提供や講座などの対象とする機会を教	一般的な人材や講座に指導者	様々な教室や派遣する指導者	地域又は文化・学習活動に	近隣の学校や大学・NPO	文化や生涯学習の振興に	市や行政と連携してまち	報を可能な限り地域に学	企業や事業所がもつに学	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=296)		35.1	31.1	12.5	10.1	19.3	12.5	8.1	3.0	18.6	1.0			
年齢別	17歳 (n=77)	41.6	24.7	6.5	13.0	22.1	7.8	5.2	3.9	27.3	0.0			
	20～29歳 (n=34)	47.1	32.4	17.6	11.8	5.9	11.8	5.9	2.9	11.8	0.0			
	30～39歳 (n=37)	29.7	48.6	16.2	8.1	18.9	10.8	16.2	8.1	8.1	2.7			
	40～49歳 (n=43)	44.2	30.2	4.7	9.3	23.3	20.9	11.6	2.3	9.3	0.0			
	50～59歳 (n=43)	32.6	37.2	18.6	9.3	20.9	11.6	4.7	0.0	18.6	0.0			
	60～69歳 (n=36)	19.4	30.6	25.0	11.1	30.6	19.4	8.3	2.8	11.1	0.0			
	70～79歳 (n=14)	21.4	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0			
	80歳以上 (n=12)	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	41.7	16.7			

(6) 子どもの教育について

問 24 子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことは、どのようなことだと思いますか。
(2つまで回答※1)

子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことについてみると、「しつけやマナーを教えること」が52.7%と最も多く、次いで「豊かな心を育むこと」が43.2%、「健康な体をつくること」が27.0%となっています。

前回調査と比べると、「しつけやマナーを教えること」、「健康な体をつくること」、「悩みや相談事に対応すること」が減少しています。



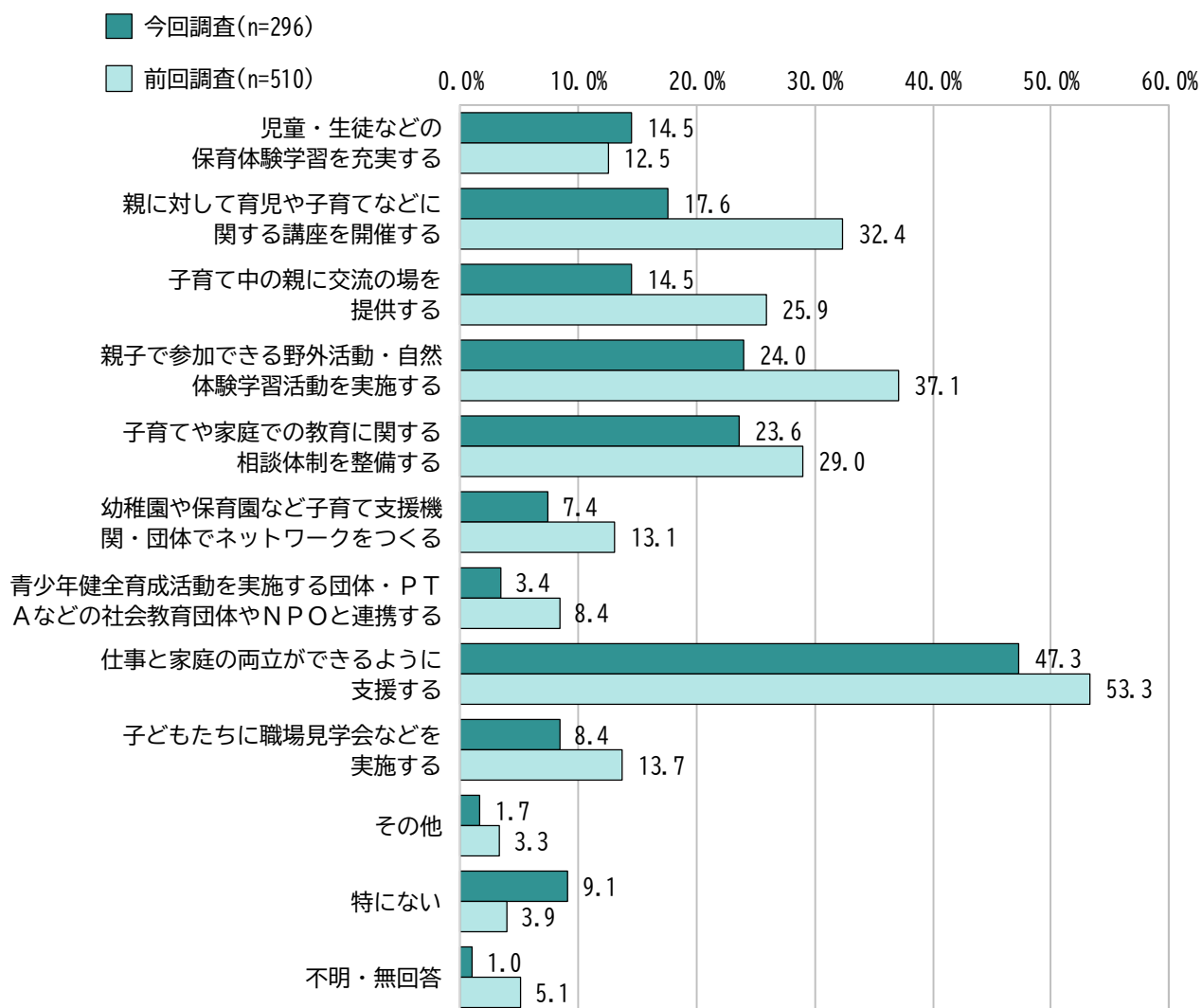
※1：前回調査は3つまで回答

※2：前回調査は「非行や問題行動を未然に防ぐこと」

問 25 家庭の教育力を向上させるために、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。
(2つまで回答※)

家庭の教育力を向上させるために、市が力を入れるべき点についてみると、「仕事と家庭の両立ができるように支援する」が47.3%と最も多く、次いで「親子で参加できる野外活動、自然体験学習活動を実施する」が24.0%、「子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する」が23.6%となっています。

前回調査と比べると、「親に対して育児や子育てなどに関する講座を開催する」、「子育て中の親に交流の場を提供する」、「親子で参加できる野外活動・自然体験学習活動を実施する」が減少しています。



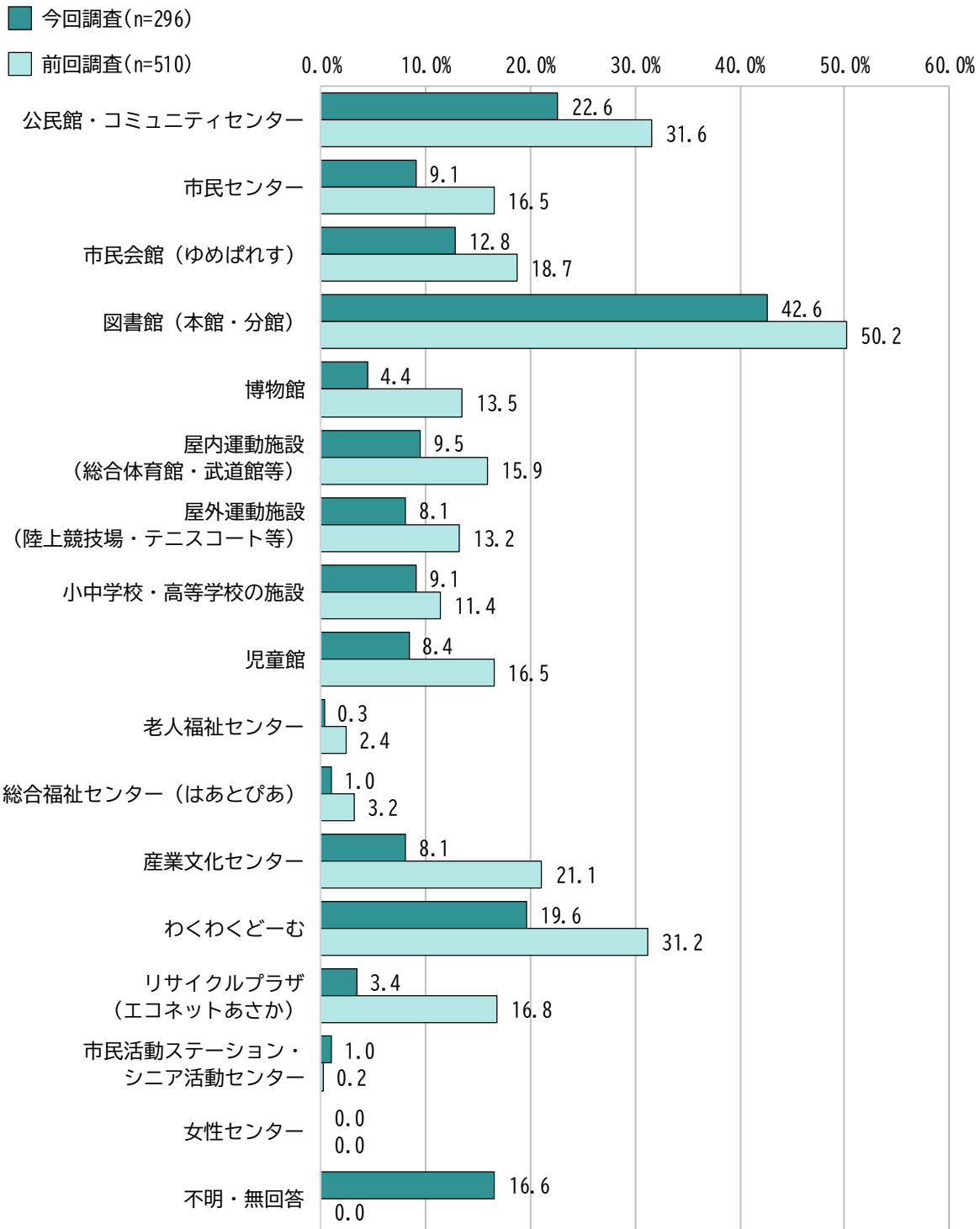
※前回調査は3つまで回答

(7) 朝霞市の施設について

問 26 朝霞市には、市民の生涯学習の場として、次の施設があります。よく利用する施設はどれですか。
(3つまで回答)

よく利用する施設についてみると、「図書館（本館・分館）」が42.6%と最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」が22.6%、「わくわくどーむ」が19.6%となっています。

前回調査と比べると、「産業文化センター」、「わくわくどーむ」、「リサイクルプラザ（エコネットあさか）」が減少しています。



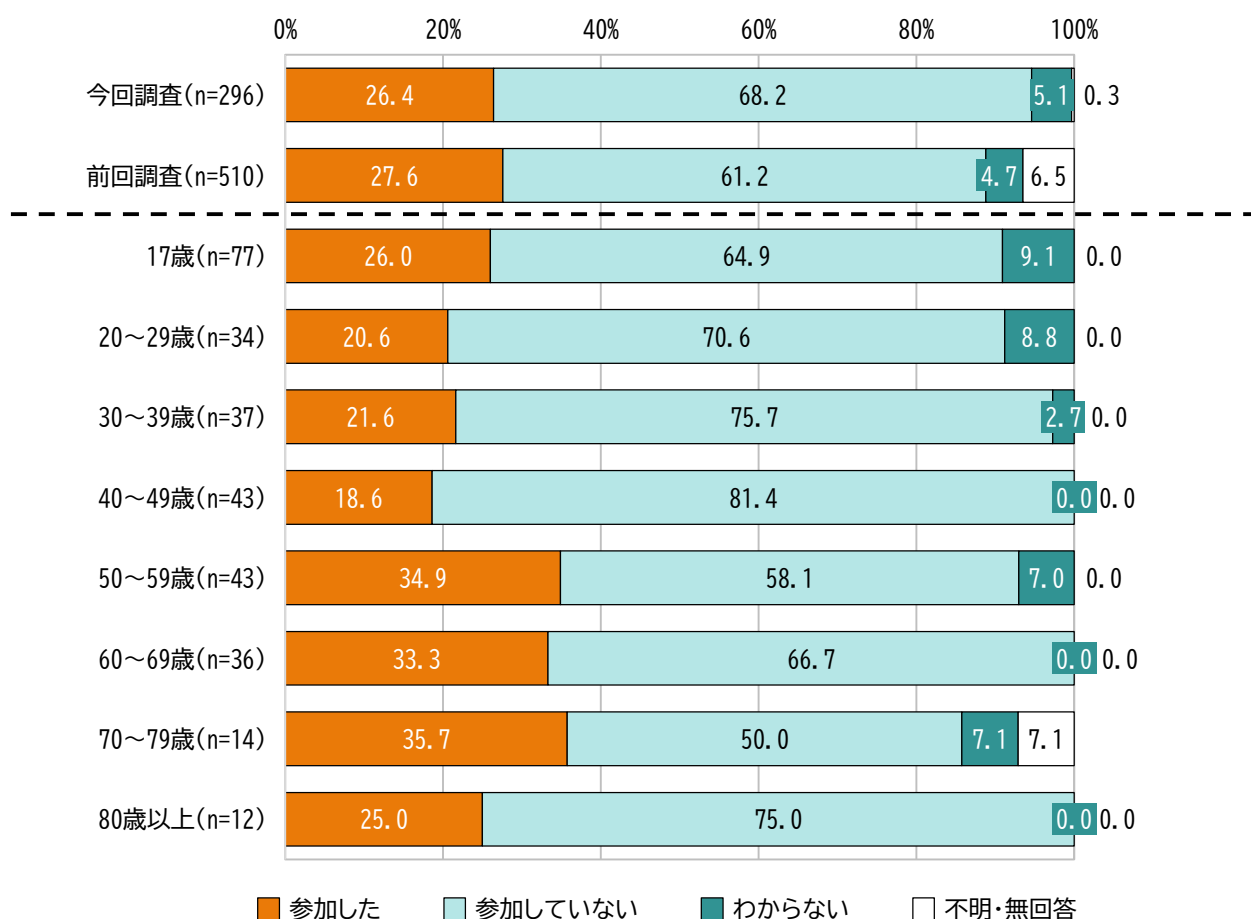
※前回調査は「よく利用する」、「時々利用する」の合算

(8)「人とのつながりに関する活動」について

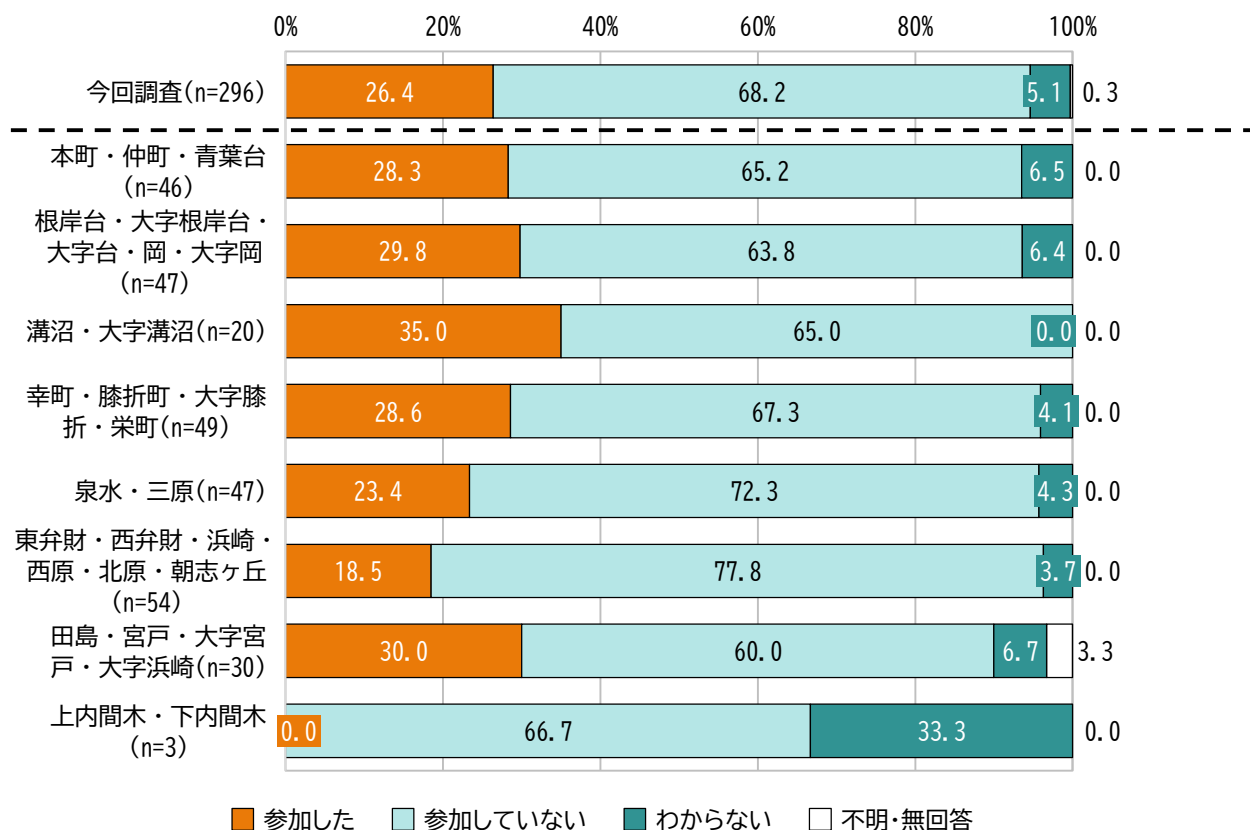
問 27 この1年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。（単数回答）

1年間に「人とのつながりに関する活動」に参加したかについてみると、「参加した」が26.4%、「参加していない」が68.2%、「わからない」が5.1%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢においても、「参加していない」が最も多くなっています。



地区別にみると、いずれの地区においても、「参加していない」が最も多くなっています。

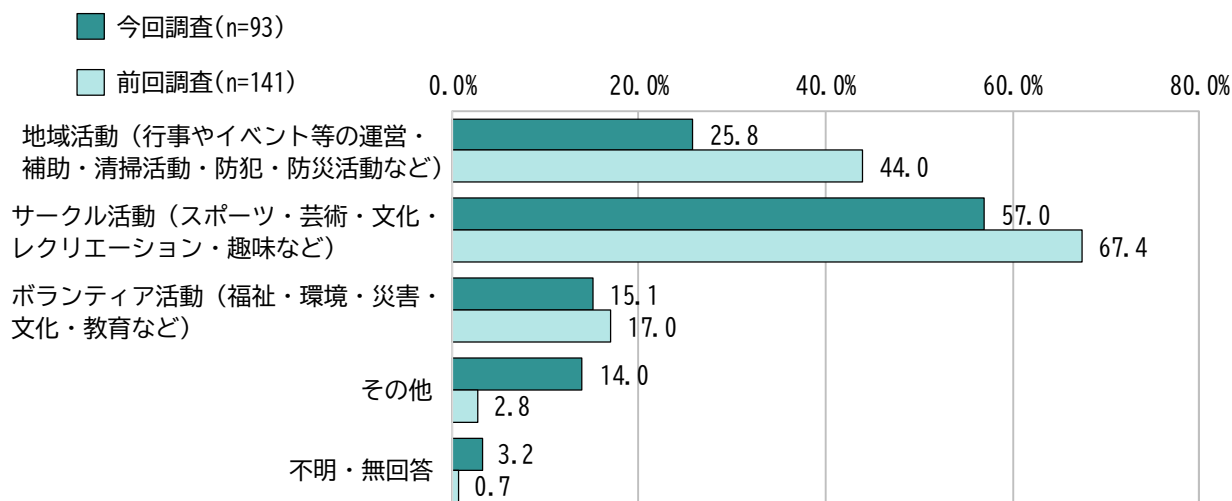


問27で「参加した」と回答した方におたずねします。

問 28 この1年くらいの間に、どのような「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。
(単数回答)

「人とのつながりに関する活動」の内容についてみると、「サークル活動（スポーツ・芸術・文化・レクリエーション・趣味など）」が57.0%と最も多く、次いで「地域活動（行事やイベント等の運営・補助・清掃活動・防犯・防災活動など）」が25.8%、「ボランティア活動（福祉・環境・災害・文化・教育など）」が15.1%となっています。

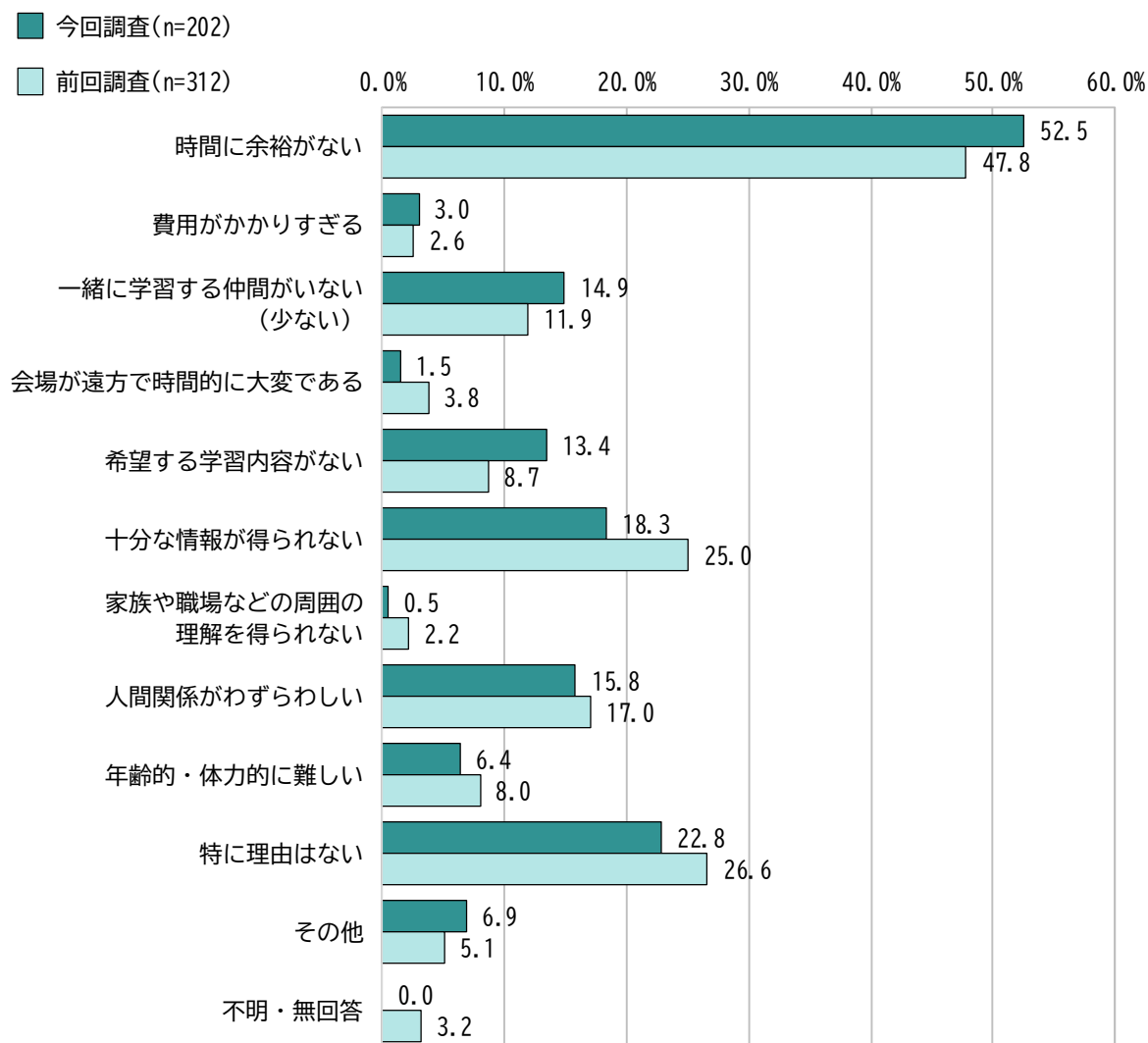
前回調査と比べると、「その他」が増加しており、「地域活動（行事やイベント等の運営・補助・清掃活動・防犯・防災活動など）」、「サークル活動（スポーツ・芸術・文化・レクリエーション・趣味など）」が減少しています。



問27で「参加していない」と回答した方におたずねします。

問 29 この1年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由は何ですか。
(複数回答)

「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由についてみると、「時間に余裕がない」が52.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が22.8%、「十分な情報が得られない」が18.3%となっています。



年齢別にみると、〈17歳〉〈20～29歳〉〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈50～59歳〉〈60～69歳〉では、「時間に余裕がない」、〈70～79歳〉では、「特に理由はない」、〈80歳以上〉では、「年齢・体力的に難しい」が最も多くなっています。

単位：％		時間に余裕がない	費用がかかりすぎる	一緒に学習する仲間が少ない（少ない）	会場が遠方で時間的に大変である	希望する学習内容がない	十分な情報が得られない	家族や職場などの周囲の理解を得られない	人間関係がわるい	年齢的・体力的に難しい	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=202)		52.5	3.0	14.9	1.5	13.4	18.3	0.5	15.8	6.4	22.8	6.9	0.0
年齢別	17歳 (n=50)	64.0	6.0	24.0	0.0	14.0	22.0	0.0	16.0	2.0	20.0	4.0	0.0
	20～29歳 (n=24)	54.2	0.0	8.3	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	4.2	29.2	12.5	0.0
	30～39歳 (n=28)	60.7	3.6	17.9	3.6	7.1	14.3	3.6	14.3	3.6	21.4	7.1	0.0
	40～49歳 (n=35)	45.7	2.9	11.4	2.9	11.4	25.7	0.0	17.1	0.0	20.0	8.6	0.0
	50～59歳 (n=25)	52.0	4.0	8.0	0.0	20.0	20.0	0.0	16.0	4.0	28.0	8.0	0.0
	60～69歳 (n=24)	58.3	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	4.2	20.8	8.3	0.0
	70～79歳 (n=7)	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	0.0
	80歳以上 (n=9)	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	66.7	11.1	0.0	0.0

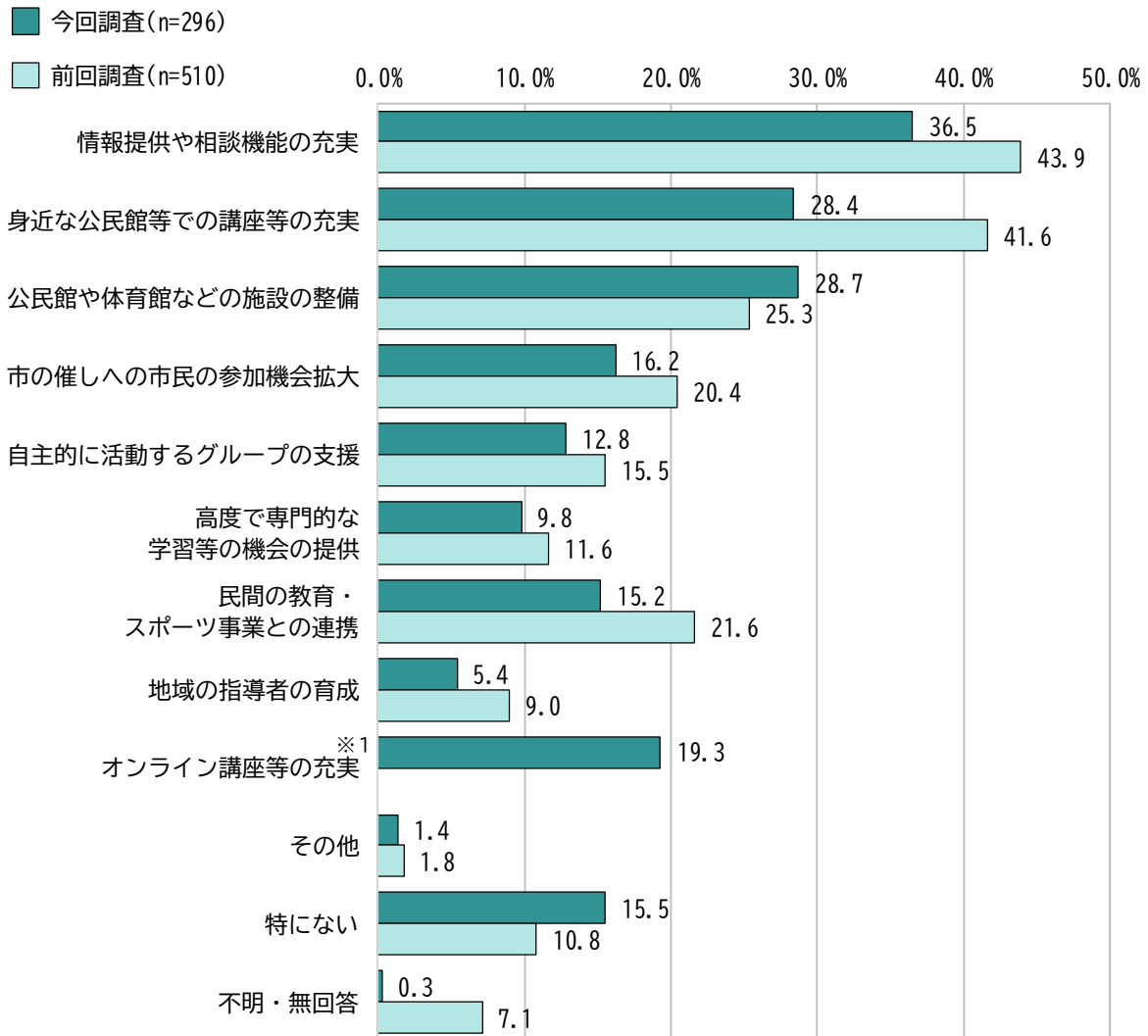
(9) 市への要望などについて

問 30 朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。

(3つまで回答)

市の生涯学習を充実していくために、市に望む取り組みについてみると、「情報提供や相談機能の充実」が36.5%と最も多く、次いで「公民館や体育館などの施設の整備」が28.7%、「身近な公民館等での講座等の充実」が28.4%となっています。

前回調査と比べると、「身近な公民館等での講座等の充実」が13.2ポイント減少しています。



※1：今回調査の新規選択肢

年齢別にみると、〈17歳〉では、「公民館や体育館などの施設の整備」、〈20～29歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、「特にない」、〈30～39歳〉〈40～49歳〉〈60～69歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、〈50～59歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、「身近な公民館等での講座等の充実」、〈70～79歳〉〈80歳以上〉では、「身近な公民館等での講座等の充実」が最も多くなっています。また、〈60～69歳〉では、「自主的に活動するグループの支援」が他の年齢に比べて多くなっており、〈70～79歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」が他の年齢に比べて少なくなっています。

単位：％		情報提供や相談機能の充実	身近な公民館等での講座等の充実	公民館や体育館などの施設の整備	市の催しへの市民の参加機会拡大	自主的に活動するグループへの支援	高度での専門的な学習等の提供	民間の教育・スポーツ事業との連携	地域の指導者の育成	オンライン講座等の充実	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=296)		36.5	28.4	28.7	16.2	12.8	9.8	15.2	5.4	19.3	1.4	15.5	0.3
年齢別	17歳 (n=77)	24.7	18.2	41.6	7.8	14.3	10.4	15.6	5.2	7.8	1.3	20.8	0.0
	20～29歳 (n=34)	32.4	8.8	26.5	11.8	11.8	14.7	11.8	2.9	23.5	0.0	32.4	0.0
	30～39歳 (n=37)	51.4	32.4	21.6	21.6	10.8	13.5	13.5	5.4	29.7	2.7	5.4	0.0
	40～49歳 (n=43)	41.9	25.6	34.9	23.3	11.6	7.0	20.9	7.0	23.3	4.7	2.3	0.0
	50～59歳 (n=43)	41.9	41.9	16.3	16.3	9.3	11.6	20.9	0.0	32.6	0.0	9.3	0.0
	60～69歳 (n=36)	52.8	36.1	27.8	19.4	27.8	5.6	11.1	8.3	19.4	0.0	11.1	0.0
	70～79歳 (n=14)	7.1	57.1	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	35.7	7.1
	80歳以上 (n=12)	25.0	41.7	25.0	25.0	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	0.0

問 31 最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

1. 生涯学習全般について (22件)

- ☆生涯学習をしたいと思うが、市で行っているものは平日ばかりで、土日に休みの人は利用したくてもできません。【女性/60～69歳/会社員】
- ☆夕方以降でないと参加出来ないのも、オンライン講座や、夕方以降の講座等の選択肢が増えると参加意欲につながります。ご検討をお願いします。【女性/40～49歳/会社員】
- ☆都内でフルタイム勤務をしており、興味のある講座を見かけても平日開催が多いので参加は難しく、土日開催のものがあるといいと思います。地域にももっと知り合いがほしいと思っているのですが、子供もおりませんのでなかなか知り合う機会がありません。【女性/40～49歳/その他】
- ☆公民館での企画があるが、平日に行われるため興味がある内容でも参加ができません。平日は仕事の方も多く参加が難しいので、できれば土日にしていただけるともっと参加しやすくなるのではないのでしょうか。【女性/50～59歳/パートタイマー】
- ☆昨今は平日休みの企業が増えてきているにも関わらず、市が開催・紹介しているイベント等が土日に集中している。私も平日休みの企業に務めているので、興味がある講座や催し物があっても参加できない。平日開催の物が増えると嬉しい。【女性/40～49歳/会社員】
- ☆市が主導となり、もっと生成AIなど新しい取り組みを学ぶ場を設けて欲しい。【男性/50～59歳/会社員】
- ☆手話の勉強を続けたいが、ある程度のレベルに達しているため通う講座がない。手話通訳を目指す以外に通える講座があると嬉しい。【女性/50～59歳/会社員】
- ☆子どもと一緒に参加するものや高齢者が対象のものばかりで、私のように中年の独身女性が参加できるものも極端に少ない。【女性/40～49歳/会社員】
- ☆市の講座は定員があり、人気があるものは倍率2.5倍で半数以上の人が落選で受けられない。週2回や1日2部に増やして継続して受講できるよう要望も出しています。現在開講しているものをニーズに合わせて見直していく体制にして欲しい。【女性/50～59歳/家事専業】
- ☆コミュニティを作る上で地元の方ばかりではなく新しく入ってくる方々が活動しやすい(入りやすい)ように整備する事は必要かと思います。また市だけではなく、民間企業やスポーツ事業者の方との連携を強くしていく事も必要かと思います。【男性/40～49歳/会社員】
- ☆子育てが終わってからは必要がないので1度も活動などには参加していないのでわかりません。また、フルタイムで仕事をしていると時間がないのと地域の方達との人間関係がとても煩わしいので参加したくありません。プライベートでも付き合わないといけなかったり個人情報知られるのも良くないと感じています。【女性/60～69歳/会社員】

2. 施設・設備について (14件)

- ☆図書館分館も本館のように学生が学びやすい雰囲気にしてほしい。狭いのは承知だが、勉強していると冷たい目線で見られる。高齢の方が寝ているよりも学生が勉強した方が座席の使い方としては適切だと思う。Wi-Fiを使えるようにしてくれると図書館で市が開くオンラインの講座とかも受けられるようになると思う。【男性/17歳/学生又は高校生】
- ☆自分はバスケをしていて、バスケットコートがとても少ないと感じるので、もっとバスケットコートを増やして欲しいです。【男性/17歳/学生又は高校生】
- ☆生成AI利用に関する費用の補助や、陸上競技場のより利用しやすい時間での開放拡大、高性能な端末購入への補助に対して、視野に入れて検討してほしい。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆無償で学習ができるような施設（スペース）をもっと増やしてほしい【女性/17歳/学生又は高校生】

☆自習室や学生が気軽にサークル活動や文化活動を行える施設が少ないように感じる。児童館や公民館をもっと気軽に利用できるように解放してほしい。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆町内会館を公民館と同じ様に使用出来たらと思います。黒板とかもあったらいいと思う。調理実習が近くにあったら、田島には近くには内間木公民館があります、利用したいと思います。【女性/80歳以上/無職】

☆自主学習できる場所がもっと欲しい。社会人が勉強できる場所が有料でもいいので提供されると嬉しい。【男性/40～49歳/会社員】

☆図書館で専門的な知識を得られる本などが増えると嬉しいです。個人的なことですが、例えばプログラミング言語を活用できるUnityというゲームを作れるツールを学習できる本など、子供たちにとって「こんな世界もあるんだ。やってみよう、やりたい」など夢を育むことも大切だと思います。私は子供のころにもっと図書館に通っていればよかったと最近思いました。そんな時、色々な選択肢があると未来が広がります。【男性/20～29歳/無職】

☆趣味を活かしてお菓子販売や曜日別で気軽にカフェやランチができるレンタルキッチン付きの施設を作って、地域の高齢者や子育てママ達が気軽に集えるコミュニティを活性化させてほしい。【女性/40～49歳/会社員】

☆学習できる場所を増やして欲しい。または現在の図書館などの学習できる場所を効率的に運用できる仕組みにして欲しい。【男性/40～49歳/会社員】

☆図書館が少し古い感じがします。自習スペースを増やしたり、蔵書以外にも魅力的な設備が欲しいと思う。（VR試聴とか？）【女性/40～49歳/家事専業】

3. 情報発信について（6件）

☆情報提供をもっと伝えて欲しい【女性/17歳/学生又は高校生】

☆市の生涯学習活動をよく知らない。学校や職場での周知や、SNSなどを活用してもよいのでは。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆ボランティア活動の実施日や場所をオンラインなどで確認できるツールなどがあると参加しやすいと思います。【男性/20～29歳/無職】

☆『広報あさか』で惹かれた催し・講座は二次元コードから詳細にとんでみたりしますが、ここで得られる情報がもう少し詳しく魅力的だと良いと思います。【女性/50～59歳/家事専業】

☆また、これは生涯学習の中で、朝霞市のマスコットキャラクターのぼぼたんの魅力を発信していくような活動があったら参加したいです。他のゆるキャラに比べてグッズも少ないし、SNSでの発信も少ないので、増やしていった、アニメーションなども作成してもっとキャラを確立すればファンは増えると思います。ぼぼたんの存在をもっと売り出すことは朝霞の発展において、かなり近道だと思い、今のままでは勿体無いと思います。ご検討よろしくお願いします。【女性/30～39歳/会社員】

4. 高齢社会における生涯学習について（3件）

☆ボケ防止の為マージャン教室を開催してほしい。【女性/60～69歳/無職】

☆現在老人ホームに入居中で何も参加出来ません。【女性/80歳以上/無職】

5. 子育て中の生涯学習について（2件）

☆兄弟が多い世代が多いので、できれば未就園児から参加できるスポーツイベントなどがあると嬉しいです。【女性/30～39歳/パートタイマー】

☆小さい子供がいますと、どうしても行動が制限されてしまう。自分の時間がとれなかったり、預けられる場所がないから参加できないことも多々ある。生涯学習をする上で、気軽に子供を預けられる場所がほしい。収入に余裕があるわけではないので、手の届く価格での預け先、学習先があると良い。【女性/30～39歳/家事専業】

6. 児童・生徒の生涯学習について（4件）

☆子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なこととはという質問は2つまでしか選択できませんでしたが、個人的には選択肢のうちに重要でないものなどないと思います。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆また、生涯学習、学校教育関わらず何かを学ぶことは個人のやる気次第でしかないもので、何かをやりたいと思えた人が我慢せず行動できるようにサークル等の間口は多いに越したことはないと思います。ですが、上記の通り個人でやる気を出した人はしがらみがあっても強引に行動に移すので、本気でやりたい人にサポートなんてほとんどいらないと思います。といっても、それは自分である程度自由にできるお金があったり、環境が整っている場合に限ったことなので、そういったものに恵まれない子どもたちが興味のある事を始めるきっかけを作れたらいいなと思います。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆学生の海外留学への支援を充実させてほしいです。学生で海外留学したいけど費用がなくできない人が多いと思うからです。さいたま市などではそのような支援が充実していいなと思いました。国際系に進みたい人が私の周りにも多いのでぜひ検討していただきたいです。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆家庭環境によって、学習する機会が得られないお子様も居るので、地域の子供達に学習する機会を均等に提供出来る体制を作ってもらいたいです。居場所作りだけではなく、その先の将来に繋がるスキルを身につける事が出来る場所があればと思います。衣食住を満たすだけではなく、心の成長や学習する事の喜びや学び方を教えてあげられたら良いと思います。私個人としては、教員免許も取得しながら、活用出来ていないので、地域のお子様の学習サポートが出来る場所があれば、お手伝いしたいと思っています。今後は地域の皆様に自分が出来る事をして、少しでもお役に立てればと考えておりますし、そうする事で、新たな学びを得たいと思っています。【女性/50～59歳/公務員】

7. 学習活動の参加支援について（2件）

☆一つ希望することは宮戸地区は中心から離れ遠い。参加したくとも宮戸地区での催しが少ない。特に北朝霞公民館はすべて狭くて使用しにくい。市の中心だけの行事だけでなく市民参加しやすい身近な場所を望む。【女性/80歳以上/その他】

☆博物館・産業文化センター・旧高橋家住宅などでの講座は、魅力的と感じますが。ただ、自身は目が悪く自家用車や自転車を使えないため、交通アクセスの点で二の足を踏んでしまっています。幸町からだ駅に出て乗り換えて…が多いので。黒目川清掃活動などのボランティア活動も同じく。この壁がもう少し低ければと思います。【女性/50～59歳/家事専業】

第4章 生涯学習団体調査の結果

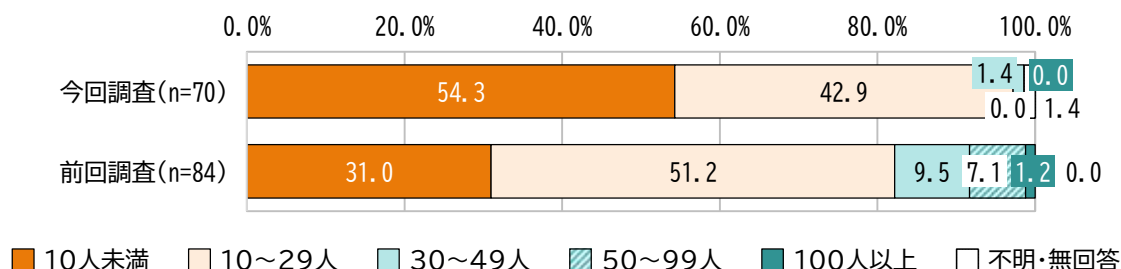
(1) 日ごろの活動について

問1 1回の活動に参加される平均の人数はどのくらいですか。

(数量回答)

1回の活動に参加する平均の人数についてみると、「10人未満」が54.3%と最も多く、次いで「10～29人」が42.9%、「30～49人」が1.4%となっています。

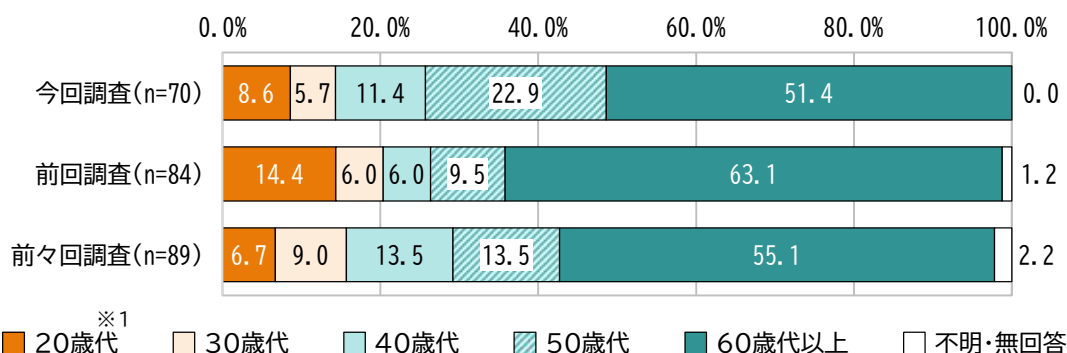
前回調査と比べると、「10人未満」が23.3ポイント増加しています。



問2 会員の平均年齢はいくつですか。

(単数回答)

会員の平均年齢についてみると、「60歳代以上」が51.4%と最も多く、次いで「50歳代」が22.9%、「40歳代」が11.4%となっています。



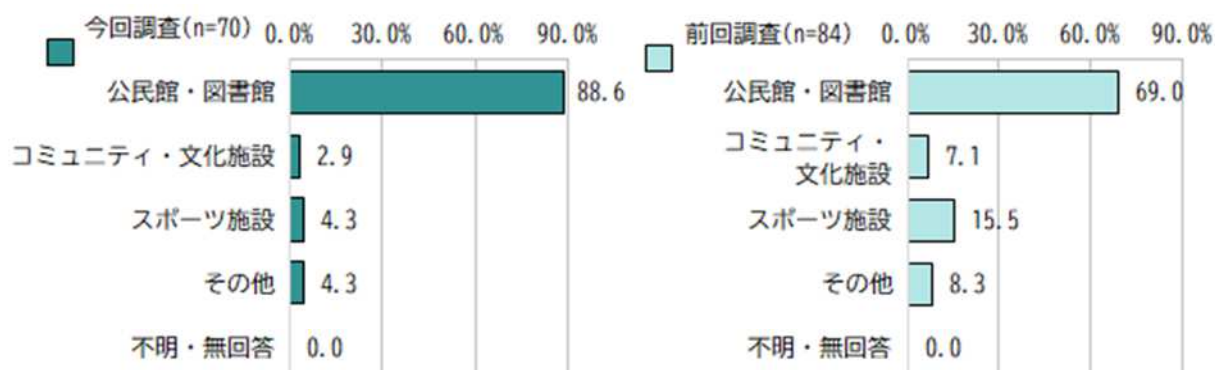
※1

※1：前回調査、前々回調査は「10歳未満」、「10歳代」、「20歳代」の合算

問3 日ごろ利用している主な施設はどれですか。

(単数回答)

日ごろ利用している主な施設についてみると、「公民館・コミュニティセンター」が88.6%と最も多く、次いで「スポーツ施設」、「その他」が4.3%、「市民会館」が2.9%となっています。

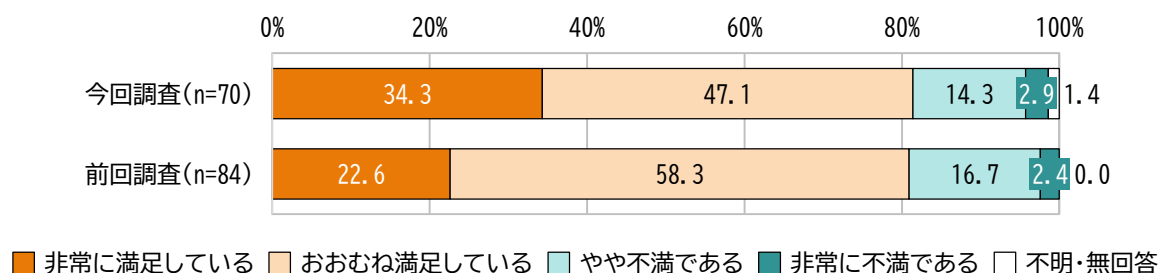


問4 よく利用する施設や設備の満足度はどのくらいですか。

(単数回答)

よく利用する施設や設備の満足度についてみると、「おおむね満足している」が47.1%と最も多く、次いで「非常に満足している」が34.3%、「やや不満である」が14.3%となっています。また、「非常に満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足している』は81.4%となっています。

前回調査と比べると、「非常に満足している」が11.7ポイント増加しており、「おおむね満足している」が11.2ポイント減少しています。



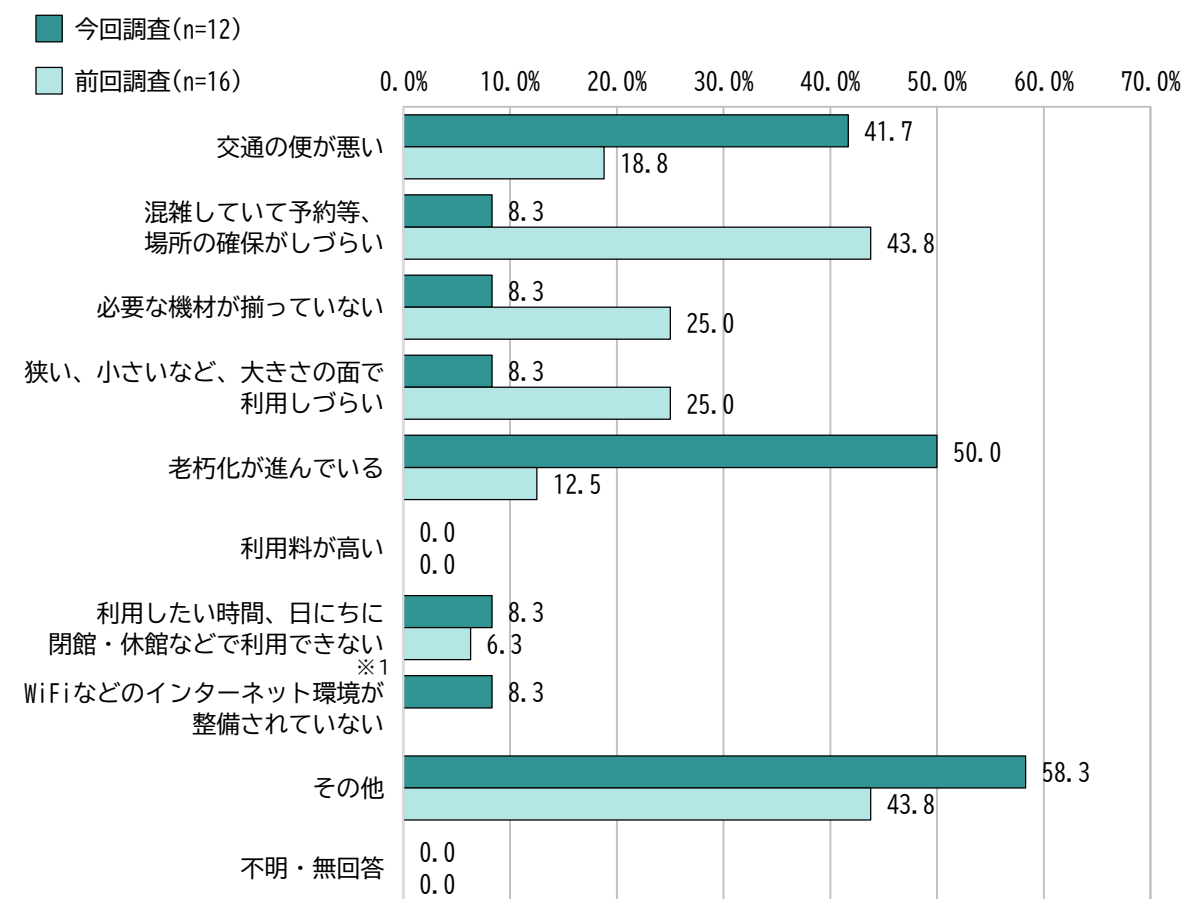
問4で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した団体におたずねします。

問5 施設や設備に不満を感じる理由は何ですか。

(複数回答)

施設や設備に不満を感じる理由についてみると、「その他」が58.3%と最も多く、次いで「老朽化が進んでいる」が50.0%、「交通の便が悪い」が41.7%となっています。

前回調査と比べると、「交通の便が悪い」、「老朽化が進んでいる」、「その他」が増加しており、「混雑していて予約等、場所の確保がしづらい」、「必要な機材が揃っていない」、「狭い、小さいなど、大きさの面で利用しづらい」が減少しています。

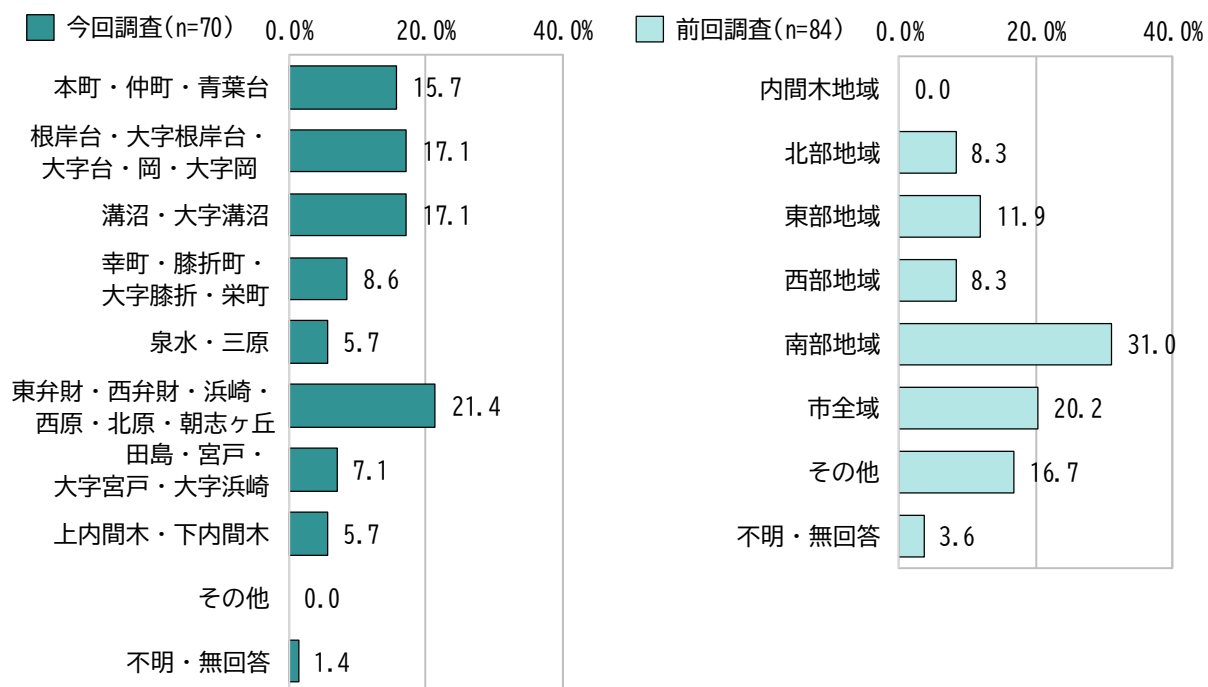


※1：今回調査の新規選択肢

問6 日ごろ活動されている主な地域はどこですか。

(単数回答)

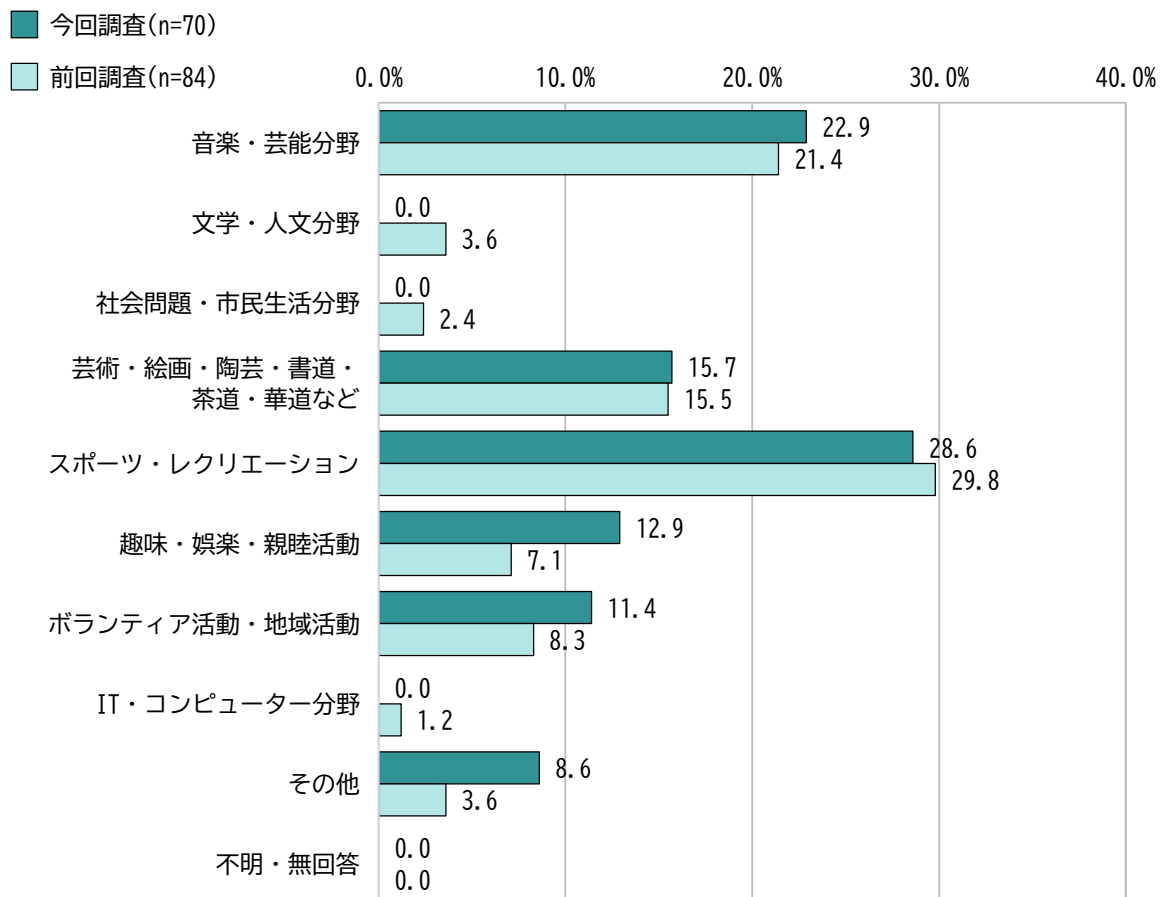
日ごろ活動している主な地域についてみると、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が21.4%と最も多く、次いで「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「溝沼・大字溝沼」が17.1%、「本町・仲町・青葉台」が15.7%となっています。



問7 主な活動の分野はどれですか。

(単数回答)

主な活動の分野についてみると、「スポーツ・レクリエーション」が28.6%と最も多く、次いで「音楽・芸能分野（コーラス・器楽演奏・舞踊・演劇など）」が22.9%、「芸術・絵画・陶芸・書道・茶道・華道など」が15.7%となっています。

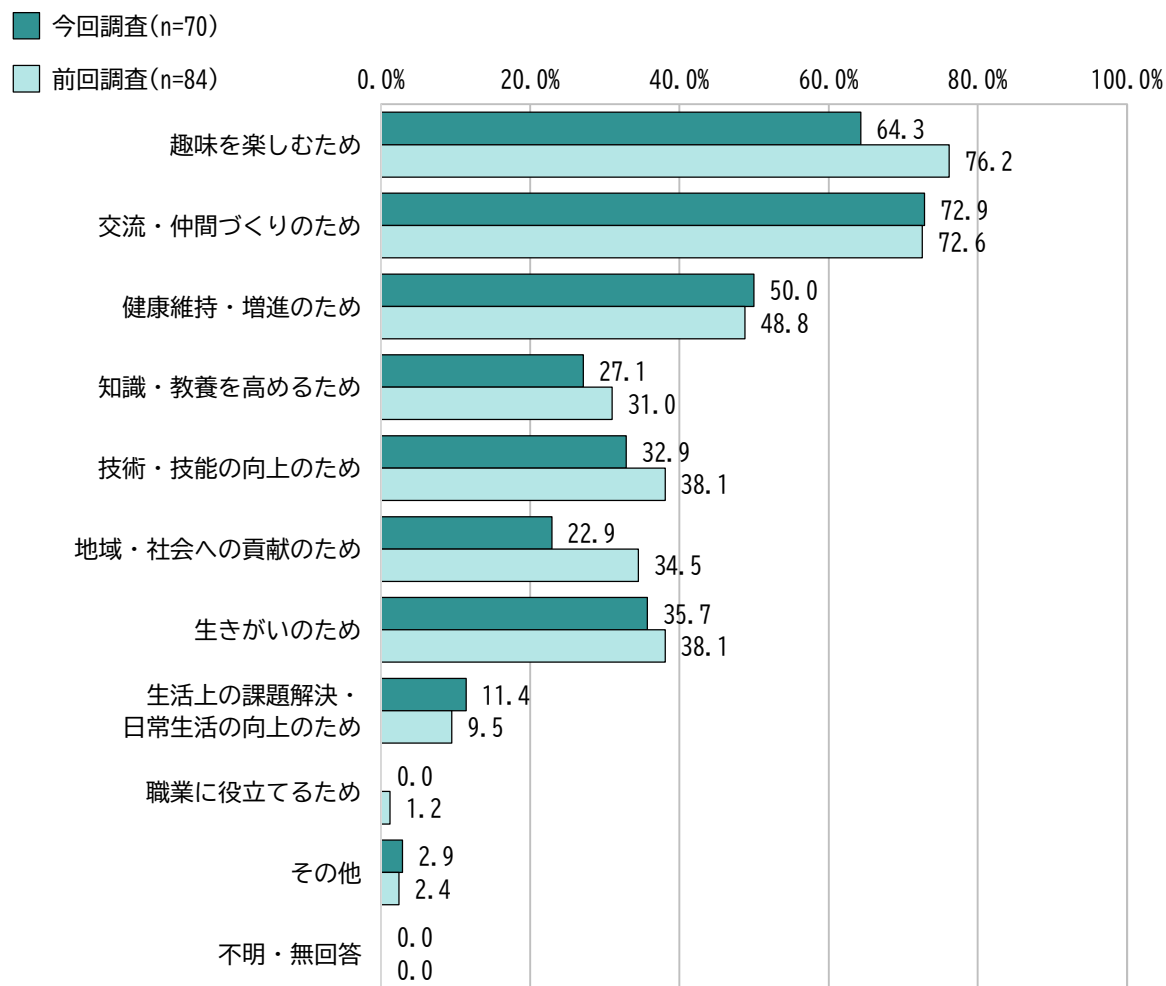


問8 活動の目的はなんですか。

(複数回答)

活動の目的についてみると、「交流・仲間づくりのため」が72.9%と最も多く、次いで「趣味を楽しむため」が64.3%、「健康維持・増進のため」が50.0%となっています。

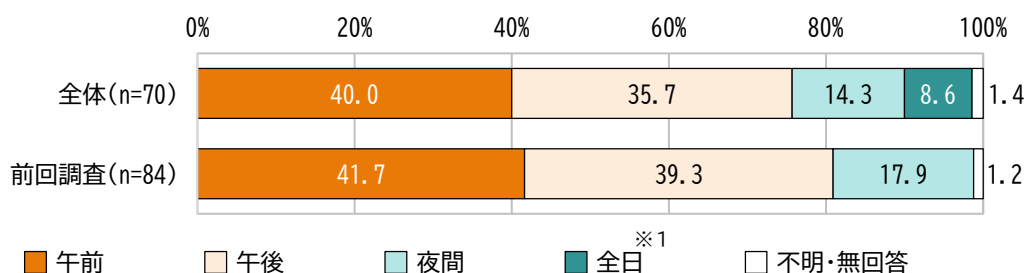
前回調査と比べると、「趣味を楽しむため」、「地域・社会への貢献のため」が減少しています。



問9 主な活動時間はいつですか。

(単数回答)

主な活動時間についてみると、「午前」が40.0%と最も多く、次いで「午後」が35.7%、「夜間」が14.3%となっています。



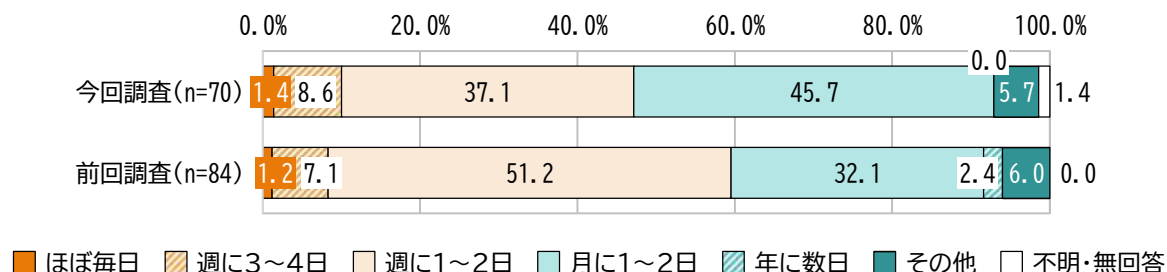
※1：今回調査の新規選択肢

問 10 活動頻度はどのくらいですか。

(単数回答)

活動頻度についてみると、「月に1～2日」が45.7%と最も多く、次いで「週に1～2日」が37.1%、「週に3～4日」が8.6%となっています。

前回調査と比べると、「月に1～2日」が13.6ポイント増加しており、「週に1～2日」が14.1ポイント減少しています。

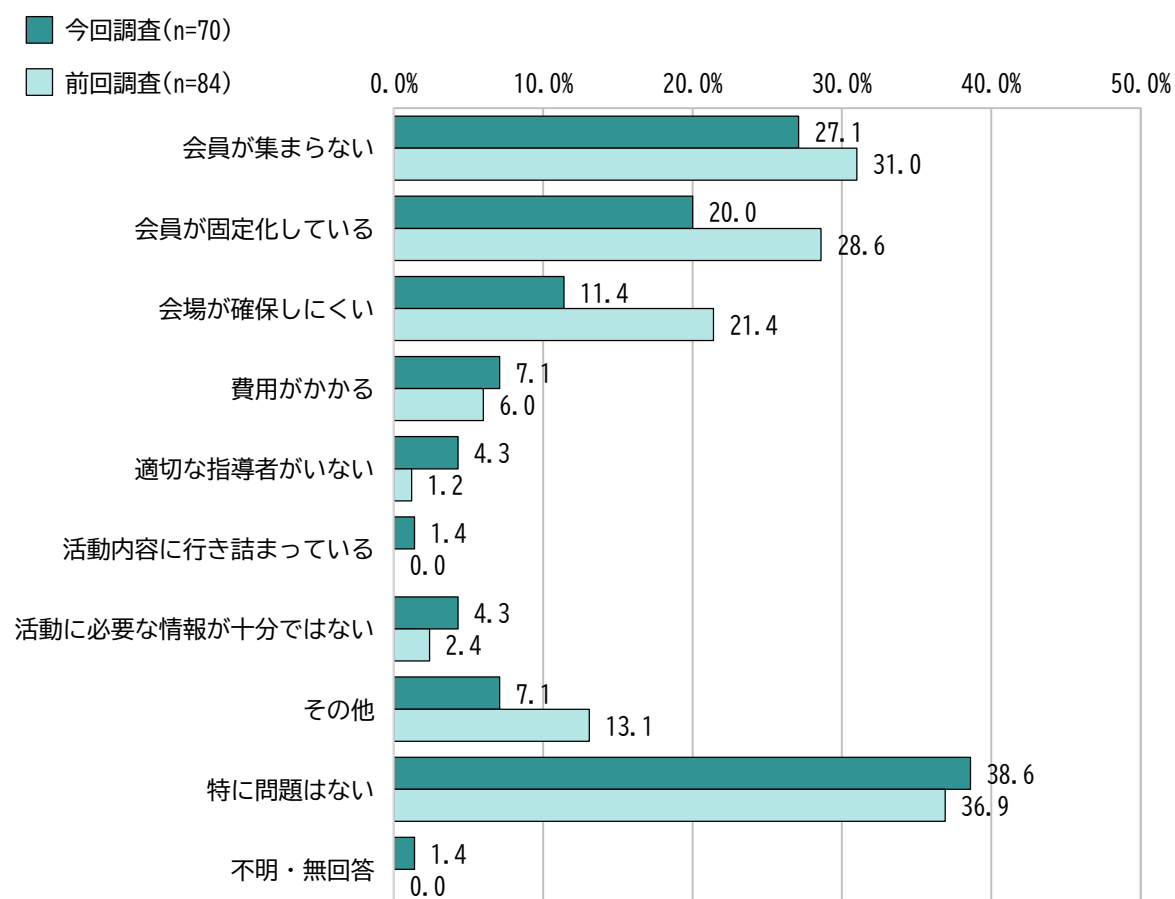


問 11 活動における課題はなんですか。

(複数回答)

活動における課題についてみると、「特に問題はない」が38.6%と最も多く、次いで「会員が集まらない」が27.1%、「会員が固定化している」が20.0%となっています。

前回調査と比べると、「会場が確保しにくい」が10.0ポイント減少しています。



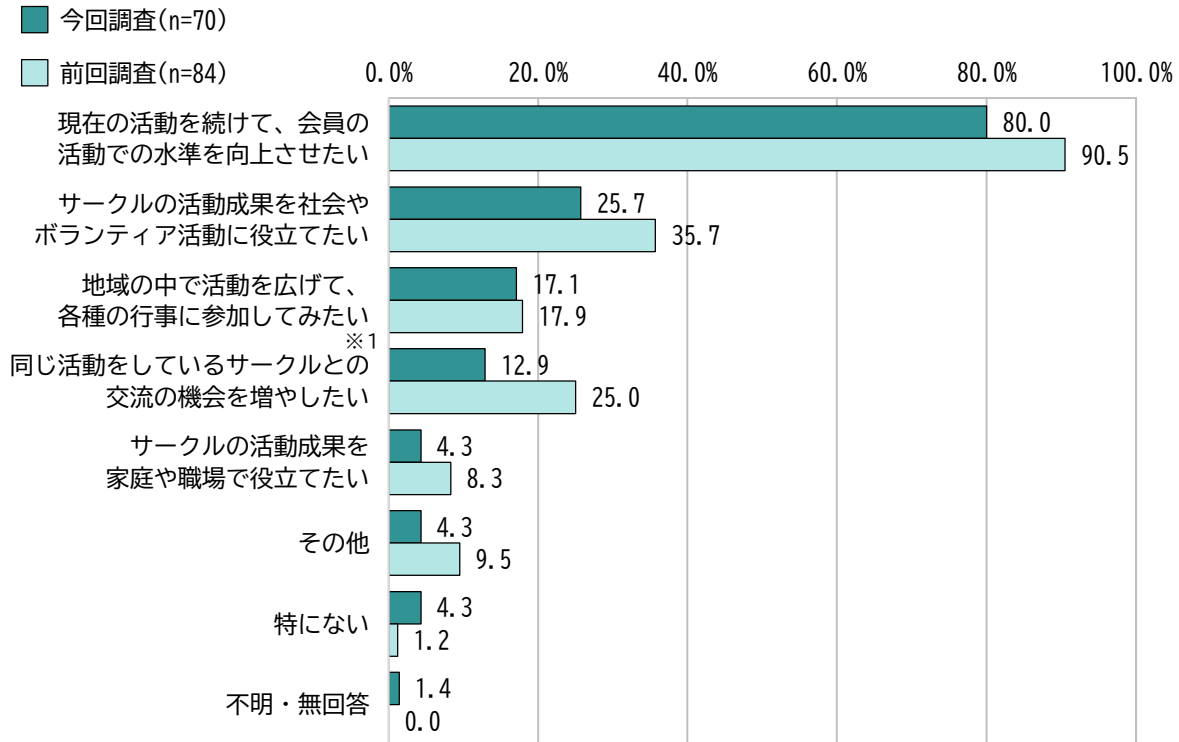
(2) 今後の活動について

問 12 今後の活動の進め方についてはどのようにお考えですか。

(複数回答)

今後の活動の進め方についてみると、「現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい」が80.0%と最も多く、次いで「サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい」が25.7%、「地域の中で活動を広げて、各種の行事に参加してみたい」が17.1%となっています。

前回調査と比べると、「現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい」、「サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい」、「同じ活動をしているサークルとの交流の機会を増やしたい」が減少しています。



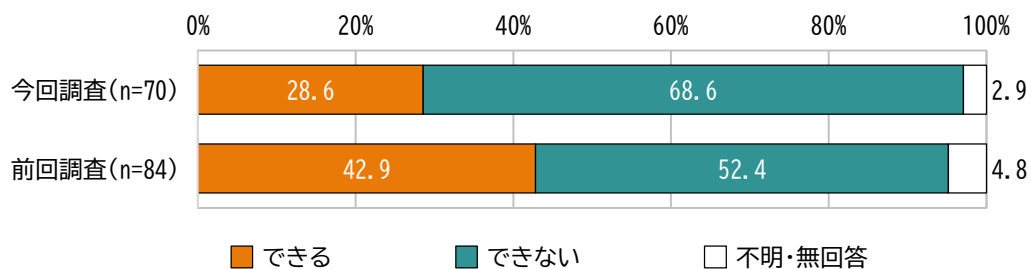
※1：前回調査は「同じ活動をしている団体・サークルとの交流の機会を増やしたい」

問 13 貴団体から市の生涯学習事業に講師を派遣することは可能ですか。

(単数回答)

市の生涯学習事業に講師を派遣することについてみると、「できる」が28.6%、「できない」が68.6%となっています。

前回調査と比べると、「できる」が14.3ポイント減少しています。



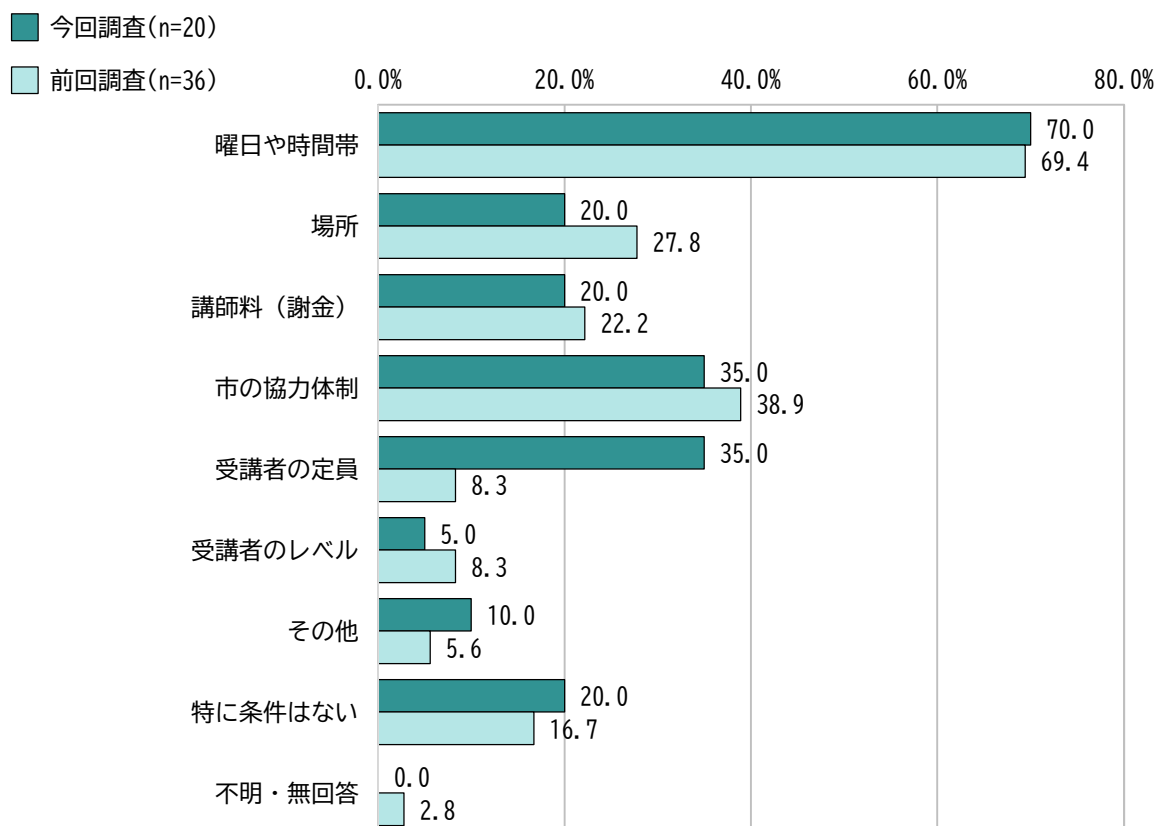
問13で「できる」と回答した団体におたずねします。

問 14 講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件はなんですか。

(複数回答)

講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件についてみると、「曜日や時間帯」が70.0%と最も多く、次いで「市の協力体制」、「受講者の定員」が35.0%、「場所」、「講師料（謝金）」、「特に条件はない」が20.0%となっています。

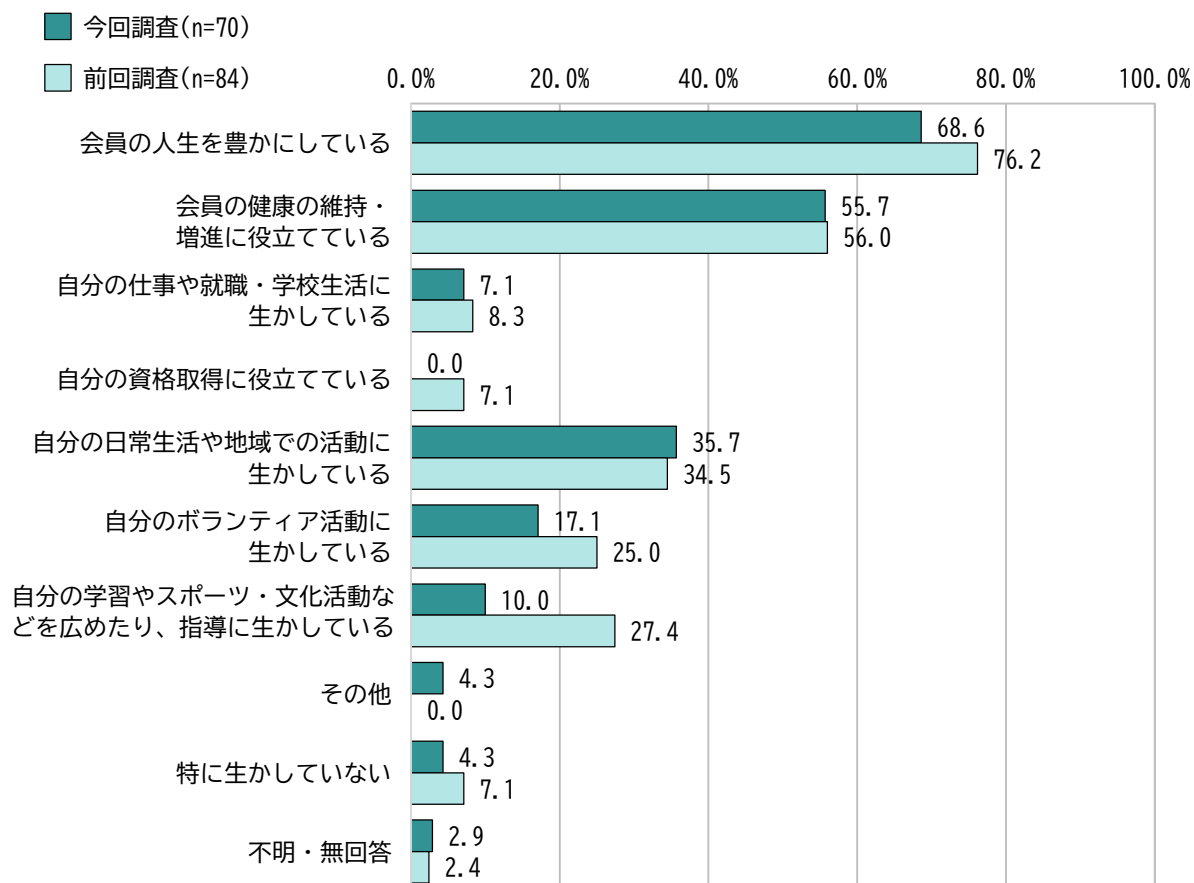
前回調査と比べると、「受講者の定員」が26.7ポイント増加しています。



問 15 生涯学習で身につけたことや活動成果はどのように生かしていますか。 (複数回答)

生涯学習で身につけたことや活動成果をどのように生かしているかについてみると、「会員の人生を豊かにしている」が68.6%と最も多く、次いで「会員の健康の維持・増進に役立てている」が55.7%、「自分の日常生活や地域での活動に生かしている」が35.7%となっています。

前回調査と比べると、「自分の学習やスポーツ・文化活動などを広めたり、指導に生かしている」が17.4ポイント減少しています。



問 16 最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

1. 生涯学習全般について（13件）

☆障害者の地域参加において、一般市民との相互理解にはまだ大きな距離があると感じます。現状、市民の方から「障害者はかわいそうだから支援すべき」「特別だから融通しなくては」といった意識が見受けられます。支援の必要性は認めつつも、もっとフラットに一市民として自然に受け入れられる関係性が理想です。また、そこにはご家庭の意識改革も必要です。例えば、市内障害者施設で働く人材を地域と障害者の間に立つ「橋渡し役」として活用すること、現場を熟知した職員がコーディネーターとなることでよりスムーズな交流が可能になるのではと思います。また、障害者施設の横のつながりを強化することはもっと必要と思います。例えば参加施設による合同実行委員会を設立し、施設対抗スポーツ大会や芸術作品展、音楽発表会などを企画してはどうでしょうか。施設の枠を超え企画段階から共に創り上げる活動を通じて各施設も支援のあり方や地域参加のあり方を考える機会になるのではと思います。

☆公民館を利用する子どもが以前に比べ大幅に減りました。その為、活動を見学に来る事が無く小学生の会員が増えません。何か子ども達を呼び込む魅力のあるコンテンツがあるといいなと思います。

☆施設を利用しているのは高齢者や児童が多く、どんどん辞めていくサークルが多く、もう少し足の便が良ければと願う。

☆活動における課題として、高齢化が進み、意思疎通ができない人もいる。

☆どの会も高齢化で人が少なくなっている。増員する為の計画をたてているが、なかなか難しい。

☆今後はフレイル対策等にも講座があるとよいと思います。

☆小中学生対象で、生け花を教えています。朝霞市内の小中学生に是非伝統文化（茶道や着付け等含む）を体験できる機会を設けて欲しいです。朝霞の学校だから伝統文化を体験出来るようになると良いなと思います。

2. 施設・設備について（13件）

☆高齢の会員も増え施設にエレベーターがないことが、活動の妨げとなっている。多目的トイレもない公共施設がありそこから整備してほしい。

☆高齢化にともない施設の改築。特にエレベーターの設置を希望します。

☆複数のサークルで公民館などを利用していますが、なかなか活動日が取れません。施設を増やして欲しいです。

☆ダンス、舞踊はある程度広い場所が必要なのだが鏡等が足りない。

☆ミニテニスを楽しくさせて頂いてとても感謝しております。東公民館だけはネットの具合が悪すぎて、鉄に当たり怪我人がいつか出るのではないかと危惧しています。

3. 情報発信について（4件）

☆教育委員会と市役所各課との連携がもっと見える様になるといいと思います。広報でのPRの際、公共施設以外を会場にすると掲載が難しいということをなく、広く取り上げてほしい。

☆生涯学習活動の市民へのアピール。

☆市民伝言板について、掲載が途中の行で終わり、上の行で始まるような事はわかりにくいのでいかがなものでしょうか。余白があったのに残念です。

☆幅広い分野の活動を広く知らせてほしい。

第5章 事業所調査の結果

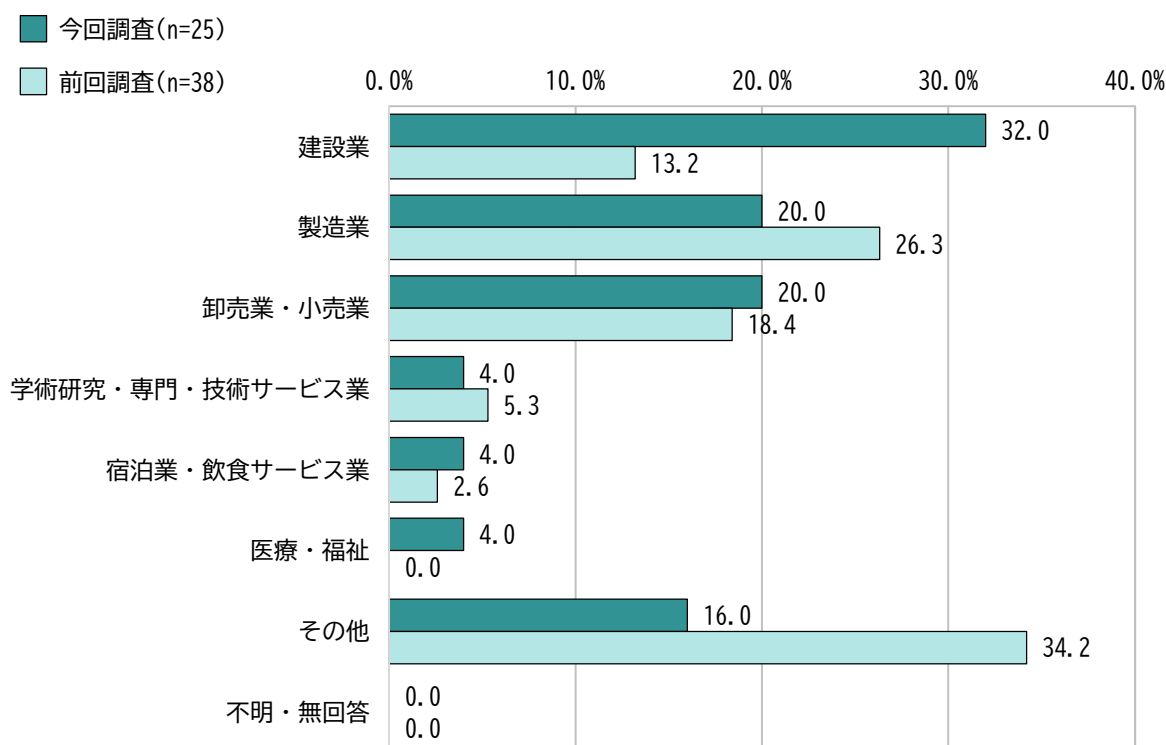
(1) 事業所について

問1 業種をお答えください。

(単数回答)

業種についてみると、「建設業」が32.0%と最も多く、次いで「製造業」、「卸売業・小売業」が20.0%、「その他」が16.0%となっています。

前回調査と比べると、「建設業」が18.8ポイント増加しており、「その他」が18.2ポイント減少しています。

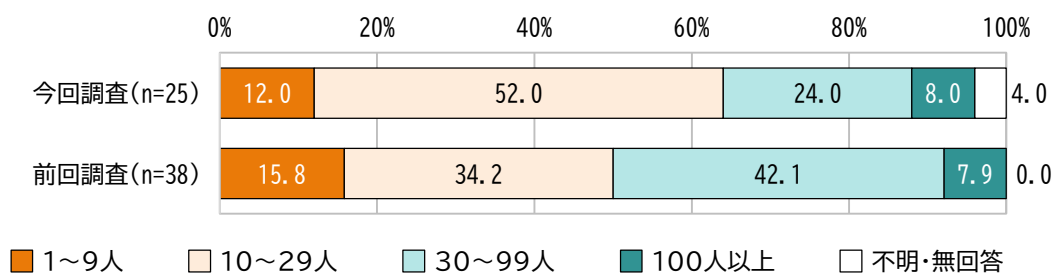


問2 従業員規模をお答えください。

(数量回答)

従業員規模についてみると、「10～29人」が52.0%と最も多く、次いで「30～99人」が24.0%、「1～9人」が12.0%となっています。

前回調査と比べると、「10～29人」が17.8ポイント増加しており、「30～99人」が18.1ポイント減少しています。

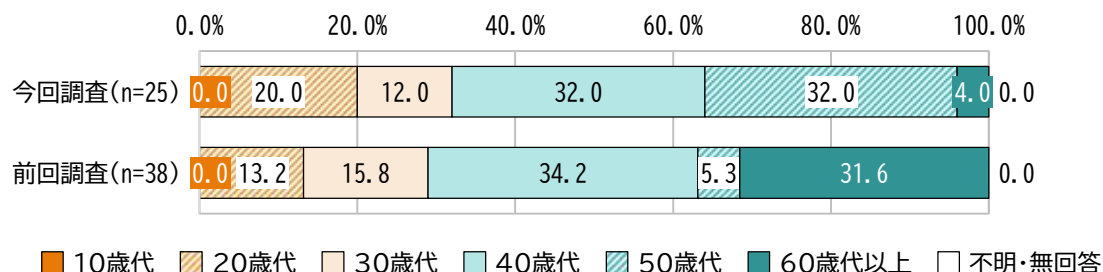


問3 従業員の年齢で、最も多い世代は何歳代ですか。

(単数回答)

最も多い従業員の世代についてみると、「40 歳代」、「50 歳代」が 32.0%と最も多く、次いで「20 歳代」が 20.0%となっています。

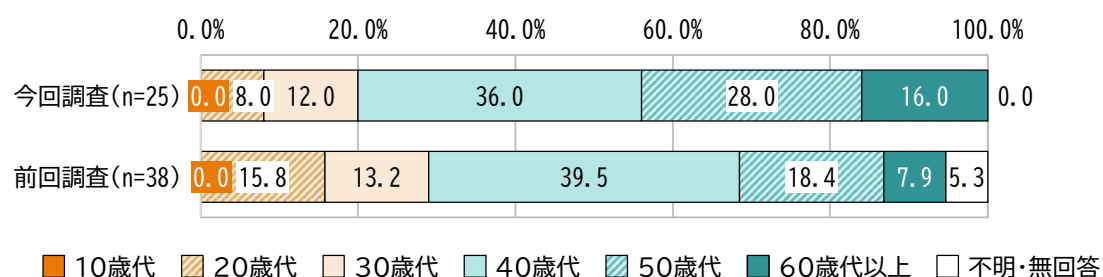
前回調査と比べると、「50 歳代」が 26.7 ポイント増加しており、「60 歳代」が 27.6 ポイント減少しています。



問4 従業員の年齢で、2 番目に多い世代は何歳代ですか。

(単数回答)

2 番目に多い従業員の世代についてみると、「40 歳代」が 36.0%と最も多く、次いで「50 歳代」が 28.0%、「60 歳代以上」が 16.0%となっています。



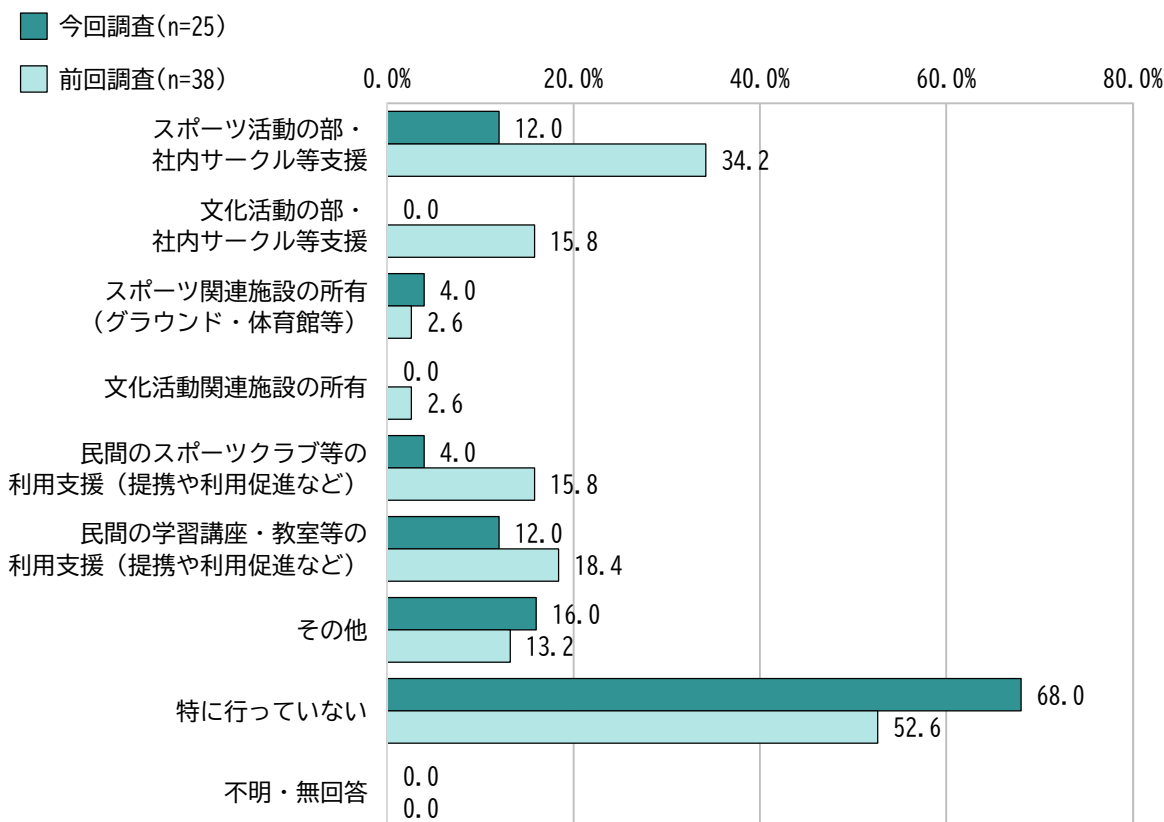
(2) 事業所における生涯学習活動の状況等について

問5 福利厚生・余暇対策等で、次のような取り組みを行っていますか。

(複数回答)

福利厚生・余暇対策等で行っている取り組みについてみると、「特に行っていない」が68.0%と最も多く、次いで「その他」が16.0%、「スポーツ活動の部、社内サークル等支援」「民間の学習講座・教室等の利用支援」が12.0%となっています。

前回調査と比べると、「特に行っていない」が15.4ポイント増加しており、「スポーツ活動の部・社内サークル等支援」、「文化活動の部・社内サークル等支援」、「民間のスポーツクラブ等の利用支援（提携や利用促進など）」が減少しています。

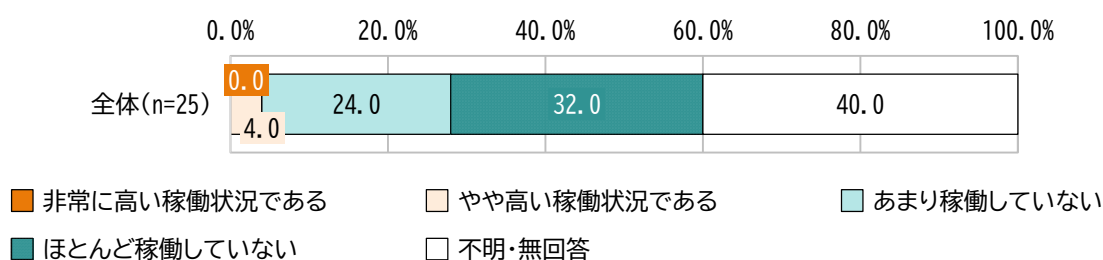


問6と問7は、福利厚生・余暇対策としての設備を所有している事業所におたずねします。(※)

問6 所有している施設や設備の稼働状況はどうですか。

(単数回答)

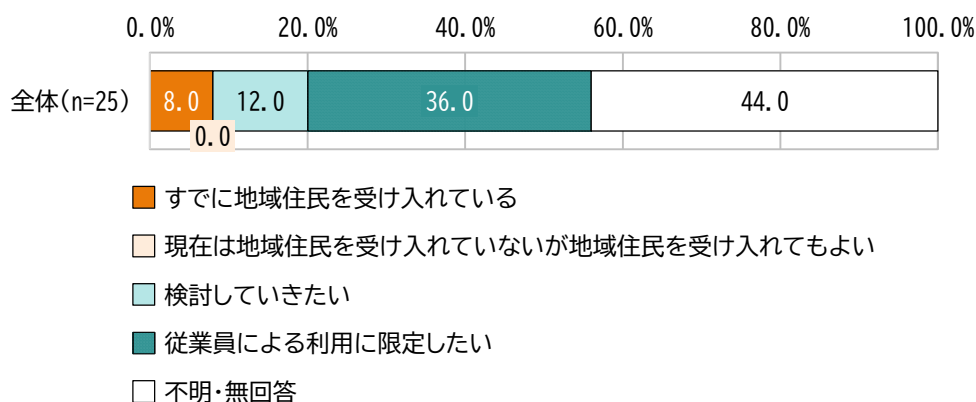
所有している施設や設備の稼働状況についてみると、「ほとんど稼働していない」が32.0%と最も多く、次いで「あまり稼働していない」が24.0%、「やや高い稼働状況である」が4.0%となっています。



※集計の都合上、設備を所有していないと思われる事業所も含めて掲載しています。

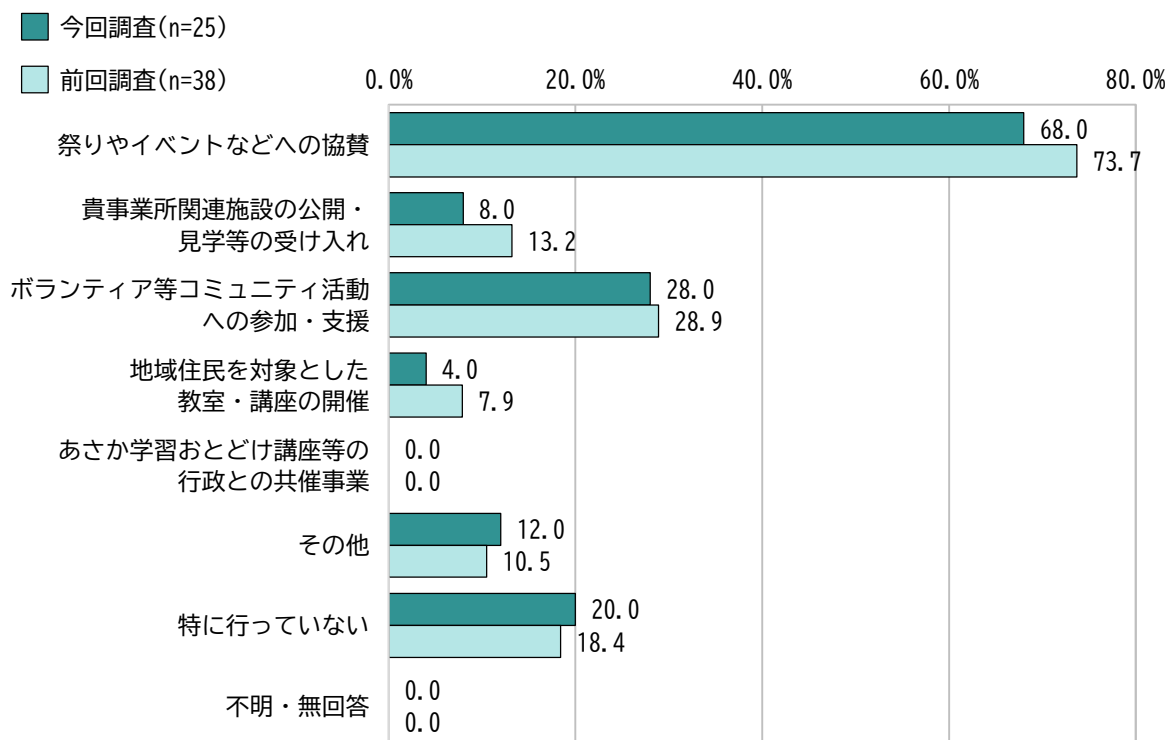
問7 所有する各種施設や設備を地域へ開放することについて、どうお考えですか。（単数回答）

所有する各種施設や設備を地域へ開放することへの考えについてみると、「従業員による利用に限定したい」が36.0%と最も多く、次いで「検討していきたい」が12.0%、「すでに地域住民を受け入れている」が8.0%となっています。



問8 所在地域とのつながりとして、どのような取り組みを行っていますか。（複数回答）

所在する地域とのつながりについてみると、「祭りやイベントなどへの協賛」が68.0%と最も多く、次いで「ボランティア等コミュニティ活動への参加・支援」が28.0%、「特に行っていない」が20.0%となっています。

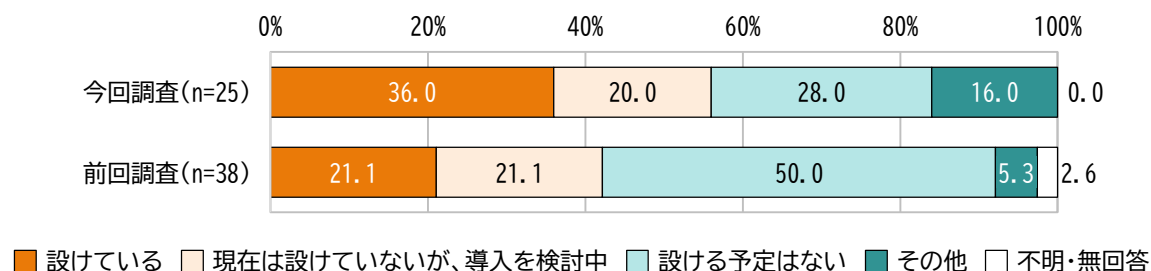


(3) 従業員と生涯学習活動について

問9 従業員が資格取得など、職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けていますか。
(単数回答)

従業員の職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けているかについてみると、「設けている」が36.0%と最も多く、次いで「設ける予定はない」が28.0%、「現在は設けていないが、導入を検討中」が20.0%となっています。

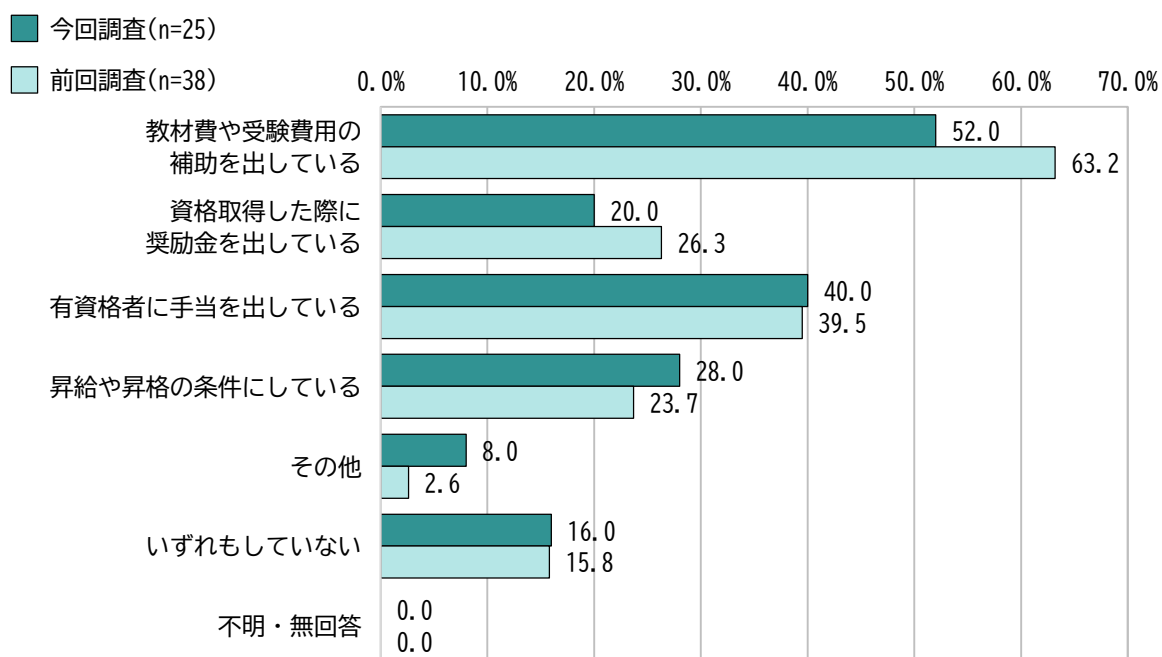
前回調査と比べると、「設けている」、「その他」が増加しており、「設ける予定はない」が22.0ポイント減少しています。



問10 従業員が資格を取得することに対する支援や奨励を行っていますか。
(複数回答)

従業員が資格を取得することに対する支援や奨励の状況についてみると、「教材費や受験費用の補助を出している」が52.0%と最も多く、次いで「有資格者に手当を出している」が40.0%、「昇給や昇格の条件にしている」が28.0%となっています。

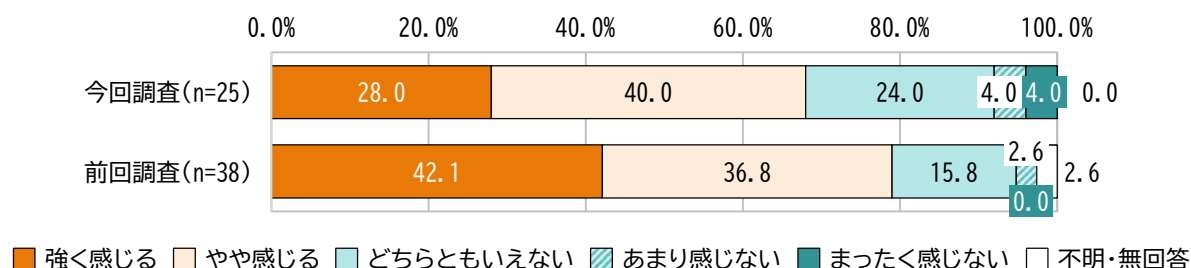
前回調査と比べると、「教材費や受験費用の補助を出している」が11.2ポイント減少しています。



問 11 業務に必要なかを問わず、従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性を感じますか。 (単数回答)

従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性についてみると、「やや感じる」が40.0%と最も多く、次いで「強く感じる」が28.0%、「どちらともいえない」が24.0%となっています。

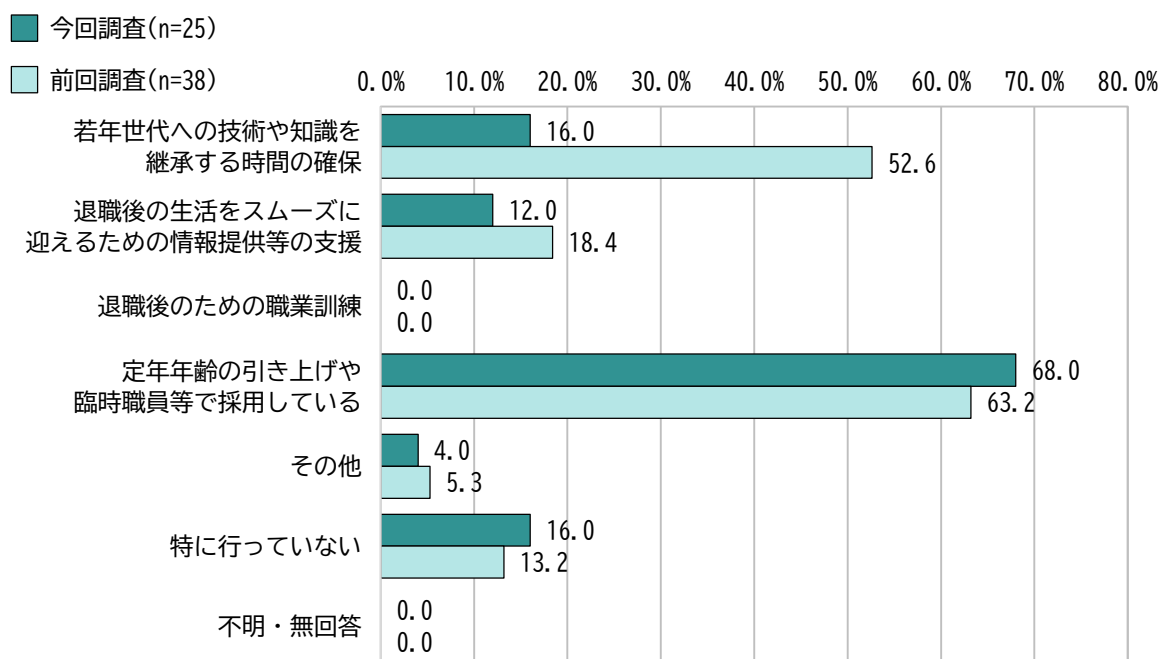
前回調査と比べると、「強く感じる」が14.1ポイント減少しています。



問 12 定年を迎えて、退職される方にどのような取り組みを行っていますか。 (複数回答)

定年を迎えて退職する方への取り組みについてみると、「定年年齢の引き上げや臨時職員等で採用している」が68.0%と最も多く、次いで「若年世代への技術や知識を継承する時間の確保」、「特に行っていない」が16.0%となっています。

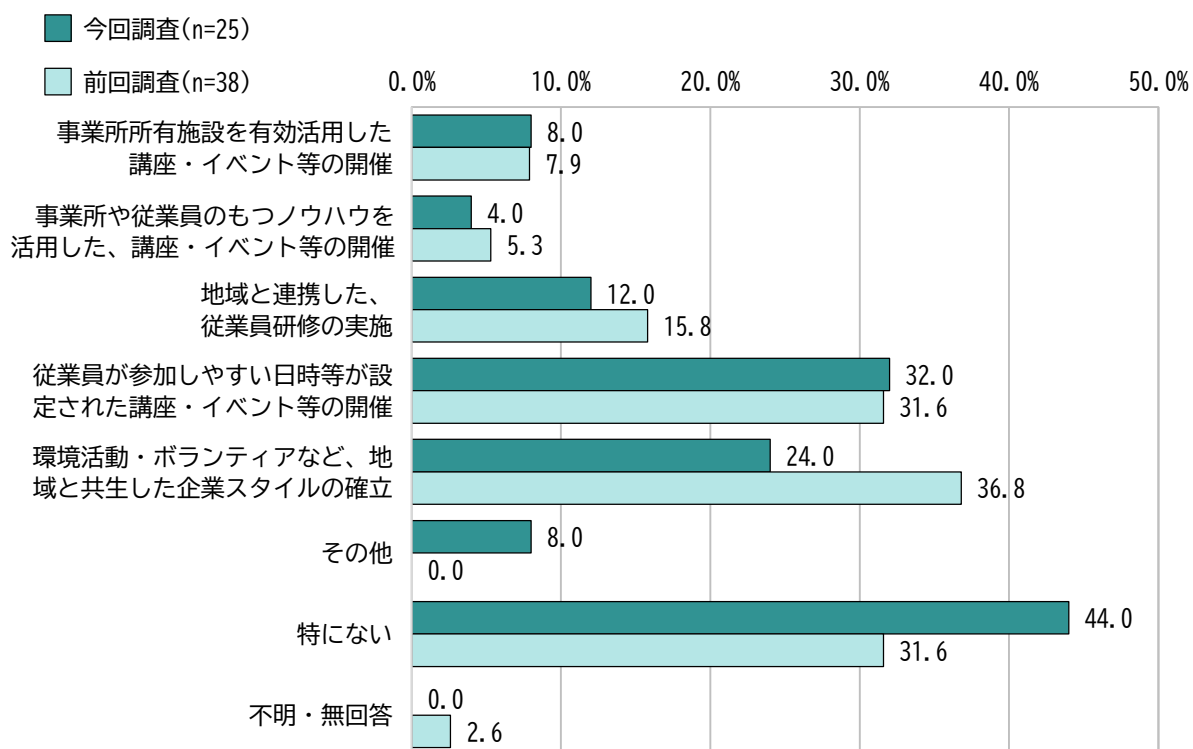
前回調査と比べると、「若年世代への技術や知識を継承する時間の確保」が36.6ポイント減少しています。



(4) 朝霞市との連携について

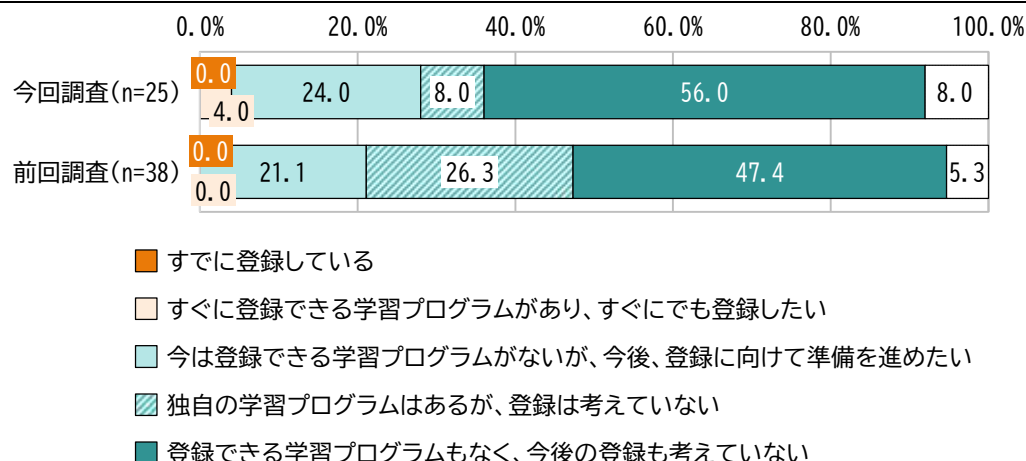
問 13 事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものはどのようなものがありますか。
(複数回答)

事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものについてみると、「特にない」が44.0%と最も多く、次いで「従業員が参加しやすい日時等が設定された講座、イベント等の開催」が32.0%、「環境活動、ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立」が24.0%となっています。
前回調査と比べると、「特にない」が12.4ポイント増加しており、「環境活動・ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立」が12.8ポイント減少しています。



問 14 「あさか学習おとどけ講座」の企業メニューへの登録について、どのようにお考えですか。
(単数回答)

「あさか学習おとどけ講座」の企業メニューへの登録についてみると、「登録できる学習プログラムもなく、今後の登録も考えていない」が56.0%と最も多く、次いで「今は登録できる学習プログラムがないが、今後、登録に向けて準備を進めたい」が24.0%、「独自の学習プログラムはあるが、登録は考えていない」が8.0%となっています。



問 15 貴事業所が生涯学習に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。

1. 今後の生涯学習について（3件）

☆ボランティアを通じて地域社会との繋がりを強固なものにしたい。

☆少子高齢化が進むなか、孤独な人が増えていくことで、地域で孤立する方が予想されますので、誰もが参加しやすいイベントや講座が必要だと思います。

☆ITリテラシーの強化や情報の取捨選択能力を引き上げることが重要と思う。

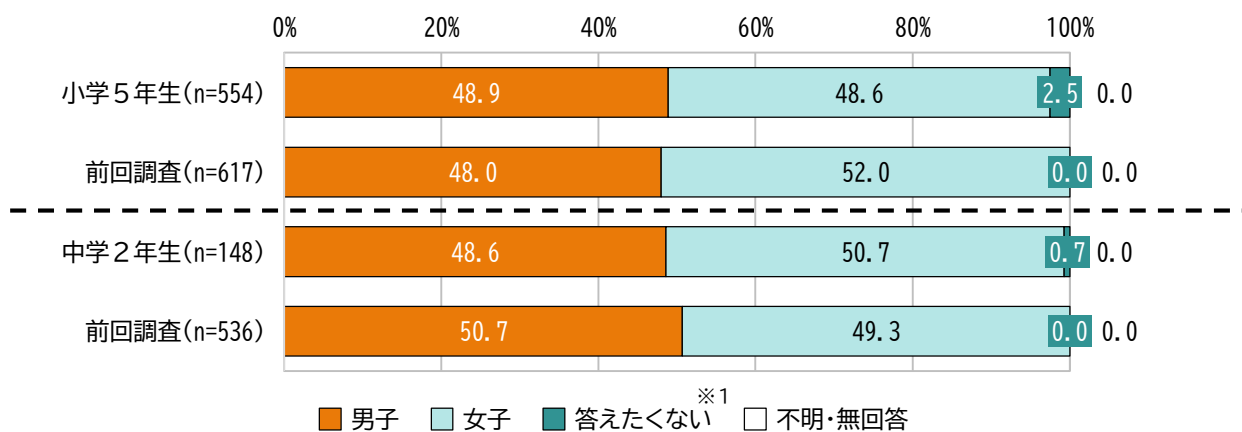
第6章 小中学生調査の結果

(1) 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。

(単数回答)

性別についてみると、小学5年生では、「男子」が48.9%、「女子」が48.6%、「答えたくない」が2.5%、中学2年生では、「男子」が48.6%、「女子」が50.7%、「答えたくない」が0.7%となっています。

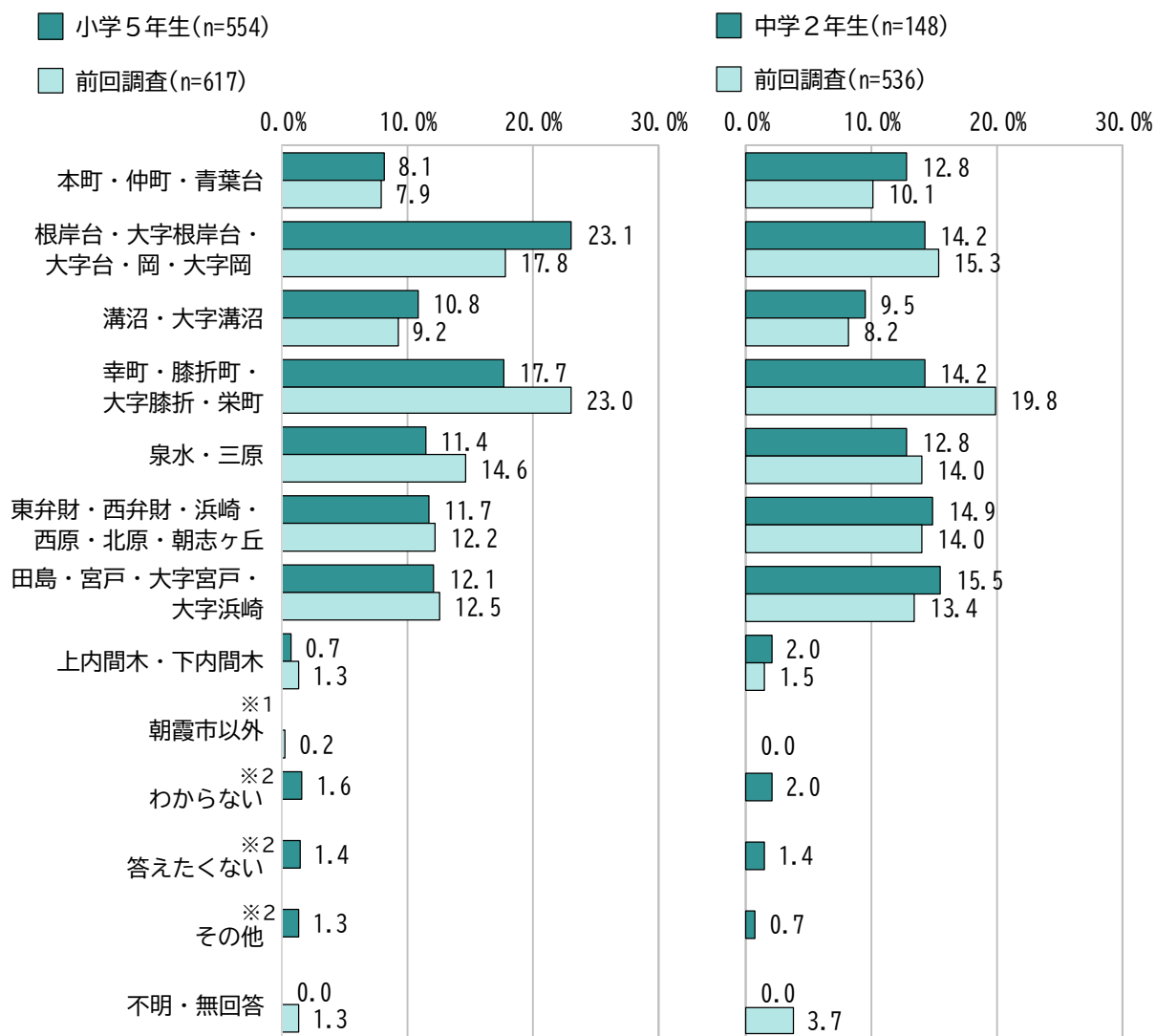


※1：今回調査の新規選択肢

問2 あなたのお住まいの地区をお答えください。

(単数回答)

住んでいる地区についてみると、小学5年生では、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」が23.1%と最も多く、次いで「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が17.7%、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が12.1%、中学2年生では、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が15.5%と最も多く、次いで「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が14.9%、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が14.2%となっています。



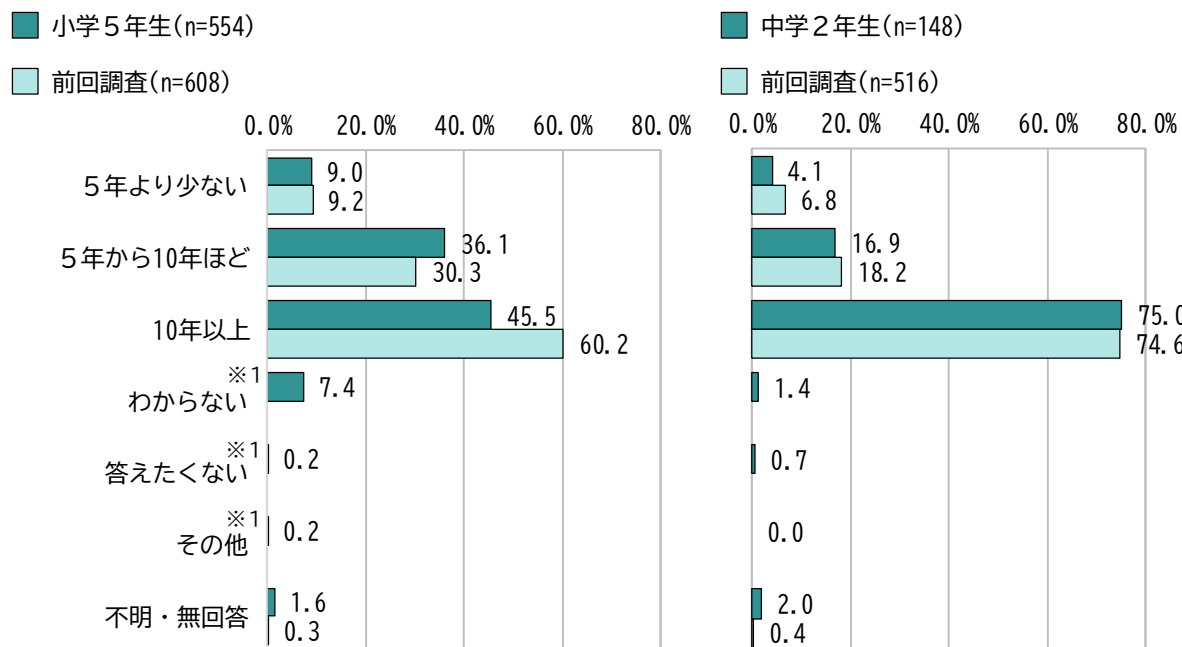
※1：今回調査はなし

※2：今回調査の新規選択肢

問3 朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。

(単数回答)

朝霞市に住んでいる年数についてみると、小学5年生では、「10年以上」が45.5%と最も多く、次いで「5年から10年ほど」が36.1%、「5年より少ない」が9.0%、中学2年生では、「10年以上」が75.0%と最も多く、次いで「5年から10年ほど」が16.9%、「5年より少ない」が4.1%となっています。



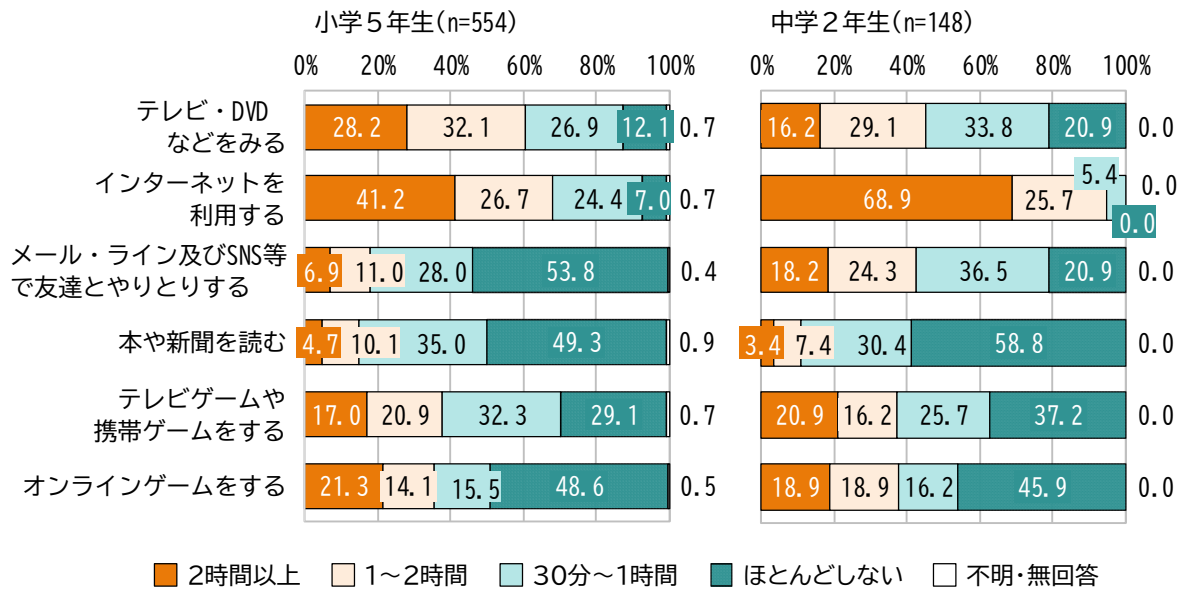
※1：今回調査の新規選択肢

（２）ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問４ ふだんの生活で、次のようなことを１日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。

（単数回答）

１日に行っている活動の平均時間についてみると、「インターネットを利用する」では、１時間以上行っている割合が、小学５年生で 67.9%、中学２年生で 94.6%となっています。また、「オンラインゲームをする」では、１時間以上行っている割合が、小学５年生で 35.4%、中学２年生で 37.8%となっています。



小学5年生の結果を前回調査や前々回調査と比較すると、「テレビ・DVDなどをみる」の時間は減少傾向にある一方、「インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する」、「メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする」の時間が増加していることがうかがえます。

中学2年生の結果を前回調査や前々回調査と比較すると、小学5年生同様に「テレビ・DVDなどをみる」の時間は減少傾向にある一方、「インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する」、「メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする」の時間が増加していることがうかがえます。

小学5年生						
今回調査(n=554)		2時間以上	1～2時間	30分～1時間	ほとんどしない	不明・無回答
前回調査(n=617)						
前々回調査(n=1,064)						
テレビ・DVDなどをみる	今回調査	28.2	32.1	26.9	12.1	0.7
	前回調査	36.8	34.0	22.0	6.5	0.6
	前々回調査	44.0	33.3	19.6	2.9	0.2
インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する	今回調査	41.2	26.7	24.4	7.0	0.7
	前回調査	7.3	12.8	27.2	51.4	1.3
	前々回調査	3.0	10.2	27.3	58.5	0.9
メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする	今回調査	6.9	11.0	28.0	53.8	0.4
	前回調査	1.1	1.0	10.2	85.6	2.1
	前々回調査	1.5	2.8	13.1	81.0	1.6
本や新聞を読む	今回調査	4.7	10.1	35.0	49.3	0.9
	前回調査	7.5	10.2	44.4	36.5	1.5
テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする	今回調査	17.0	20.9	32.3	29.1	0.7
	前回調査	16.0	20.1	34.2	29.0	0.6
オンラインゲームをする	今回調査	21.3	14.1	15.5	48.6	0.5
	新規設問					

中学2年生						
今回調査(n=148)		2時間以上	1～2時間	30分～1時間	ほとんどしない	不明・無回答
前回調査(n=536)						
前々回調査(n=518)						
テレビ・DVDなどをみる	今回調査	16.2	29.1	33.8	20.9	0.0
	前回調査	37.1	36.0	19.4	7.1	0.4
	前々回調査	48.8	32.2	12.9	4.8	1.2
インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する	今回調査	68.9	25.7	5.4	0.0	0.0
	前回調査	24.4	23.3	31.5	20.3	0.4
	前々回調査	14.9	15.8	27.2	41.1	1.0
メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする	今回調査	18.2	24.3	36.5	20.9	0.0
	前回調査	17.5	17.2	31.7	33.0	0.6
	前々回調査	18.5	11.4	30.9	38.0	1.2
本や新聞を読む	今回調査	3.4	7.4	30.4	58.8	0.0
	前回調査	6.3	12.1	31.2	49.6	0.7
テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする	今回調査	20.9	16.2	25.7	37.2	0.0
	前回調査	19.4	22.4	25.4	32.1	0.7
オンラインゲームをする	今回調査	18.9	18.9	16.2	45.9	0.0
	新規設問					

問5 放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。

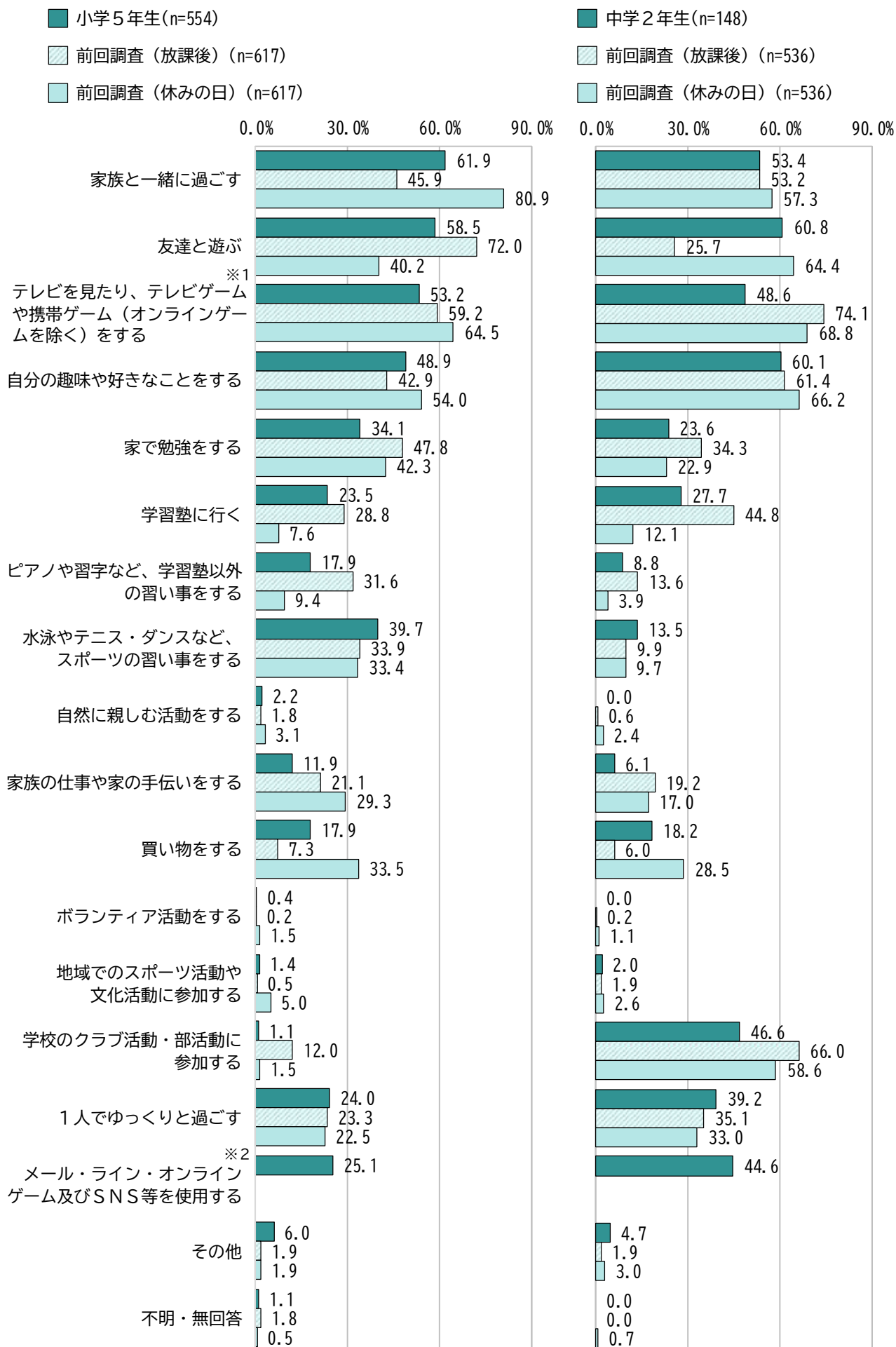
(5つまで回答)

放課後や休みの日の過ごし方についてみると、小学5年生では、「家族と一緒に過ごす」が61.9%と最も多く、次いで「友達と遊ぶ」が58.5%、「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする」が53.2%、中学2年生では、「友達と遊ぶ」が60.8%と最も多く、次いで「自分の趣味や好きなことをする」が60.1%、「家族と一緒に過ごす」が53.4%となっています。

前回調査において、放課後の過ごし方については、小学5年生で「友だちと遊ぶ」が72.0%で最も多く、次いで「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が59.2%、「家で勉強をする」が47.8%、中学2年生で「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が74.1%で最も多く、次いで「学校のクラブ活動・部活動に参加する」が66.0%、「自分の趣味や好きなことをする」が61.4%となっています。

休みの日の過ごし方については、小学5年生で「家族と一緒に過ごす」が80.9%で最も多く、次いで「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が64.5%、「自分の趣味や好きなことをする」が54.0%、中学2年生で「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が68.8%で最も多く、次いで「自分の趣味や好きなことをする」が66.2%、「友達と遊ぶ」が64.4%となっています。

表は次ページに掲載



※1：前回調査は「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」

※2：今回調査の新規選択肢

問6 放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。

(複数回答)

放課後や休みの日を過ごす場所についてみると、小学5年生では、「自分の家」が79.6%と最も多く、次いで「公園・児童遊園地」が45.7%、「友達の家」が32.5%、中学2年生では、「自分の家」が89.9%と最も多く、次いで「学習塾・習い事などの教室」が33.8%、「デパート・スーパー・ショッピングモール」が31.8%となっています。

前回調査において、放課後に過ごす場所については、小学5年生で「自分の家」が84.6%で最も多く、次いで「公園・近所の空き地」が47.5%、「友達の家」が44.6%、中学2年生で「自分の家」が93.7%で最も多く、次いで「学習塾」が38.4%、「学校」が37.9%となっています。

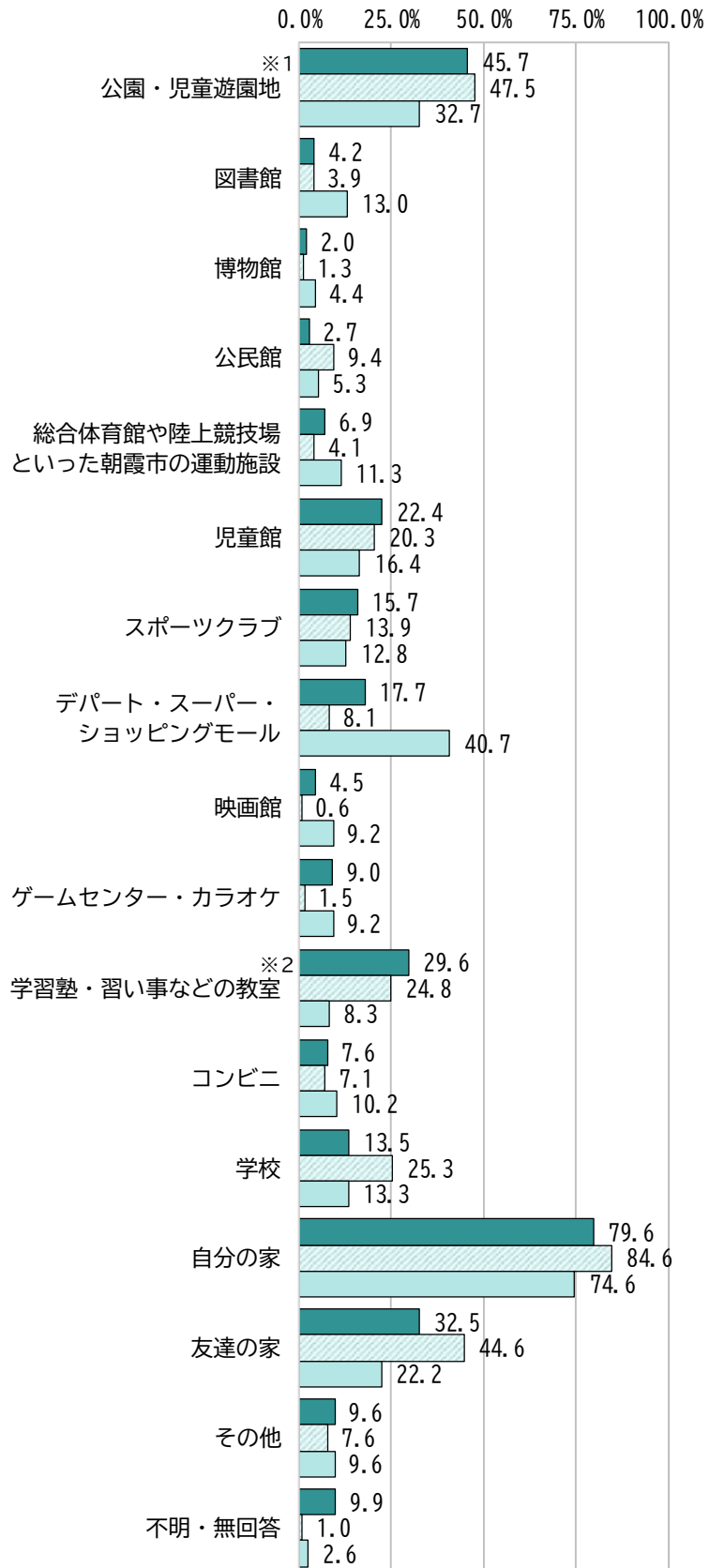
休みの日に過ごす場所については、小学5年生で「自分の家」が74.6%で最も多く、次いで「デパート・スーパー・ショッピングモール」が40.7%、「公園・近所の空き地」が32.7%、中学2年生で「自分の家」が84.9%で最も多く、次いで「デパート・スーパー・ショッピングモール」が37.3%、「学校」が34.9%となっています。

表は次ページに掲載

■ 小学5年生(n=554)

▨ 前回調査（放課後）(n=617)

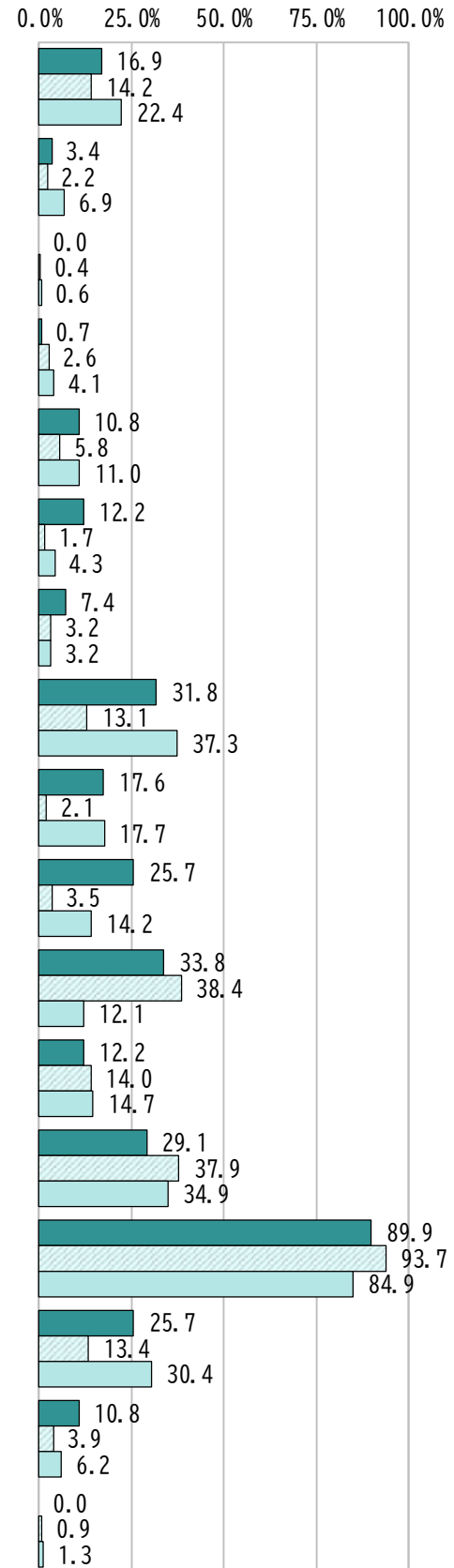
□ 前回調査（休みの日）(n=617)



■ 中学2年生(n=148)

▨ 前回調査（放課後）(n=536)

□ 前回調査（休みの日）(n=536)



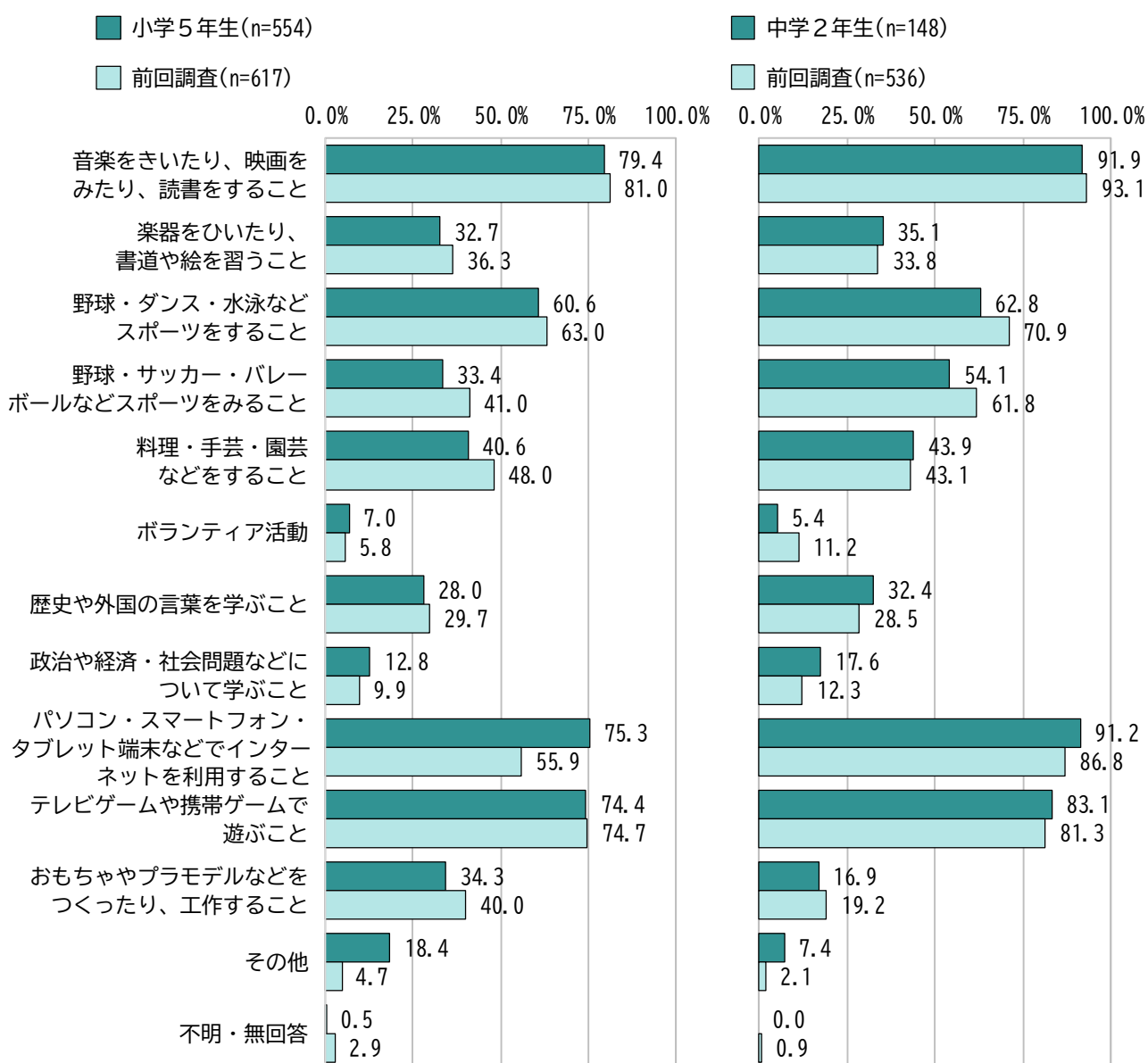
※1：前回調査は「公園・近所の空き地」

※2：前回調査は「学習塾」

問7 この1年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。
(複数回答)

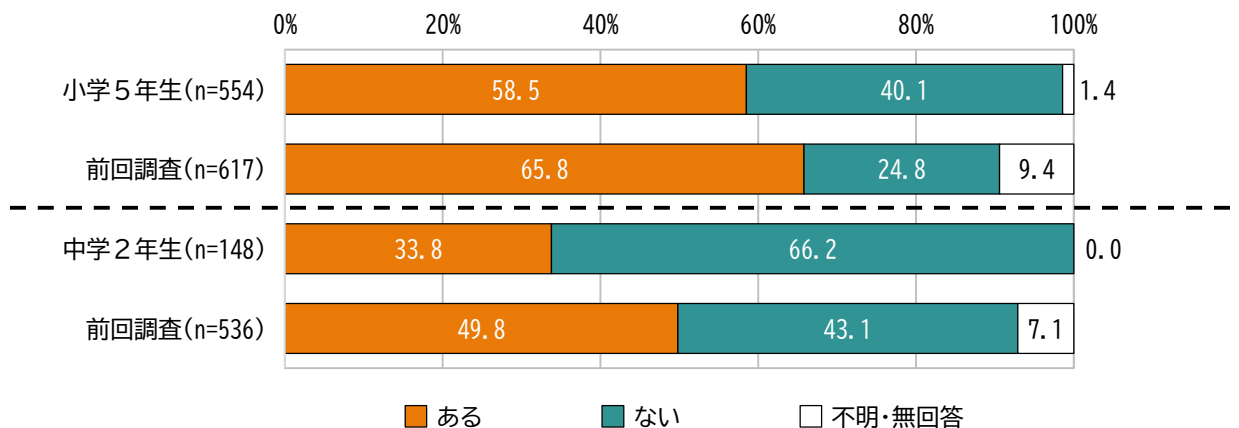
1年間に行った活動についてみると、小学5年生では、「音楽をきいたり、映画をみたり、読書をする事」が79.4%と最も多く、次いで「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」が75.3%、「テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと」が74.4%、中学2年生では、「音楽をきいたり、映画をみたり、読書をする事」が91.9%と最も多く、次いで「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」が91.2%、「テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと」が83.1%となっています。

前回調査と比べると、小学5年生では、「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」、「その他」が増加しています。



問8 児童館、公民館、図書館、博物館、体育館、陸上競技場などで行うイベントや教室に参加していますか。
(単数回答)

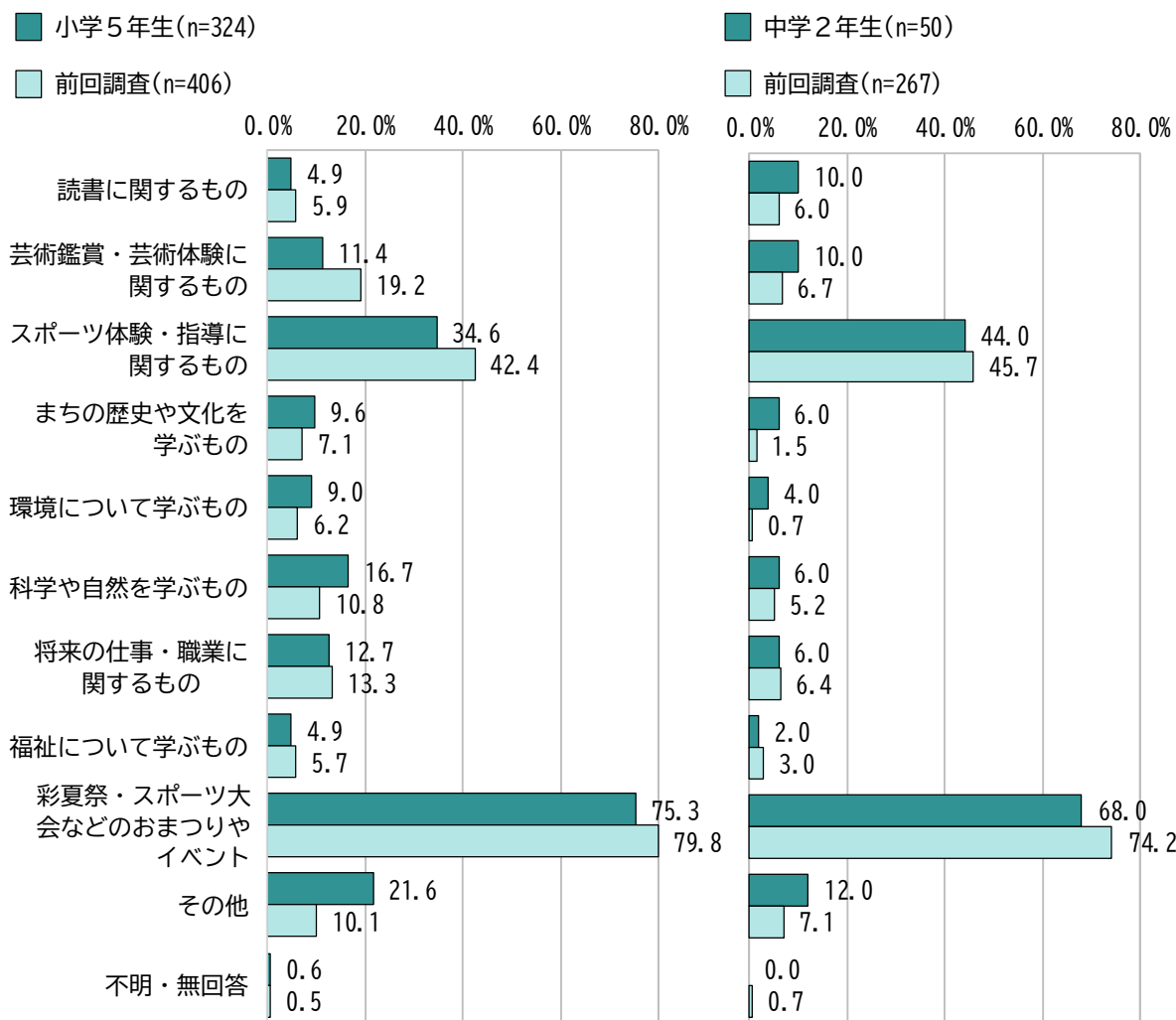
朝霞市の施設で行うイベントや教室への参加についてみると、小学5年生では、「ある」が58.5%、「ない」が40.1%、中学2年生では、「ある」が33.8%、「ない」が66.2%となっています。
前回調査と比べると、小中学生ともに「ない」が増加しています。



問9・問10は、問8で「ある」と回答した方におたずねします。

問9 あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のもでしたか。 (複数回答)

参加したイベントや教室の内容についてみると、小学5年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が75.3%と最も多く、次いで「スポーツ体験・指導に関するもの」が34.6%、「科学や自然を学ぶもの」が16.7%、中学2年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が68.0%と最も多く、次いで「スポーツ体験・指導に関するもの」が44.0%、「その他」が12.0%となっています。

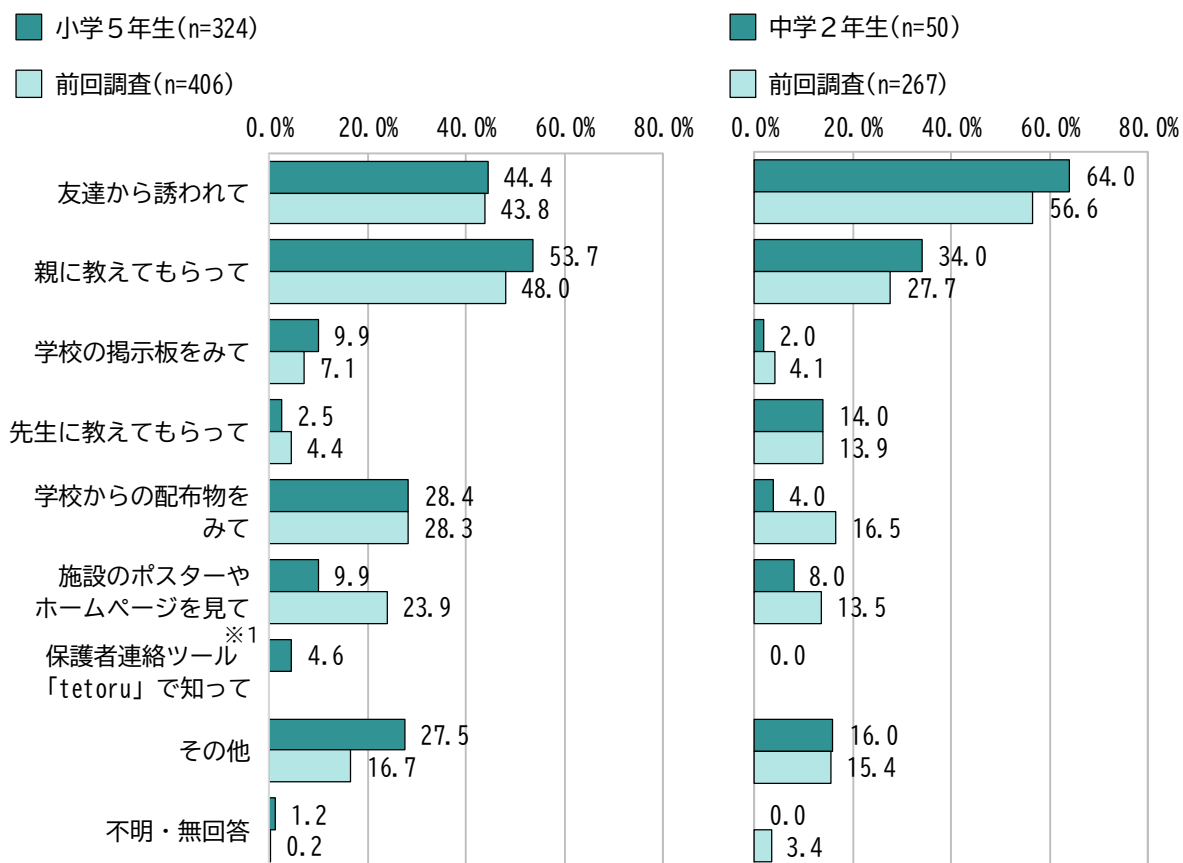


問10 どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。

(複数回答)

イベントや教室に参加したきっかけについてみると、小学5年生では、「親に教えてもらって」が53.7%と最も多く、次いで「友達から誘われて」が44.4%、「学校からの配布物をみて」が28.4%、中学2年生では、「友達から誘われて」が64.0%と最も多く、次いで「親に教えてもらって」が34.0%、「その他」が16.0%となっています。

前回調査と比べると、小学5年生では、「施設のポスターやホームページを見て」、中学2年生では、「学校からの配布物をみて」が、それぞれ減少しています。

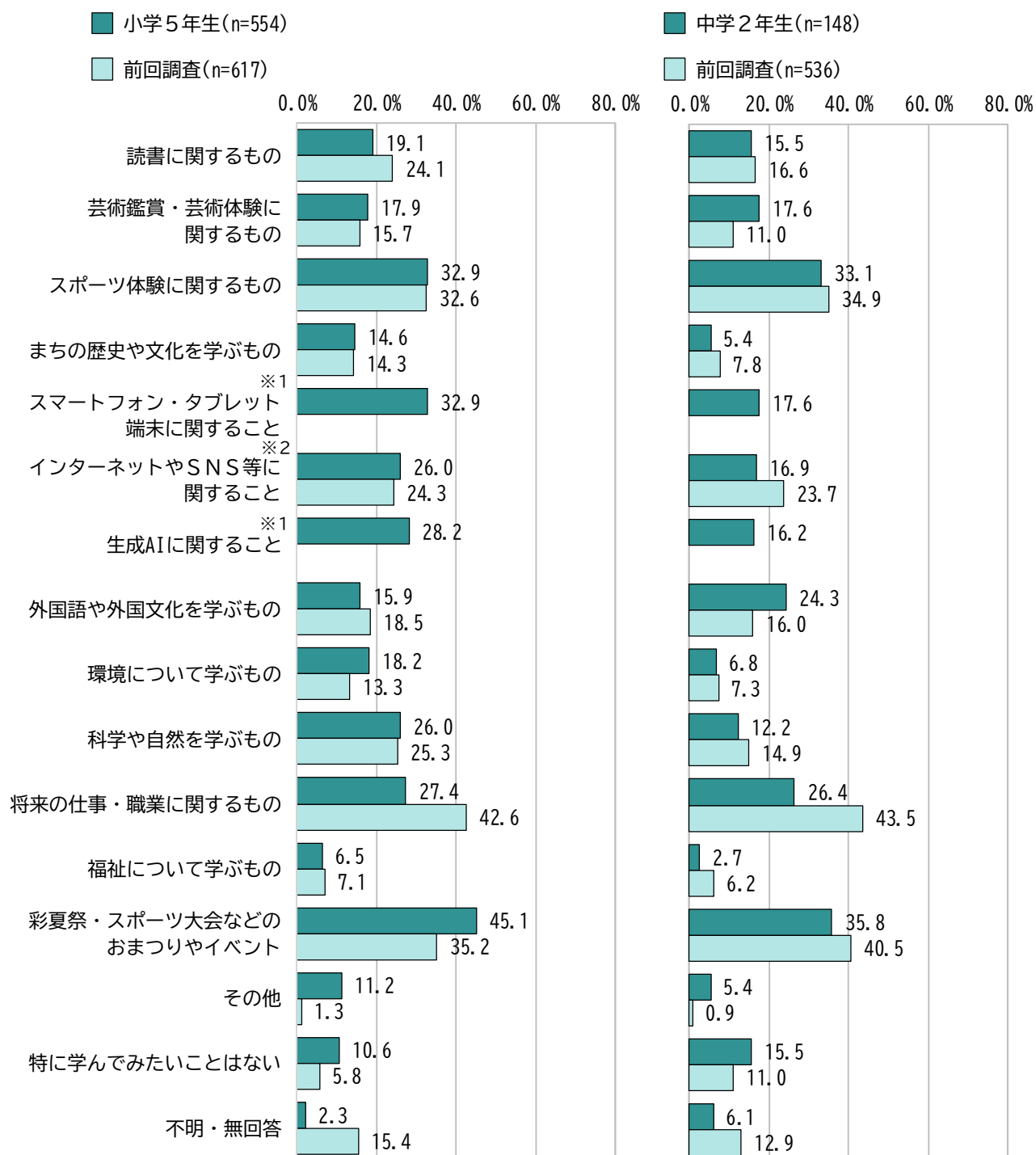


※1：今回調査の新規選択肢

問 11 次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。

(複数回答)

学んでみたいもの、参加してみたいものについてみると、小学5年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が45.1%と最も多く、次いで「スポーツ体験に関するもの」、「スマートフォン・タブレット端末に関するもの」が32.9%、「生成A Iに関するもの」が28.2%、中学2年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が35.8%と最も多く、次いで「スポーツ体験に関するもの」が33.1%、「将来の仕事・職業に関するもの」が26.4%となっています。前回調査と比べると、小中学生ともに、「将来の仕事・職業に関するもの」が減少しています。

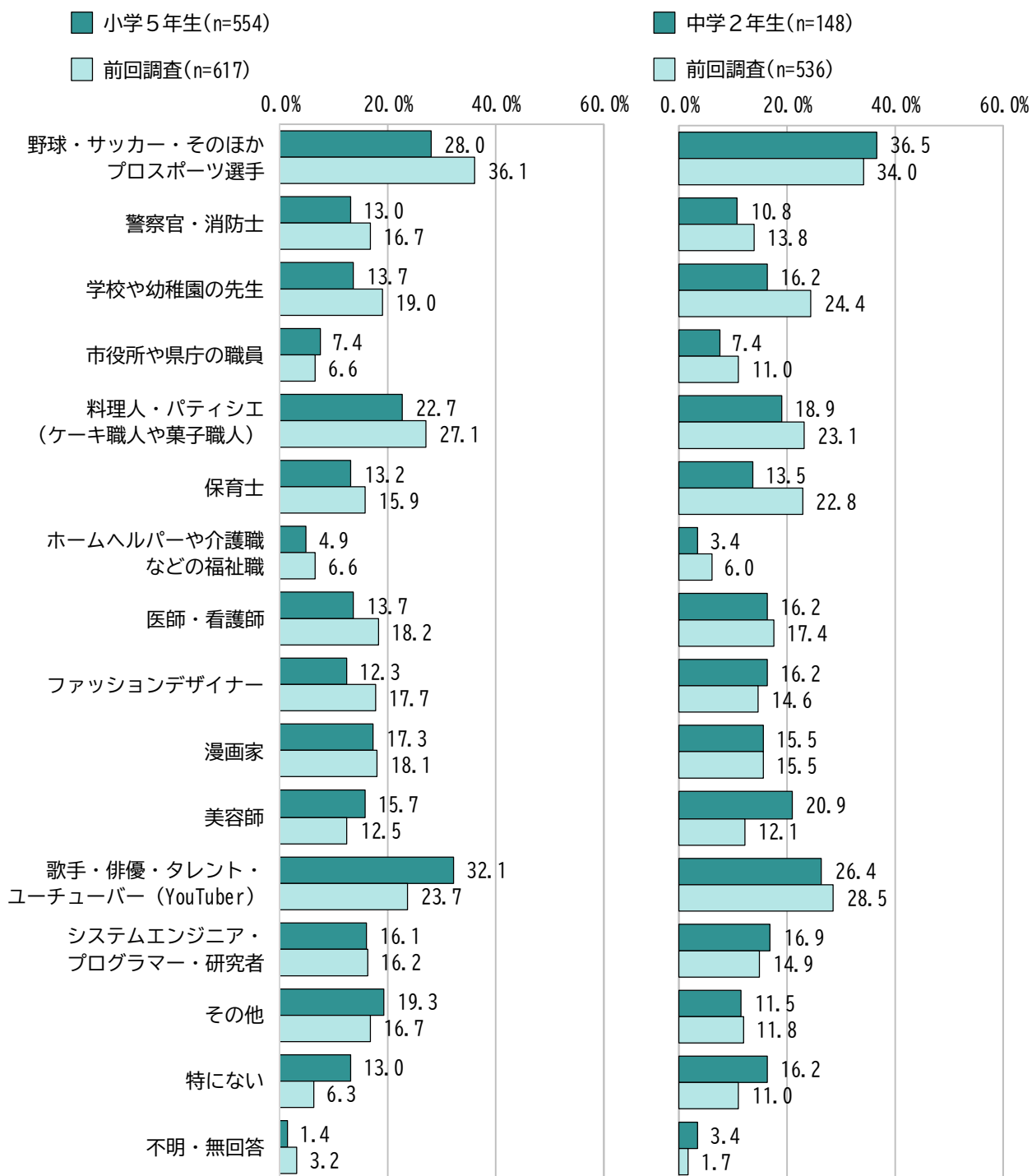


※1：今回調査の新規選択肢

※2：前回調査は「パソコンやインターネットに関するもの」

問 12 次のうち、どの職業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思いますか。
(複数回答)

話を聞いてみたい職業についてみると、小学5年生では、「歌手・俳優・タレント・ユーチューバー（YouTuber）」が32.1%と最も多く、次いで「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が28.0%、「料理人・パティシエ（ケーキ職人や菓子職人）」が22.7%、中学2年生では、「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が36.5%と最も多く、次いで「歌手・俳優・タレント・ユーチューバー（YouTuber）」が26.4%、「美容師」が20.9%となっています。



問 13 最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

1. 生涯学習全般について（24件）

- ☆生涯学習のことを学校の授業でも学んでみたいです。【小学5年生】
- ☆生涯学習についてボランティア活動や習い事はとても素敵だと思いました。【小学5年生】
- ☆もっと気安くイベントや、教室に参加できるようにしてほしいです。【小学5年生】
- ☆「ショウガイ」学習というと先に障害が思い浮かんでしまうので名前を少し変えた方がいいと思う。【中学2年生】
- ☆学校での生涯学習がもっと増えたら良いなと思います。【中学2年生】

2. 生涯学習活動の内容について（56件）

- ☆もっと彩夏祭のようなイベントを増やして欲しい。それに学習要素を少し盛り込めばいいと思う。【小学5年生】
- ☆もっといろんなジャンルを体験できるイベントや、年齢不問のイベントがあったらいいと思う。【小学5年生】
- ☆毎年彩夏祭で踊るけど踊ってる時やおどった後が暑いからステージにサーキュレーターを用意して欲しい、またところどころに涼しい場所を作って欲しい。【小学5年生】
- ☆彩夏祭の範囲をもっと広げて欲しい。【小学5年生】
- ☆彩夏祭などの大きいお祭りを増やしてほしいし、子供も屋台を出せる様にしてほしい！【小学5年生】
- ☆朝霞市で、どこかが不自由な人でも楽しいイベントとかを作って欲しい。そうすることで、彩夏祭とかを誰でも楽しめると思います。【小学5年生】
- ☆絵（デジタルイラストの書き方）に関するイベントを開いてほしい。【小学5年生】
- ☆陸上競技場でマラソン大会をしたいです。祭りとかをもうちょっと増やしてほしいです。スポーツ大会を増やしてほしいです。【小学5年生】
- ☆自分が学んでみたい教科が学べる教室などがあったらいいなと思いました。【小学5年生】
- ☆AIについての授業が欲しいです【小学5年生】
- ☆もっと義務教育にプログラミング（scratch等）を取り込んでほしい。そして年に一度（クラスごとに日程は変わる）、プログラマーの人が来て、scratchなどについて教える授業を作してほしい。【小学5年生】
- ☆総合の時間などでボランティアの手伝いなどあまり行わないこと、学校生活のなかでは学べないことに触れたり、体験できる機会を用意してほしい。【中学2年生】
- ☆クラブチームで時間ギリギリなのでもう少し学校を早く切り上げて帰させてほしいです。【中学2年生】
- ☆休日にわざわざ学びに行く人は少ないと思うので、学校の授業で取り入れてたらいいいと思います。【中学2年生】

3. 施設・設備について（6件）

- ☆朝霞市には大きな図書館があり、さまざまな本があるのでありがたい。ただ、本屋があったのがなくなってしまった（潰れてしまった）ので、書店を作って欲しい。【小学5年生】
- ☆朝霞市では自由にスポーツができる場所が少ないから増やしてほしい。【中学2年生】
- ☆勉強のしやすい環境を作してほしい。施設など【中学2年生】

第7章 施設利用者調査の結果

【調査結果の考察】

■施設利用者の利用実態

よく利用する施設については、「図書館」が25.6%と最も多く、次いで「総合体育館」が20.9%、「児童館」が18.6%となっています。利用目的については「その他」(30.2%)を除くと、「自習」(16.3%)、「友人等と遊ぶ」(16.3%)、「健康維持」(14.0%)が上位となっています。利用頻度については、「週に1～2日」の利用が60.5%と半数を超えており、総じて、日常的な利用習慣のある市民が一定数いることがうかがえます。(問5・問6・問8)

■利用する公共施設や設備について

よく利用する公共施設や設備について、「非常に満足している」「おおむね満足している」の合計は86.1%と、肯定的な評価をされています。(問9)

■学習手段について

現在の学習手段は「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」(41.9%)や「SNSや動画配信サービスを利用(YouTube講座など)」(23.3%)が主となっています。しかし、市に望む取組としては、「身近な公民館等での講座等の充実」が37.2%、「公民館や体育館などの施設の整備」が32.6%と、高いニーズがあることがうかがえ、先述した実際の学習手段と希望する学習環境の間に違いが生じている可能性があります。(問11・問12)

■人とのつながりに関する活動

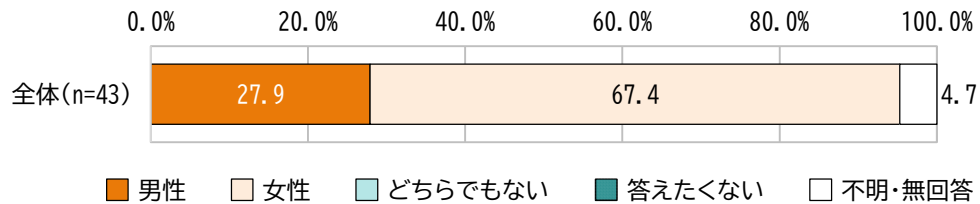
直近1年間に人とのつながりに関する活動をした人は、58.1%となっています。また、人とのつながりに関する活動をしていない理由としては、「機会がない」といった環境要因だけでなく、「役割がありそうで面倒」「コミュニケーションが苦手」といった心理的なハードルや、「子育て中」「学校が忙しい」といった時間的制約が存在していることがうかがえます。(問13・問14)

(1) 回答者自身について

問1 あなたの性別をお答えください。

(単数回答)

回答者の性別についてみると、「男性」が27.9%、「女性」が67.4%となっています。

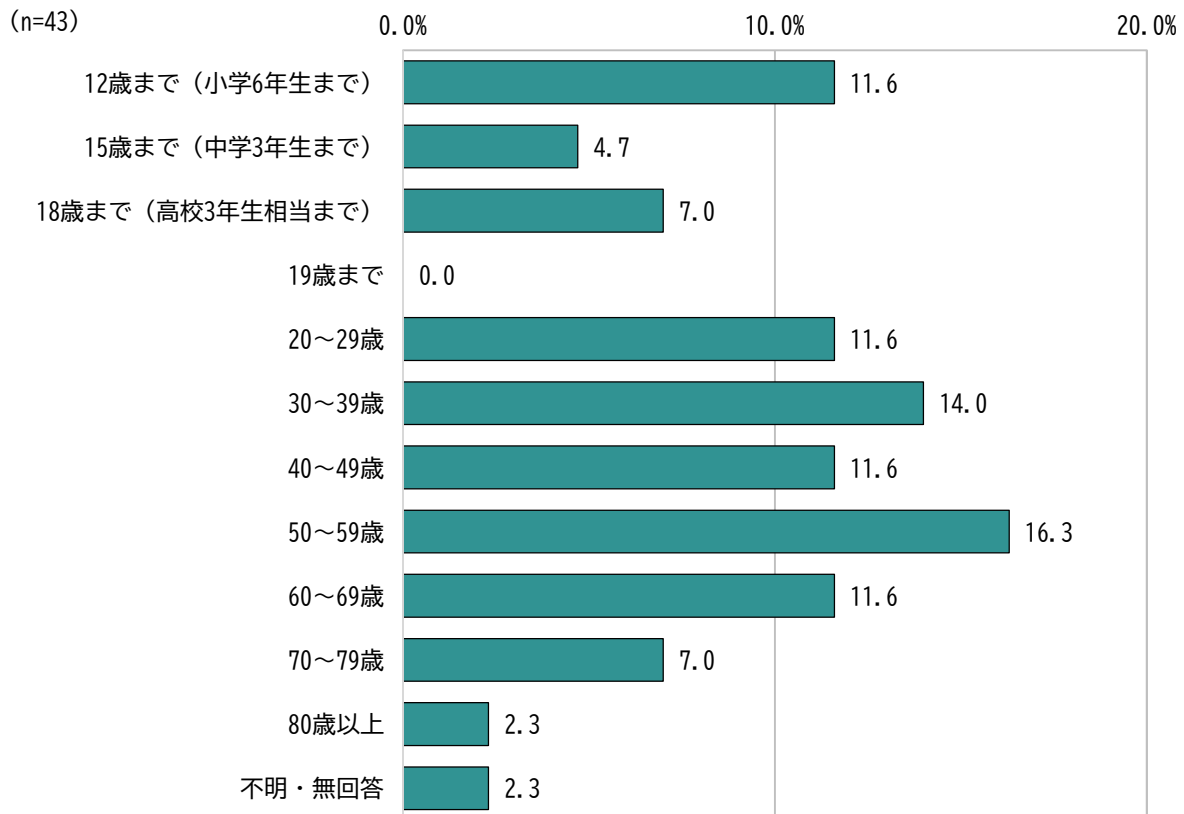


※「どちらでもない」、「答えたくない」は0.0%

問2 あなたの年齢をお答えください。

(単数回答)

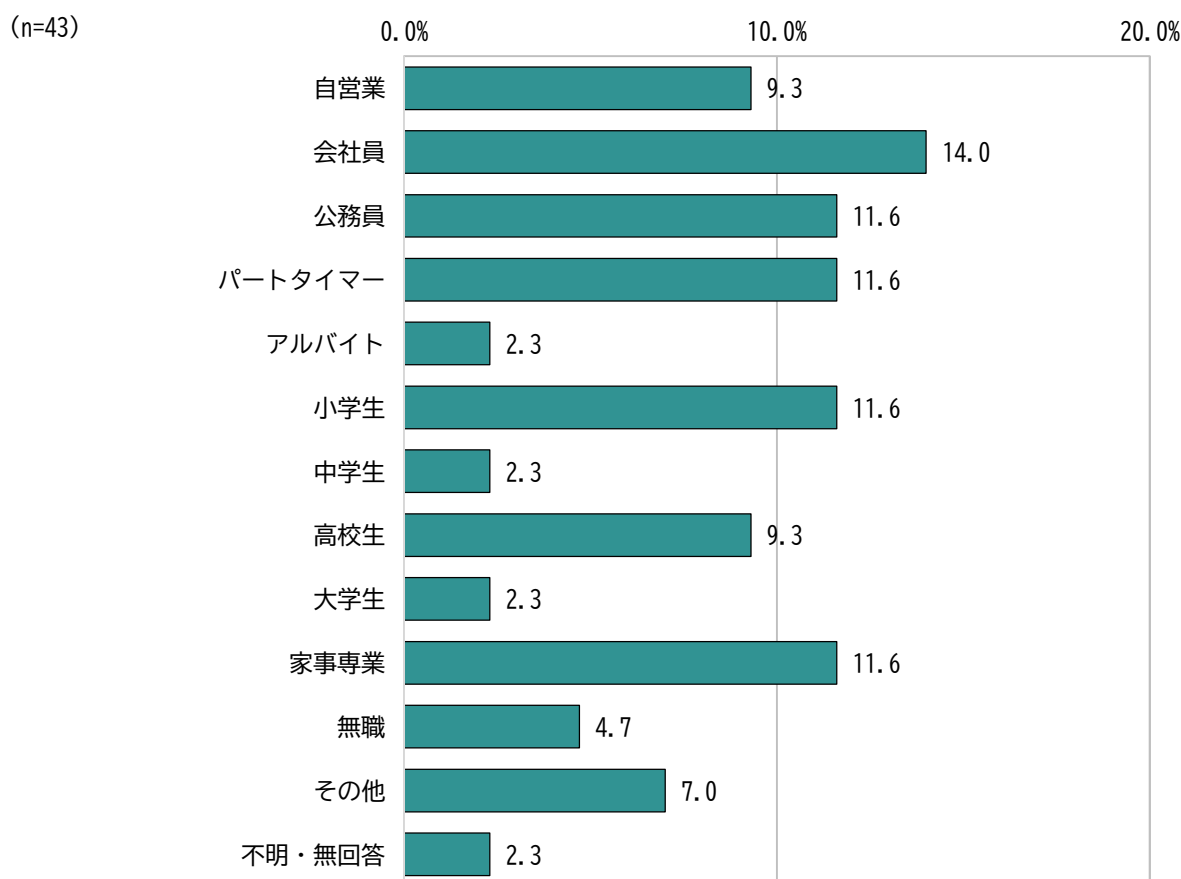
回答者の年齢についてみると、「50～59歳」が16.3%と最も多く、次いで「30～39歳」が14.0%、「12歳まで（小学6年生まで）」、「20～29歳」、「40～49歳」、「60～69歳」が11.6%となっています。



問3 あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。

(単数回答)

回答者の職業についてみると、「会社員」が14.0%と最も多く、次いで「公務員」、「パートタイマー」、「小学生」、「家事専業」が11.6%、「自営業」、「高校生」が9.3%となっています。

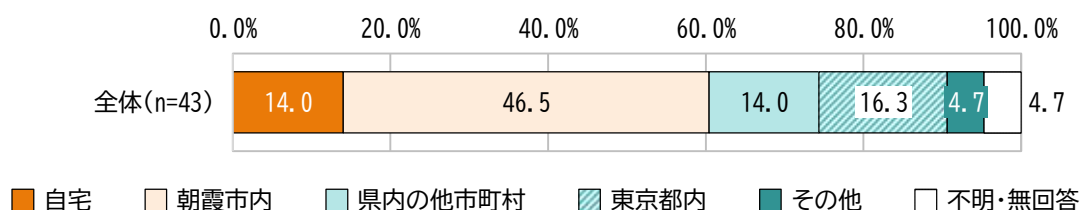


※「農業」、「会社や団体の役員」、「内職」、「自由業」、「専門学生」は0.0%

問4 あなたの従業地・通学地をお答えください。

(単数回答)

従業地・通学地についてみると、「朝霞市内」が46.5%と最も多く、次いで「東京都内」が16.3%、「自宅」、「県内の他市町村」が14.0%となっています。

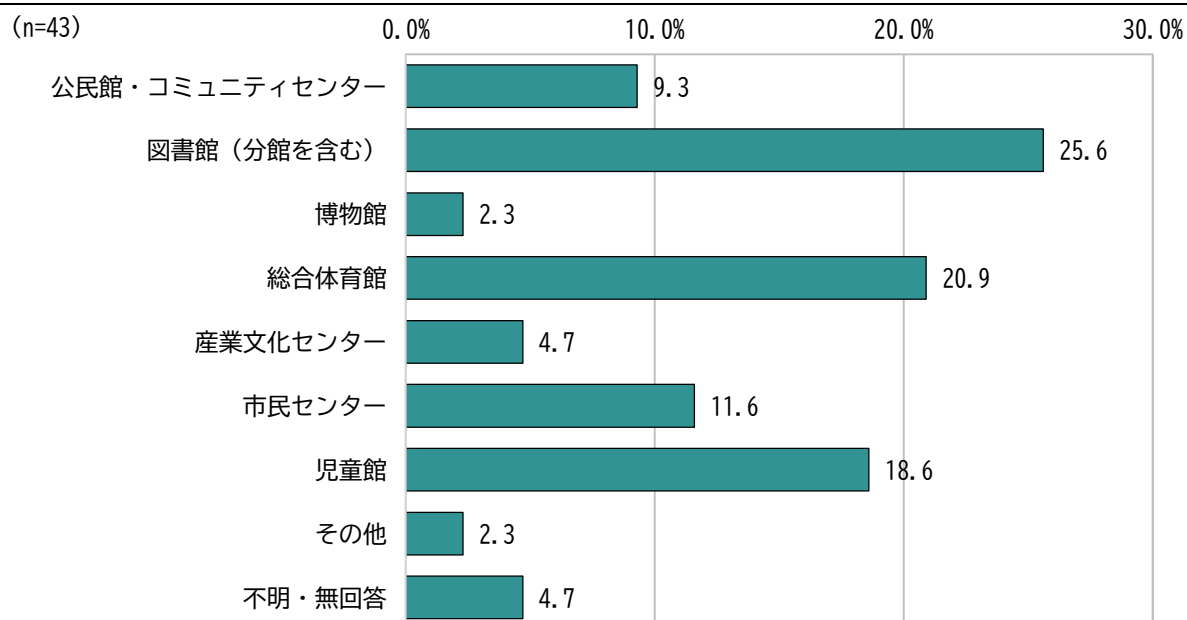


(2) 生涯学習活動の状況等について

問5 日ごろ利用している主な公共施設はどれですか。

(単数回答)

日ごろ利用している主な公共施設についてみると、「図書館（分館を含む）」が25.6%と最も多く、次いで「総合体育館」が20.9%、「児童館」が18.6%となっています。

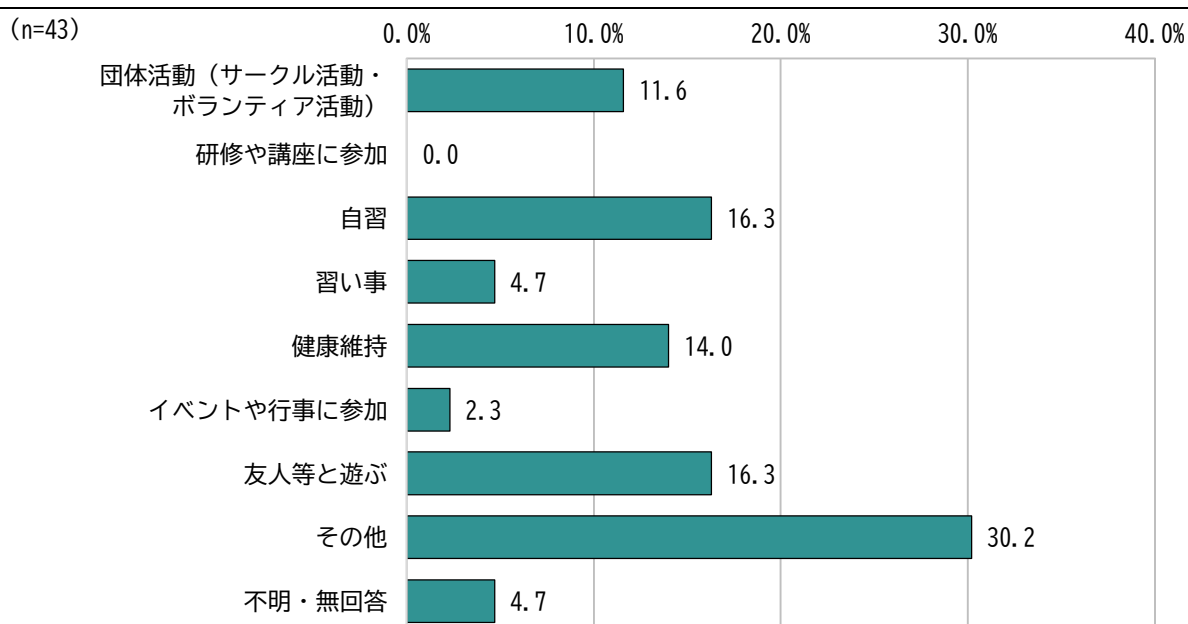


※「武道館」、「陸上競技場」、「テニスコート」、「市民会館」は0.0%

問6 日ごろ利用している公共施設を利用する目的はどれですか。

(単数回答)

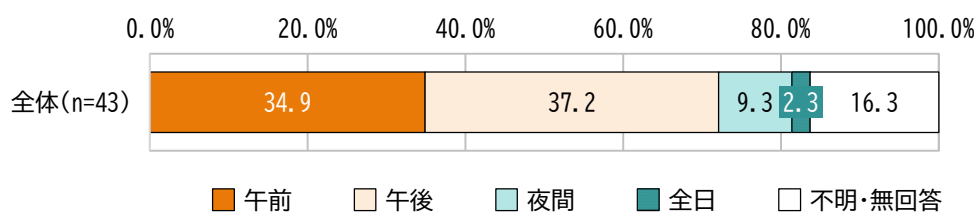
日ごろ利用している公共施設を利用する目的についてみると、「その他」が30.2%と最も多く、次いで「自習」、「友人等と遊ぶ」が16.3%、「健康維持」が14.0%となっています。



問7 公共施設を利用する時間はいつですか。

(単数回答)

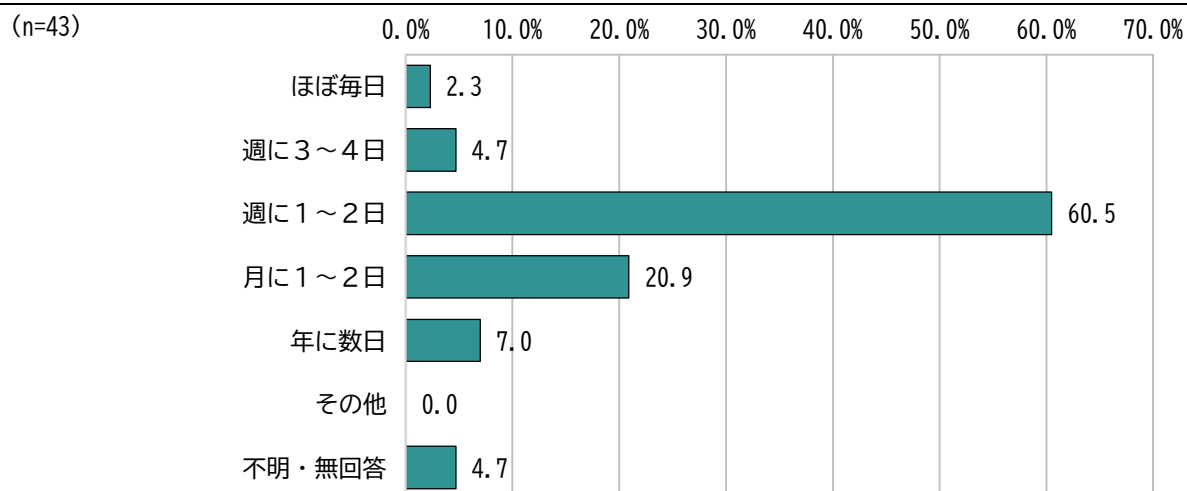
公共施設を利用する時間についてみると、「午後」が37.2%と最も多く、次いで「午前」が34.9%、「夜間」が9.3%となっています。



問8 公共施設を利用する頻度はどのくらいですか。

(単数回答)

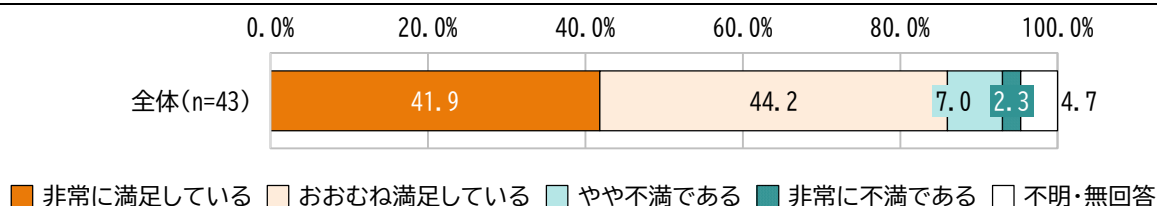
公共施設を利用する頻度についてみると、「週に1～2日」が60.5%と最も多く、次いで「月に1～2日」が20.9%、「年に数日」が7.0%となっています。



問9 よく利用する公共施設や設備の満足度はどのくらいですか。

(単数回答)

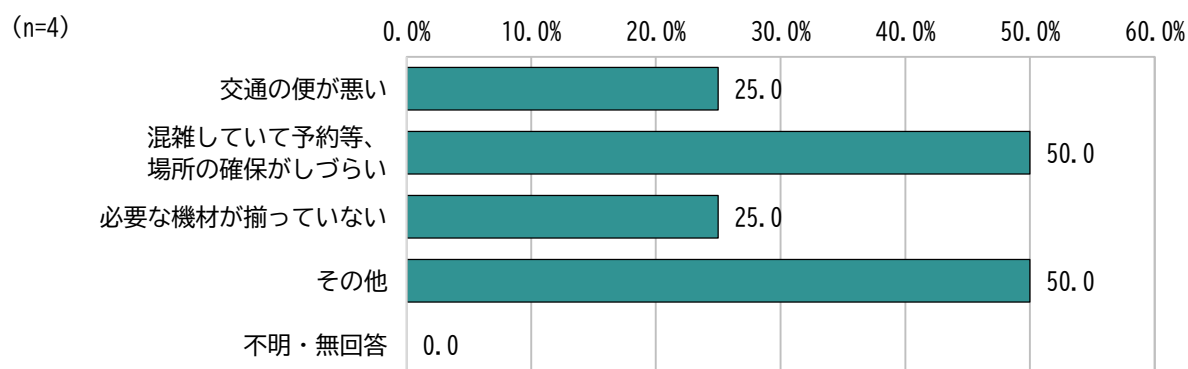
よく利用する公共施設や設備の満足度についてみると、「おおむね満足している」が44.2%と最も多く、次いで「非常に満足している」が41.9%、「やや不満である」が7.0%となっています。



問9で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方におたずねします。

問10 施設・設備に不満を感じる理由は何ですか。 (複数回答)

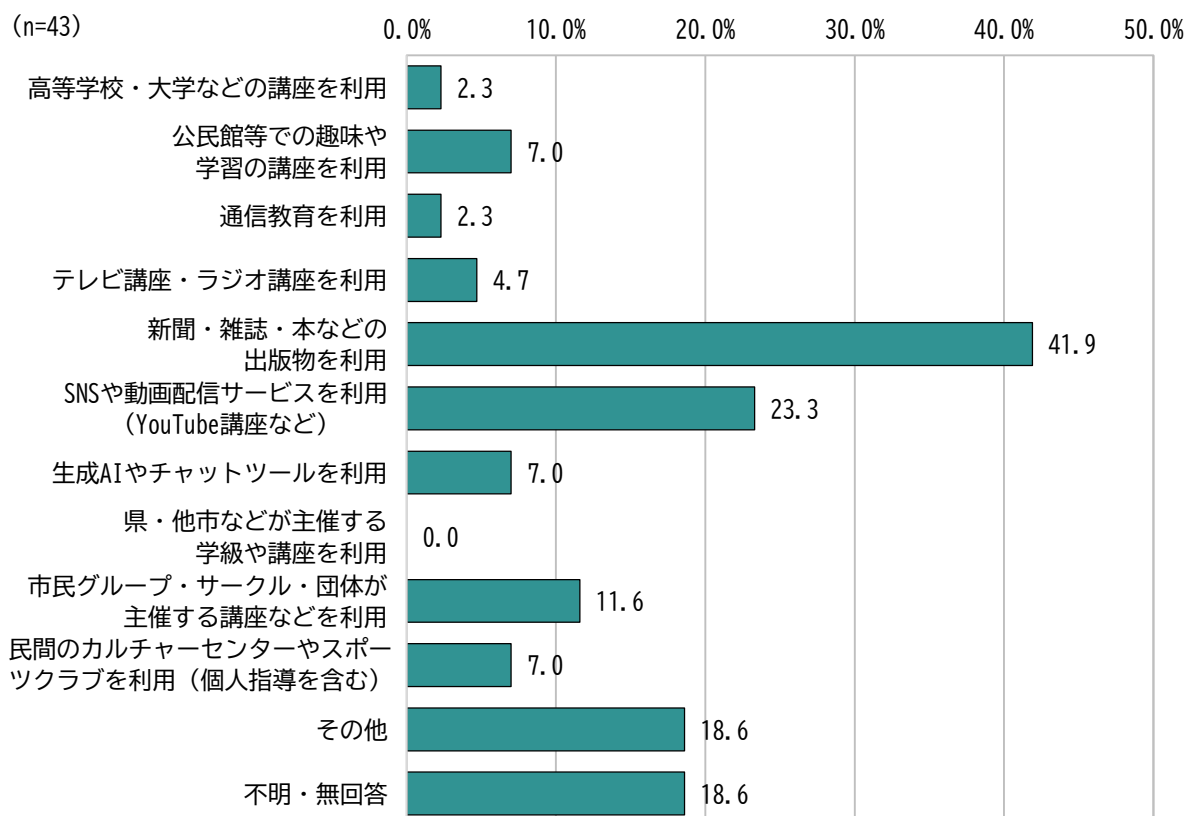
施設・設備に不満を感じる理由についてみると、「混雑していて予約等、場所の確保がしづらい」、「その他」が50.0%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「必要な機材が揃っていない」が25.0%となっています。



※「狭い・小さいなど、大ききの面で利用しづらい」、「老朽化が進んでいる」、「利用料が高い」、「利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない」、「WiFiなどのインターネット環境が整備されていない」は0.0%

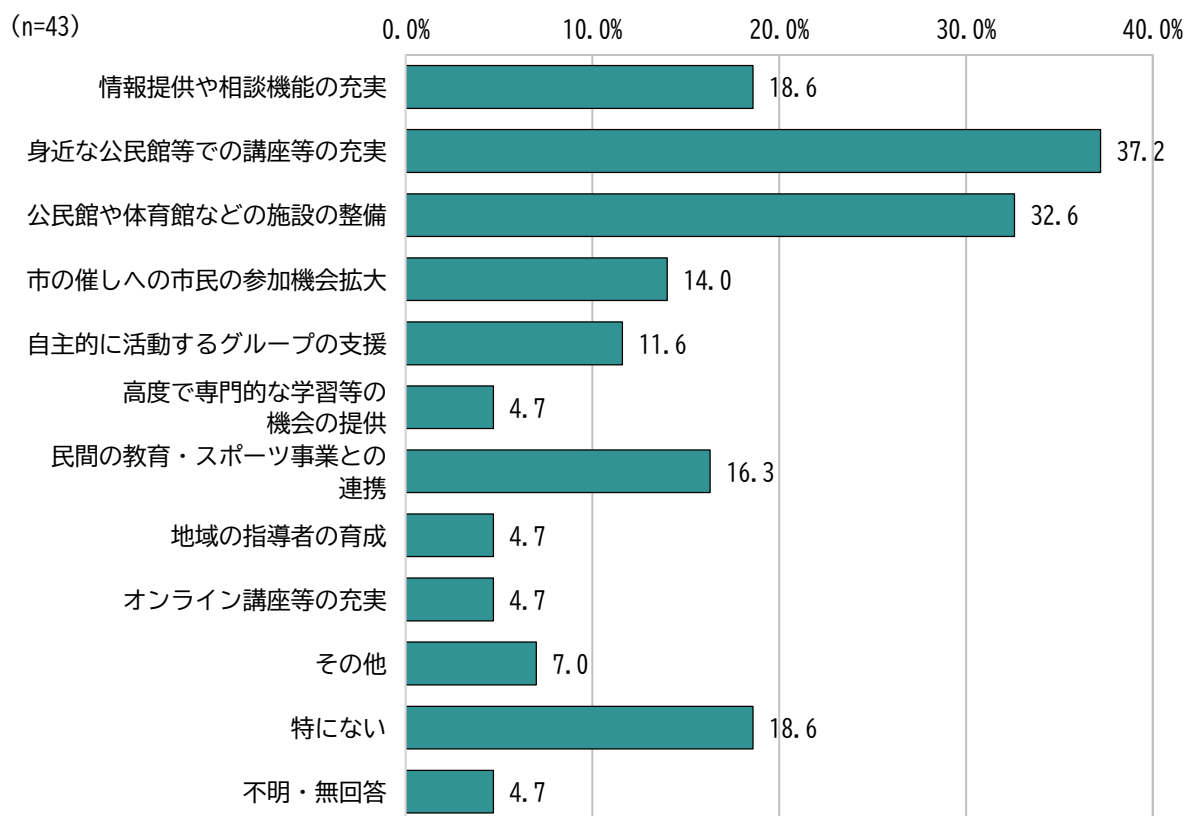
問11 あなたは、どのような手段・方法で学習していますか。 (複数回答)

学習の手段・方法についてみると、「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」が41.9%と最も多く、次いで「SNSや動画配信サービスを利用 (YouTube 講座など)」が23.3%、「その他」、「不明・無回答」が18.6%となっています。



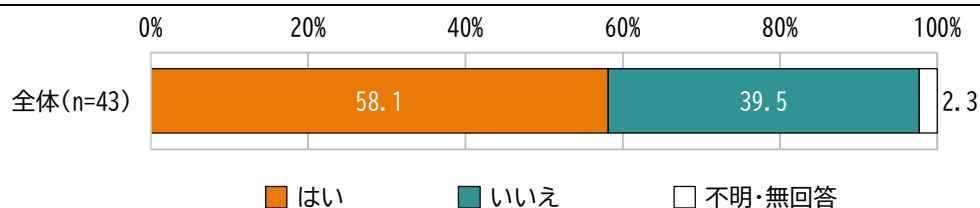
問 12 朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。
(複数回答)

市の生涯学習を充実していくために市に望む取り組みについてみると、「身近な公民館等での講座等の充実」が 37.2%と最も多く、次いで「公民館や体育館などの施設の整備」が 32.6%、「情報提供や相談機能の充実」、「特にない」が 18.6%となっています。



問 13 直近 1 年間で、人とのつながりに関する活動をしましたか。
(単数回答)

直近 1 年間に人とのつながりに関する活動をしたかについてみると、「はい」は 58.1%、「いいえ」が 39.5%となっています。



問 14 以下の項目について、記述式でご回答いただきました。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

1. 生涯学習に関する情報をどこから得たいと思いますか。(8件)

- ☆地域新聞
- ☆図書館の掲示板、掲示物
- ☆市町村、鉄道関係
- ☆ネット、本、参考書、詳しい人
- ☆市の広報誌、コンパスなど、紙媒体
- ☆インターネット
- ☆HP

2. 生涯学習をする場合、市からどのような情報が必要ですか。(8件)

- ☆各分野の入門や体験講座
- ☆大きなテーマでのくくりでの集まり、意見交換コミュニティ
- ☆講座の情報、内容が多岐に渡っていると良い
- ☆分かりやすい説明（どうゆうふうで学習すればいいのか）
- ☆どんな生涯学習団体が、いつどこでどんな活動をしているのか、会員募集しているのか。

3. 人とのつながりに関する活動をしていない理由は何ですか。(8件)

- ☆機会がないから。
- ☆目的の喪失
- ☆高校が忙しく他のことに手が回らない
- ☆役割とかがありそうでめんどくさそうだから
- ☆子育て中のため
- ☆コミュニケーションが苦手だから

資料編（各調査の設問と選択肢の一覧）

1. 一般調査

（1）回答者自身について

問1	あなたの性別をお答えください。（○は1つ）
選択肢	・男性 ・女性 ・どちらでもない ・答えたくない
問2	あなたの年齢をお答えください。（○は1つ）
選択肢	・17歳 ・20～29歳 ・30～39歳 ・40～49歳 ・50～59歳 ・60～69歳 ・70～79歳 ・80歳以上
問3	あなたのお住まいの地区をお答えください。（○は1つ）
選択肢	・本町、仲町、青葉台 ・根岸台、大字根岸台、大字台、岡、大字岡 ・溝沼、大字溝沼 ・幸町、膝折町、大字膝折、栄町 ・泉水、三原 ・東弁財、西弁財、浜崎、西原、北原、朝志ヶ丘 ・田島、宮戸、大字宮戸、大字浜崎 ・上内間木、下内間木
問4	あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）
選択肢	・農業 ・自営業 ・会社員 ・公務員 ・会社や団体の役員 ・パートタイマー ・内職 ・アルバイト ・自由業 ・学生又は高校生 ・家事専業 ・無職 ・その他
問5	あなたの現在の世帯の家族構成をお答えください。（○は1つ）
選択肢	・ひとり暮らし ・夫婦のみ ・2世代（親・子） ・3世代（親・子・孫） ・その他

（2）生涯学習活動の状況について

問6	生涯学習という言葉から、どのようなイメージを持ちますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと ・趣味・教養を高めること ・職業上必要な知識・技能を身に付けること ・高齢者の生きがいづくり ・生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする ・健康・体力づくりをすること ・公民館など、公の機関での講座や教室における学習活動 ・カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の提供する講座や教室における学習活動 ・学校における学習活動 ・ICT（オンライン講座等）を活用した学習活動 ・その他 ・わからない

問 7	生涯学習とは、私たちが一生を通して行う学習のことです。例えば、習い事、読書、スポーツをすること、ボランティア活動などのすべて生涯学習です。 この1年くらいの間に、「生涯学習活動」（学生の場合、学校での授業は除きますが、学校の部活動やサークル活動は含まれます。）を行いましたか。（○は1つ）
選択肢	・行っている（問9へ） ・行っていない（問8へ）
問 8	※問7で「行っていない」と回答した方におたずねします。 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・時間に余裕がない ・費用がかかりすぎる ・一緒に学習する仲間がいない（少ない） ・会場が遠方で移動が大変である ・希望する学習内容がない ・十分な情報が得られない ・家族や職場などの周囲の理解を得られない ・人間関係がわずらわしい ・年齢的・体力的に難しい ・オンラインでの学習方法がわからない ・デジタル環境が整っていない ・特に理由はない ・その他
問 9	※問9～問16は問7で「行っている」と回答した方におたずねします。 この1年くらいの間に、どのような生涯学習をしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・芸術文化に関すること（音楽、美術、華道、園芸、舞踊、書道、短歌、囲碁、将棋など） ・教養に関すること（文学、歴史、郷土史、文化財など） ・国際交流や外国語の習得に関すること ・パソコン、インターネット、生成AI及びICTに関すること ・スポーツ・レクリエーションに関すること ・健康・食生活に関すること ・家庭生活に関すること（料理、洋裁、和裁、編み物など） ・育児・教育に関すること（幼児教育、家庭教育、教育問題など） ・職業技術・資格に関すること ・社会問題、時事問題に関すること ・ボランティア活動、福祉に関すること ・その他
問 10	生涯学習をはじめた目的は何ですか。（○は2つまで）
選択肢	・自分の健康を維持・増進するため ・自分の楽しみや生きがいのため ・自分の教養や能力を高めるため ・高度な専門知識や技能を身に付けるため ・友達や仲間をつくるため ・家庭や日常生活に活用するため ・子育てや子どもの教育に必要なため ・仕事・就職・転職に必要なため ・地域社会や社会のことをよく知るため ・地域社会や社会に役立つ活動をするため ・その他 ・特に目的はない ・わからない

問 11	どのような手段、方法で学習していますか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・ 高等学校、大学などの講座や教室を利用 ・ 公民館等での趣味や学習の講座を利用 ・ 通信教育を利用 ・ テレビ講座、ラジオ講座を利用 ・ 新聞、雑誌、本などの出版物を利用 ・ SNS や動画配信サービスを利用 (YouTube 講座など) ・ 生成 AI やチャットツールを利用 ・ 県や他市などが主催する学級や講座を利用 ・ 市民グループ、サークル、団体が主催する講座などを利用 ・ 民間カルチャーセンターやスポーツクラブを利用 (個人指導を含む) ・ その他
問 12	生涯学習でよく利用している場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・ 自宅 (オンライン学習を除く) ・ 自宅 (オンライン学習のみ) ・ 知人宅 ・ 市の学習、文化・スポーツ施設 (公民館、博物館、図書館、総合体育館) ・ 市立の小中学校 ・ 国、県、他市町村立の文化スポーツ施設 ・ 民間のカルチャーセンター、スポーツクラブ (個人指導者先) ・ 高等学校、大学などの施設 ・ その他
問 13	生涯学習活動を行ううえで、困っていることはありますか。(○は3つまで)
選択肢	・ 仕事や家事、育児があり、時間が取りづらい ・ 費用がかかりすぎる ・ 一緒に学習する仲間がいない (少ない) ・ 会場が遠方で移動が大変である ・ 生涯学習に関する十分な情報が得られない ・ 家族や職場などの周囲の理解を得られない ・ 人間関係がわずらわしい ・ 年齢的、体力的に難しい ・ オンラインによる講座が少ない ・ 特に理由はない ・ その他
問 14	生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしていますか。(○は2つまで)
選択肢	・ 仕事や就職の上で生かしている ・ 日常生活や地域での活動に生かしている ・ 人生を豊かにするために生かしている ・ 健康の維持、増進に役立っている ・ 仲間づくり ・ 他の人の活動に生かしている ・ 特に生かしていない ・ その他 ・ わからない
問 15	生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いませんか。(○は1つ)
選択肢	・ 思う ・ どちらかといえば思う ・ どちらかといえば思わない ・ 思わない ・ わからない

問 16	生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・生かすことができるまでの段階に達していない ・知識、技能や経験を身に付けたことを証明するものがない ・学んだ内容と求められる内容が一致していない ・身近で生かせる活動を見つけられない ・どのような活動に生かすことができるかわからない ・その他 ・特に困っている点はない

（３）今後の生涯学習活動に関する意向について

問 17	今後の生涯学習活動に関するあなたのご意向をうかがいます。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。（○は１つ）
選択肢	・すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい（問 18 へ） ・すぐにも（新たに）生涯学習活動を始めたい（問 18 へ） ・条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい（問 18 へ） ・まだわからない（問 18 へ） ・学習活動をするつもりはない（問 20 へ）
問 18	※問 18～問 19 は問 17 で「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」から「まだわからない」と回答した方におたずねします。 生涯学習活動をする場合、今後、あなたの希望する分野は次のうちどれにあたりますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・芸術文化に関すること（音楽、美術、華道、園芸、舞踊、書道、短歌、囲碁、将棋など） ・教養に関すること（文学、歴史、郷土史、文化財など） ・国際交流や外国語の習得に関すること ・パソコン、インターネットに関すること ・スマートフォン、タブレット端末に関すること ・生成 AI や SNS 等に関すること ・スポーツ、レクリエーションに関すること ・健康、食生活に関すること ・家庭生活に関すること（料理、洋裁、和裁、編み物など） ・育児、教育に関すること（幼児教育、家庭教育、教育問題など） ・職業技術、資格に関すること ・社会問題、時事問題に関すること ・ボランティア活動、福祉に関すること ・その他

問 19	生涯学習活動をする場合、今後あなたはどのような手段・方法を希望しますか。(○は2つまで)
選択肢	・ 高等学校、大学などの講座や教室 ・ 公民館などの公共施設での趣味や学習の講座 ・ 通信教育 ・ テレビ講座、ラジオ講座 ・ 新聞、雑誌、本などの出版物 ・ インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等） ・ 市民グループ、サークル、団体が主催する講座など ・ 民間のカルチャーセンター、スポーツクラブ（個人指導を含む） ・ その他
問 20	情報端末やインターネット（オンライン配信等）による生涯学習には、どのような課題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・ 情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる ・ 公民館や図書館、学校などの施設で情報端末やインターネットの設備が不十分 ・ 情報端末やインターネットの使い方に関する講座や教材が充実していない ・ 情報端末やインターネットの使い方などを教えてくれる指導者が少ない ・ いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない ・ 情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある ・ 情報端末やインターネットを使う上での課題はない ・ わからない ・ その他

(4)「地域や社会における教育」について

問 21	「地域や社会における教育」とは、小学校などの学校教育を除き、各地域の公民館や図書館、博物館、学校施設、スポーツ施設などを使用して、人々に対し学習やスポーツ、文化などを教えることをいいます。あなたは、「地域や社会における教育」の支援や指導に参加してみたいですか。(○は1つ)
選択肢	・ 教える立場として参加したい ・ 教える人のサポート（運営・進行補助など）の立場として参加したい ・ 参加したいと思わない ・ わからない
問 22	「地域や社会における教育」のどのような支援や指導に参加してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・ 地域ぐるみで学校運営を支援する活動 ・ 放課後における学校施設を利用した学習指導やスポーツ・文化活動 ・ 子育て・育児を支援する活動 ・ 趣味のための学習活動に関する指導、助言などの活動 ・ 仕事に関係のある学習に関する支援や指導 ・ 各種施設での各種講座の講師や指導助手としての活動 ・ 地域の文化や自然、文化などに関連した展示を説明する活動 ・ 地域の子ども会等のレクリエーション活動や自然体験活動など ・ 地域での伝統行事やスポーツの指導 ・ 地域での奉仕活動の支援 ・ その他 ・ わからない

(5) 企業・事業所との関係について

問 23	人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所にどのようなことを期待しますか。(〇は3つまで)
選択肢	・施設や設備を地域住民に開放する ・一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する ・様々な教室や講座に指導者となる人材を派遣する ・地域の文化・学習活動に関与又は支援する ・近隣の学校や大学、NPOや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す ・市や行政と連携してまちの文化や生涯学習の振興に寄与する ・企業や事業所がもつ学習情報を可能な限り地域に提供する ・その他 ・特にない

(6) 子どもの教育について

問 24	子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は2つまで)
選択肢	・しつけやマナーを教えること ・健康な体をつくること ・豊かな心を育むこと ・悩みや相談事に対応すること ・学力を養うこと ・進路や将来について助言すること ・価値観や生き方を伝えること ・様々な危険から子どもを守ること ・問題行動を未然に防ぐこと ・コミュニケーション力を身に付けさせること ・その他
問 25	家庭の教育力を向上させるために、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。(〇は3つまで)
選択肢	・児童、生徒などの保育体験学習を充実する ・親に対して育児や子育てなどに関する講座を開催する ・子育て中の親に交流の場を提供する ・親子で参加できる野外活動、自然体験学習活動を実施する ・子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する ・幼稚園や保育園など子育て支援機関、団体でネットワークをつくる ・青少年健全育成活動を実施する団体、PTAなどの社会教育団体やNPOと連携する ・仕事と家庭の両立ができるように支援する ・子どもたちに職場見学会などを実施する ・その他 ・特にない

(7) 朝霞市の施設について

問 26	朝霞市には、市民の生涯学習の場として、次の施設があります。よく利用する施設はどれですか。(○は3つまで)
選択肢	ア. 公民館・コミュニティセンター イ. 市民センター ウ. 市民会館（ゆめぱれす） エ. 図書館（本館、分館） オ. 博物館 カ. 屋内運動施設（総合体育館、武道館等） キ. 屋外運動施設（陸上競技場、テニスコート等） ク. 小・中学校、高等学校の施設 ケ. 児童館 コ. 老人福祉センター サ. 総合福祉センター（はあとぴあ） シ. 産業文化センター ス. わくわくどーむ セ. リサイクルプラザ（エコネットあさか） ソ. 市民活動ステーション、シニア活動センター タ. 女性センター

(8) 「人とのつながりに関する活動」について

問 27	この1年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。(○は1つ) 「人とのつながりに関する活動」とは、地域活動やボランティア活動、サークル活動など、仕事や学校、家庭生活以外で、人と人が直接関わり合う活動を指します。
選択肢	・参加した ・参加していない ・わからない
問 28	※問 27 で「参加した」「わからない」と回答した方におたずねします。 この1年くらいの間に、どのような「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。 (あてはまるものすべてに○)
選択肢	・地域活動（行事やイベント等の運営、補助、清掃活動、防犯、防災活動など） ・サークル活動（スポーツ、芸術、文化、レクリエーション、趣味など） ・ボランティア活動（福祉、環境、災害、文化、教育など） ・その他
問 29	※問 27 で「参加していない」と回答した方におたずねします。 この1年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)
選択肢	・時間に余裕がない ・費用がかかりすぎる ・一緒に学習する仲間がいない（少ない） ・会場が遠方で時間的に大変である ・希望する学習内容がない ・十分な情報が得られない ・家族や職場などの周囲の理解を得られない ・人間関係がわずらわしい ・年齢的・体力的に難しい ・特に理由はない ・その他

(9) 市への要望などについて

問 30	朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。(○は3つまで)
選択肢	・ 情報提供や相談機能の充実 ・ 身近な公民館等での講座等の充実 ・ 公民館や体育館などの施設の整備 ・ 市の催しへの市民の参加機会拡大 ・ 自主的に活動するグループの支援 ・ 高度で専門的な学習等の機会の提供 ・ 民間の教育、スポーツ事業との連携 ・ 地域の指導者の育成 ・ オンライン講座等の充実 ・ その他 ・ 特になし
問 31	最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
選択肢	(自由記述)

2. 生涯学習団体調査

(1) 日ごろの活動について

問 1	1回の活動に参加される平均の人数はどのくらいですか。
選択肢	(人数を記入) 人
問 2	会員の平均年齢はいくつですか。(○は1つ)
選択肢	・ 20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳代以上
問 3	日ごろ利用している主な施設はどれですか。(○は1つ)
選択肢	・ 公民館・コミュニティセンター ・ 図書館 ・ 市民会館 ・ 市民センター ・ スポーツ施設 ・ 個人宅 ・ その他
問 4	よく利用する施設や設備の満足度はどのくらいですか。(○は1つ)
選択肢	・ 非常に満足している(問6へ) ・ おおむね満足している(問6へ) ・ やや不満である(問5へ) ・ 非常に不満である(問5へ)
問 5	※問5は問4で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方におたずねします。施設・設備に不満を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・ 交通の便が悪い ・ 混雑していて予約等、場所の確保がしづらい ・ 必要な機材が揃っていない ・ 狭い・小さいなど、大きさの面で利用しづらい ・ 老朽化が進んでいる ・ 利用料が高い ・ 利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない ・ WiFi などのインターネット環境が整備されていない ・ その他

問 6	日ごろ活動されている主な地域はどこですか。(○は1つ)
選択肢	・本町・仲町・青葉台 ・根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡 ・溝沼・大字溝沼 ・幸町・膝折町・大字膝折・栄町 ・泉水・三原 ・東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘 ・田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎 ・上内間木・下内間木 ・その他
問 7	主な活動の分野はどれですか。(○は1つ)
選択肢	・音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） ・文学・人文分野（文学、歴史、地理など） ・社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画） ・芸術、絵画、陶芸、書道、茶道、華道など ・スポーツ、レクリエーション ・趣味、娯楽、親睦活動（囲碁、将棋、英会話、親子活動など） ・ボランティア活動、地域活動 ・IT、コンピューター分野（パソコン、スマートフォン、タブレット端末などのスキル、インターネット知識など） ・その他
問 8	活動の目的はなんですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・趣味を楽しむため ・交流、仲間づくりのため ・健康維持、増進のため ・知識、教養を高めるため ・技術、技能の向上のため ・地域、社会への貢献のため ・生きがいのため ・生活上の課題解決・日常生活の向上のため ・職業に役立てるため ・その他
問 9	主な活動時間はいつですか。(○は1つ)
選択肢	・午前 ・午後 ・夜間 ・全日
問 10	活動頻度はどのくらいですか。(○は1つ)
選択肢	・ほぼ毎日 ・週に3～4日 ・週に1～2日 ・月に1～2日 ・年に数日 ・その他
問 11	活動における課題はなんですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・会員が集まらない ・会員が固定化している ・会場が確保しにくい ・費用がかかる ・適切な指導者がいない ・活動内容に行き詰まっている ・活動に必要な情報が十分ではない ・その他 ・特に問題はない

(2) 今後の活動について

問 12	今後の活動の進め方についてはどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい ・サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい ・地域の中で活動を広げて、各種の行事に参加してみたい ・同じ活動をしているサークルとの交流の機会を増やしたい ・サークルの活動成果を家庭や職場で役立てたい ・その他 ・特になし

問 13	貴団体から市の生涯学習事業に講師を派遣することは可能ですか。(○は1つ)
選択肢	・できる(問 14へ) ・できない(問 15へ)
問 14	※問 14は問 13で「できる」と回答した方におたずねします。 講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件はなんですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・曜日や時間帯 ・場所 ・講師料(謝金) ・市の協力体制 ・受講者の定員 ・受講者のレベル ・その他 ・特に条件はない
問 15	生涯学習で身につけたことや活動成果はどのように生かしていますか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・会員の人生を豊かにしている ・会員の健康の維持、増進に役立てている ・自分の仕事や就職、学校生活に生かしている ・自分の資格取得に役立てている ・自分の日常生活や地域での活動に生かしている ・自分のボランティア活動に生かしている ・自分の学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に生かしている ・その他 ・特に生かしていない
問 16	最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
選択肢	(自由記述)

3. 事業所調査

(1) 事業所について

問 1	業種をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・建設業 ・製造業 ・卸売業、小売業 ・学術研究、専門、技術サービス業 ・宿泊業、飲食サービス業 ・医療、福祉 ・その他
問 2	従業員規模をお答えください。
選択肢	(人数を記入) 人
問 3	従業員の年齢で、最も多い世代は何歳代ですか。(番号を□の中に記入)
選択肢	・10歳代 ・20歳代 ・30歳代 ・40歳代 ・50歳代 ・60歳代以上
問 4	従業員の年齢で、2番目に多い世代は何歳代ですか。(番号を□の中に記入)
選択肢	・10歳代 ・20歳代 ・30歳代 ・40歳代 ・50歳代 ・60歳代以上

(2) 事業所における生涯学習活動の状況等について

問5	福利厚生・余暇対策等で、次のような取り組みを行っていますか（業務のための研修等の学習は除きます）。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・スポーツ活動の部、社内サークル等支援 ・文化活動の部、社内サークル等支援 ・スポーツ関連施設の所有（グラウンド、体育館等） ・文化活動関連施設の所有 ・民間のスポーツクラブ等の利用支援（提携や利用促進など） ・民間の学習講座、教室等の利用支援（提携や利用促進など） ・その他 ・特に行っていない
問6	※問6と問7は福利厚生・余暇対策としての設備を所有している事業所におたずねします。所有している施設・設備の稼働状況はどうですか。（○は1つ）
選択肢	・非常に高い稼働状況である ・やや高い稼働状況である ・あまり稼働していない ・ほとんど稼働していない
問7	所有する各種施設や設備を地域へ開放することについて、どうお考えですか。（○は1つ）
選択肢	・すでに地域住民を受け入れている ・現在は地域住民を受け入れていないが地域住民を受け入れてもよい ・検討していきたい ・従業員による利用に限定したい
問8	所在地域とのつながりとして、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・祭りやイベントなどへの協賛 ・貴事業所関連施設の公開、見学等の受け入れ ・ボランティア等コミュニティ活動への参加・支援 ・地域住民を対象とした教室・講座の開催 ・あさか学習おとどけ講座等の行政との共催事業 ・その他 ・特に行っていない

(3) 従業員と生涯学習活動について

問9	従業員が資格取得など、職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けていますか。（○は1つ）
選択肢	・設けている ・現在は設けていないが、導入を検討中 ・設ける予定はない ・その他
問10	従業員が資格を取得することに対する支援や奨励を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・教材費や受験費用の補助を出している ・資格取得した際に奨励金を出している ・有資格者に手当を出している ・昇給や昇格の条件にしている ・その他 ・いずれもしていない

問 11	業務に必要なかを問わず、従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性を感じますか。(○は1つ)
選択肢	・強く感じる ・やや感じる ・どちらともいえない ・あまり感じない ・まったく感じない
問 12	定年を迎えて、退職される方にどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・若年世代への技術や知識を継承する時間の確保 ・退職後の生活をスムーズに迎えるための情報提供等の支援 ・退職後のための職業訓練 ・定年年齢の引き上げや臨時職員等で採用している ・その他 ・特に行っていない

(4) 朝霞市との連携について

問 13	事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・事業所所有施設を有効活用した講座、イベント等の開催 ・事業所や従業員のもつノウハウを活用した、講座・イベント等の開催 ・地域と連携した、従業員研修の実施 ・従業員が参加しやすい日時等が設定された講座・イベント等の開催 ・環境活動、ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立 ・その他 ・特にない
問 14	あさか学習おとどけ講座とは、市の情報や身近な情報などを講座として皆さんの学習の場へおとどけする講座です。教育や文化・スポーツなどの行政メニューやクッキングやスマホ・タブレットの勉強会などの企業メニューを取り揃えています。 朝霞市では、市や身近な情報などの講座を市民や団体等にお届けする「あさか学習おとどけ講座」を実施していますが、貴事業所では「あさか学習おとどけ講座」への登録について、どのようにお考えですか。(○は1つ)
選択肢	・すでに登録している ・すぐに登録できる学習プログラムがあり、すぐにでも登録したい ・今は登録できる学習プログラムがないが、今後、登録に向けて準備を進めたい ・独自の学習プログラムはあるが、登録は考えていない ・登録できる学習プログラムもなく、今後の登録も考えていない
問 15	貴事業所が生涯学習等まちづくりに関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
選択肢	自由記述

4. 小学生調査

(1) 回答者自身について

問1	あなたの性別をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・男子 ・女子 ・答えたくない
問2	あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・本町、仲町、青葉台 ・根岸台、大字根岸台、大字台、岡、大字岡 ・溝沼、大字溝沼 ・幸町、膝折町、大字膝折、栄町 ・泉水、三原 ・東弁財、西弁財、浜崎、西原、北原、朝志ヶ丘 ・田島、宮戸、大字宮戸、大字浜崎 ・上内間木、下内間木 ・わからない ・答えたくない ・その他
問3	朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・5年より少ない ・5年から10年ほど ・10年以上 ・わからない ・答えたくない ・その他

(2) ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問4	ふだんの生活で、次のようなことを1日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。 (ア～カの項目ごとに1つずつ○) ア. テレビ、DVDなどをみる イ. インターネット(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)を利用する ウ. メール、ライン及びSNS等(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)で友達とやりとりする エ. 本や新聞を読む オ. テレビゲームやけいたいゲームなど(オンラインゲームを除く)をする カ. オンラインゲームをする
選択肢	・2時間以上 ・1～2時間 ・30分～1時間 ・ほとんどしない

問5	放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。(○は放課後、休みの日、それぞれ5つまでつけてください)
選択肢	ア. 家ぞくと一緒に過ごす イ. 友達と遊ぶ ウ. テレビを見たり、テレビゲームやけいたいゲームなど（オンラインゲームを除く）をする エ. 自分のしゅ味や好きなことをする オ. 家で勉強をする カ. 学習じゅくに行く キ. ピアノや習字など、学習塾以外の習い事をする ク. 水泳やダンスなど、スポーツの習い事をする ケ. 自ぜんに親しむ活動をする コ. 家ぞくの仕事や家の手伝いをする サ. 買い物をする シ. ボランティア活動をする ス. 地いきでのスポーツ活動や文化活動に参加する セ. 学校のクラブ活動・部活動に参加する ソ. 1人でゆっくりと過ごす タ. メール、ライン、オンラインゲーム及び SNS 等を使用する チ. その他
問6	放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。(○は5つまで)
選択肢	ア. 公園、児童遊園地 イ. 図書館 ウ. はく物館 エ. 公民館 オ. 総合体育館やりく上きょう技場といった朝霞市の運動し設 カ. 児童館 キ. スポーツクラブ（スイミングなど） ク. デパート、スーパー、ショッピングモール ケ. 映画館 コ. ゲームセンター、カラオケ サ. 学習じゅく、習い事などの教室 シ. コンビニ ス. 学校 セ. 自分の家 ソ. 友達の家 タ. その他

問7	この1年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。(○はいくつでも)
選択肢	・音楽をきいたり、映画をみたり、読書をする ・楽器をひいたり、書道や絵を習う ・野球、ダンス、水泳などスポーツをする ・野球、サッカー、バレーボールなどスポーツをみる ・料理、手芸、園芸（ガーデニング）などをする ・ボランティア活動 ・歴史や外国の言葉を学ぶ ・政治や経済、社会問題などについて学ぶ ・パソコン、スマートフォン、タブレットなどでインターネットを利用 ・テレビゲームやニンテンドースイッチなどで遊ぶ ・おもちゃやプラモデルなどをつくったり、工作する ・その他
問8	朝霞市の児童館、公民館、図書館、はく物館、体育館、りく上きょう技場などのし設で行うイベントや教室に参加していますか。(○は1つ)
選択肢	・ある ・ない
問9	あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のものでしたか。(○はいくつでも)
選択肢	・読書に関するもの ・げい術かん賞、げい術体験に関するもの ・スポーツ体験、指導に関するもの ・まちのれきしや文化を学ぶもの ・かん境について学ぶもの ・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、しよく業に関するもの ・ふく祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント ・その他

問 10	どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。(○はいくつでも)
選択肢	・ 友達からさそわれて ・ 学校のけいじ板をみて ・ 学校からの配布物をみて ・ 保護者連絡ツール「tetoru」で知って ・ 親に教えてもらって ・ 先生に教えてもらって ・ し設のポスターやホームページを見て ・ その他
問 11	次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。(○はいくつでも)
選択肢	・ 読書に関するもの ・ げい術かん賞・げい術体験に関するもの ・ スポーツ体験、指導に関するもの ・ まちのれきしや文化を学ぶもの ・ スマートフォン、タブレットに関すること ・ インターネットや SNS 等に関すること ・ 生成 AI に関すること ・ 外国語や外国文化を学ぶもの ・ かん境について学ぶもの ・ 科学や自然を学ぶもの ・ 将来の仕事、しよく業に関するもの ・ ふく祉について学ぶもの ・ 彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント ・ その他 ・ 特に学んでみたいことはない
問 12	次のうち、どのしよく業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思えますか。(○はいくつでも)
選択肢	・ 野球、サッカー、そのほかプロスポーツ選手 ・ けいさつ官、消防士 ・ 学校や幼稚園の先生 ・ 市役所や県庁のしよく員 ・ 料理人、パティシエ（ケーキしよく人や菓子しよく人） ・ 保育士 ・ ホームヘルパーやかいごの仕事などのふく祉職 ・ 医し、看ごし ・ ファッションデザイナー ・ マンガ家 ・ 美容し ・ 歌手、はいゆう、タレント、ユーチューバー（YouTuber） ・ システムエンジニア、プログラマー、研究者 ・ その他 ・ 特にない
問 13	最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。
選択肢	（自由記述）

5. 中学生調査

(1) 回答者自身について

問1	あなたの性別をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・男子 ・女子 ・答えたくない
問2	あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・本町、仲町、青葉台 ・根岸台、大字根岸台、大字台、岡、大字岡 ・溝沼、大字溝沼 ・幸町、膝折町、大字膝折、栄町 ・泉水、三原 ・東弁財、西弁財、浜崎、西原、北原、朝志ヶ丘 ・田島、宮戸、大字宮戸、大字浜崎 ・上内間木、下内間木 ・わからない ・答えたくない ・その他
問3	朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・5年より少ない ・5年から10年ほど ・10年以上 ・わからない ・答えたくない ・その他

(2) ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問4	ふだんの生活で、次のようなことを1日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。 (ア～カの項目ごとに1つずつ○) ア. テレビ・DVDなどをみる イ. インターネット(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)を利用する ウ. メール、ライン及びSNS等(パソコン、スマートフォン、タブレットなど)で 友達とやりとりする エ. 本や新聞を読む オ. テレビゲームや携帯ゲーム(オンラインゲームを除く)をする カ. オンラインゲームをする
選択肢	・2時間以上 ・1～2時間 ・30分～1時間 ・ほとんどしない

問5	放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。(○は5つまで)
選択肢	ア. 家族と一緒に過ごす イ. 友達と遊ぶ ウ. テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする エ. 自分の趣味や好きなことをする オ. 家で勉強をする カ. 学習塾に行く キ. ピアノや習字など、学習塾以外の習い事をする ク. 水泳やテニス、ダンスなど、スポーツの習い事をする ケ. 自然に親しむ活動をする コ. 家族の仕事や家の手伝いをする サ. 買い物をする シ. ボランティア活動をする ス. 地域でのスポーツ活動や文化活動に参加する セ. 学校のクラブ活動・部活動に参加する ソ. 1人でゆっくりと過ごす タ. メール、ライン、オンラインゲーム及び SNS 等を使用する チ. その他
問6	放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。(○は放課後、休みの日、それぞれ5つまでつけてください)
選択肢	ア. 公園・児童遊園地 イ. 図書館 ウ. 博物館 エ. 公民館 オ. 総合体育館や陸上競技場といった朝霞市の運動施設 カ. 児童館 キ. スポーツクラブ（スイミングなど） ク. デパート、スーパー、ショッピングモール ケ. 映画館 コ. ゲームセンター、カラオケ サ. 学習塾、習い事などの教室 シ. コンビニ ス. 学校 セ. 自分の家 ソ. 友達の家 タ. その他

問 7	この1年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。(○はいくつでも)
選択肢	・音楽をきいたり、映画をみたり、読書をする ・楽器をひいたり、書道や絵を習う ・野球、ダンス、水泳などスポーツをする ・野球、サッカー、バレーボールなどスポーツをみる ・料理、手芸、園芸（ガーデニング）などをする ・ボランティア活動 ・歴史や外国の言葉を学ぶ ・政治や経済、社会問題などについて学ぶ ・パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用 ・テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶ ・おもちゃやプラモデルなどをつくったり、工作する ・その他
問 8	朝霞市の児童館、公民館、図書館、博物館、体育館、陸上競技場などの施設で行うイベントや教室に参加していますか。(○は1つ)
選択肢	・ある ・ない
問 9	あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のものでしたか。(○はいくつでも)
選択肢	・読書に関するもの ・芸術鑑賞、芸術体験に関するもの ・スポーツ体験、指導に関するもの ・まちの歴史や文化を学ぶもの ・環境について学ぶもの ・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、職業に関するもの ・福祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント ・その他
問 10	どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。(○はいくつでも)
選択肢	・友達から誘われて ・親に教えてもらって ・学校の掲示板をみて ・先生に教えてもらって ・学校からの配布物をみて ・施設のポスターやホームページを見て ・保護者連絡ツール「tetoru」で知って ・その他
問 11	次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。(○はいくつでも)
選択肢	・読書に関するもの ・芸術鑑賞、芸術体験に関するもの ・スポーツ体験に関するもの ・まちの歴史や文化を学ぶもの ・スマートフォン、タブレット端末に関する ・インターネットや SNS 等に関する ・生成 AI に関する ・外国語や外国文化を学ぶもの ・環境について学ぶもの ・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、職業に関するもの ・福祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント ・その他 ・特に学んでみたいことはない

問 12	次のうち、どの職業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思いますか。(○はいくつでも)
選択肢	・ 野球、サッカー、そのほかプロスポーツ選手 ・ 警察官、消防士 ・ 学校や幼稚園の先生 ・ 市役所や県庁の職員 ・ 料理人、パティシエ（ケーキ職人や菓子職人） ・ 保育士 ・ ホームヘルパーや介護職などの福祉職 ・ 医師、看護師 ・ ファッションデザイナー ・ 漫画家 ・ 美容師 ・ 歌手・俳優、タレント、ユーチューバー（YouTuber） ・ システムエンジニア、プログラマー、研究者 ・ その他 ・ 特にない
問 13	最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。
選択肢	（自由記述）

6. 施設利用者調査

（1）回答者自身について

問 1	あなたの性別をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・ 男性 ・ 女性 ・ どちらでもない ・ 答えたくない
問 2	あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)
選択肢	・ 12 歳まで（小学 6 年生まで） ・ 15 歳まで（中学 3 年生まで） ・ 18 歳まで（高校 3 年生相当まで） ・ 19 歳まで ・ 20～29 歳 ・ 30～39 歳 ・ 40～49 歳 ・ 50～59 歳 ・ 60～69 歳 ・ 70～79 歳 ・ 80 歳以上
問 3	あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)
選択肢	・ 農業 ・ 自営業 ・ 会社員 ・ 公務員 ・ 会社や団体の役員 ・ パートタイマー ・ 内職 ・ 自由業 ・ アルバイト ・ 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 専門学生 ・ 家事専業 ・ 無職 ・ その他
問 4	あなたの従業地・通学地をお答えください。(○は1つ) ※どちらかへお勤め、通学している方におたずねします。
選択肢	・ 自宅 ・ 朝霞市内 ・ 県内の他市町村 ・ 東京都内 ・ その他

（2）生涯学習活動の状況等について

問 5	日ごろ利用している主な公共施設はどれですか。(○は1つ)
選択肢	・ 公民館・コミュニティセンター ・ 図書館（分館を含む） ・ 博物館 ・ 総合体育館 ・ 武道館 ・ 陸上競技場 ・ テニスコート ・ 産業文化センター ・ 市民センター ・ 市民会館 ・ 児童館 ・ その他
問 6	日ごろ利用している公共施設を利用する目的はどれですか。(○は1つ)
選択肢	・ 団体活動（サークル活動、ボランティア活動） ・ 研修や講座に参加 ・ 自習 ・ 習い事 ・ 健康維持 ・ イベントや行事に参加 ・ 友人等と遊ぶ ・ その他

問 7	公共施設を利用する時間はいつですか。(○は1つ)
選択肢	・午前 ・午後 ・夜間 ・全日
問 8	公共施設を利用する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)
選択肢	・ほぼ毎日 ・週に3～4日 ・週に1～2日 ・月に1～2日 ・年に数日 ・その他
問 9	よく利用する公共施設や設備の満足度はどのくらいですか。(○は1つ)
選択肢	・非常に満足している(問11へ) ・おおむね満足している(問11へ) ・やや不満である(問10へ) ・非常に不満である(問10へ)
問 10	※問9で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方におたずねします。 施設・設備に不満を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
選択肢	・交通の便が悪い ・混雑していて予約等、場所の確保がしづらい ・必要な機材が揃っていない ・狭い・小さいなど、大きさの面で利用しづらい ・老朽化が進んでいる ・利用料が高い ・利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない ・WiFiなどのインターネット環境が整備されていない ・その他
問 11	あなたは、どのような手段・方法で学習していますか。(あてはまるものすべてに○) ※小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校に通っている方は授業を除く。
選択肢	・高等学校・大学などの講座を利用 ・公民館等での趣味や学習の講座を利用 ・通信教育を利用 ・テレビ講座・ラジオ講座を利用 ・新聞・雑誌・本などの出版物を利用 ・SNSや動画配信サービスを利用(YouTube講座など) ・生成AIやチャットツールを利用 ・県、他市などが主催する学級や講座を利用 ・市民グループ、サークル、団体が主催する講座などを利用 ・民間のカルチャーセンターやスポーツクラブを利用(個人指導を含む) ・その他
問 12	朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。(○は3つまで)
選択肢	・情報提供や相談機能の充実 ・身近な公民館等での講座等の充実 ・公民館や体育館などの施設の整備 ・市の催しへの市民の参加機会拡大 ・自主的に活動するグループの支援 ・高度で専門的な学習等の機会の提供 ・民間の教育・スポーツ事業との連携 ・地域の指導者の育成 ・オンライン講座等の充実 ・その他 ・特になし
問 13	直近1年間で、人とのつながりに関する活動をしましたか。(○は1つ)
選択肢	・はい ・いいえ
問 14	自由テーマ
選択肢	(自由記述) ・生涯学習に関する情報をどこから得たいと思いますか。 ・生涯学習をする場合、市からどのような情報が必要ですか。 ・人とのつながりに関する活動をしていない理由は何ですか。

第4次朝霞市生涯学習計画策定のための基礎調査
調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：朝霞市教育委員会

編集：生涯学習部 生涯学習・スポーツ課

〒351-8501

埼玉県朝霞市本町1-1-1

Tel 048 (463) 1111〔代〕

Fax 048 (467) 4716

URL <https://www.city.asaka.lg.jp>



○生涯学習推進指針策定の政策にあたって

【計画から指針へ移行する背景】

朝霞市では、市民の生涯学習を総合的に推進するため、平成9（1997）年に「第1次朝霞市生涯学習計画」を、平成19（2007）年に「第2次朝霞市生涯学習計画」を、そして平成29（2017）年に「第3次朝霞市生涯学習計画」を策定しました。

今回、令和9年からの「第4次朝霞市生涯学習計画」を策定するにあたり、新たな課題を見出し、取り組みを再構築することで、生涯学習計画を維持することも考えられました。

しかしながら、埼玉県は平成25年3月にそれまでの「埼玉県生涯学習推進計画」を「埼玉県生涯学習推進指針」へと転換し、計画ではなく指針として生涯学習事業を展開していく体制を作ったことに加え、同様の流れが他の自治体でも多く見受けられるようになりました。

こうした中で、令和8年に朝霞市の最上位計画である「第6次朝霞市総合計画」が策定されましたが、生涯学習に関する事業内容に数値等の具体的目標を掲げながら、毎年取り組みを点検し、事業の評価・改善を行います。

また、同じく令和8年に策定された「第3期朝霞市教育振興基本計画」も生涯学習事業を推進する上での上位計画として、施策の方向性や生涯学習をすべき目標が同じく、施策が今後も横断的に図られていくことから、「朝霞市生涯学習推進指針」を策定するものです。

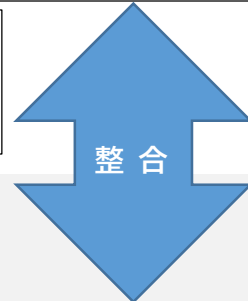
なお、この指針は、これまでの「朝霞市生涯学習計画」の成果を継承しながら、引き続き、社会環境や市民ニーズの変化に柔軟に対応し、市民・地域・行政が連携して学びを育む方向性を示していきます。

第6次朝霞市総合計画

【令和8（2026）年度～令和17（2035）年度】

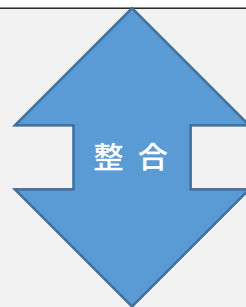
朝霞市教育大綱

【令和8（2026）年度～令和17（2035）年度】



第3期朝霞市教育振興基本計画

【令和8（2026）年度～令和12（2030）年度】



教育に係る個別計画【朝霞市教育委員会】

朝霞市生涯学習推進指針

第3次期朝霞市生涯学習計画

【平成29（2017）年度～令和8（2026）年度】

- 第3期朝霞市スポーツ推進計画
- 朝霞市学校施設長寿命化計画
- 第4次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画

社会教育法 抜粋

発令 : 昭和 24 年 6 月 10 日号外法律第 207 号

最終改正: 令和 1 年 6 月 7 日号外法律第 26 号

改正内容: 令和 1 年 5 月 24 日号外法律第 11 号[令和 2 年 4 月 1 日]

第四章 社会教育委員

(社会教育委員の設置)

第十五条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

第十六条 削除〔平成一一年七月法律八七号〕

(社会教育委員の職務)

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べるこ
と。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する
特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導
を与えることができる。

(社会教育委員の委嘱の基準等)

第十八条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、
当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準について
は、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

第十九条 削除〔昭和三四年四月法律一五八号〕

社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令

発令　　：平成 23 年 12 月 1 日文部科学省令第 42 号

最終改正：平成 25 年 9 月 10 日文部科学省令第 25 号

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(平成二十三年法律第百五号)の一部の施行に伴い、及び社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)第三十条第二項の規定に基づき、公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令を次のように定める。

社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令

(社会教育委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準)

第一条 社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号。以下「法」という。)第十八条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

(公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準)

第二条 法第三十条第二項の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱することとする。

附 則

この省令は、平成二十四年四月一日から施行する。

附 則〔平成二五年九月一〇日文部科学省令第二五号〕

この省令は、平成二十六年四月一日から施行する。

朝霞市社会教育委員設置条例

発令 : 昭和 30 年 4 月 1 日条例第 7 号
最終改正: 平成 26 年 3 月 31 日条例第 1 号

第1条 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 15 条に基づき、朝霞市に社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

第2条 委員の定数は、15 人以内とする。

2 委員は、次に掲げる者のうちから朝霞市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 社会教育関係者
- (4) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (5) 公募による市民又は公募委員候補者名簿に登載された市民

第3条 委員の任期は、2年とする。

2 教育委員会は、任期中において特別の事由があるときは、委員の委嘱を解くことができる。

3 委員の欠員を生じたときは、補欠委員を委嘱する。

4 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4条 この条例に規定するものを除くほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会がこれを定める。

附 則

この条例は、昭和 25 年4月1日から施行する。

附 則(昭和 27 年条例第 26 号)

この条例は、公布の日から施行し、昭和 27 年6月 23 日から適用する。

附 則(昭和 56 年条例第 16 号)

この条例は、昭和 56 年7月1日から施行する。

附 則(平成 26 年条例第1号)

この条例は、平成 26 年4月1日から施行する。

朝霞市社会教育委員会議規則

発令 :平成 16 年 4 月 16 日教育委員会規則第 5 号
最終改正:平成 26 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号

(趣旨)

第1条 この規則は、朝霞市社会教育委員(以下「委員」という。)の会議に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議(以下「会議」という。)に議長及び副議長を置く。

- 2 議長及び副議長は、委員の互選により定める。
- 3 議長は、会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 会議は、朝霞市教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 会議の庶務は、生涯学習部生涯学習・スポーツ課において処理する。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、会議に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成 26 年教委規則第2号)

この規則は、平成 26 年4月1日から施行する。

朝霞市社会教育委員名簿

令和7年7月1日～令和9年6月30日

選出の区分	氏 名	職名又は所属	備 考
学校教育関係者	タナベ マサヤ 田邊 雅也	朝霞第五小学校長	
	オオタ サダハル 太田 禎治	朝霞第四中学校長	
	イトウ タカヒト 伊藤 孝人	県立朝霞高等学校長	
社会教育関係者	ヒラツカ マコト 平塚 誠	文化協会会長	
	カブラギ トシアキ 蕪木 利秋	スポーツ協会副会長	
	カネコ ユキオ 金子 幸男	青少年育成市民会議理事	
	クラタ ヒトミ 蔵田 ひと美	図書館利用者	
	ワタナベ トシオ 渡邊 俊夫	元子ども会連合会会長	
	サイトウ ミツシ 齋藤 光司	人権教育推進協議会会長	
家庭教育向上活動者	アイザワ アツシ 相澤 敦	朝霞市保護者代表連絡会会長	
学識経験者	イチイシ アキヒコ 一石 昭彦	東洋大学教授	
	キムラ ケイコ 木村 啓子	元尚美学園大学教授	
	オジマ マチコ 小島 真知子	元社会教育指導員	
	スヤマ ケンガ 陶山 憲雅	市議会議員	
公募委員	タカノ マサヨシ 高野 正芳	公募市民	